大正六年九月十四日第三種郵便物認可・昭和十四年五月三十日印刷納本・昭和十四年六月五日發行・毎月一回一日發行・

第廿二輯第六號　昭和十四年六月一日

建築と社會



6

日本建築協會

建築學界大會講演會

（大　阪）5月15日（月曜日）午後6時30分開會

會場・朝　日　會　館（大阪市北區中之島3丁目　市電一渡邊橋下車）

司會者　大會大阪委員長　中　澤　誠　一　郎　君

開會の辭	本會會長	正員 工學博士	內田祥三君
大阪驛前火災實驗の結果に就て（附16粍天然色映畵）	大阪府建築課長	正員	中澤誠一郎君
民家から見た日本と支那	第三高等學校教授		藤田元春君
歐洲の動搖と東亞の建築		經濟學博士	飯島幡司君
閉會の辭	大會總委員長	正員 工學博士	片岡安君

會　期・4月20日—5月17日迄

會　場・建築材料陳列場（朝日ビル4階）

「時局と建築材料」展覽會

1、代用品の紹介
2、新材料の紹介
3、新工法による材料の使途

上記の要項により5月10日迄のところ5月17日迄延期公開致すことになりました。
奮つて御來場を希望致します

社團法人　日本建築協會

日本建築協會
創立滿十五年　記念出版

大阪市地質調査圖表

本書は本會常設の災害強度委員會が數年に亘つて若心調査蒐集した資料を輯錄して一本に纏めたもので、大阪市內約五百ケ所六百有餘の試穿成績の中重複せるもの、近接地にして地質酷似せるもの等を省略して四百十四ケ所を選定したものであつて、他に同種の刊行物なく洵に斯界に於ける驚異的出版である。この出版に際して本會としては凡ゆる點に於て多大の犧牲を拂つたものであるが、しかも尙上梓したる所以のものは、土木建築關係者が計畫に當り常に必要缺くべからざるものであり、又容易に所要のものを調査し得ると云ふ實に簡便にして、斯界にとり稗益尠からざるものと信じたからである。
世の土木建築に關係ある諸賢へこの權威ある寶典を御薦めする次第である。

四六倍版　上質印刷紙　定價3.50圓　送料12錢
上製箱入　クロース裝幀　（本協會員に限り3.00圓）

日本建築協會刊行

大阪・北區・朝日ビル
振替口座大阪 39975

賣捌　丸善本支店
柳々堂書店

建築と社會

第22輯　第6號　昭和14年6月發行

六月號

目　次

時局下の住宅問題と其の對策……乾　眞介（2）
住宅難對策としての住宅公營……吉村辰夫（9）
事變下に於ける住宅難と其の對策……政岡基次（13）
第一回防護室實驗報告……大阪市建築科會（21）

・街頭を語る・

店相十二支……川喜多煉七郎（28）
街頭雜話……中尾保（40）
御堂筋を語る……龜井幸次郎（43）
婦人より見た建築に關する座談會……（47）

・紫煙室・

偉大なる都市計畫家の死……大須賀巖（65）
土木と建築……新名種夫（68）
防空と長屋……松森修太（69）
觀念的……堀口甚吉（70）
竹の屋根……山口正（72）
街頭右左……本多正道（75）
色と健康……元眞勳（77）

・文獻・

Bedfordの「調溫、換氣の最新原理」抄錄（1）……前原大二郎（79）

・時報・

時局と建築材料展覽會……（87）

・古建築新抄・

唐様の奇様……藤原義一

・新建築欄・

滋賀縣廳舍　イタリー萬國博建築競技設計案・饗宴及會議館・帝國廣場入選案の1・2・
軍人廣場　カールスルーエの新遞信局（ドイツ）　アパートメント（イギリス）
ホテルのロツビーに出來た銀行（アメリカ）　Grünwaldの1戸式ジードルンク"ヘルレンヴイーズ"（ドイツ）　住宅（イギリス）　ミドランドの住宅（アメリカ）
ロスアンゼルスの住宅（アメリカ）　オハイオの住宅（アメリカ）
ポートランドの小住宅（アメリカ）

會報……（91）

卷頭言

我國が曩古の事變に入ると共に住宅建築が政策的に抑制せられたのであつた。この事は事變のある段階に於て當然なことであつたがその後に來るもの乃ち住宅難の解決が大きな問題として殘されることも我々が夙に識者の前に提言した處であつた。

すでに住宅難は眼前の問題となつてその餘りに早く現實の問題となつたことには驚かされるのであるが、又一方餘りにもなほざりにし來つた住宅問題を國家が國運に聯關する重大なる問題としてとり上るべき時機の熟したことを知るのである。大正以後の我國に於ける工業發展に伴つた人口の都市集中こそ現下の國民體位低下の源であつた。否都市集中に非すして都市構成並びに都市住宅が甚しく不適格であつたことがその源泉であつたと云ひ得るであらう。尊き結果が表れる時には原因はこれを除くべくすでに餘りにも生長し過ぎて居た。現下の重工業の劃期的發展に伴ふ農村及び都市近郊の工業都市化に際して、再び昔日の如き放任をくりかへすならば我々は躍進日本を負ふべき次の時代の身心潑剌たる青年を何處に求めることが出來るであらうか。しかも悪い結果の表れて氣が付いた時にはこの問題の解決はすでに時機を失して居るのである。

時局下の住宅問題と其の對策

乾　眞介

1　深刻化する住宅難

事變が不擴大から擴大へ、速戰即決から長期戰へと、益々進展するに連れて、建築界でも、鐵や鋼材其他が先づ使用制限を受け、又市場から姿を隱す建築材料も續出するに到つたので、住宅夫れ自身の建築については制限を受けない迄も、材料、勞力等の騰貴を思ひ合はせて、早晩住宅難の惹起すべきは略々豫測されたことであつたが、職工住宅を中心として斯くも急速に全國的な住宅難が表面化したことは、誠に意表外であつた。

現に東京、大阪兩府下、北海道及神奈川、群馬、愛知、兵庫、廣島の諸縣下、並北九州一帶の殷賑産業地に於ては、時局産業部門の諸工場の膨大な規模の新設、擴張が急激に行はるゝ結果、非常な住宅不足の狀態に陷つて居つて、地方に依つては、寺院や、映畫館などを借入れたり、或は倉庫迄改造して、新に募集して來た職工の宿舍に充つるやら、組長班長格の者は工場から澤山の職工を預けられて、宿所の割當に狂奔するなどの騷ぎを演じて居る。此の情勢は追次、北陸や、山陰地方迄も及びさうであるが、延て之が一般化して來たならば、單に職工階級の住宅問題たるに止まらず、其の結果逆睹し難きものがある。

2　其　の　影　響

斯く殷賑産業地に於て、住居の數量的に不足した結果は、當然の歸結として、先づ密住の居住狀態を顯す、現在之等の地區に於て、六疊一室に四～六人、八疊に七～九人と云ふ程度の過群生活の實例は珍らしくない。

次に住宅が無い位であるから、辛して搜し得た家は、家賃も割高であらうし、衞生、保健の上にも滿點なりとは思はれない。從つて每日十數時間に亘る樣な、過激な工場內の勞働の疲勞を、恢復させるに充分な休養を攝るに甚だ不適當である。睡眠の不足でさへも作業能率に影響する位であるから、增して夫等の結果は、作業上の負傷、疾病の重大な原因ともなるので、直接間接に生産擴充の要素である、人的資源を徒に枯渴せしむることになる。

又職工は其の作業の性質上、一般俸給生活者の樣には、遠距離、長時間の通勤を困難とするの事情があるので、夫の徒歩たると交通機關を利用するとを問はず、二十五分乃至三十分の通勤時間を以て、一應の限界とすべきであるが、然し、住宅の缺乏は斯の如き範圍內に居住することが不可能で、一般の交通機關や、自轉車等を利用して、極めて遠方より

通勤する者が著しく增加し來り、而も之等の地區では、交通計畫上、全く豫期しない方面に、俄に多人數の昇降を見るに到つたのであるから、出勤、退場の時間には且て見ざる混亂狀態を呈する有樣である。

されば工場主は多額の費用をかけて、折角集め來つた職工を、工場に引き止むることが出來ない計りでなく、職工自身も、密住過群の上に、甚だしく不衞生な生活を續けなければならぬから、從つて健康を害し易く、結核其他の疾病に罹り歸鄉する者が續出して居るのは、興國の大理想に邁進すべき今日、生產の擴充に重大なる支障を及すもので、誠に寒心に堪えぬ所である。

3 今次住宅難の原因

今次の住宅難の仍て來れる所は、要するに住宅需要者の激增したことゝ、其の供給の不足せるに因るものなること明であるが、今少しく之を需給の兩方面より觀察せんに、厚生省の統計に依れば、事變勃發以來の職工の增加は洵に飛躍的なるものがあつて、昭和七年より十一年迄は、全國で每年廿四萬人位の增加であつたものが、事變發端の十二年には夫れが三十三萬人に增し、十三年には實に四十五萬人に達して居り、其の大部分が金屬、機械及化學工業等股張產業部門に屬する者である。更に昨年中の製造工業計畫資本二十億一千萬圓の內91%即ち十八億三千萬圓が股張產業の占むることに依つて見ても、十四年以降に於ける職工數增加の趨勢は、正に刮目に價するものがある。

而して現在の工場建設の實際を見るに、事業主は只管受註に應ずるに急で、動力、用水交通につき利便さへあれば、多少の不利は之を忍んでも、地價の安い所を求めて、續々工場を建設するのであつて、今日の田畑は、明日は大空に聳ゆる煙突林立の工場地に化するのであるから、此等の地區に於ける住宅の貴重さは、豫想外である。

乍然事業主は其の官たると民たるとを問はず、工場の建設に當つて、多くは職工の住居の建設計畫を持つて居ない、總て之を民間家主の供給にのみ待つのである。

更に住宅供給の方面より觀るに、建築統計に依れば、東京、橫濱、名古屋、大阪、神戶の五大都市及川崎、尼ヶ崎、廣島、福岡、門司、小倉、戶畑、若松、八幡の九市に於ては昭和十二年中住宅の新築戶數が合計61,961戶あつたものが、翌十三年には12% 7,978を減じて、53,983戶となつて居り、十四年に入つては、其の減少の度合が一層激甚となつて居る。斯く人口の集中の旺盛な都市に於て新築戶數の減じて行く理由は、大凡左記の事情に因るものと思はれる。即ち

(イ) 我國の都市の現狀では、自分の家を持つて居る者は、極く少數であつて、東京府の調査に徵しても貸家は住宅總數の七割五分以上にも達して居る。從つて都市住宅の供給は貸家が本體であつて、而も之れは總て家主の營利企業に屬し、公營、公益の住宅や、工場の經營に係る住宅、宿舍などの數は誠に微々たるものである、此等民間の家主は多く中

小の資本家で、善良な者ほど投資に臆病で引込思案であるから、行先きの見通しの困難な又建築材料や工賃が高い今日、貸家を建てることを躊躇する、餘程投機的な者でなければ此際進んで建築をしない傾向が顯著である。

（ロ）國策の結果として一方に値上げを制限せられ、他方建築材料の內、鐵、銅、亞鉛引鐵板、米松などを制限せられ、釘、鐵金具、鉛管などが、其の購入に著しく圓滑を缺いて、入手難であるから、水道、瓦斯及電燈などの文化設備にも多大の支障を來たすわけで而も適當な代用品を求め難い爲に、貸家の經濟價値を狹むる結果、建築の困難に伴つて投資の妙味を失ふに到り、益々住宅の建築が減少する。

斯くして住宅需給の關係が著しく平衡を失するに到つた事が、今次住宅難の唯一の理由ではなくとも、少くも最も重要な原因と見てよい樣である。

4　住宅難解決の焦點

住宅難の現況と、原因については、一應の見解を前叙したのであるが、其の對策を考ふる前に、今次住宅難の特殊性と、本問題の對象並對策の目標等について少しく記述の必要がある。

（イ）我國でも產業の繁忙期には、都市に於ても小規模ながら、地方的な住宅難は起つてゐたのであるが、其の最も重大であつたのは、歐洲大戰の際、大正五年末に始り、九年に及んだ全國的なものであつた。

乍然當時と今日の住宅難には非常な相異點がある、即ち大正代に於ける場合には、物價高ではあつたが住宅需要者の收入は普偏的に多かつたし、又建築資材の統制や、家賃地代の制限もなかつたし、勞力も奮發さへすれば自由に得られたので、家賃の採算上の上昇は之を充分に借家人に轉嫁することが出來たから、住宅投資にはより有利であつた。

然るに今回は之等の點に於て些趣を異にする、されば住宅供給の增加を計るには、如何なる組織を採用するにしても、先づ家賃の値上制限の主旨を緩和して、其の決定標準を採算上適正する家賃額を以てすることに改め、同時に政府に於て英國の建築材料給付令の如きを定め以て、小住宅の建築資材の確保をなすこと及一定條件に依り之が配給の方法を講ずると共に、必要ある場合には進んで建築勞務者の徵用を許すことも急迫した問題を解決するに必要なことである。

（ロ）今次の住宅難の範圍は現在の處職工住宅に限られてゐる、從つて必要とするものは、小住宅である、又最近の股賑產業に於ては單獨身者が多いのであるから、共同宿舍の建築を優先せしむるものとせば、一定の坪數以上の住宅の建築には、一時的に建築の制限を加へて、資材、勞力を、小住宅並に共同宿舍の建設に振向くべきではあるまいか。

（ハ）又職工住宅に重點を置いて、之が供給を計る場合に考へなければならぬことは、職工の家賃負擔能力の强弱の度合である、時局產業部門の職工の收入は、非常に多い樣に

噂されて居るが、熟練工程度の者を除いては、其の收入增加は時間外の勤務、又は歩合の增收に依るもので、必ずしも固定したものではない樣であるし、且つ地位も安定して居ない、從つて之等は、家賃の負擔力は自然低いものと見做さなければならぬ、單獨職工に到つては特に、然りである、故に其等の住居としては、地位の安定して居る熟練工程度の者には家賃に代る月賦金を支拂つて行けば、何年後かに土地建物を自分の所有と爲し得る、敷地付の分讓住宅を、其他の者には貸家、又は共同宿舍の供給を適當とするのである。

乍然一戸拾坪未滿、家賃にして八～一〇圓以下の住宅は、低利資金の供給を受けて建築しても、之を經營する採算上の適正の家賃額を以てしては、引合ふものではなく、同時に職工は、其の家賃額では拂ひ切れないのであるから、共同宿舍の經營と併せて、若し之を工場の事業主が經營するならば、職工の福祉施設として、又國家が其の供給、經營を援助するならば、社會政策的に、建設費の補助又は、利拂、償還等に相等の庇護を與へて經營せしむる必要がある。

由來住宅の供給、經營の事業は、簡單に見えて仲々繁雜である、法規上の手續きもあるし、場合に依りては住宅の外に、食堂や浴場、娯樂、診療の施設や、市場、郵便局、駐在所、學校、小公園から交通機關のこと迄も考慮せねばならぬので、其の計畫、實施には官民の緊密なる協調がなければ、今日の狀態では其の目的の達成が困難である。

5 住宅難の對策

現下の住宅難の對策は、其の需給調節策に外ならぬのであるが、今次の住宅難は、其の對象が家賃負擔力の少ない、職工の住宅問題であるから、同時に家賃を低廉ならしむることも考ふべきである、而して家賃については既に政府に於て、定つた方策もあること故、茲に之を省略して、先づ當面の應急策と、根本的な對策とに分つて之を考究して見たい。

（1） 應 急 策

筆者は速に實行の出來る方法だからと言つて、御寺や、映畫館、倉庫等を職工の住宅に充つるやうなことを、勸奬するものではない、寧ろ其後に來るべき弊害の大を懼るゝものである。されど現存建物の利用が現實に止むを得ないとすれば、住宅難の甚しい地域には一機關を設けて、常時、賃貸、又は使用に適する住宅、又は差當り不用の客家、空間を調査して置き、風紀、衞生、其他に支障の有無を見極めた上、工場と連絡して、其の所在を職工に周知せしむる樣な仲介組織を設くることも必要であらうと思ふ。

偖て進んで應急的に職工住居の建設を爲す場合に考へらるゝ經營の主體は、大凡次の如くであつて、各々特長と缺點とを持つてゐるので、非常時局下の急に應するには其の總動員が望ましいのである。

（イ）民間家主の協力　元來貸家の經營は、仲々煩瑣なものであるから、大企業的な經營方法は寧ろ不適當である、されば曩に程大規模な住宅政策を、多年に亙り實施した英

獨、兩國でも、其の實績は補助を與へたものを合せて、未だ民間の建築數に遙に及ばない從つて住宅の供給には現在の經濟組織では家主の力を度外視し得ないのであるが、既述の如く民間の家主は、目下行先きの見極めの困難なために、總て住宅投資を見送つてゐる、然し此等中小の資本家達は、建築資金が、低利に融通がつき、又回收が確實であれば、低金利の今日進んで住宅建築をなすものも尠くないのであるから、市町村、商工會議所などが中心となつて、土地持ちで、住宅敷地を有する者には、之を提供せしめ、經營の技能を有する者には夫の技能を提供せしめて、勸業銀行などには低資融通の便宜を計るの運動を起し、それに依つて出來上つた住宅は、之を工場側と協定して職工の居住宅に充てると共に、家賃を毎月の賃金より差引く取計ひを受くなり、又空家の保證を爲さしめるやうにすれば、地主、家主の採算も確實となり、喜んで建築着手を爲すものも現るべく、相當數の住宅の供給が出來ると共に、職工も亦格安の住居を護ることが出來るわけである。

（ロ）事業主の住宅經營　今回の住宅難で、事業主の最も痛切に感じた事は、工場と職工住宅が不可分の關係にあることである、勿論建物や、機械の設備をなした丈けでは、生産は出來ないし、又勞力は無限に在るものではない、內地人口の自然增加は毎年百萬近くであるが、職工の求人が一年五〇萬人以上にも達すれば、平和產業からの轉向を見越しても、勞力の供給が漸次窮乏に陷るべきことが明である、されば官民何れでも事業主は勞力の保持には一層の關心を持つべきであつて、彼のボートサンライト迄には行かなくとも從來の纖維工業工場の施設と同一程度には快適な、職工住宅の建設計畫を樹つるの責務があるやうに考へらるゝ、又米國の如き國柄に於ても、配當の制限をされて居る工場には、最低限度を保證された職工住宅の建設義務を負せてゐるのから見ても、將來工場の新設、擴張の認可に際して必要ある場合には、地方長官は職工住宅の建設を事業主に命じ得る樣な法令の定めを設けたいものである。

尙事業主には其の熟練工程度の職工のために、英國の公益建築組合や、獨乙の建築貯蓄金庫の如きを、單獨に又は他の工場と聯合組織して、職工自身の住宅を獲得せしむるの方法を授くることも望ましいことである。

（ハ）地方自治團體の活動　地方自治團體としては、工場が急激に創設擴張せらるゝことは道路、下水、學校などの經費の支出が增加する點では、迷惑ではあるが、一方官設の工場でもなければ、稅收入に依りて豐富な財源を得るのであるから、何事にも積極的に活動する餘地が出來て來る、されば之を還元する意味でも、國策たる住宅供給に相當な努力をなしてもよいわけである、地方自治團體が住宅供給の矢面に立つことは、民間家主の場合と異り、利益を本位としないから、家賃の適正が考へられる、從つて居住する職工にも經濟的の利益を與ふることゝなる、此の場合資金は多く政府、又は勸業銀行などの低資に仰ぐを常とするが、夫れでも尙地方自治體當事者が容易に此の事業に乘り出さない理由は、過去に甞た苦い經驗から將來の家賃安、空家氾濫を危惧することゝ、欠損を生じた場

合の憂慮からであらうが、此れは其の當初の經營方針に依つても救ひ得べき杞憂である、即ち新築當時に一般市中家賃並の賃料を徴收して、狀況に應じ追次、家賃の遞減を行つて行く事も一つの方法であらうし、又居住の職工數に應じて、所屬工場より受益者負擔的の金額を協定寄附せしめ、之を前途の欠損補塡に積み立て行く事も可なりと考へらるゝ、斯くすることが事業主に取つても自ら住宅を經營するよりは有利な場合が多いのである。

（ニ）地方自治團體と事業主との提携　住宅の建設、經營は前述の如く煩瑣な仕事であるので、自治團體の如き會計法に縛られて居る會計組織では、其の運用に不便な嫌があるし、一方事業主が單獨に住宅を經營することにも亦、難色があるので、假令、自ら其の經營の必要と責務とを認めても實行に移す事が常に忌避さるゝのである。

茲に於て兩者が提携して、所要資金を出資して、住宅會社を創立し、以て此れが經營に當らしむる事も考へらるゝ、現に川崎市に於て、最近に其の創立總會を完了した住宅會社の如きは、其の一例であつて、川崎市役所が中心となつて、同市內の大工場十數社が各自出資して、資本金三百萬圓の株式會社を設け、敷地の造成から、住宅の建築、貸付並分讓などの事業を行ふもので、其の前途大に期待されてゐる。

（ホ）公益法人の蹇起　我國の大都市には、住宅の經營を目的とせる數多の公益法人がある、其の久しきに渉る住宅經營上の苦心は大いに尊重すべきものがあるから、公共團體に於ては、其の貴重な經驗を專用するため、事業上に相當な援助をなして、此際住宅の經營に乘出さしむべきである。

財團法人同潤會は、大正十二年の關東大震災の前後處置を爲すために、創設せられた法人で、震災關係地方を事業區域とし、現在東京府、神奈川及埼玉縣下に於て、普通住宅、アパートメントハウス、分讓住宅、其他合せて約 7,500戸を經營して居る、去る三月中寄附行爲を改正して、事業を全國に及し得ることゝなつたが、資金に限度があるので、差當り從來の經驗と機構とを利用して、公共團體、會社工場などが集團的な住宅の供給を爲す場合、其の計畫の立案、住宅の設計、工事監督、並處理の引受を爲すことになつた。

（2）根本的對策

以上應急對策の局に當る、主體の區別に從つて、此が檢討を加へたのであるが、住宅需給の均衡の破壞も、要するに國家總動員態勢の整備、進展の結果であるし、今次の住宅難も何時全國を通ずる一般的問題に化するなきやを保し難いのであるから、政府は其の恒久根本策を樹つべきであるが、筆者の之に提唱する所は次の通りである。

（イ）住宅の國勢調査を行ひ、其の棟數、棟數、種別坪數及居住の狀況を明にし、同時に住宅の新築、減却の數を調査して、人口と關聯して其の必要欠くべからざる住宅所要數を決定したい。

（ロ）地方別に住宅及獨身宿舍の標準設計を定めたい。

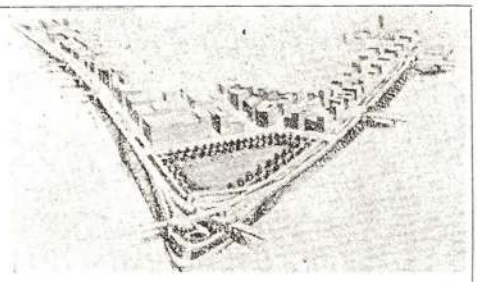
（ハ） 住宅法を制定して、住宅供給の義務者の指定、必要ある場合住宅用地の收用、使用の權利、並建築資材の確保、公益住宅に對する公課の減免、建築資金の調達、並貸付、建築費の補助、又は利子の補給、並損失の補償。住宅の檢査、有害建物の除却命令等の規定を設けたい。

（ニ） 住宅會社法を制定して、會社の設立、政府並關係自治團體其他株式の引受、配當の制限、並保證、社債發行權等の定めをしたい。

（ホ） 政府に於て工場の統制に就き一定の方針を確立し、全國に渉り工場の國土計畫を樹立すること。

ピツツバーグの再築が始められる

事業開始は河岸地の擴張から



ピツツバーク河岸地の改修の必要が長い間主張されて來たのであるが、此の程漸やく～1938年の終りに於て～事業着手の運びとなつた。

下圖は改修計畫の一部分にして事業認可のあつた部分のみを示したもので、上圖は所謂 Golden Triangle と稱せられる、 Monongahela 河と Allegheny 河とが相會するところである。此の2つの河に架せられて居る橋梁への傾斜せるアプローチは急傾斜を避ける爲め可及的長く伸されてある。而も此の地點は曾 Fort Duquesne と Port Pitt の敷地であつたばかりでなく、 Geoge Washington が21歳の青年測量師たりし頃天幕を此の地に張つたと謂ふ、歷史的に非常に意義のある地點である。

此の歷史的意義のある場所を公園化するのに次の如き計畫が樹立されある。即ちレヴルを異にした2つの庭園計畫のあるテラスに分割し、上部の部分には博物館豫定地か又は歷史博物館敷地とし且つ此處から橋へのアプローチを見下し得る程度の充分なる高さがある樣に計畫してある。



☆

（American City, March 1939, P. 49）

住宅難對策としての住宅公營

吉　村　辰　夫

戰爭と住宅問題は最早切離し得ぬ定則として一般に認識されて居る處だが、夫も戰時の末期から戰後にかけて發生するのを今迄の例とした。然るに今事變では意外にも早く此時期に逢着したのである。

其處で我々が此問題を採り上げる場合に考へ度い事は目下の住宅難なるものが果して正常のものか、或は特殊な因子に原因されたかに付ての見極を付ける必要があることだ。

此の意味に於て現在の住宅難は多分の特異性を持つものと自分は解釋する。何となれば住宅難の叫ばれてゐる處が、都會、然も工業地、それも所謂殷賑産業地帶を中心とすることからして了解出來るのである。

即ち當面の狀況は或る定まつた目的を有する産業部門に生じ、それが漸次他の産業部門に擴がることに依つて今後本格的な住宅難時代が來るものと想像されるのである。であるから目下の住宅難は更に擴大の徵候を有し謂はゞ住宅難の前哨時代と見る可きが至當であらう。

故にその對策は單なる現況に依るべきでなく、更に今後を豫想した根本策に向つて研究し調査した結果樹立されるのでなくてはならないと思ふ。

住宅難の姑息的對策は不可

從來斯ふした問題は兎角姑息的な、其場的な處理方策によつて糊塗されて來た。

恐らくそうして與へられた一時的な解決策は僅少な効果によつて滿足され、然も次第に一般の關心から弱められ、そのまゝ——當時に於ては根本的對策乃至は解決策が眞面目に論議されたにせよ——それ以上の對策に向つて前進したことのないのが例であつた。

然し常に斯ふした傾向を辿つた事も住宅難其自體の本質性が然らしめたと謂ふことを併せ考へねばならない。

何となれば住宅難は其自體已に浮動的な性質を持つてゐるからである。住宅難は云はゞ景氣に左右され偶發される現象である。だから我々は住宅難を考へる場合には其當時を中心とする景氣の前後に付ての考究が大切となつて來るのである。則ち當時の景氣が果して一般的のものか或は局部的のものであるか——何れは全經濟部門に對して浸潤するものとしても——先づその所在の探究を行はずして對策を樹てることは瞑して物を求むると何等選ぶところはないのである。

此の點現在の問題は一方的な産業部門の好景氣——然し此は單なる産業と云ふよりも國家總力的な背景を以てゐる點に於て從前とは全く異つた意味のものだが——夫に基く勞力

の不足により産業中心に移動する勞働人口の集中に結果されたものと云はざるを得ないのである。

故に事例に徴しても住宅難の發生してゐる區域が都市内部にあると思へば郊外の新興工業地に限られてゐる處もあると謂つた具合で、現在はそれが稍々發展して職場に對する比較的近い區域、謂はゞ通勤區域の範圍に迄擴大した爲めに漸く社會各方面に影響を與へるに至つたと考ふ可きであらう。

住宅の私的供給は行詰つた

斯る事情を考へると住宅難の問題は實に住宅問題の根本對策に依存せるものと謂ふ可きであり、又住宅問題の解決なしに住宅難の根本對策は有り得ないと謂ふ可きである。

更に又住宅其者の經營の點から謂つても夫が我々の生活とあまりにも密接に結ばれてゐる爲に衣食と同樣全く個人に委されてゐると云ふことが根本問題であるのである。然も生活の餘裕に比例して問題が起らないと云ふことは衣食と同樣の扱ひが住宅に對して迄稍滿足し得られてゐるからであつた。

社會生活が安易な時にはそれで宜かつた。然し現代の社會に於ては衣食と同樣に住の取得に對する安易さが失はれて來たことは事實だ。斯る際に尙住の供給が依然として私の自由企業に委任されてゐると云ふ點に問題の萌芽が存するのである。

住宅に對する公の供給が問題化され初めたのは比較的近年の事だが、其の勢が他の場合と異り相當熾烈を極めて來たことは住と生活との關係が生活上極めて大なる支配的勢力を持つからであつたことは疑ふ餘地がない。

合衆國に於けるP、W、Aの事業、夫に引續いてのUSHAの本格的供給の開始、又は獨逸の家産地乃至はジードルンク事業が如何に華々しい展開を爲したかを見るに付けても住の供給が單なる營利事業として、放任するを許すべきでない時代であることが判るのである。

我國に於ても已に同潤會の住宅供給があり又官公營の住宅公給があるが後者は不良住宅の改良に主眼を置く特殊なものであるが爲に住宅供給として大いなる力とは成り得なかつたのである。

一部の識者は早くから住宅公給の急務を說いてゐる。然しそれが少くとも識者間の輿論とならなかつたことは今迄又現在に於てさへ住の問題を依然として私企業に委せ社會問題として採り上げなかつたことに因るのであり、又同時に識者夫自身も住の問題に付ては深く探究し研究しなかつた爲でもあるのだ。謂はゞ輿論を作る此等の知識階級が住宅問題に切實にぶつからなかつたからその認識を缺いたと謂つても差支へないのである。

道路とか上下水道、運河等は其性質上公共施設として何等個人に對する事業化の因子が無い爲めに早くから公共事業として着手された。之に反して住宅は私生活の土臺であると同時に事業に對する資本が小額で濟む關係から、又更に其者を自分の所有即ち財產と爲し

得るが爲に私的企業として承認されたことは當然である。

たゞそれが今日に於てさへ依然として社會的變遷とは無關係に、そのまゝ發育したに過ぎない。

然し乍ら社會機構の發展と複雜化によつて個人生活が著しく融通性を失つたことは現代生活の特徴である。つまり生活難の時代となつたのである。そうなれば住の獲得は漸く困難となつて來たのだがその反面之が企業としての價値は益々高まつて來たのである。斯かる際にあつては住宅が高度の企業化の下に經營されることは必然である。そこで住宅問題は何等他の原因なくしても當然起り得るのであつて同時に其の反面には社會政策的に公企業としての性質を著しく帶びる樣になつたことも指摘し得るのである。

住宅供給の公共化が因つて來る所以は實に此點にあるのである。

然も斯る場合に於て尙私企業に其供給を委せるならば投機産業に依るインフレーションが一般經濟に影響するに及んで漸く企業主たる家主を潤ほはし、然る後に住宅供給が伴つて來る段取になるのである。だから投機産業の全盛期に於て要求される住宅供給は自づから必要なる時期には伴はず或る期間を經た後に供給されると云ふことになり、結局其處に需給の大きなギヤツプが生ずることとなる。謂はゞ利潤のフエースの相違が必要なるべき供給を遲らせることゝも考へられるのである。

單に職場の擴張に對する住關係の解決ならば工業資本家が仕事と同時に住居をも併せ與へる事に依つて一應の解決はつく。

然し事業主は一般に斯る方面への進出を喜ばぬし資本の運用から謂つても一應は手控へるに相違ない。そうなれば住宅供給を所謂家主階級の自由企業に委せる以上住宅難は解決され得ないのである。然もインフレーションに依る物價の騰貴は延いて建築材料にも及ぶから夫等からしても利潤の低下に基く供給の障碍は大きいのである。

住宅公營の必要と其意義

更に從來とり行はれた公企業としての住宅供給が例へあつたにせよ先づ其れが我々の生活に對して滿足なものであつたか否かを一應問題にしたい。

即ち公企業として與へられた住宅にせよ恐らく住の形式に些の改良をも與へてゐないことは事實として指摘し得るであらう。謂はゞ斯かる住宅と云へどもその內容は全く通常の貸家と何の撰ぶ所のない部室であり、厨房であり、同じ設備と材料であつたのだ。唯異る處は建物が新しいと云ふことと何年かの後には自分の所有になると謂ふことだけが——斯んな事は全く當然すぎる程當然な事なのだが——僅かに需要者としての慰めであつた。

そして居住者は斯る住宅に於てさへ全く從來と同樣の手間と勞力とを費して生活しなければならなかつた。其處に幾何の向上した生活樣式が求められたであらうか？

此の意味に於て從來の公營住宅と雖も普通の住宅に比してたゞ單に家主の相違あるのみに過ぎなかつた。然し之では公營の意味は頗る曖昧である。

勘くとも公營のものである以上そこに何等かの指導的意味が附加さるべきであり、又されねばならぬのである。我々の利便さは少くとも增進せらるべきであつた。

暖房にせよ、衞生設備にせよ、防鼠の問題にせよ何等かの點に於て巷間の貸家乃至は分讓住宅とは異つた良き設備を供ふ可きであつた。

然し此等は全く稀有の事例を除いては公營のものにさへ採り上げられた事はなかつたし又それで足れりとする氣運さへ見られるのは極めて遺憾であつた。

私が冒頭に於て住宅難と住宅問題を結付けた所以も要するに經營の妥當性以外に其內容施設の改良と云ふ點に於て始めて公營による意義が明確になし得られるが爲であつた。

其處で結論すれば

住宅難の根本對策は最早住宅公營以外にはない。

政府は須らく住宅供給事業を計畫着手すべきであつて、殊に今の場合私企業に委す可きではないと謂ふことに結論されるのである。

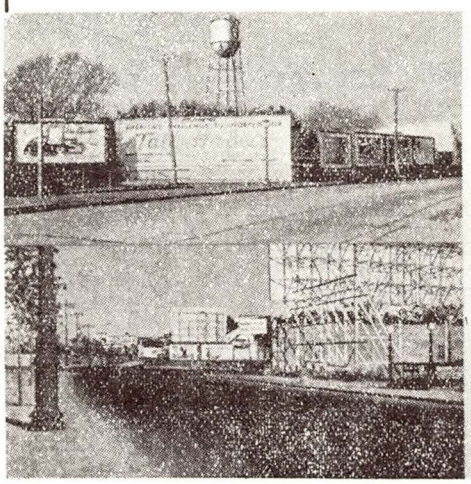
然も此の上住宅難を深刻化せしめれば延いては生産を低下せしめ更に生活の不安を一層深刻ならしめることも必定である。斯くなれば現下の事態に對處すべき國家總力に迄其影響を懸念しなければならなくなるのである。

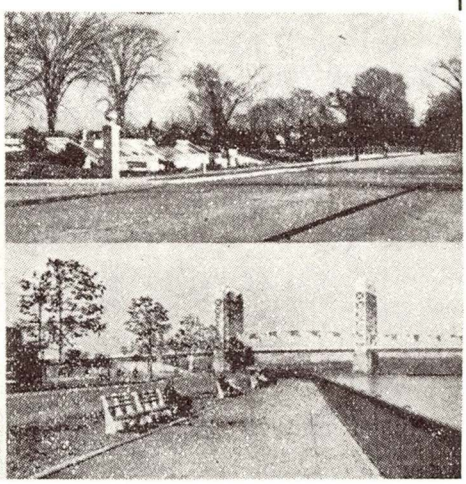
住宅公營の曉には必然的に在來の弊習を排し新たなる生活內容を盛つて居住に對する指導的意義を確立せねばならない。

其處で始めて國民生活を向上せしめ肉體と精神文化の高揚が計りうるのであることを切言して止まないのである。（14.5.15）

道路の兩側が斯くの如く風致を割されて居るのを何故默認して居るのですか？

若し我々が道路の兩側に對し風致の保存に注意さへすれば斯くの如くなし得る。





事變下に於ける住宅難と其の對策

政　岡　基　次

昭和6年頃を境として、年々下降を續けてゐた空家率は、今回の事變に遭遇して異狀な變化を來し、最近所々に住居拂底の聲が高まつて來た。この住宅難發生の經緯は既に歐洲各國が、彼の大戰によつて辿つた經路と甚だ似通つた點が有つて、その先轍に想ひを致す時、その對策が如何に困難な問題であり、且つ周到な計畫のもとに爲されなければならない緊急重大な問題であるかがわかるであらう。

一般に住宅難の原因は、その供給が需要を滿し得ない場合に起るものであつて、それには住宅供給が需要數に比して量的に不足を來す場合と、供給されてゐる物と要求される物との質的の相違による場合がある。住宅難の叫ばれるのは、後者に比して前者の場合一層深刻である事は論を俟たない。現在叫ばれつゝある住宅難は量的に不足な、前者に屬するものである。以下少しく事變下にある住宅の需要供給の關係について考へ、之が對策に關する私見を述べやうと思ふ。

×　　×

事變下にある住宅の需要供給關係の推移には3つの時期がある。その第1は事變勃發當初から約1箇年間の極く平穩な時期であつて、之を假に第1期と呼ばう。次は現在經過しつゝある初期の住宅難時代から事變終了迄で之を第2期としやう。最後の第3期は事變が一段落付いた時であつて、この時こそ最も住宅問題が喧しい時である。この3つの異つた期について、先づ住宅の需要と供給の關係並びに其の原因について考へて見やう。

第1期の事變勃發當初に於ては、住宅の供給は何等の變化を受けなかつた。1部慧眼なる住宅供給者は、物價の騰貴及將來の住宅拂底を見越して、積極的に建築に取りかゝつたが、其の數は全體的に見て大したものでなく、資金の動く方面の轉換による新規供給減を支へ得る程度であつた。

然るにこの場合の需要は如何と云ふに、これは年々の增加率から急に停頓の狀態に入つた。これには種々な原因があらうが、先づ出征による軍人家族の世帶の合併、兵役關係者の結婚の手控へ、應召による農村勞働力の不足による都會集注の一時的停頓等を數へる事が出來る。從つて、この第1期は反つて供給過剩となり、極めて平穩裡に經過した。

次に現在直面してゐる第2期に移つた。この時期では漸く物資の不足が深刻化し、物價

の値上り、地價の部分的騰貴等によつて建築費・維持費共に上昇を辿り、而も家賃の增額は抑壓された爲に、當然の結果として住宅の建設には困難を生じ、借家經營の利潤能力は著しい低下を來した。更に他方部分的な好景氣は、借家經營の如き相當多額の資金の固定を必要とし、而も回收に長年月を要する事業よりも、遙に回轉率のよい、利潤の高い事業への放資を容易ならしめ、こゝに住宅の新規供給は激減する有樣となつた。

此の期に於ける需要を見るに、兵役關係者の世帶數增加抑制の事情は、第1期と變化ないが、時の經過と共に、其の抑制は飽和の狀態に近づき、他方時局關係產業の殷賑はその關係者を經濟的に潤はせて、これが住居に對する欲求の水準を高め、或はより大きい住居を求め、或は今までの數世帶の同居が個々に獨立して1世帶毎に1戸を構へる事となり、勢ひ住宅の需要は活潑な動きを示す事となつた。更に時局關係の產業は、益々繁忙を極め資金の運用は調整されて絕對優先的にこの方面に振り向けられ、內部的には利益金の外部への放出を抑留して一路事業の擴張へと邁進を續けた爲に、工場地附近は、勞働者の壓倒的集注を來し、職工住宅の需要は局部的に極めて增大する事となつた。而も此の樣な場合は定石的に、田圃は埋立てられて工場敷地と化し、周圍一帶の荒地は一時に成熟して地價の暴騰を來すために、附近の新築による住宅の經營は一層不利な狀態となつた。最近新聞紙上等に報導される職工住宅街の寢室の晝夜3部交替制とか、1疊當り何人の住居者がある等の猛烈な住宅難は、專らこの方面の出來事である。

この第2期の住宅難は、時の經過と共に益々甚しくなり、それに加へて長期戰下に於ける一部交通の歸休軍人への住宅不足は、第3期のそれと關聯して由々しい問題の原因を作るであらう。

次に第3期、即ち事變が一段落付いた時の事を考へて見やう。この場合は、先づ從來經驗した戰捷後の狀態とは、著しく事情が異る事に注意しなければならない。この時期に於ける國內の物資は尙ほ一層不足を來し、國外からの資材の安價な輸入は諸種の情勢よりして大して期待をかける事が出來ず、と云つて占領地からの移入は、その開發に相當の期間を要する爲に早急の間に合ひ難い。勞働力は占領地開發と時局關係產業に吸收されて不足を來し、勞働賃銀は上昇する。然も家賃の急激な上騰は望み難く、從つて借家經營の利潤の恢復には尙相當の困難を伴ふであらう。それに加へて、從來好景氣時代に屢々經驗した如く、一般的好況は資本の放資を益々容易に他方面のより有利な、回收の速な方向へ集注せしめ、戰捷の氣分も手傳つて一層住宅の如き固定的な地味なものへの投資は顧みられる暇が無く、こゝに新規の供給は益々不活潑となるであらう。

これに反して需要側は如何と云ふに、戰爭による兵役關係者の世帶數增加への抑制條件は解消し、歸還軍人の世帶獨立の復歸、延期されてゐた結婚の實現を始め、第2期に續く時局關係產業方面の住宅需要增加は停止する事なく、こゝに需要と供給の不均衡は最も甚

しい極點に達する。住宅問題と尚之に關聯する諸種の重大なる社會問題は、この時に發生するのであつて、殊に名譽の凱旋をした歸休軍人への住宅供給難に因る重大問題は、こゝで最惡の事態を惹起するであらう。歐洲大戰中英國では家賃制限法を實施し、住宅の建築は極めて不活潑と成つた爲に、戰爭終了後50萬戸と云ふ莫大な小住宅の不足を見るに到りそれが對策には多大の犧牲を拂つたにも拘らず、結果は失敗に終つた。その梗概については、後で少く述べる事とする。

× ×

扨て然らば、來る可き住宅難に處する對策如何と云ふに、それはたゞ「需要に應じて供給を圓滑ならしめる」の一語に盡きる。問題は其の方法如何である。從來の住宅供給の方法には幾多の缺陷があり、事ある毎に之が改善が叫ばれて來た。然るに事實は依然として舊弊を改めず、不相變のまゝ現在に及んでゐる。今未曾有の事變に遭遇して、飛躍的な新事態に處そうとする秋、その對策は將來永遠に施して正しいもので有り、舊來の缺陷を補正するものでなければならない。從つて平時に於ける住宅政策と根本的に相反するもので有つてはならない。而も問題は緊急を要する事であり、之を遷延する時は住宅問題以外の種々の重大な社會問題を起す惧がある。そこでこの緊急を加へた對策としては、その供給を從來有り來つた如き個々の小資本家の手にそのまゝ委ねて置く事は不可であつて、是非とも指導的な規模の大きいものが積極的にその解決に働きかけなければならない。それには先づ住宅建築に對する補助政策、非營利主義住宅の增設、營利主義住宅の指導改善が考へられる。以下順を追つてこれ等の得失を說明しやう。

建築に對する補助政策は、從來天災其他、事有る毎に屢々實施された處である。然しこれは何れもその補助に一定の限度が有り、或る特定の者に利益を與へ、公平に多くの者をしてその恩惠に均霑せしめ得なかつた嫌がある。又それを受ける者が恩惠に馴れ、その結果は一般に惡影響を及ぼす樣な事態にまで立到つた例さへある。前に述べた歐洲大戰後の英國の採つた補助政策の如き、その方法に於て多くの缺陷があつたにせよ、補助政策の陷り易い缺點を如實に曝け出したものである。參考迄にその概略を記載しやう。

英國は大戰中物資及勞働力不足、家賃制限法の實施等のために住宅の建築を見合せる者が多くなり、大戰終了後名譽の凱旋軍人の歸休と共に莫大な住宅の不足を來した。之が對策として、政府は戰時中から諸種の委員會を設けて對策を練り、遂に1919年7月住宅に關する新法律を發布した。これは地方團體をして、住宅の不足に對する補充を義務付け、その代り國家が住宅補充に關して巨額の補助を與へたのである。即ち財政的援助として、地方團體が勞働者に住宅を供給する事に依つて蒙つた損害は、一定の限度を越えた部分に關しては凡て國家の負擔としたのである。

最初政府の計畫は1921年度迄に50萬戸の建設を企て、建築費の暴騰による增徵出來ない

部分の家賃について、一週5志の割の補助金を與へ、50萬戸については1ケ年の補助額を650萬磅と算定した。然るにその計畫は豫想外に進行せず、初年度の豫定建築戸數10萬戸に對し、僅に 3,000戸の竣工を見たのみであつて、既に實施の初に於て、その成果は世人の期待を裏切つた。而もその補助額は建築費の豫想外の騰貴により、全計畫完成の曉には年額 2,600磅を越える事が判明し、これには如何に富有な英國でも到底その負擔に耐へ得ずとして、遂に豫定を變更して176,000戸に縮少し、それでも尙60年間、年々1,000萬磅の負擔を擔ふ事となつた。そしてその結果は、全計畫の漸く⅛の戸數を以て打切つた爲に、住宅の供給を受ける事の出來ない者は徒に此の計畫に因つて生じた負擔を蒙り乍ら、何等の利益をも受けず、負擔の不公平を生じ、又一方住宅の供給を受けた者は、建築費を償ふに足りない家賃を支拂ひ乍ら、立派な住宅に住ふ事を當然の權利と心得る樣になつた。

政府はこの豫想外の負擔に耐え切れず、之が救濟策として家屋の賣却を企て、僅に着手して3年後の1921年に於て、建築費の半額を以て新築家屋を賣却して、其の窮狀を切抜け樣とする樣な行詰りを曝露した。

この政策の失敗原因が何れに在つたにせよ、補助政策なるものが陷り易い缺點を示した貴重な資料であつて、住宅供給の如き地方的に不統一な事業が、大規模の下に行はれる事の困難さを示した事、及び如何に强力なる財力を以てしても、經濟上の原則を無視しては其の存續が困難である事を立證したものとして、特に注目に値する。

之はたゞ1つの例を示したに過ぎないが、全く他力的な補助による政策は、飽まで局部的な、而も一時的な急場を凌ぐ方法として用ふる以外は、全般的には餘に採用し難い方法であつて、殊に事變の終了後と雖も財政的に樂觀を許さない現在の狀態では、一層之に賴る事は困難である。

次に非營利主義の住宅供給について述べやう。非營利主義の住宅は、公營即ち、國家・公共團體、特に市營のもの、雇主の經營のもの、各種組合によるものゝ3つに大別する事が出來る。現在我國は勿論、世界各國が色々な目的に向つて公營住宅を建設してゐる。上述の英國の新住宅法に基く住宅政策は、補助による公營住宅の最も大規模なものである。從來我國に於ける公營住宅は、その何れもが住宅供給を公共の手に收めやうとするものでは無く、社會政策上若くは保健政策上と云つた特殊な見地から實施してゐるものである。

從つて其の一つ一つが何れも或目標に向つて模範的であるにしても、供給を圓滑ならしめ、住宅問題を解決すると云つた處にまでは到つてゐない。そして其の多くは、經濟的に內容が整はず、一般住宅供給の基準とは爲し難い。今假に公營住宅を以て、住宅供給を公共の手に收めんと企てる時は、公營の過去の經驗に徵して、又日本住宅の脆弱性の甚しい事、住宅供給は公營に適する統一性が無く全く個別的取扱を要する事等のために、その結果は經濟的に失敗に終るか、若くは少くとも現在一般に供給されてゐる營利住宅の家賃以

下で供給する事は困難であらう。即ち、公營による方法も亦特殊の場合及目的に從つて講じられる可き政策であつて、廣く一般に施す可きものでは無い。

非營利住宅の第2の型である雇主經營の住宅には各官廳の官舍、會社の社宅等が擧げられる。その全住宅數に對する割合は僅少であるが、住宅難緩和には相當の効果を齎すものである。現在叫ばれてゐる第2期の初期の住宅難は、その原因の大部分は、官廳・工場の移轉擴張による住宅不足に因るものであると云つても過言でない。この様な轉換期には特に雇主供給の住宅は重要視されなければならないのであつて、もしも官廳・工場の移轉擴張に當つて、其の職員の住宅供給に當事者が注意を拂つて居つたならば、現在の住宅難は大部分緩和されたであらう。然るに事實は之に反して、常にその聲が高まつてから、慌てゝ其の對策を講ずるのであつて、事前に比して其の困難は數倍に上り、常に多大の犧牲を忍んでゐる。歐洲大戰當時、軍需工場勞働者へ公營住宅を提供した様なのも、この例に洩れない。現在滿洲國に於ける各都市の住宅難も、之と軌を一にするものであつて、これは當面の問題に限らず、常に後から講ずる代りに、是非前以て同時に計畫す可きである。差當つて目下の住宅難に處する對策としては、先づ之に着眼しなければならない。具體的方策として、例へば工場地に於ける住宅不足には、之に備へて豫め事業主に對して工場計畫と同時に、或程度の職工住宅の計畫を勸告し、事業主をしてその利益を納得せしめ、一方之が奬勵策として、公課の減免、減價償却短期是認の特別取扱を爲す等も一策であらう。この最後の建物の減價償却の特別取扱は、その運用如何に依つて、極めて滿足な結果を齎すものである。現在國策線上に沿ふ事業の他の部門に涉つてこれが試みられつゝあるのに徵しても、その成果の確實である事を知る事が出來る。而も補助の如き積極的負擔を他にかけるものでなく、當事者をして依賴心を起さしめずに飽まで自力に依つて圓滑に供給を爲さしめ、尙將來に向つて益々事業の堅實味を增すものとして極めて無理のない方法である。

雇主供給にかゝる住宅には、その反面或は束縛せられたる家屋制度（tied house system）とか、溫情主義の亂用とか、種々の弊害が無いでもないが、之が適當な併用は其缺點を緩和し、少くとも部分的な住宅難釀成の原因を減少せしめるに役立つであらう。

非營利住宅の今一つの型である各種組合による住宅供給は、從來の如き住宅組合、產業組合の手になるのでは、到底一般的な需要を滿す事は出來ない。之を一步進めて、今少し大規模な組合を組織せしめ、例へば現下に於ける軍需工業者の組合の如きが成立して、之が住宅供給を行へば効果的であるが、それには利害得失がなかなか一致する事なく、その實行は困難であらう。

最後に營利住宅の指導改善がある。上に述べた色々の方法が、夫々利點と特色有るに拘らず、營利住宅がその數に於て壓倒的に多數で有る事は、その弊害は勿論認めるとして、

何か正當付けられる理由が有る可きである。住宅難の原因が、需要に對する供給の不足に在るとすれば、營利主義の住宅經營は無下に之を排斥するわけには行かない。そこで其の指導改善が住宅政策の採る可き最良の方法であると考へられる。それには1つの明な標準的、模範的なものを作る事が近道である。各種の公營住宅は、何れもそれを目標に建設されてゐるに拘らず、その効果が現れないのは、既說の様につまる處經濟的に缺陷があるためである。住宅の經營は他の企業に比して多大の資本と、その回轉に多くの年月を要するものであるに拘らず、從來の借家企業が、個々の壽命の短い小資本家の手に全く無統制に委ねられてゐる事は明に不合理であつて、其所にあらゆる弊害の源が存在するのである。從つて或る統制下に資本を寄せ集めて、長期間に繼續して住宅供給をなさしめる事が考へられる。これには株式會社の設立が最も合理的である。

先づ住宅供給を公營にするか、私營にするかの中間として、半官半民の會社の設立が考へられる。地方的な災害又は今回の如き國家的な問題に處する爲には、この方法が最も適してゐる。然し住宅經營は地方的に特色があり、1地方と雖もそれが占める土地の關係で統一性は極めて薄弱である。從つて、此の雜多な要求に應じて行くためには、大規模な半官半民の如き會社1社に賴る事は、種々の弊害を伴ふ惧がある。即ち、之を中心に、地方的な會社の設立が望ましい。然し乍ら住宅政策は、その供給を圓滑ならしめる事を以て足れりとするのではなく、或る政策に順應して、その質をも向上せしめなければならない。從つて餘り數多くの會社の設立は、却つて政策上不便を伴ひ、質の低下を來す惧がある。この様な理由から、其の設立は免許制とし、その資本金、並に數に或る制限を加へ、事業の內容は嚴重なる監督下に置かなければならない。尙ほ事業の性質上、多大の資本を固定し、利益率も他の事業に比して高率を望み得ない。その結果は資本の集聚を困難ならしめる。之を補ふためには、會社の資本金以外に政府の低利資金の交付とか、社債の普通法人以上の發行を認める必要があり、又事業を圓滑に遂行せしめるためには、土地收用並に用益に關する或程度の權限を與へ、嚴重な監督の反面に、目的達成のためには充分な保護を加へる必要がある。この様な理由から、普通の會社法に依らず、例へば銀行業・保險業・無盡業等に於けるが如き特別法の制定が望ましい。住宅會社法の必要は之に他ならない。既にこの法案は、大正10年の議會に上提された事があるが、如何なる譯か未にその實現を見るに到らない。

以下住宅會社法が制定されたとして、斯うした特別法下にある住宅會社が、住宅政策上如何なる結果を齎すかを、常識的に考へて見やう。

先づ株主出資にかゝる資本金以外の資金を特別の保護下に集め得る事は、利潤能力の低い缺點を補つて、株式の募集を容易ならしめ、その設立は至極容易であらう。扨て設立された會社の提供する住宅は、その規模の大きい事による利點によつて、優秀な人的配置が可能である。事務的に、技術的に優秀な組織下に生れる住宅は、その質に於て、又運用に

於て、在來の個人的なものと比べて優れてゐる事は論を俟たない。供給者の良質は、供給される住宅をしてあらゆる公益的な政策に順應せしめる事が容易であり、斯うして生れた住宅經營がその質に於て、又運用の合理的な事に於て、在來一般に供給されてゐるものへの範を示すであらう事は容易に頷かれる。即ち、公營住宅の有する利點は、殆ど之を滿す事が可能である。

又全般的な正確な前途への見通しは、その需要供給の關係を豫知せしめ、之に對應せしめる事が出來る。少くとも現在味ひつゝ有る樣な、職工住宅の不足は、之を徒に箇々の企業家へ補助する如き煩をとらず、又工場主の全く自發的は緩和策にのみ頼る事なく、事前に供給の圓滑を期する事が出來る。而も雇主提供にかゝる住宅の缺點である束縛は除かれ住宅供給に關する限りに於ては、充分効果的であり得る。

又諸種の組合制度に於ける住宅供給は、之を全く包含して遂行せしめる事が出來る。

即ち、現在行はれてゐる非營利主義住宅の利點は、その大部分を之によつて、發揮せしめる事が出來る。

最後に現在供給されてゐる營利主義住宅との關係について考へて見やう。この會社の供給にかゝるものと、在來のものとは、共の何れもが營利を目的とする經濟的立脚點に立つてゐる。從つて在來の公營・非營利主義のものに對する關係とは異り、兩者の併立は何等支障を來すものではない。寧ろ屢々述べた如く、住宅會社提供のものは、その質に於て、又經營の合理的な點に於て、一般的に基範を垂れる事となり、貸借關係の圓滑、利潤の安定は一般企業家を利し、順次その方針にならはしめ、こゝに在來の住宅經營による弊害は除々に改められるであらう。これは現在堅實な土地建物會社が一般經營の中に混じて、住宅の經營をして、相當の効果を擧げてゐる事に徴しても明である。

扨て、住宅會社によつて供給される家は、以上の樣な利潤の正當化、經營の合理化により、勢ひ家賃の低額を可能ならしめ、その結果は在來の住宅供給を壓迫し、從つてその供給を減少せしめ、反つて家賃の騰貴を促す事となると云ふ懸念があるであらう。英國の新住宅法による住宅政策さへ、之を獨占的に供給する事が出來なかつたのであるから、會社が住宅供給を一手に收める事は出來ず、その併立は當然の事であつて、從つて個人供給を壓迫すれば、需要增に對する供給不足を來たし、如上の結果を起す事は一應頷かれる。然し正確な經理の下に實施される家賃は、現行のものに比して、當然低額とはなるが、其の在來標準のものとの差は、一般に想像される程甚しいものではない。又會社供給の住宅が在來のものそのまゝを踏襲するを以て足れりとするので無く、保健・衞生・防火等山積する諸問題の改善を、1つからでも實行に移すならば、在來の家賃より安價な住宅の提供はそれ程容易な業でない事がわかる。即ち、家賃はより安く、質のより善いと云ふ2兎は、同時に求める事は困難である。原則として經濟的に成立する事を必要條件としてゐるのであるから、もしも之を求め得たとするならば、誠に幸な事であつて、その一般住宅問題に

及ぼす影響は極めて良好であらう。

會社供給にかゝるものと、在來のものとの存在の關係は、恰も金融界に於ける銀行と、個人經營のそれの樣に、會社は一つの指導的立場に在つて、互にその足らざる處を補ひ、住宅問題の改善に資する處が大きいものと考へられる。

× ×

以上事變下に現れる住宅難の諸相について略說し、之が對策として、一部には雇主供給にかゝる非營利住宅供給の必要を述べ、根本的對策としては、住宅會社法の制定を俟つて特定の營利會社の設立の必要を述べた。然し住宅は土地を離れて存在する物でなく、住宅政策を論ずるには、土地に關する所得權制度・金融制度を始め之に纏はる諸種の問題を究明しなければならない。本稿では徒に廣漠なものになる事を恐れて、これ等の重要な事項に一切觸れない事にした。讀者の御諒承を得れば幸である。

本稿を草するに當つて、英國の戰後の住宅政策、及び住宅供給方法の分類に關しては、故法學博士關一氏の名著「住宅問題と都市計畫」に負ふ所が多かつた。記して感謝の意を表する次第である。（昭和14年5月14日）

後　　記

本稿校正中5月20日の大阪朝日新聞紙は、厚生省の對策を報じた。即ち現在の殷賑產業地帶の住宅難は、生產力擴充計畫遂行支障となり、深刻な社會問題を發生せしめてゐるが、之が解決には、小住宅20萬戸、200人收容のアパート1.500棟を要すとし、差當り本14年度では、全國に小住宅4萬戸、アパート（約200名收容）300棟建設の計畫を報じてゐる。又住宅建築の實際機關として、中央に同潤會を中心にした大國策會社設立の計畫があり、或は2,3有力會社と地方自治團體の共同出資になる住宅會社設立の出現が報ぜられてゐる。尙當局は生產設備の擴張に對しては、勞務者住宅の併置を勸奬し、自治體と協力して住宅難解決に當らしめ、塲合によつては、總動員法を發動して、住宅併置を强制する方針であると報じてゐる。更に自治體の負擔に對しては、家屋稅の減免、損失補償等を考慮し、住宅建築に要する費用は極力低利資金の融通をはかる由である。

即ち本文で述べた對策と極めて似通つた事が計畫されてゐるが、當局が焦眉の問題に處するに急なる爲に、非營利主義の第2型に力を注ぎ、或は公營・補助を目標に進む事は差當りないとして、根本對策である營利會社設立指導に對する考慮を運らせるならば、當面の住宅難は一應緩和されるとしても、將來に向つて又種々の弊害の源を作るであらう。即ち之等殷賑產業が將來當然遭遇するであらう沈滯期には、職塲と共に住居を失ふ多くの勞働者を出し、こゝに又重大なる社會問題の發生する事は火を見るより明である。又公營・補助の政策は、全般的に徹底せしめる事は困難でありかへつて一般營利住宅を壓迫して、再び住宅難を醸成せしめる惧がある。この際少くとも同時に營利會社の設立につき、根本的な方策の樹立を望んで止まぬ次第である。（昭和14年5月21日）

第一回防護室實驗報告

大阪市建築科會

濟原潔

前原大二郎

大原喜八郎

まへがき

大阪市役所の建築技術者を總括する大阪市建築科會は、會員相互の技術的向上と市民への建築知識の普及とを目的として、今日まで建築に關係ある各種の研究、實驗等に關與して來たが、この實驗もその中の1つである。

內務省では全國の重要都市に補助金を交附して、防護室の設置を奬勵しつつあり、大阪市に於ても着々その實施を急ぎつつあるが、新しい設備である爲に、設計の基礎となるべき資料に乏しく、多くの疑點を持つた儘設計を進めなければならない實狀である。

この實驗が防護室計畫の一資料ともなり得れば幸である。(新名種夫)

I 實驗の目的及實驗方法の概要

本實驗は、防護室設計に必要なる參考資料を獲んが爲に大阪市役所建築科會が計畫せる諸實驗中の第一回實驗にして、昭和十四年三月十七日、市立高等東女學校地階家事講義室を供試室として行はれたものである。

實驗計畫に依れば、此種實驗は、昭和十四年度中更に數回に亙つて實行される筈であるが、其目的とする所は、主として防護室の氣密狀態、諸種衞生條件等に關する調査である。

本實驗の實驗方法の原理は、通常の鐵筋コンクリート造地下室開口部周圍の間隙に、簡單なる目貼りをなす程度の裝備下に、或は全く自然の儘の狀態下に、送風機に依つて持續的に室內に或る量の空氣を導入し、此爲に上昇する室內氣壓に依つて室壁各間隙より外部に向つて噴出する空氣が、室を取卷く發煙筒の白煙の室內侵入を、どの程度まで防止し得るものなるかを驗し、又送風を中止したる場合の白煙の浸入狀態を觀察して、無裝備鐵筋コンクリート隔壁の氣密程度、及び其の間隙の最も在り勝な位置及其性質の一端を覗はんとするものである。

從つて本實驗は、今後本格的に改裝されたる防護室の防護機能を、無裝備狀態の場合に比較する際の一基準を與へることとなり、同時に今後行はるべき實驗の實行計畫、測定方法の立案其他の爲の參考實驗でもある。

II 供試室・實驗裝置及測定器具

供試室は　床面積＝約 100m^2　　氣　積＝約 300m^3

其平面及四方の壁面は第一圖乃至第三圖の通りである

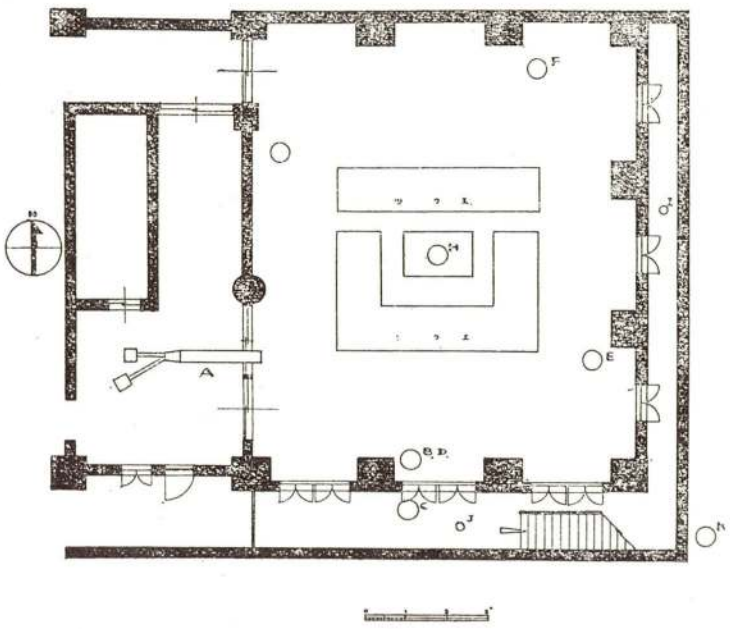
第一圖平面圖に於て

A：送風裝置

（第四圖參照）

⅛馬力送風機及½馬力送風機よりの送風を、各分枝筒を通じ長さ約2m徑29cmの亞鉛鍍鐵板製風筒に合流せしめ、風筒端を供試室に導いた。單位時間についての平均空氣導入量Qは、端部に近き風筒內部圓筒中心軸上に取付けたビラム風速計による數回の風速測定値の平均より、次式に從つて概算し約8.8m³/min.を得た。

第1圖 供試室平面圖



$$Q = 0.93\pi r^2 v$$

こゝに

r ＝ 風筒半徑 ＝ 0.145m

v ＝ 圓筒中心軸上の平均風速 ＝ 144m/min.

0.93 ＝ Heating, Ventilating & Air Conditioning by Harding & Willard に依る係數

B ： 水柱U型開管微壓計

管口の一端を室外空氣に、他端を室內空氣に接せしめ、兩管を水平面に對し45°に傾けたる平面上に置いた場合の兩管內水面の高差 n m.m. を、この平面のスケールに依つて讀み、次式に依つてこれを水銀柱の高さ H m.m. に換算した。

$$H^{m.m.} = n^{m.m.} \times \frac{1}{1/2} \times \frac{1}{13.6} = n \times \frac{1}{19}$$

C, D, E, F, G, H, K ： 乾濕球寒暖計

H ： アネロイドの自記氣壓計

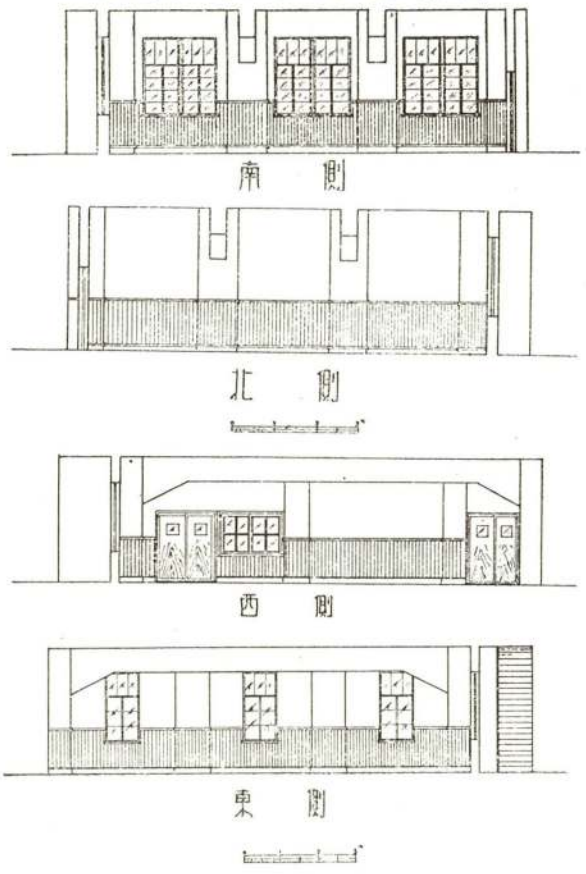
I, J ： 發煙筒

使用發煙筒は、第一回、第二回實驗共夫々、煙光社製白色發煙筒甲1號1本、甲2號4

本、甲3號4本、綠色發煙筒甲2號3本である。兩回共時刻到來と同時にI點に白甲1號1本、I點に白甲2號2本を點火、其後は實驗中隨時殘部の發煙筒に點火しつゝ外部よりこれをエリヤ中に投入した。綠色發煙筒は煙の發色を鮮明ならしめる爲の趣向である。猶エリヤ中になるべく長時間煙を停滯せしめる樣、エリヤの上部はヅツク製天幕を以て敞ふた。この被覆は同時に戶外よりの直接の風壓を緩和することにもなる。

猶目貼りには昭和化工株式會社製防空目貼用昭和テープ乙糊付を使用した。目貼は出入口及內外窓周りの窓枠と窓建具、窓サツシと板ガラス、出入口上下框、竪枠と建具、及建具の召し合せ等の隙間を塞ぐ程度に止めた。但し天井換氣孔、其他室壁に存在する用途上の開孔はあらかじめ閉塞してある。

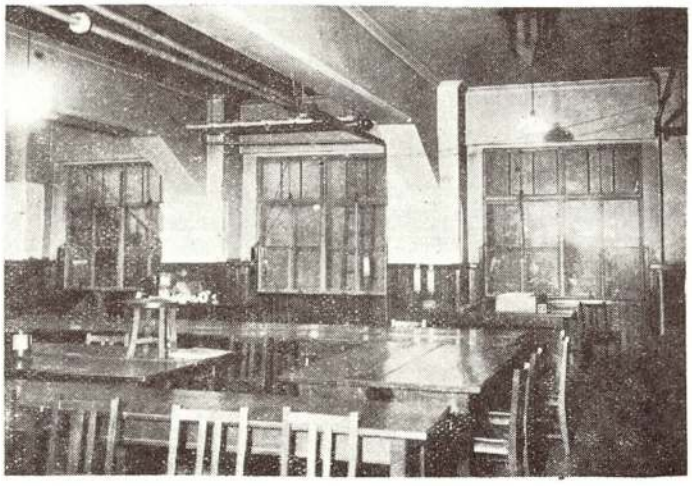
第2圖　供試室展開圖



Ⅲ　實驗の進行順序及諸測定値

第一回實驗は目貼完了後午後一時五十五分送風開始、二時十五分發煙筒點火、二時二十五分送風停止、二時三十五分終了。其間3分間隔の點鐘を合圖に室內外既述の各點に於て氣壓及溫度を測定、第一表乃至第三表の如き結果を得た。猶實驗開

第3圖



始後の在室者は測定者を加へ、瓦斯マスクを被りたる者、然らざるもの合計40名であつた。

第二回實驗は目貼り除去後、午後3時送風開始、3時4分發煙筒點火、3時10分送風を停止した。實驗中の在室者は19名である。此回は第四表の如き測定を行つた。

第1表　實驗中の外氣溫濕度及平均風速

	D.B.T. °c	W.B.T. °c	R.H. %	風速
P.M. 1.55	9.5	5.0	50	西風平均
2.05	10.0	7.0	65	8.3m/sec.
2.15	10.3	7.2	63	
2.25	10.3	7.0	60	氣壓
2.35	10.0	6.0	53	762m.m.
平均	10.0	6.3	58	～763m.m.

第2表　實驗中ノ室內各所ノ溫濕度

	D.B.T. °c					W.B.T. °c					R.H. %					平均		
	H	G	F	E	D	H	G	F	E	D	H	G	F	E	D	D.B.T.	W.B.T.	R.H.
1.25	13.0	13.2	12.5	13.2	14.0	10.8	10.6	10.2	10.7	11.0	74	70	73	71	67	13.2	10.7	71
(送風開始) 1.55	13.8	13.2	13.2	13.2	14.2	11.4	10.5	11.0	10.5	11.6	73	70	74	70	71	13.5	11.0	71
58	14.0	〃	13.3	13.5	〃	11.5	10.6	11.2	11.0	〃	〃	〃	〃	〃	〃	13.6	11.2	〃
2.01	14.1	〃	13.4	13.8	14.4	11.6	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	69	〃	13.8	〃	〃
0.4	14.2	13.0	〃	〃	〃	11.7	〃	11.3	〃	11.7	72	72	76	〃	70	〃	〃	〃
0.7	〃	〃	13.5	14.0	14.3	11.5	〃	11.2	〃	11.8	71	〃	〃	67	73	〃	〃	〃
10	14.3	13.2	〃	13.8	14.2	〃	10.8	〃	〃	11.6	70	73	74	69	〃	〃	〃	〃
(發煙) 13	14.2	〃	〃	14.0	〃	〃	10.9	〃	〃	11.5	〃	〃	〃	67	71	〃	〃	〃
16	14.3	〃	〃	〃	〃	11.4	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	70	〃	〃	〃
19	14.2	〃	〃	〃	14.3	11.5	〃	〃	〃	11.6	71	〃	〃	〃	71	〃	〃	〃
22	14.3	13.3	〃	〃	〃	11.8	〃	〃	〃	11.5	75	72	〃	〃	70	13.9	11.3	〃
(送風停止) 25	14.0	13.5	〃	〃	14.2	〃	11.0	11.3	〃	11.6	76	70	〃	〃	72	13.8	〃	72
28	14.1	〃	13.7	〃	〃	11.5	〃	〃	〃	〃	70	〃	73	〃	71	13.9	〃	70
31	14.2	13.6	13.8	〃	14.3	11.4	10.9	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	14.1	11.2	〃
34	14.3	〃	13.9	〃	〃	11.7	11.0	11.4	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	14.0	〃	〃

第3表　實驗中ノ室內（平均）室外（ドライエクヤ）ノ溫濕度比較及微壓計ノ示セル氣壓差

	室內氣溫			室外氣溫			室內外溫度差	室內外ノ氣壓差	
	D.B.T. °c	W.B.T. °c	R.H. %	D.B.T. °c	W.B.T. °c	R.H. %		測定値 mm	水銀柱ニ換算
P.M. 1.25	13.2	10.7	71	9.6	7.0	69	3.6	+ 3.0	+ 0.158
(送風開始) 1.55	13.5	11.0	71	9.8	7.0	68	3.7	− 3.0	− 0.158
58	13.6	11.2	〃	〃	〃	67	3.8	− 4.0	− 0.213
2.01	13.8	〃	〃	9.9	7.1	68	3.9	− 5.0	− 0.263
02	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	− 5.0	− 0.263
07	〃	〃	〃	10.0	〃	66	3.8	− 5.0	− 0.263
10	〃	〃	〃	〃	7.2	67	〃	− 5.0	− 0.263
(發煙) 13	〃	〃	〃	〃	7.5	70	〃	− 5.6	− 0.292
16	〃	〃	〃	12.6	8.0	52	1.2	− 6.0	− 0.316
19	〃	〃	〃	12.8	9.0	60	1.0	− 6.4	− 0.347
22	13.9	11.3	〃	12.0	〃	65	1.9	− 7.0	− 0.369
(送風停止) 25	13.8	〃	72	11.0	8.3	69	2.8	− 7.0	− 0.369
28	13.9	〃	70	〃	8.1	71	2.9	+ 0.5	+ 0.263
31	14.1	11.2	〃	〃	8.0	63	3.0	+ 0.5	+ 0.263
34	14.0	〃	〃	10.6	7.8	65	3.4	+ 1.0	+ 0.526

* 測定値：水柱U字管＝45°ノ傾斜ヲアタヘ室内外氣壓差ニヨル兩管ノ水柱高差ヲ測定セリ
但シ ＋ ハ室内氣壓＜室外氣壓、 － ハ室内氣壓＞室外氣壓

第4表　實驗中ノ室内外溫濕度

場所 / 時間	室内氣溫（平均）			室外氣溫（ドライエリヤ）			室内外溫度差 °c	外氣溫（K點）		
	D.B.T. °c	W.B.T. °c	R.H. %	D.B.T. °c	W.B.T. °c	R.H. %		D.B.T. °c	W.B.T. °c	R.H. %
（送風開始）										
P.M. 3.00	12.5	9.5	65	9.8	7.2	66	2.7	9.0	5.2	55
（發煙） 03	12.7	10.0	69	9.7	7.0	66	3.0			
06	12.8	9.9	68	10.8	7.0	55	2.0			
（送風停止）09	12.7	10.0	68	12.2	7.7	52	0.5	9.1	6.1	61
12	12.9	10.0	67	13.0	9.7	63	0.1			
15	13.0	10.0	67	11.9	8.5	60	1.1			

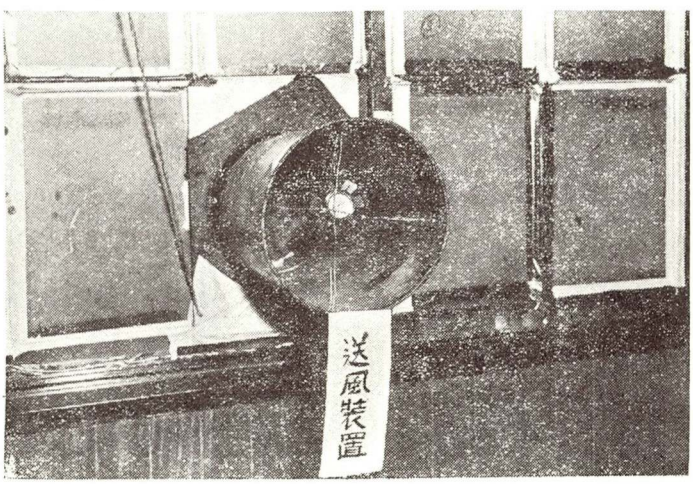
Ⅲ 實驗經過及考察

（1） 表示の如く、實驗の全經過を通じ、B點に於ける微壓計の示す送風前の室内氣壓は室外氣壓に比して稍低く、送風後は稍高かつた。室内氣壓が或値まで上昇し、室壁間隙より逸出する空氣量が導入空氣量に等しくなつた際には室内氣壓は一定となる。測定値に依れば、供試室は送風後30分即送風停止直前に於ても、未だ斯の如き平衡に達した事を示さないが、其氣壓上昇は最大で水銀柱 0.4m.m. に達してはゐない。實際は不平均に分布さるべき室内各部の氣壓平均を、B點の如き特殊一ケ所の測定値を以て律することは不可能である。然しこれらの測定値から推測される平衡後の室内氣壓平均上昇も、恐らく水銀柱 1m.m. を越えないであらう。又例へ氣壓上昇 1m.m. に達したとしても、ボイル・ゲールサツクの定律及此度の實驗測定値より計算される其際の室内空氣の增量は、½立方米に達してゐない。若し室壁が完全に氣密であるならば、最初の室内外の氣壓を共に一氣壓、途中のあらゆる溫度變化及送風能率の室内壓力上昇による減少を無視した場合、此回の送風量に依る一分間の氣壓上昇速度は

$$\frac{8.8}{300}\times 760 = 22.3 \text{m.m.}$$

である。然し之等に依つても室壁細隙のヂメンション其他を假定し得なければ、供試室の空隙を定量的に求める

第 4 圖



ことは出來ないであらう。

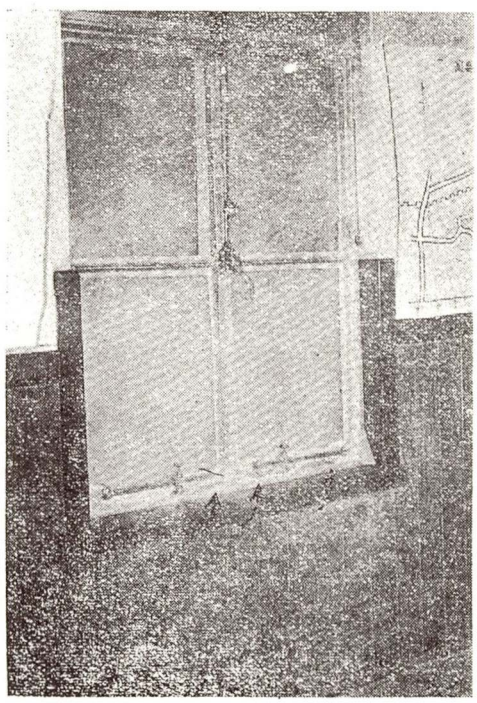
然し乍ら此度の測定値は、今後此種實驗を續けやうとする場合、測定計畫上甚だ有意義な目安を得たこととなり、又今後此室を防護室として完全に改裝した場合に於ける同種實驗測定値と比較するに、興味ある基準となし得るものである。

猶第二回實驗の際即目貼除去後の送風に依る室內氣壓上昇は、第一回の場合に比し明らかに少いことが認められ、これに依つても目貼効果の有効性の程度が推定される。然し此回の微壓計測定値は、多少正確を缺く故公表を避けた。

（2） 上述の如く、送風に依る室內氣壓の上昇は極めて微少なものであり、又ドライエリヤ中の白煙はIIIに述べた様に通常の煙幕等の場合に比し極めて濃厚なるものであつたに關らず、送風中は目擊し得る程度の白煙の室內浸入は全くない。若し試驗室が更に氣密程度の高き場合ならば、更に小量の送風に依つても室內氣壓上昇は顯著なるべく、此方法に依る白煙浸入の防止は、極めて容易なことが推測される。

今此方法を採用せんとする場合、若し室外空氣が東京市に於ける實驗結果に見る如く、高所まで又廣範圍に瓦斯に依つて汚染されるものと見做すべきであるならば、室內導入空氣の接取及洗滌方法が重要なる問題となり得る。併し若し上記の如く、氣密程度高き室の必要導入空氣量が極めて小量で足るものならば、壓搾空氣の利用の如き、簡單なる方法も考慮される筈と思ふ。例へば內容一立方米のボンベに壓搾せる 150氣壓の空氣は、一分間 $2m^3$ の送風を必要とする防護室に於ては、1時間15分の間白煙の浸入を防止し得る筈である。但し此場合防護室周圍は東京市の實驗結果より見るも直接外部の風壓に接せしめない様少くとも此實驗程度の防風設備を必要とするであらう。

第 5 圖



（3） 送風停止と同時に、白煙は忽ち豫期以上多量に室內に浸入して來た。浸入箇所は窓枠とコンクリート壁の取付け箇所、室四周の腰羽目間隙が著しかつた。（第五圖參照）後者は主として窓臺下部腰壁の取付部分の間隙より浸入する白煙が、腰羽目とその裏面の腰壁との空間に沿ふて四方に擴散し、次いで腰羽目の間隙から洩れるものと推測される。第二回目の實驗の際には此場所以外に目貼りを除去した箇所よりも著しい白煙の浸入が認められた。前表の如

く、送風停止後は室内は室外に比して稍低壓であるから、この現象は當然とも見られるが實際の場合風壓等に依つて此程度以上の室内外壓力差を生ずべきは明かである。又若し室内外の氣壓差が全く無い場合でも、斯の如き間隙の存在する以上、白煙自身の擴散のみに依つても充分室内に浸入し得る筈である。

此度の經驗より見て、完成防護室に存在する意外な間隙發見の爲に、室内氣壓低下手段に依る白煙導入法を採用し得ると考へる。

（4） 室内以外の氣溫濕度差は、在室者40名前後であつたのに、實驗開始前後及實驗進行中に於て著しき變化を認めなかつた。これは本實驗中の送風換氣に因る所もあるであらう。

（5） 本實驗は既述の如く今後の防護室實驗の豫備實驗である。從つて定性的に豫想し得られる現象も量的には其數値のオーダーを推定することは難かしい。從つて測定準備等にも完全を期し得られないであらうことは豫期した所であつた。例へば室中央に設置したアネロイド型氣壓計は感度低きに過ぎて實驗中殆んど氣壓の變化を示さず此種實驗には不適當なるを知り、至急一ケ所丈に微壓計を設けた如きである。

又比較的容易と考へられる發煙筒よりの白煙の性質を或る程度迄究明して置き、實驗の白煙を對象とせる時の結果から、眞の諸種毒瓦斯の場合の結果を更に明確に推定することが出來れば、一層有意義であらうと思ふ。



店相十二支

川喜田煉七郎

何んの氣もなく行きづりに過ぎてゆく美しい街の姿にも、内からのぞけば、ナミナミならぬ苦労の影が、いたるところに見られよう。

無造作に投げ出した、一つの花をとりあげても、人工のにおひは、深々と感ぜられよう。

そうした都會の街頭に、その両側に華やかに繰りひろげられた、店々々の姿にも、モチロン例外はあり得ようもないのだ。

この店々々の諸相を、街頭建築家の一人としてこゝでとりあげ、解剖室ならざる製圖室の机上で分析してみせることは、はたして「街頭を語る」よすがになるだらうか

× ×

ボクはいつも、店を12の方向に區別している。これは店の前のアキグワイ——開放度と、それぞれの商品の賣れグワイ——販賣率からわけてみたのだが、今日はアツサリ、12の方向の12の店を、丁度あの『エト』——ネ・ウシ・トラ——の12の動物とならべてみようではないか。

1. バ ー……子（ネヅミなき）
2. 時 計 店……丑（つの箱は時計のかはり）
3. 洋 品 店……寅（寅の皮は毛皮店で）
4. 小間物店……卯（ウサギと小間物，小さくて可愛いい）
5. 呉 服 店……辰（虚榮のシンボル…タツ…呉服……）
6. クスリ店……巳（ヘビはクスリになるぞヨ）
7. 婦人子供服店…午（子供と馬だ）
8. 本 店……未（ヒツジは紙をたべる）
9. パン菓子店……申（サルとカシはつきもの）
10. 茶 店……酉（お茶の木とニワトリ）
11. サカナヤ……戌（イヌハサカナヲクワエテイマス）
12. ステーションの賣店…亥（汽車はイノシシの如く走るか……クルシイ、クルシイ）

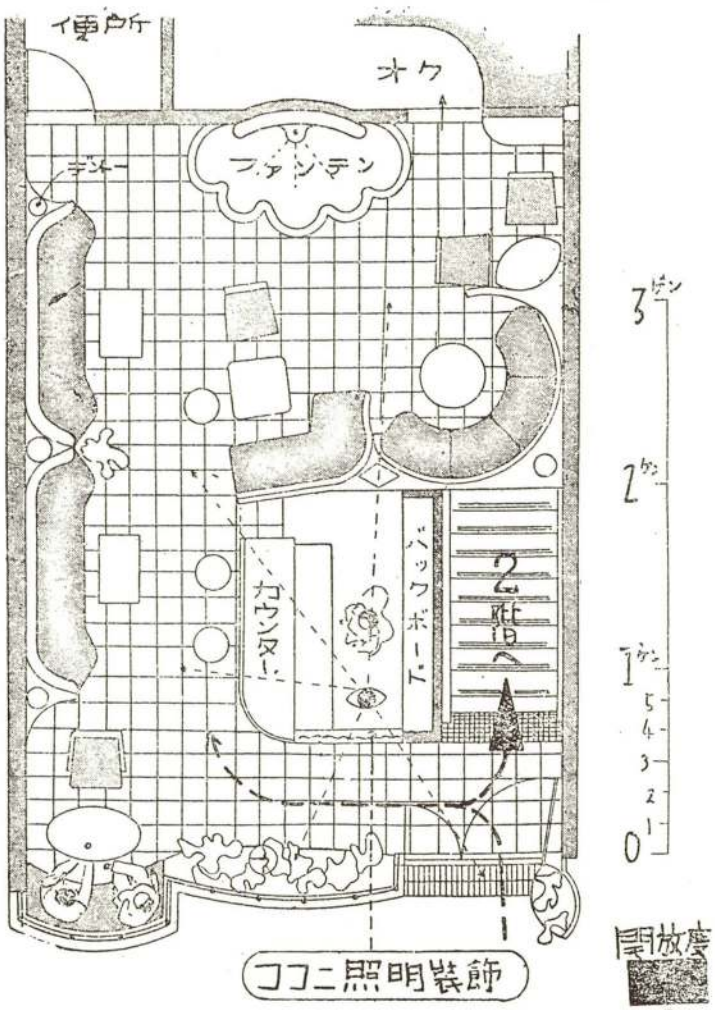
※ ※

※ ※

子型・バー

物を買つてかえるのでなく、その場で氣分とイツショに消費してしまう。だから消費を助長するような刺戟や安樂さが、いたるところで必要。原則としてオモテをしめて、落ちつくことになり、ユツクリかけられる椅子、やわらかい（どの顔も美人に見せる）照明、つき當りにチヨロチヨロ音をたてる泉水……なども必要になる。方々へ違つた氣分のクサムラをつくる椅子とテーブルの配置、カウンター（バー）の位置、出入口の位置、それから外觀。それから（これは設備ではないが）サービス。……こういつたものは商品（その味、値頃、選擇）と同じくらいに大切である。

1・バー　子



圖の店ではバーのカウンターをわざと前にもつてき、こゝに氣のきいたバーテンかマダムがいて、（すぐ前のわきにある）出入口をたえずうかゞい、店全體に氣をくばる。出入口からチラリと見えるバーの前のところにスバラシイ照明裝飾なぞしてもよろしい出入口からの動線（……）をわざと曲げたところ。出入口からは勿論、バーの前あたりからも2階（のまた氣分の違つた場所）へフト氣をかえてフラリと行きやすいこと……なぞ注目すべし。……この種の店は（物品販賣業でない）理容店、映畫館なぞにまた似た性質をもつてゐる。

丑　型・時　計　店

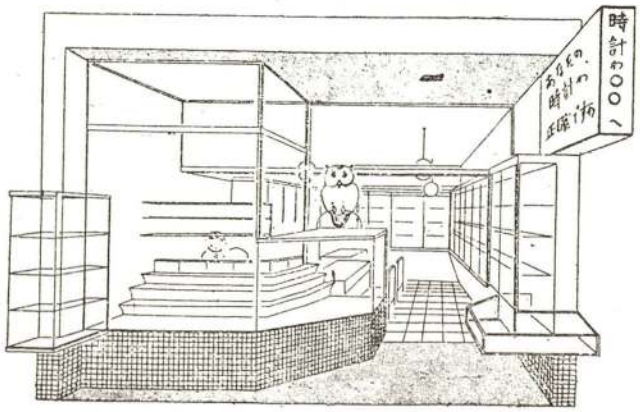
商品が割合高く、買う氣持ではいつて來る人が大部分。いりもボツボツな代り商品の選擇に時間をかけ、それには特別な眼もいるので、ともかくサービスが特殊になる。（でこの店のケースは、客と店員が、さしむかいでまるで料理屋のテーブルのようで、それもわざと離しておいてある。）こうした店はまた商品の貯藏も保管も陳列も特別な注意がいる。

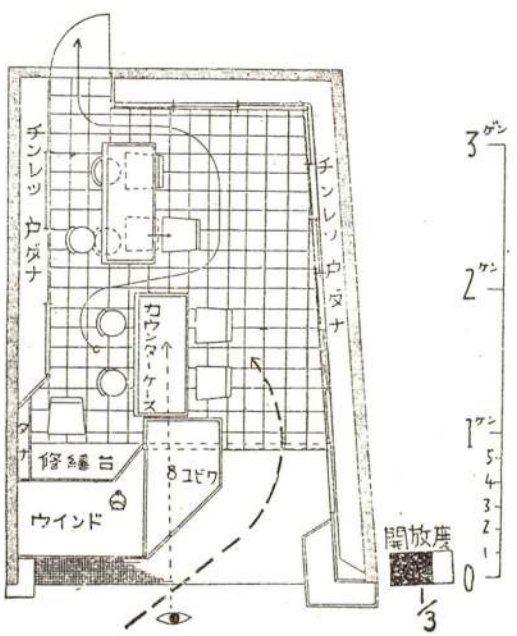
商品は陳列棚、陳列臺は勿論、先ずウインドに代表的なものを充分に陳列して、外を歩く澤山の人の眼をひくようにし、棚や臺やまたウインドから一々とり出してテイネイにごらんにいれるところに味がある。

（この店のウインドはごらんのように實に特別の形をしてゐる。上下をつけたウインドの左の方に大ものをかざり、それからつき出した上のない方にユビワなぞをズラリとカーブさせて、しかも一ぱいにかざり、巧みに矢印のように客を歩かせる。向つて右側の店頭には安いクサリ、バンドの類をこれはわざとハダカでかざる。……この種の型のうちに眼鏡店、寫眞材料店、美術店などがはいる。店内におちつきを與えたり、サービスが特殊だつたりする點で前のグループとも多少は共通するところあり。

丑

2・時　計　店





寅　型・洋　品　店

丑型より商品の單價が安くなり、一般的になる。だからみんな客が買うことにきめて、はいつてくるとは限らないし、店員とさしむかいで一々ツベコベ買物をする客ばかりだともいえぬ。

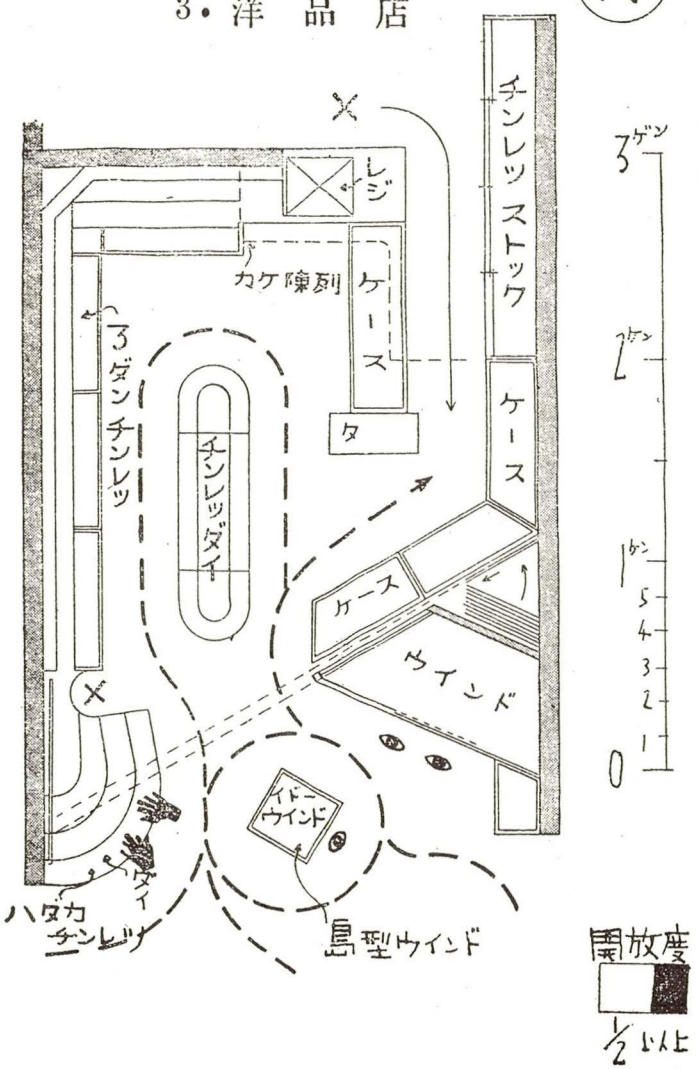
ヒヤカシ氣分で商品の前に立つ者もいるだろうし、ダイイチだれでも勝手に品物を（店員にかまわずに）いじつて見たくなる。

『ウインドのガラスごしによく見ておいて、改めて中にはいる』のが丑型の店頭だつたがこの店頭はそんなにカンタンではない。

商品はむしろその一部を店内から店頭にはみ出す。……見せいじらせる……平氣で手を出させる……店頭で既に客と商品は仲よくなり、ウカウカと店内にはいりこむ。ウインドもこのハダカの商品と一緒になつて客を誘ひこむ役目をはたす……

この店では左側に店内からつき出したハダカ陳列があり右側に少し凹んでウインドがありまん中に移動ウインド（島型ウインド）がヒョイと立つている。客はこの間に自然はいつてきて見ているうちに店内にソノマにひきこまれる。店内のケースの配列もこの誘導を上手にたすける。大きなガラスがウインドの裏から店頭を斜めによぎつて少しづゝひき出される。（戸じまりまたは風よけ）

この型に尙樂器店（蓄音機店）電氣器具店や洋服店、や高級菓子店などはいる。開放度は少くも½以上。ものによつてはウインドがもつと小さくてよい場合がある。

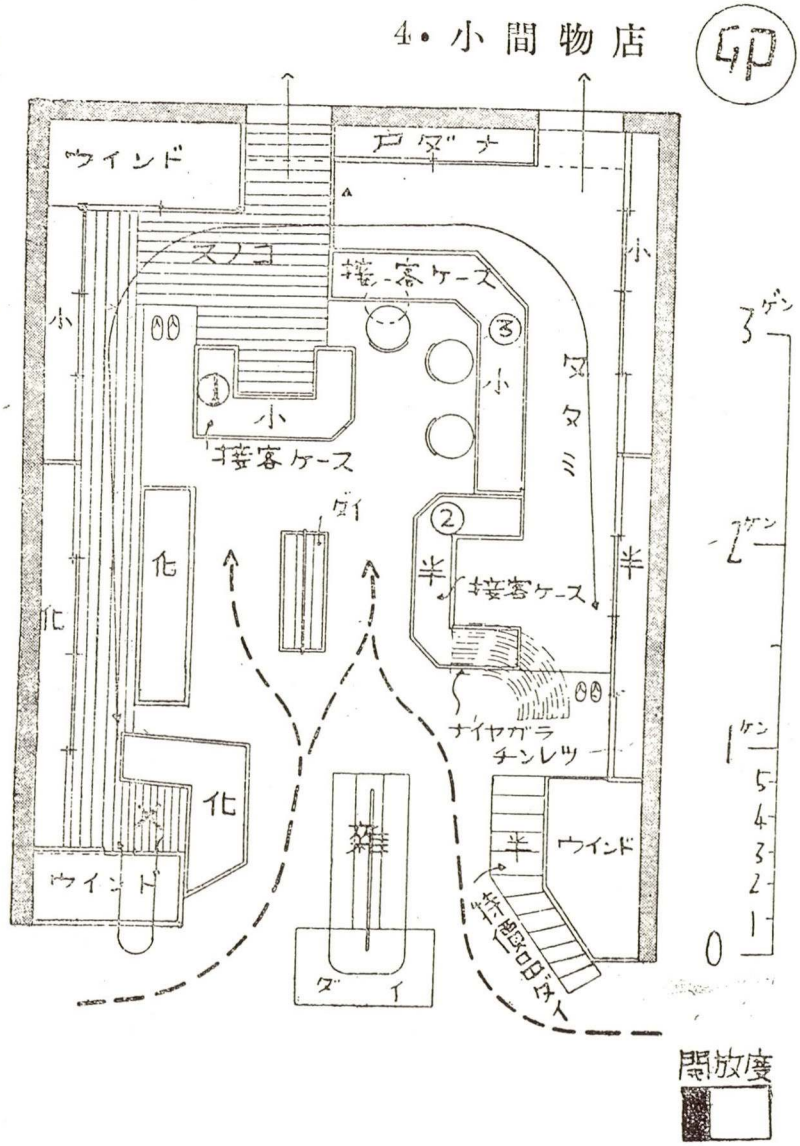


卯　型・小間物店

寅型で説明したことがもつとはげしく店頭から店内へ繰返えされる。商品ももつと手軽なものになるウインドもこの活動のほんの一部となり、間口三間位だとむしろ縦型にして店の口を大きくあけ、この気分を店内まで圓滑につゞける様に努力する。

圖は小間物、半えり、化粧品店。圖の「小」が小間物、「半」が半えり、「化」が化粧品その組合せと位置に注意されたい。店頭は右に縦型ウインドその前が半えりの特價品臺。

左に化粧品の店頭賣場があり、中央に雜貨のナゲ出し陳列。店内のグルリがタヽミとスノコでつながりゲタをはかずにどこえもまわれてサービスできる。この他ガラス器具店、セトモノ店、金物店などにこの型があてはまる。開放度は⅘以上（ものによつては1に近い）



辰　型・呉　服　店

間口がよほど廣ければ、ウインドで充分商品を見せる事も必要だが、3間か4間の店では丑型の様に大きくウインドをとるべきではない。店内が暗くイタツテ客のつきにくい店に必ずなる。新興商品がさかんに出るようになつた今日尚そうである。開放度は必ず⅔以上（ことに中央のウインドはよくない）

商品は できるだけイチイチひろげて見る様な手間をはぶいてできるだけ數多くできるだけ短時間で見せるようにする。

それには陳列臺の陳列とその上の豊富なカケ陳列を一緒にして縦に縦にと客を店内にいれるようにするとよい。従つて圖の様な設計が出きあがる

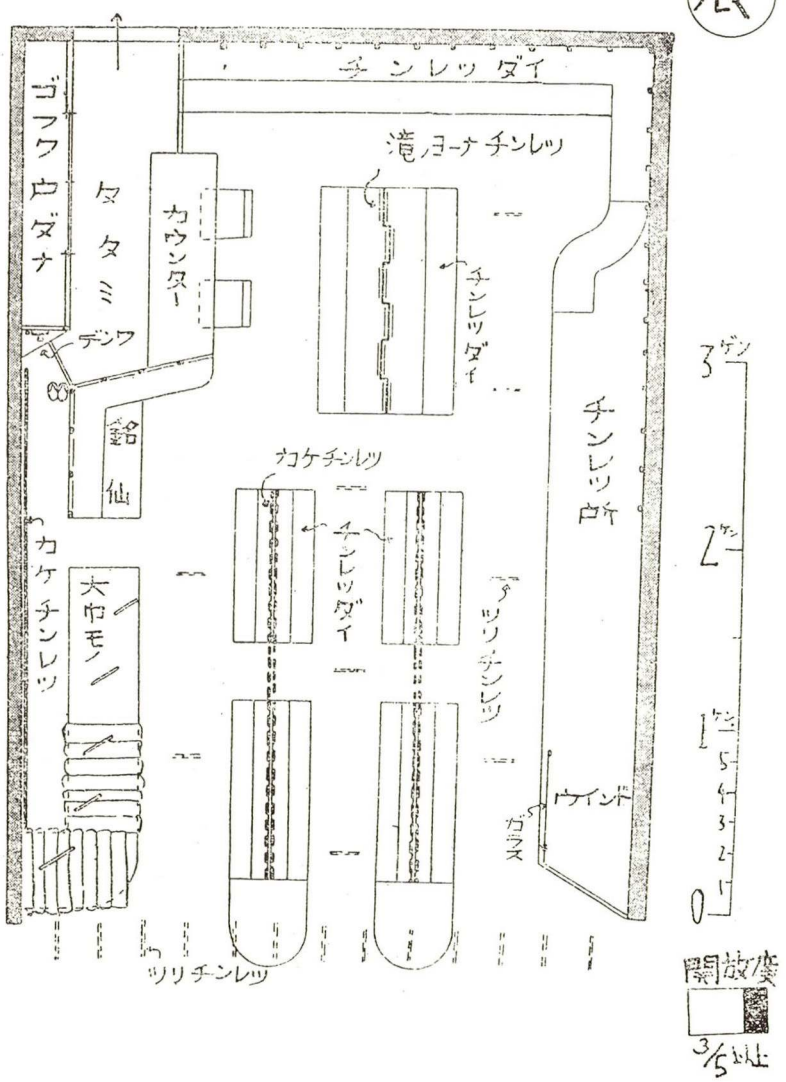
☆

☆

☆

5・呉　服　店

辰

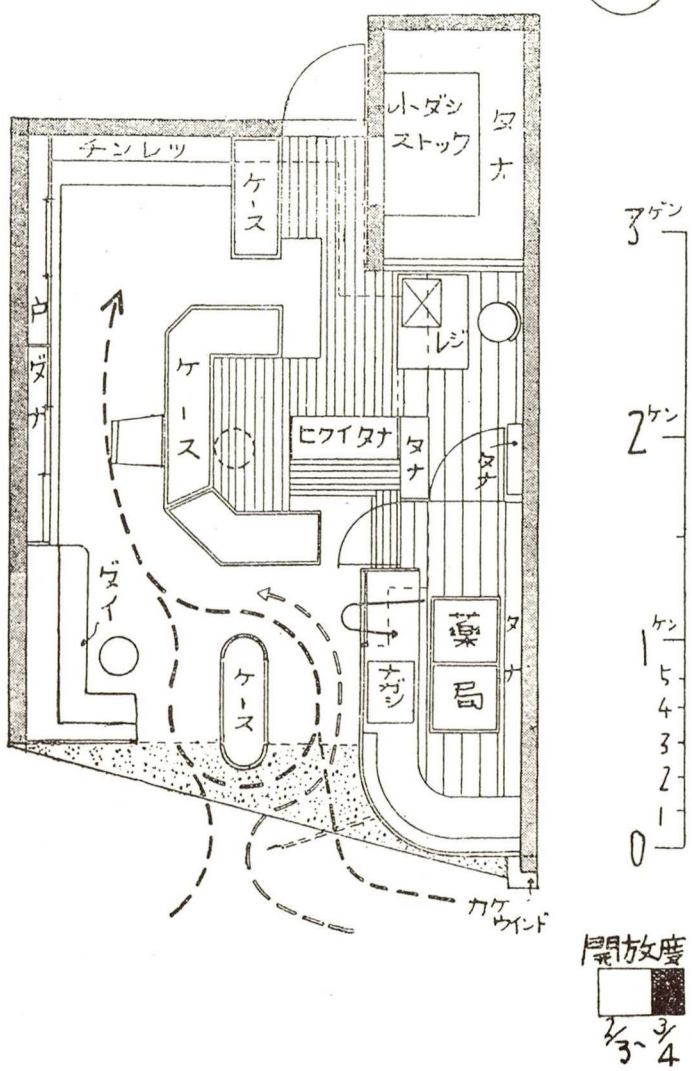


巳　型・クスク店

クスリの特殊な性質が店内にはいつてから午型のやり方をチヨツト歪めた形。即ち、店頭はシゴク氣輕るにはいれて、安い商品がすぐ手にふれることが必要だが、商品を買うのにたとえ安いものでも店員の特別なサービスが必要である。丑型の時計店あたりと似ているがまた非なるところもある。手輕な商品が積んである店頭の一文字カウンターで、客と店員が應答するとゆうのがクスリ店の古い型だが、この氣分は仲々ぬけないようだ。

こんな店ではカウンターの内側の抜張りに商品が山と積んであり、殆んど整理もゆきとゞいていない。この頃の傾向として圖の様に接客線（客のつく線）をできるだけ長くし、接客線に沿うて商品を分離してならべ……陳列臺もその一部と考える……コノやり方がとりあげられてる。中には薬局までその一部と見なし薬局を店の先きにもつてくるところもある。……薬店にはウインドは原則としていり用でない。

6・クスリ店



☆　☆

☆　☆

午型・婦人子供服店

この型は婦人子供服店、既製洋服店、雑貨店、オモチヤ店、家具店なぞに向く。

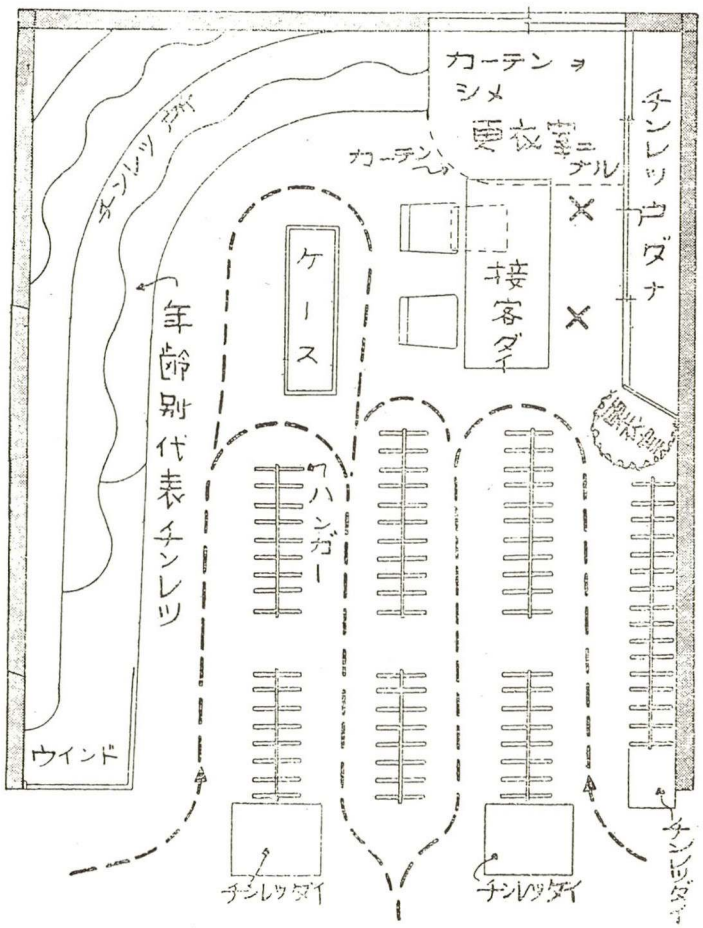
要は一層開放的になつた店頭をできるだけにぎやかに、益々誘導的にする一方、その代表的な商品を一方の壁に店の奥までかざつて、選擇の効果をあげるやり方で、その陳列の店頭の部分がウインドの様になつている（オモチヤなぞは兩側の壁面をこうつかつた方がよい。

卯型のセトモノ、金物なぞも物によつてはこの形式をとることもあるし、辰型の呉服店にも利用されることあり。

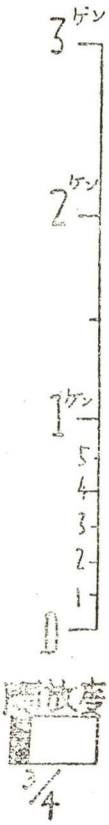
下の家具店の設計圖では、左のウインドがモデルルームの様につかわれている。店頭をあけはなつてムキダシた商品に客を引きつけることも上の婦人子供服店と同様である。只中央の店頭に季節向の小物陳列臺があり、そのうしろに帳場があつて高い商品の陳列を造つて全店を見はつてるところがチヨツト違つている。

午

7・婦人子供服店



婦人子供服店では左の陳列が年齢別のモデル陳列になつている。こうした店で臺の上やハンガーにたゞ漫然と商品をおく原始的な方法をやつてることが相當あるが、この手輕るな陳列と對照してモデル陳列や客が安心してよつてこられるケース（カウンター）の部分がやはりいるようである。開放度は¾位。¼のところが例のモデル陳列だと思へばよい。



未　型・本　　店

本屋になると、店内の通路は全く道路の延長と見なせる。本屋街でとなりからとなりへ本をあさつて歩くと曲つた道をグルグルと通つてゆく氣持がする。

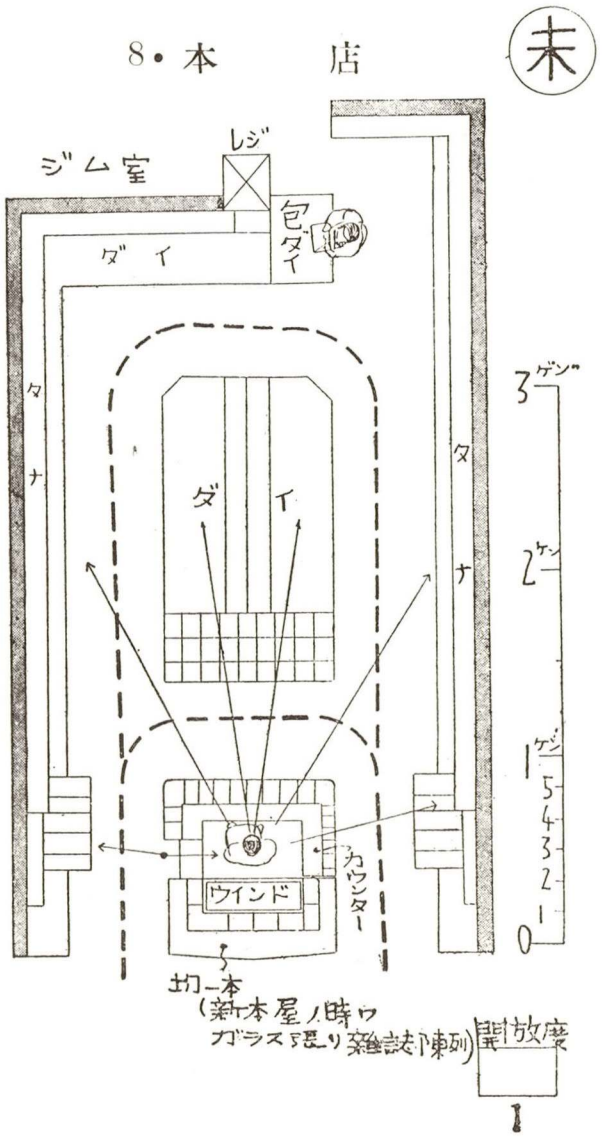
圖の店では店員をわざとうしろむきにして店頭のカウンターにおいている。店員は店内にはいつてはグルグルとでてゆく客をこゝで見張つている。店員の後(つまり店頭の中央)には置きウインドと均一本をおき、表から店員の姿をアラワに見せず、店内にはいる客は店員の後から見られるから、しごくはいりよい。(表から店員が見えても後向だから氣輕なものだ)(店員のせなかの均一本は五錢、十錢の安ものだからとられてもいたくはない)

この型に文具店なぞはいらぬこともない。固定したウインドは殆んど不用。開放度1。

☆

☆

☆

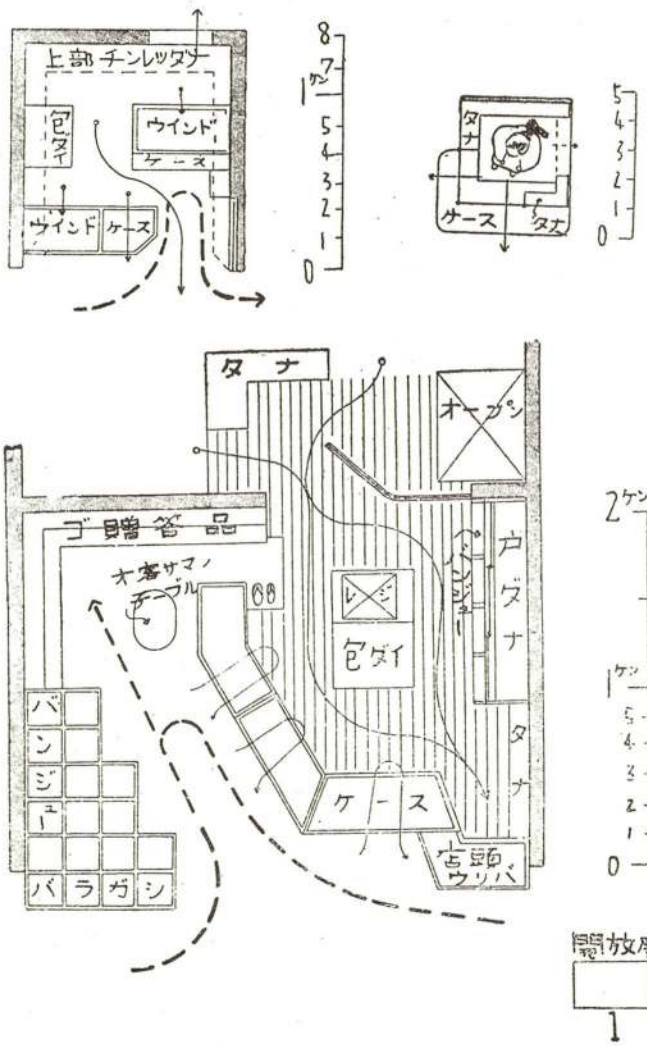


申型・パン菓子店

喰いものになると回轉は勿論早くなる。パンなぞ殊に洋品の様に陳列もむずかしくなく、手間もとらず、また呉服、雜貨、既製服なぞの様に手にとつて色々とひやかしてみたり、長いことアレコレとよつたりして買うことも少い。客は次次へきてチョツト見てすぐアレコレと指さして買つてはかえる。ボケツトもの（キヤラメルやチョコレートやグリコを菓子店ではこう呼ぶ）のように紙の箱や袋にいれてつんであれば尙便利である。ケースはカウンターをかねて店頭の近くにあり、菓子なぞも奥にビンにつんでおくより、店頭にバンジユーにいれてならべた方が、はるかに賣れる（圖の左）

間口がごく小さなパン店なら下圖の様にするとよい。ケースをウインドの様に高くして左右にならべ、横と前に低いところをつくつてカウンターの役をさせ後から出してあげる。せまいところに商品が澤山はいつて豊富に見え割合にとり出しやすく効果的である。

9・パン菓子店



これは開放度が少くなつたと見なされぬ。せが高くなつてもケースはどこ迄もケースだ。その下の圖はこれがてつていしたタバコ店である。道路に沿うて人々の流れに沿うて上までガラス張りのカウンターがあり客は立つたまゝチョツト買つて歩き出す。

8錢ときまつたバツトを負けろとゆう人もあるまい（タバコ店を酉型の茶店、酒店のグループにいれることもできるが、タバコはお茶お酒のように「奥から一々とり出す」のよりも「ガラスのケースにはいつてひやかす必要もなく店頭で買える」パンに近いと思う）

酉　型・茶　　店

茶店・酒店なぞは……原則として客はもう商品をえらぶ必要なく、只名前、品質、形、量などをいへば用が足りる……のである。

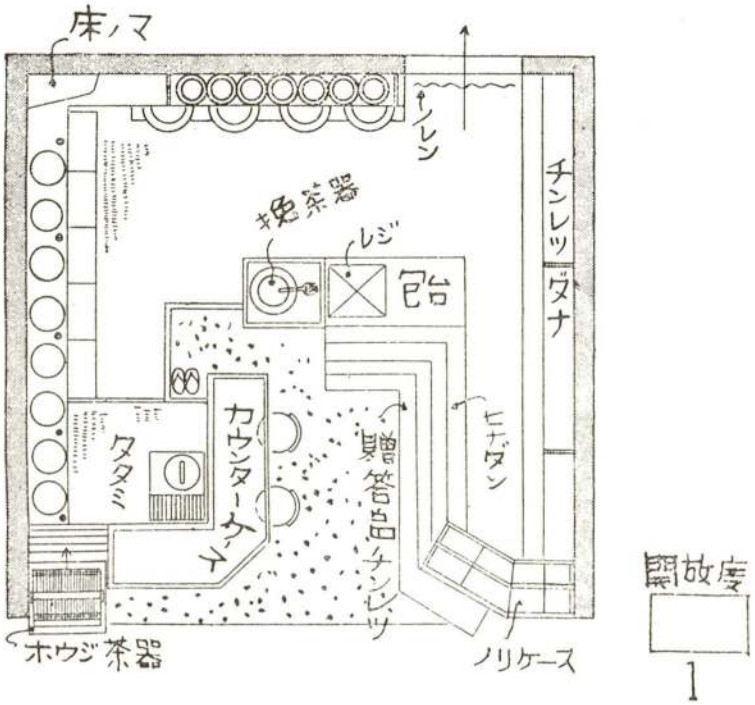
この點パン、魚なぞとまたチヨツト變つている。で陳列も……原則として商品を奥に、棚や器物やあるいは倉の中なぞにおいて、それをよそつたり、出したりしてくる……ことになる。……少くも古い店は皆こうであつた。しかし、接客線は「店頭に一文字」とは限らぬし、商品によつては客の眼の前に出して選擇させた方が賣れるものもないではない。

茶店につきもののノリは勿論だが、お茶にしても、贈答品として包装するか、カン入りとすれば當然パンや食料品の様にとりあつかえる。

また商品のストツクと接客臺（カウンター、又はケース）とは必要に應じてもつと接近してもよい場合があるし、左右の壁を合理的に利用する事も考えられる。……要は在來の購買の習性を急にこわすことなしにかゝる店舗を上手に能率化してゆくことは不可能ではない。……とゆうのである。圖はやゝ新味を加えた茶店の設計。



10・茶　　店

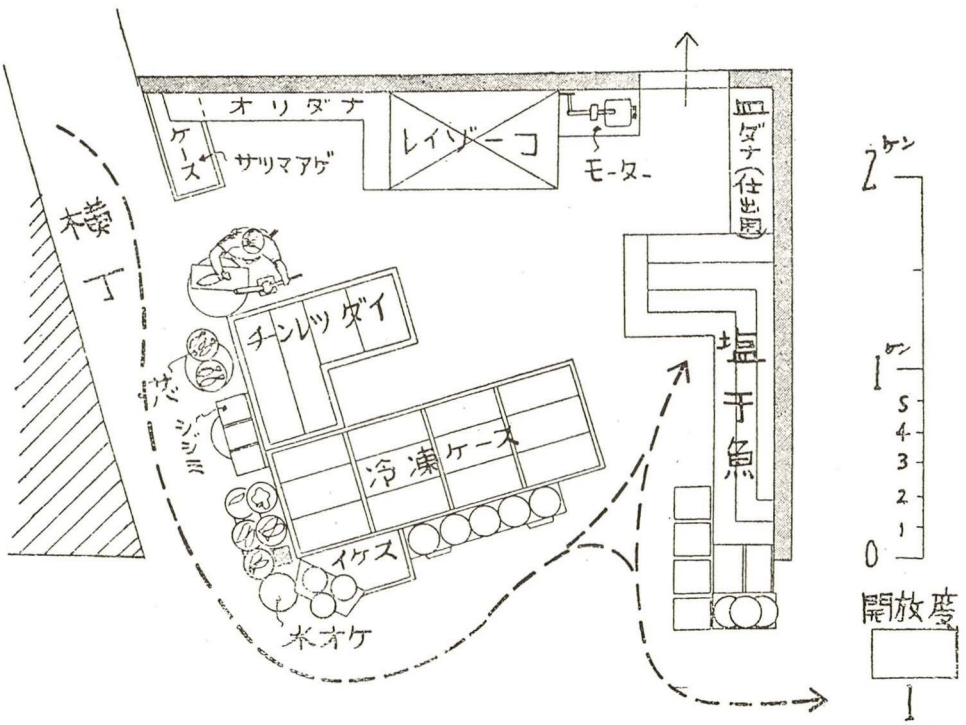


成　型・サカナヤ

魚、果物、八百屋物、鹽干類、カンヅメなぞはパンや生がしや肉と違つてハダカでおける。もつともこの頃魚なぞガラスの中におく様に命ぜられたが、それでも山とつんで華やかでイセイがよいことにかわりなし。……果物もカンヅメも同じこと。だから店の設計もパン店とは又違つて來る。前から見ると店の兩端、ことに奥の兩端にゆく程高く盛りあがる様に陳列するとヒキタツ。あるいは一歩店内にはいつた客の顔を左右に向かせ、だんだんと客を奥にやるやり方なぞ工夫できるのである。……圖を參照。

11・サカナヤ

成



亥型●ステーションの賣店

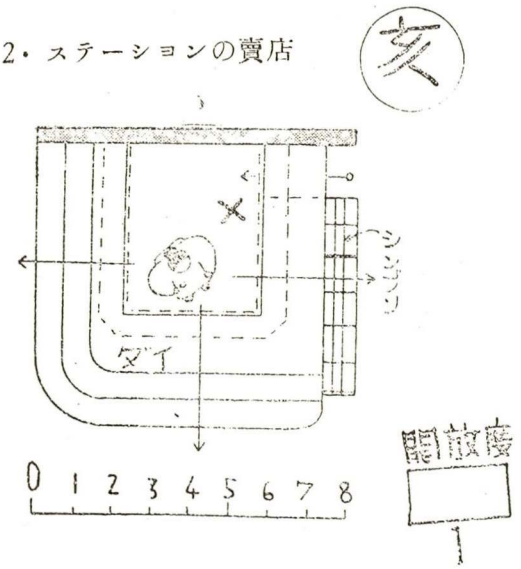
的なものが工夫でき、これだけで一つの專門となる程である。

ここでは單に、開放度の順序をきめる上で顏を見せるにとゞめよう。

又移動する店舖――（もの賣り、よび賣り）――についても同樣なことがいえるであらう。

全く解放された露店、ステーションの賣店等に對してはその全體の構造、形式においてすこぶる飛躍

12・ステーションの賣店



街頭雜話

中尾保

美觀審査委員會――今度大阪に美觀審査委員會なるものが誕生することゝなつた。都市の美觀地區內における建築物や廣告物その他のものの美的價値を審査する機關である。委員長には知事、委員には府の警察總務、土木の各部長始めエキスパートとして建築家、美術家などを以つて組織するといふ。これは誠に結構なことゝいふよりは寧ろ當然のことでもつと前から存置されるべきものであつた。しかしおそがけながらもこの種のものゝ出來ることは良いことだたゞこゝに一言しておき度いのはエキスパートの中の建築家の數を多くすることである。即ち委員の大多數は建築家であつてほしい。而も知事や部長に頭のあがらぬ建築家やアナクロニズムの建築家ではいくら數を增しても意義をなさぬ。日本精神を履きちがへてゐるこれまでの懸賞募集の審査員では駄目だといふのである。思ふことを遠慮なく正直に云へる若き建築家を選んでもらひ度い。政策的でなく實質的な入選こそ望ましい。

何にしても建築家がものゝ樞機に參與出來る第一步を占めた意味に於て大いに祝福してよからう。外國（歐米）の建築家は都市計畫を始め種々なものゝ計畫に當つて最

初から相談に預つてゐる。「先づ建築家の意見を聞かねばならぬ」といふことが社會一般の通性ではあるが日本では建築家の存在すら認められてゐなかつた。日本の建築家は單なるドラフトマンに過ぎなかつたのである。これは社會の罪か建築家の無自覺か——それは今問ふところではない——この際建築家の自重と努力とその上「勉強すること」を切望してやまぬ。その中には外國に劣らぬ立派なアーキテクトがドシドシ現れてくるであらう。

文字の横書右左——看板や廣告、ビルの名稱その他いろいろの場合に於ける横書の文字を右から左へ書くことに統一せよといふ論者がちよいちよい現れる。某新聞の投書欄にも之れが出た。それに對して贊成二通、反對十九通あつた。右から書くことに統一せよといふ論の多くは漢字の性質に立脚してゐる。左横書論は「實用上便宜」「自然の法則」「歐文混用の關係」等によるものですべては革新的論據である。今こゝに愚見を述べて識者の參考に供したい。

一體漢字は縦にのみ「行」を持つもので横の「行」といふものはない。横に右か左へ五字書けばそれは横の一行ではなく五行である。即ち各行の字數は一字宛の場合である。横行と認めて二行、三行と書いて行くことは既に漢文の性質を脫してゐることに先づ氣づくべきである。即ち漢文には右からも左からも横に書いて行く法がないのである。横書をすることは始めから漢文の法則を破つた便宜上からの問題である。日本人は文字を右からでも左からでも上からでもまた漢文を下から上に讀み上げたりする器用な國民である。むづかしい漢字から發音を現はす假名文字を案出したのも日本人である。今日電報を打つのに何れ程便利か知れない。漢文の法則は何うあらうと一國の文化を向上せしめるには古い法則を固守する必要はない。便利で自然であれば大に改良して行くべきである。そこで横書にするなら左から書く方が自然でありまた便利である。第一文字の一字一字は左か右に書くではないか、一といふ字を右から左へ引つ張る人はない。これは右手で書くからである。アラビヤ語やトルコ語は右から左へ引張り行數はこれこそ本當の右書横行である。それがため何れ程不便で不自然か知れない。近代文化に遲れたのもそのためだといふ。

第二、醫學的見地から人間の眼が左から右に動く方が疲勞が少いといふ。その理由は良く知らぬが、左光線がよいとされてゐる。學校の教室等も左光線を理想としてゐる。これは右手で字を書く關係も確かにその理由の一であらう。第三、速く字を書いて行く場合に左から書くと手が觸らないから汚れる心配はないが右からだと汚れる可能性が多い。第四、銀行簿記を始め簿記、その他金錢を數字で現す際或は電話帖や表（Table）の數字は1. 2. 3. 4. 5 ……等の横文字を用ふることの便利さはいふまでもない百八拾六圓三拾八錢は￥186. 38、本局の八千五百二十九番は、本局8529だ。これを右から書けばえらいことになる。

錢83圓681　番9258局本

第五、a. b. c. ……（A.B.C. ……）等の横文字を混用することが多い。數學、物理、化

學、博物等の教科は左横書であるがために成り立つ。

※△ＡＢＣニ於テＬＢハ直角ナル時ハ$b^2=a^2+c^2$

※$\tan^2A-\sin^2A=\tan^2A\ \sin^2A$ ナルコトヲ證明セヨ。

※$a^2-b^2=(a+b)\cdot(a-b)$

これをまさか右横書に統一せよといふ勇氣は恐らく何人にもなからう。

第六、理屈は抜きにしても右横書は何れ程讀み憎いかお目にかけてみやう。次の文を讀めば解る。

> と利勝の大早で４對Ａ５は戰回一第慶早慶で戰接大の３對Ａ４はで戰回二第りな勝決りよに定規グーリがたつ成辱雪の應。たつなゝとこぬは行は戰
>
> 早慶第一回戰は５Ａ對４で早大の勝利となり第二回戰では４Ａ對３の大接戰で慶應の雪辱成つたがリーグ規定により決勝戰は行はぬことゝなつた。

廣告物の大さ——宣傳の世の中とは云ひながら近時廣告物が急激に增加して都市の美觀を少なからず傷つけてゐる。少さいと利き目が薄いとあつてか矢たらに大きさを爭つてゐるが、何と馬鹿げたことではないか。小さくても人目を惹き易くすれば効果があり、それが却つて美しく見える場合が多い。理髪店や煙草屋が何んなに小さい看板でも遠くからよくわかることに一般が氣づくべきである。廣告があまりに過ぎると支那町のやうになつてしまふ。

國防色とは何か——近頃「國防色」といふ言葉をよく聞くがまさか色で國防を計るといふ意味でないことだけは確かである。想像するにこれは陸軍が日露戰爭末期から支那の土色を採つて軍服を保護色化せしめたカーキー色を意味するのであらう。しからば國防色はカーキー色でなければならぬしかるに近頃國防色と稱するものに一つとして一定の色なく、綠色に近いのもあればコゲ茶色もある。一體何んな色を指して國防色と名づけるのかといひたくなる。國防色といふ言葉を生かすなら軍服の色全部を示すべきである。さうなると海軍の紺、白も國防色だとせねばならぬ。軍艦の色も正に國防色である。何となれば陸戰ばかりが國防に限つたわけではないからである。

パーマネントウエイブ——日本人は髪の毛にコテかけて「パーマネント」とは何事か二週間か三週間をパーマネントと唱へるなら世の中の大ていなことはパーマネントと云へる。第一名稱から既にギマンである。西洋人の毛の斷面は楕圓形で而も細いが、日本人の毛の斷面は圓形にちかくて太い。人種的根本からちがつてゐるのも知らず、フサフサとした髪の毛に電熱をかけてチヂラして西洋人の眞似をしてよろこんでゐるのが現代非常時局下の日本婦人の姿とは情けない。日本はこれ程まで躍進してゐるのも知らず未だに外國依存の思想は除れないのだから困る。婦人の時局に對する認識不足も甚だしい。ウソだと思へば女學校で常識試驗をして見ればよくわかる。爲政者や教育者の一考を煩はしたい。

日本の夏服——婦人はアツパツパにバンドをしめて靴を履けば洋裝だとされるが、下駄を履くとアツパツパになる。アツパツパが國策だと云つて奬勵される時代が來た物資節約からの問題だとすれば裸になれば

一層徹底する。こゝが考へものだ。下駄を奨勵する前に靴と靴下とバンドについて考へる必要がある。一方婦人の服裝といふのは着物の數があまりにも多過ぎはしないか今あるものを着つくすまで新調を止めたら何うか。婚禮の振袖を何うして止められぬか。こんなところで何億圓といふ金と物資が節約出來るのを忘れてアツパツパの問題でもあるまい。われわれがアツパツパの改良を呼ぶのは日本の夏をしのぐに適してゐるからであり、如何にすれば無作法でなくなるかといふ問題に在る。男子の服裝でも同樣である「ノータイ」は近年流行し出して來たが何うも無作法に見える。日本の特異な夏はネクタイを外した位で涼くならない、それよりネクタイはつけても上着を脫いだ方が涼しくて體裁がよい。「ノータイ」よりも「ノーコート」の方が增した。一體西洋諸國と全然氣候の趣が異つてゐる日本で西洋と全く同一の服裝をするのがそもそもの間違ひで、日本の夏服として便利な輕快なものゝ案出が肝要である。

（つまらぬことどもを書き並べたがこの種のことを數へ上げるときりがないが紙數に限りがあるのでこれで筆を止める）

御堂筋を語る

龜井幸次郎

まへおき

或る有名な人の隨筆に「舖道を往く」と云ふテーマで、著者があてどもなく一人歩道を漫歩して居る內に、往來する人々、目に觸れる樣々な事物等をとらへて巧なる筆致で、獨特の人生觀をものされたものを嘗て讀んだことがあるが今此處で所謂「御堂筋を語る」と云ふ題目で街頭を語らんとするのは、前者とは凡そ緣の遠いもので、結局建築家の見た「街頭の感」といつた一つの樂屋落でしかないのである。

◇

都市の美を構成する要素を極く簡單に分類してみますと（1）道路（2）兩側に立ち並ぶ建築物（3）及その間に適當に配置されてる空地と云ふことになるが、之れを更に細分してみるといくらでも細く詮索することが出來る。が然し此處ではそんな事の必要は毛頭もない樣な氣がする。只筆の赴くまゝに御堂筋を北から南へ下つて行けばそれでよいのである。そこで、さてと居直つて御堂筋なんであるが、大阪市道路課に照會の結果延長約四粁半（2、462間）、幅員四十四米の大動脈的幹線道を總工費三千三百萬圓を以つて完成したと云ふのであるから米當約 7,000圓の經費がかゝつて居る譯で（但し此のなかに土地買收費が含まれるものや否や？）地下には、日本一を誇る地下鐵が此の間を八分で突走つて居り、而も米當りの經費は彼の丹那隧道より多くの費用を要して居ると聞くから驚かざるを得ない。斯くの如く莫大な經費を要して完成せしめた大阪市の實力と云ふものに頭が下

るのであるが。一方飜つて、算盤にかけては東洋一の稱ある大阪市が何故に此の道路の價値を全般的働かせないのか、それを一種の不思議とさへ思つて居る。土一升金一升の稱ある大阪中心部の土地をば、あらゆる無理と困難を克服して、遂に交通機關丈を通過せしめる大道路を完成したと云ふ譯であるが、さてそれだけあのグランブールバーの機能は滿されたと云へるであらうか此處らに御堂筋將來への企劃に關する問題が存するのであらう。

此の大道路を實現せしめた經費の一部としてあの大道路の兩側の地主に所謂受益者負擔稅と云ふものを賦課してし居るが、之は恐らくは道路の開設によつて相當の利益を之等の地主が受け得るであらうと云ふ見込から、徵收して居るに相違ない。然らば利益とは一體どんなものをさすかと云ふことが話題になるのであるが、今日迄で當路の責任者が口にして來たのは只單に交通の利便と「地價が騰る」と云ふことだけに制約されて居つたのは、爭はれない事實であつた。果して之れだけの利益の爲めに、長い年月と莫大な經費をかけて此の膨大な道路を開設したものであらうか。此の點頗る疑問とせざるを得ない。即ち都市全體からみて、土地の經濟的利用と云ふことは、都市を構成する建築敷地（所謂街區）の合理的分配と之等をつなぐ道路網の適切なる配合の上に懸つて居るのは言を俟つまでもない。にも拘らず御堂筋の場合は、都市道路開設に就て最も痛切なる要求である。土地の經濟的利用と云ふ重大な事柄が殆んど等閑に附せられて居るのではあるまいか。此の受益者負擔による課稅の具體的根據も、この道路に面する各土地の經濟的利用水準が高められてから始めて成立し得るもので此の問題を基礎にせざれば地價が揚ると云ふことは考へ得られないことなのである。（惡質な投機者の立値以外は）

◇

ところがです。御堂筋を北から南へ、又南から北へ歩いてごらんなさい。建物と云ふ建物は殆んど此の道路に接して正面に玄關を有して居らない。若しあつたとしても僅か十指を數へるに過ぎない。而もあらゆる工面をして此の道路に出入口を面せしめた大ビルは土地獲得の爲めに散々な目に遭はされて來たのである。そして之等はいづれも、法外な要求にも拘らず、ビル建築の必要から止むを得ず、その無理を押切つて高層ビルを建設し得る實力者のみであつたのである。その證據には、道路それ自體としては、大阪市が誇り得る大並木道が完成され、今頃（五月）は街路樹の若葉が繁り地下鐵の出入口の構成は近代的感覺を備へて居り、路上工作物から屑箱の配置に到るまで、どう見ても立派な現代文化の雰圍氣を醸し出して居るところの現代都市の大道路には相違ないのであるが、その兩側には建物がいづれもその側面をみせたり、或は此の道路に面して出入口を持つ、家屋と云つたら之又お話にならぬ程、時代離れのした所謂時代錯誤の陳列場みたいなものばかりである。即ち此の立派な大道路の兩側には、建物の代りに丈餘に及ぶ板塀が建ち並んで居るばかりでなく、その數三百以上に昇る廣告板が、樣々な表現と色彩を以つて

兩側に建設されてあるのである。なんのことはない、廣告展覽會の街頭進出といつたところである。かゝる珍現象を黙過して居る大阪市當局としては「大阪市民は仕事の關係から汽車に乘つて旅行する機會が尠ないから、せめて市民に居ながらにして旅行氣分を極く安直に味はせるべく、膨大な經費を以つて完成した、此の御堂筋の兩側に大きな廣告看板を陳列させて北の「阪急」から南の「灘波」まで市營バスに乘つて通過して行く內に、その氣分が滿喫出來ると云ふ趣向なのかも知れない。そして今、國家が盛んに提唱して居る厚生（リクリエーション）運動に貢獻せんとするのかも知れない」などと云つた皮肉な批評を呈されても仕方のない現狀なのである。

此處で、我々が一考を必要とするものがある。何故なれば御堂筋が斯る型體を以つて出現した原因を詮索するならば其處には市區改正と都市計畫が、必然的に變つて來なければならぬものがあることを窺知するからである。即ち市區改正と云ふものは我國の場合ではその昔より City improvement にあらずして只單なる道路開設計畫に過ぎなかつたので、それは都市の街廓整形化であるとか、或は建築敷地の造成と云つた、都市全體の構成計畫とは全然無關係に土地の私有權をば必要以上に認め過ぎた、所謂自由民權思想に災ひされた、買收による道路敷獲得による道路開設事業に外ならなかつたのである。で、現代の我國の都市計畫と云ふものがその埒外に出て居らない樣な氣がする。此の所謂市區改正事業として開設された御堂筋は、以上の缺陷を如實に暴露して居る見本の樣なものであると私は思つて居る。と云ふのは、御堂筋の開設に當つて、都市計畫上最も必要を痛感されて居る、超過收用による都市の再設計畫—都市計畫—を行ふことなしに、唯單に道路敷の買收のみで用地を獲得し、之れに道路としての工事が施されたのであるから、此の道路の兩側には、建築用地とならざる過小の土地や、極端に不整形な殘地となつて切り取られた土地が到る所に散在して居ると云つた譯なので、此の爲大阪は日々何千萬圓の損失を敢へて續けて居ると云つた始末なのである。而も此の惡狀態に拍車をかけて居るのは、土地仲買人に此の奥行一間前後間口十間內外と云つた、謂はゞ猫額大の敷地をば、市が拂ひ下げて居ると云ふ實狀である。然らば之等の土地を拂ひ下げを受けた仲買人は之等の土地を如何に利用して居るかと云へば、それは此の幹線道路に直接したくもかゝる殘地の爲めに直接し得ざる後背地の地主の足もとを見透かして、需要供給の關係からそれらを法外な單價を以つて賣り渡さんとするか或は又此の過小面積の上にアドビルの變化した、大廣告板建用地として各所から大廣告を取つて來て、御覽の通りの大廣告板通を出現せしめ、そこから我々の想像以上の收益をあげて居ると云ふ實情なのである。であるから、御堂筋をしてその本來の使命を實現せしめんとする爲には、先づ此の難關を突破することの必要が第一要件となる譯である。

即ち此の問題の根本的解決に市當局が乘り出すにあらずんば、市の中樞地區として「大阪の將來の發展の必要からとかなんと

か云つて」其處に美觀地區を指定したり、建築物の最低限度の制限を設けたりして土地の經濟的利用を助成せんとしても、或は防火地區にして火災による都市災害の輕減に助力せんとしても、それは一種の地圖上の空想でしかない事になる恐れが多分に藏されて居るのである。故に此の問題の圓滿なる解決と、大阪市將來への經濟的發展性に備へて、都市計畫事業による宅地造成設計の必要から、超過收用又は地帶收用による此の道路に沿ふ背後地の收用をもなして建築敷地の再設計畫をなして、敷地の再分割をなし前の敷地所有者に優先的に之を拂下げるの方法を採用することが專ら急務である樣に思へる。幸ひに市は此の問題に就ては、大阪驛前の區劃整理に於て實驗濟みなのであつて、市當事者のなかに、大阪市を挺身愛するの愛都心への心構さへ出來て居るならば、必ずしも不可能ではないと思ふのである。

◇

然らば、此の御堂筋を中心として、地帶收用が行はれるものと云ふことを前提として、先づ第一に如何なる問題が考慮さるべきものであるか。と云へば、此の大道路に面接して建ち並ぶ建築物の形態の問題であると思ふ。即ち如斯路幅を有す御堂筋の兩側に建ち並ぶに相應しい建築物は如何なる容相を必要とするかの問題である。然るに此の問題は、此の路線に直接して建物を建築する建築主個々の考へ方に任しておくことは到底出來ないのであつて、畢竟するに之等個々の要求をば統合指導し得る强力なる組織が必要となつて來るのは當然なのである。而して此の强力なる機關の監督下で綜合的御堂筋の全體計畫或は設計案なりが作成され、一般市民の理解と援助に資すべきであると思ふ。此の意味に於いて昭和十四年一月九日、內務省令第一號を以つて發布になつた「市街地建築物法施行規則」の改正中、第百三十九條中「主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ」を「美觀審査會ノ意見ヲ徵スベシ」に改め同條に「美觀審査會ニ關スル規程ハ地方長官之ヲ定ム」と改められた、當局の意圖のなかには、相當味ひ得る內容のあるのを窺知するが故に、此の美觀審査委員會の運營こそは將來の御堂筋の建設的動向に有力なる役割を演ずるであらうことが想像され、同時に地方長官の權限に委ねられて居る此の組織に建築家は重大な關心を持たねばならないばかりでなく、我が建築協會が都市創作へ乘り出すべき絕好の機會であると信ずる。

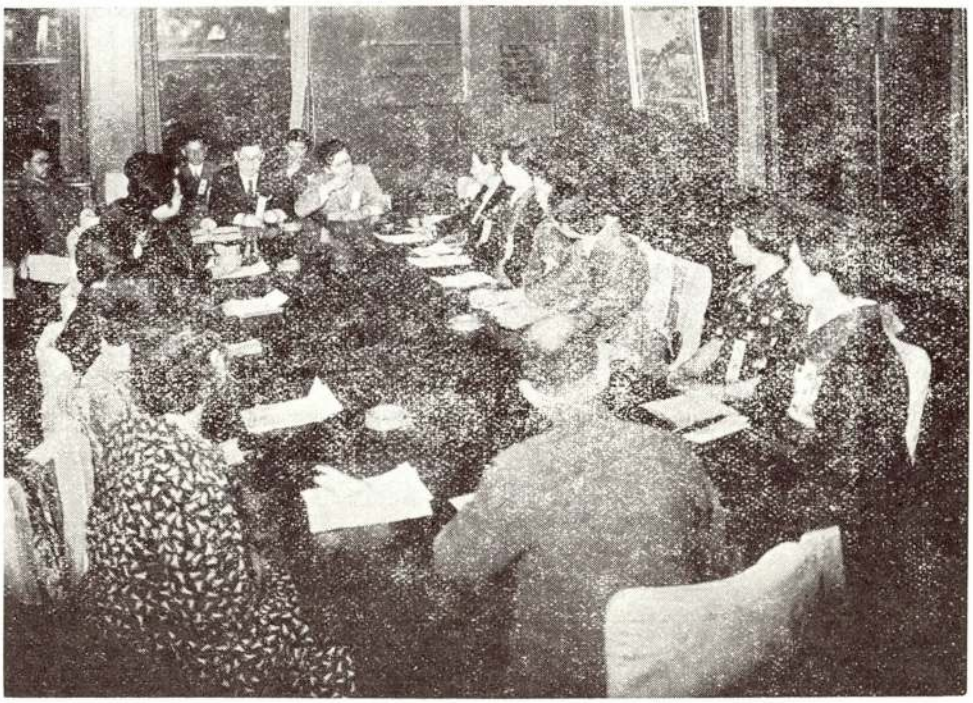
今日まで、大阪驛前の整理にその改造案を得るべくジウツクセンターの懸賞募集を行つたりなどして、此の問題に關する社會的啓蒙運動に盡力して來ました本協會としては、今こそより積極的に所謂「建築と社會」の名に相應く社會的に働きかけ得る好機會が到來したのであると思ふ。私は此の意味で、本協會の理事級が、本協本來の使命に立ち戻つて眞の活躍を開始するであることを刮目して居る次第である。で私は此の意味で今日の建築協會に期待もし且希望するところ甚大なものがあるのである。

(14.5.7)

備　考

（舊）百三十九條　地方長官前三條ノ措置又ハ指定ニシテ重要ナリト認ムル事項ニ關シテハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

（新）百三十九條　地方長官前三條ノ措置又ハ指定ニシテ重要ナリト認ムル事項ニ關シテハ美觀審査委員會ノ意見ヲ徵スベシ美觀審査會ニ關スル規定ハ地方長官之ヲ定ム



婦人より見た建築に對する座談會

石原初子氏	（俳　　人）	西脇リカ氏	（教　育　家）
岡田指月氏	（俳　　人）	橋本ヨシ子氏	（大阪職業紹介所婦人部長）
岡田榮子氏	（去風洞講師）	廣瀬勝代氏	（廣瀬博士夫人）
越智キヨ氏	（奈良女高師教授）	古澤クラ氏	（樟蔭女子專門學校教授）
川島貞子氏	（實業家川島夫人）	祐源トキ氏	（樟蔭女子專門學校教授）
竹内さく氏	（神戸女學院專門學校講師）	鷲井清子氏	（大阪府立女子專門學校助教授）
谷口種子氏	（兼松商會谷口支配人夫人）		（五十音順）

岡田孝男	（本會編輯幹事）	龜井孝次郎	（本會編輯常務）
小林清	（本會編輯幹事）	棚橋諒	（本會編輯常務）

昭和14年5月11日
於・ＡＢＣ倶樂部

亀井——長らくお待たせ致しました、私から一寸御挨拶申上ます今夕は常務の新名君が出る筈でありましたが差支へがありますので私が變つて、代用品ばやりの昨今でありますから謂はゞ新名君の代用品として開會の挨拶を申上げます。協會は「建築と社會」の原稿の爲めに今日迄色々の催し物を行つて來ましたけれど、今月は特に毛色の變つた催と致しまして別の方面から建築を見て頂かうといふ考で「婦人より見たる建築に就て」といふ主題目を選びまして、皆樣の建築殊に住宅への御要求なり、御注文なりを色々御願ひした樣な譯なので御座いますが、その前に大體建築協會と云ふものがどういふ事をやつてゐるかどうかといふ事を概略申上げて私の開會の辭と致したいと思ひます。そして今夕の座談の司會は棚橋工學博士に司會を御願ひするといふ、斯ういふ順序に致したいと思ひます。

建築協會と申しますのは大正八年に市街地建築物法、並に都市計劃法といふ二つの大きな法律が社會に出ますのに非常な努力をなしたのでありまして、殊に本協會の片岡會長は故後藤伯を動かして輿論の指導に獻身的に東奔西走しましたもので謂はゞ是等の法律の生の親と云つても過言ではないのであります。ところで、本協會は此の二大法律を議會を通過せしめる必要から創立された樣なものでありますから、創立當初から今日に到るまで都市全體の利益、都市全體の保健、保安上からの災害防止と云つた色々の都市及それに關連する建築物集團の改善に關し、建築協會は常に努力を傾注して來たのであります。即ち過去二十年間と云ふものはかゝる方面から機會ある毎に皆樣の關心を高めるべく呼びかけ、我々の都市人の生活とその環境改善への貢獻の爲樣々な工夫を續けて來たのでございます。處が我々建築家として自らを顧みますのに我々の學び取つた建築學の基礎の上に立つ今日までの建築技術の應用範圍は皆樣御承知の如く、都市全體からみれば極めて、少數でしかないところの、鐵とコンクリートで造りました大厦高樓、即ち今夕私達の居ります朝日ビルと云つた類ひから市廳舍或は公會堂とか云つた種類の營造物建築の場合のみに限定されて居つたと申上げても過言ではないのでありまして、我々人間生活とは絕對的に關係を持つ生活の容器、そして我々はそのなかで生れ育ちはぐくまれ、且つ我々の一生涯を左右すると云ふ我々の住宅には、今日の進歩した建築技術が容易にタツチ出來ない事情にあるのであります。ところが時代が進むと共に厚生の問題、或は色々の角度から此の住宅に關すること柄が問題視されまして今ではどんな人々でも住宅に關する問題は都市生活を營む人々の直接の問題であるといふ事を非常に認識されて來ましたのは、我々の特に欣快とするところでありますが殊に婦人に就て此の問題は痛切な問題でありまして、婦人と住宅は恐らく婦人と着物以上に不可分の關係にあるのではないかと思ふのであります。今日の進歩した知識階級の婦人達は御自身日常の經驗から今日非常に認識を深めて參つたのでございます。さういふ際に當りまして、今夕少なく共關西のさういふ方面の指導的位置を保たれてゐる人々に此處に御集まり願つて、建築協會の仕事の片棒を擔ひで貰ふといふ心組で今晩の座談會を催したのだと拜聞して居ります。何故なれば我々が如何程建物を技術的に、建築學的に建築致しましても、それをうまく利用し、且つそれを生かせて活用致しますのは、住宅の場合に於きましては、家の中で生活し、その中で色々社會生活を營む御婦人にその大部分がかゝつて居るからであります と申しますのは、男性は兎角家を他にして外部で活動し、彼等の社會生活は主として外にあり勝ちでありますから、實際問題としては住宅の持つ苦情といふものは、我々は實は知らないのであります。寧ろ婦人の間から出る要求に本當に痛切なものがあると思ふのであります。今晩の話題になつて居ります一住宅に就ての、臺所、子供婦人室、家庭防護室といふものにしましても、實は今後婦人が本當に眞劍に考へる可き問題なのでありまして、之を提へて皆樣の御意見を拜聽します事は、今後我々が住宅を設計し又は住宅强度計算します時に非常に有力な資料となるのでございます。さういふ譯でありますから今晩はどうぞ殘つた時間を適當な時間迄一人一人餘すことなく、各人の持時間を然るべくアジヤストして頂きまして御出席の皆樣一人殘さず御意見を聞かして頂きたいと思ひます。今夕は京都大學から遠路御出席を煩した棚橋工學博士に進行係、或は司會者を御願ひしまして此の座談會を進めたいと思ひます。以上開會の辭にかへて若干の感想を述べたのであります。

棚橋——指導といふ事も誠に不適任であります

し進行係も餘り上手でありませんけれど、役目を致しますから一つうまく進行さして頂きたいです御案内に書いて置きました様に編輯幹事の方でお決めになつたらしいですが、皆様に一寸主な事は住宅の事になりますので最近建築家に對する注文といふ様な事をして頂ければ幸ひ今夕住宅の方の專門をやつてゐらつしやる岡田君と小林君が居られますから恰度結構だと思ひます。それぢや初めて頂きたいと思ひます。

先づ住宅全體、生活全體といふものから越智さんお話願えませんか、住宅改善といひますか、さういふ事について

越智——さうですネ、まあお仕舞に廻して頂きましたら誠にありがたいですが

棚橋——又お仕舞にもやつて頂きます。

越智——實は私横着でしてネ、皆様の御意見を拜聽しようと思つて、實は出て參つたのであります。一向勉强致さないで出て參つた様な事で皮切りは誠に困りますのですが私は大それた考へかも知れませんが、日本人種と申しますか、日本人を世界一のものに造りたいといふ希望を十年も前から持ち出したので御座いまして、それは決して不可能な事ではない、必ず出來ると信じて居る譯なんでございます。衣食住その他育兒、いろいろの方面がございませうが、住居の方もさういふ意味に於て日本が世界一のものを造出して行く、而してそこから育ちました子供が亦世界一になる、これは決して日本も威張らうといふのではありませぬ、さういふものを造つて世界にお手本を示す。今までは外國からいろいろいゝことを頂きましたから、今度は御恩返しをしなければならぬ、貰つてばつかり、全く乞食のやうな調子ですから一つ御恩返しをするといふことで今こそその時期が到來してゐると思ふんです。これを私共生活する上の目標としてゐますので、その達せられる日の一日も早からんことを念願してゐる次第でございます。それで、何でも彼でも、世界一になるにはどうしたらいゝかと考へることが念頭から離れない譯なんです。さういふ譯で一體日本の住宅をどういふ様にしたらいゝかといふことから、すつと海外を見て廻りましたのでございます。私は、スイスの家が一番に日本に適當してゐると聞きましたので、何處が日本に可いのだらうかと思つて目を皿の様にして見て廻りましたのですが、どうも飽足らなかつたのであります。それから英國、佛蘭西、獨逸、伊太利、オーストリー、ベルジユームといふ風に歩いてアメリカを最後にして一年五ケ月も廻つて歸へつて來ましたが、結局アメリカでも英國でもさうでございますが、アメリカに行つて始めて思ひましたのは住宅の改良はどうしてもプライバシーを家庭に入れる事であると氣付きまして歸へつてからラヂオ等で放送致して居る様な譯なんです。私は世界一の人間になるといふ意味は二つあると思ひます。それは肉體的と精神的兩方あつて二つ乍ら立派な、云ひ替へれば神の御心にあつた子供を産むといふ事が理想的ですが、それには先づ胎教にあると思ふのでございます。胎教に住宅に關係してゐると、かう思ひました。それはどういふ事から分るかと申しますと、歐米の住宅は別室といひますかプライバシー即ち秘密性と申しませうか、そこではどんな事を致しましても我が天下である。そして誰からも覗かれないといふ部屋が出來て居ります。そういふ事から子供がお腹に居る時から物に屈托をしない、子供が腹に居る時に一番人間の基礎が出來るんぢやないでせうか。生れてからでなくしてこの時が一番母親の精神狀態を子供が受ける時ぢやないかと思ふのです。一生の基礎はこの時に築かれるのである。それから後は色々境遇によつて多少は變りませうけれ共、大方は胎教だと思ふのです。具體的に申せば心に屈托しない伸びやかで正しい、清らかな精神が子供の時に出來やしないか、それが住宅に關係を持つと思つたのであります。ロスアンゼルス、サンフランシスコ等で育ちました日本の第二世が、座敷をやめれば、即ち座る式をやめれば歐米人以上の體格になり得るといふ事を或る博士が研究發表なさつて居ります。私はそれは座敷だけぢやないと思ふ、體格はそうかも知れんけれ共精神方面については住宅のプライバシー精神が入つて居ると云ふ事が原因ぢやないか、外國の赤ちやんは誰かコトツと音をさせても安心して寢て居るけれ共、日本の赤ちやんは非常に神經質で一人で寢て居らぬ、それで日本の住宅は開放的で、それは風土の關係もありますけれ共どうしても住宅には、此のプライバシーの部屋を造らなければならぬ。そうして立派な子供を造らなければならぬといふ事を私はラヂオで放送しましたが、隨分誤解を受けて攻撃の手紙を頂いて私は喜んでゐるんで

ありますがかういふ風な事は言葉が少ないと非常に誤解を受けるのでございます。今日も貴重な時間で言葉が足りませんが必ずしも夫婦の爲めに或る部屋を新築するといふものではなく、在來のものを用ゆるならば、或る設備を致しまして容易にそういふ部屋が出來はせぬかと思ふのでございます。私は離れを一つ造らへて或る嬢さんを結婚させた事もあるのであります。私は日本の男子の方が結婚する前に幾分かの貯蓄をして結婚する時に一部屋でもお嫁さんの自由の部屋を造る、そうして茲では足を伸して一日働らいた勞れを休める樣にするか、或は又安心して寢られる、といふ事にしたならば仕事の能率も上り子供も伸々した正しい明るい子供が出來るんぢやないかと考へます。子供部屋を造るとかいふ樣な事も無論結構でありますが、私は外國から歸へりましてその說を主張致して居りますが、どんなものでせう、此の點に付てお敎へを願ひたいと思ひます。

棚橋——つまり家族夫婦と年寄つた夫婦を別々に入れ樣といふ譯ですネ。

越智——つまりお嫁さんが一緒に働らいて居りますと勞れますから自分の部屋に入つて休む樣にして舅、姑に心配することなく其處で安心して寢る、之れがどんなに有效であるか知れないと思ふのであります。

棚橋——外國の樣にノツクするといふ部屋を造るといふ事になりますか。

越智——つまりこちらから一寸開かない樣にすればいゝ譯です、まあお隣りに行く場合にノツクして入るといふ式で、

棚橋——家族制度のいゝ處でもあり悪い處でもありますネ、ノツクしたら何か水臭い事になりませう。

越智——他人が入りますからネ。お嫁さんといふものはさういふ處に非常に神經を使ひますから

棚橋——風通しがいかん樣に思ひますネ、部屋の中に又家が出來る、お互にプライバシーを尊敬しやうといふのは必要なんでせうネ。

越智——それです、勝手にしないでその精神を入れゝば。

棚橋——そう思ひますネ、西洋の樣な部屋を造らねばいかんといふ意味ぢやないですネ、そうなると又問題になりませうけれ共ネ。

越智——田舍では主家に夫婦が居つて、離を長男が造らへる、二男三男が造らへる、といふ風にして生活は一緒に主家でして寢る時は別々に寢るといふ風に結婚迄は男も女も辛棒して一部屋出來るだけの金を貯めるといふ事にしたら私はそれは難かしい事ぢやないと思ひます。立派なものを造ると難かしいですが。

棚橋——音さへ段々結婚年齡が遲れてゐるのに又結婚する者が少なくなつて今度は人間の數が減つて來る事になりはしませんか。

亀井——質は良くなるだらうが。

越智——量が減つても困りますネ。

棚橋——も一つ勤めて居る者は一定の處に止まりませんからネ、兎に角夫婦向合ひになればいゝんですがね。

亀井——ですから、家族制度といひますか、皆樣を前に置いて失禮ですが、御婦人の方が、殊にお嫁さんが來るとお嫁さんの行動を監視するやうな行動をとられるのが本能の樣に思はれますが、之は自分達が嘗てやられたのでといふ譯でもないんでせうが、なるべく御婦人の心の休る處を與へれば、必然的休憩時間も得られるんぢやないかと思ふのです。家の型體上のイミテーションと云ふことも我々としては改良すべきところなきにしもあらずと思ひますが、それは寧ろ今の我々の長い間の傳統を持つて今日の日本の文化生活を支配して居るモーラル生活の態度に、此のプライバシーを互に尊重すると云ふことを若干取り入れて差支ないのぢやないかと思ふので、その點今の日本の家の儘で出來るんぢやないかと思ひます。棚橋先生の御意見は此の點に觸れて居るのではないかと思ひます。

越智——詰りそれなんですね。家はさう云ふ風にしなければ出來ぬと云ふのではしたつて出來やしませぬ、精神がなかつたらね。

棚橋——離れがあるとか、二階があるとか云ふやうになりますね。

越智——みんな心の中にお嫁さんに同情を持ち自分の子供に接するやうな心持で、さうして是は日本人種改良の爲だから、皆その精神をお持ちなさいと云ふことに決定すれば、それでいい譯ですね。

棚橋——次は岡田さん、住宅に付て、是は斯うしたいと云ふやうなことを何か。

岡田——私は皆さんの御意見を何ふ積りで參り

ましたが、もう一つ會がありますので、失禮さして戴きまして、一寸御先きに……私なんか申上げる程のことはございませぬけれども、どうも日本人の家庭は自分本位でなくお客樣本位でみんな暮してゐらつしやるんぢやないかと思ひます。お客樣をする、一番普段自分が使はない部屋に、一番お金をかけて明い所にして、自分達は一番暗い板の間の汚ない部屋で仕事をして居ると云ふやうなことでありますが、私共自分の生活を、お客樣も大事ですけれども、總て部屋を自分の趣味に合はして、さうしてそれを氣持良く使ふと云ふやうな風にして居りますので、是は中々理想通りに參りませぬけれども、寧ろ建築をなさる方々なんかも客間に御金をかけなければいけない、ここは斯うでなければいけないと云ふやうに、全然日本人のお客樣本位で、さう云ふ所は建る方でも家を建てて下さる方でも禍ひして居るんぢやないかと思ひます。段々此の頃邸所も改良されて立派に出來るやうになつて居りますけれども、大抵邸所と言つたら暗いじめじめした所で、お客樣の部屋は廣々として居る。第一みんなが生活する所を氣持良くして行つたら、もう少し良くなるんぢやないかと思ひます。それで日本の家庭では、みんな家は立派なのをお建てになつて、建てた時は御金を使つて裝飾なんか、綺麗になさいますけれども、その時だけで、段々と色々時代も變り又自分の部屋をどう云ふ風に裝飾するかと云ふやうな氣持がない樣で謂はゞ住宅に對して徹底した處がないのぢやないかと思ひます。建てた當座は立派ですが、後は放つて居られます。皆なもう少しいつまでも住宅を明るく朗らかにするといつた氣分をお持ちになりたいと存じます。つまりお座敷の花生にしても皆その人々の趣味から出て來ることで、只お金をかけたといふ丈でなく本當の建物を建てゝこそ自分の住宅だと思ひます。

棚橋——手入の仕方を知らんですね。

岡田——も少し自分の毎日の生活してゐる處を生かして行つたら家庭が明くなるんぢやないかと思ひます。

谷口——手入をなさいますのも建築屋さんにお尋ねになつて、本當の手入を知つて頂くことですね。又建てた方もそこまで敎へて頂かないと、結局自分で研究しなければいけないですけれどもね

亀井——僕はその反對で寧ろ奥樣が旦那さんの手を引いて行く樣に工夫する、かういふ處に家庭に於ける婦人の研究すべきドメスチツクサイエンスがあるんぢやないかと思ひます。私が學生時代に居りました或る家庭の奥樣でしたが、殆んど一週間毎に室の裝飾を變へたり、ピアノの位置を變へたり、或はカーテンなども變へたりして、家庭の氣分をフレツシユにする樣に工夫して居りますのを見て居りましたが、私は成程かうすれば家庭のお父さんが家に歸つてもいゝ氣持になれるし、又歸宅すると常に自分の家に歸つたと云ふ氣樂な氣持にするから、斯くも家庭が圓滿で、而も品を失ふことなく、和やかな雰圍氣になるのだと思ひました。さういふ意味で今の岡田さんの申されたことは全く圖星なんで、相當うがつたお話だと思ひますね。

谷口——お掃除なんかも夫婦揃つて趣味を持たれませんとね。

亀井——それは建築家に御相談になればうまく行くんぢやないかと思ひます。

谷口——建築屋さん自身が分らずにやつて居られる方もありますね。

棚橋——本當の專門家はそんなことはないでせうけれども。

谷口——手入をしますのに油布巾で拭く處を水でふいて駄目になさる樣な方もありますが、さういふこともよく專門家に伺つて、お磨きになれば折角立派に建てゝ頂いたものを惡くするといふやうなこともありますまいにね。

棚橋——昔は洋間といひましたけれども、この頃は日本風の洋間が多くなりましたから仕よくなつたでせう。

亀井——皆樣が洋間と思つてゐる所に時代錯誤があるんぢやないでせうか。自ら立つて働く部屋をとらはれるところなく現代の日本の趣味に合はして行けばそれでよい譯で、隅から隅迄向うの形になつてゐないと、氣が濟まないと云ふやうなことは寧ろ今日の日本の現代生活には不適當なのではないでせうか。唯自分に便利なやうにして行けばそれが一番いいんぢやないでせうか。

岡田——西洋人は日本の家を借つても自分等の住ひにぴつたりするやうにしますね。

棚橋——勝手なことをして居りますね。日本の部屋でも日本人の勝手のいゝやうに造ることを考へたらいゝでせうね。

亀井——例へば八帖、六帖、四帖半の家を西洋人が借りまして、直ぐ八帖と六帖の襖を外してしまひまして、自分で八番の針金を買つて來て、そこへカーテンを吊して八帖と六帖の部屋が何時でも一部屋になるやうに工夫するのです。それで十四帖に使へる場合もありますし、彼等だけの時には八帖にして使ふ、と云つたやうにして居りました。

越智——私の家をアメリカ人に貸したことがありますが、小さい物は自分で棚を吊るとか、壁を塗るとか、一切自分でしました。日本人に貸しますと、さあ何をして下さい、かにをして下さいと云つて何でも家主にやらせますが、西洋人は自分でこつこつ拵へますね、お臺所でも棚をどつさり造り、カーテンを吊すと云ふやうなことで、すつかり自分のものにしてしまひます。これは詰り日本の方々は家を自分で支配なさらないで、家に使はれて居ると云ふ結果だと思ひます。それではいけませぬ、自分の使ふものは、自分の着物同様に長かつたら切つたらいゝし、短かつたら足したらいゝ、さう云ふ考で行つたらいゝぢやないかと思ひます。さうすると随分住み良くなります。建てた時に眞直ぐに置いたものも、自分の便利が惡つたら、どつちに置いてもいゝものだと思つて居りますし、今仰しやるやうに非常に日本に同化して參つたのは洋間ぢやなくて、やはり日本の間ですね。

古澤——日本の女の方は建築といふことについて、建築は主人のものだといふ頭がまだ餘程ございますねエ、もう少し外に出た時でも着物とか髪とかには随分氣をつけられますが、家具などについては餘りお構ひないといふやうな氣分があるんぢやないでせうか、も少し家具についても私はよくデパートでも少し變つたものが出てゐると、店員の方に何ですか、どうして使ふんですかといつて聞きますが、そんな頭で家についても研究心をお持ちになつたらと思ひます。

棚橋——着物は随分趣味をもつて、いろいろお考へになりますが、家のことなんか別に氣になさらぬ様ですね。

古澤——從つていつでも同じやうなものでうちの洋間といつて濟ましてしまふんでせうね。

鷲井——生活狀態がさうさせるんぢやないでせうか、外國と違ひますから。

谷口——建築の改良はそこに行くんですね。

古澤——時代に合ふやうに餘り出過ぎないやうにね。

棚橋——着物に拂ふ注意の半分を拂へば出來るんぢやないですか。

廣瀬——今まではさうでございましたが、これから段々目覺めつゝある時でございますから、又教育も随分出來て居りますから、今の内お母さんにはさういふことがございますけれども、先程お話のお客樣本位といふ樣なことも、お客樣は毎日いらつしやることも御座いますけれども全部同じぢやございませんのですから、偶にしかお出にならない方の爲にいゝ室を廣くとりまして、玄關から立派なものにして、その半面自分達の終日家に居るものが、一番關變する處がどちらかと申しますと、等閑になつて居ります。さういふことは婦人の領分として建築を考へる、專門家に委せ切りで主人のものといふ氣持を捨てる必要がございますねエ、實は私の家のことを申上げて恐縮ですけれども、私の家は先生のやうに外國には行つて居りませんけれども、矢張り家を建てます時に、どんなスタイルがよろしいかと本や寫眞などで少し調べましたです。私はスペイン風のが大變いゝと思ひました。さうして建てます時に主人といろいろ意見が違ひまして、結局私も主人に服從しました點も澤山ございますけれども、數年經つて見ますと矢張り私の思つた方がよかつたといふやうな處も出て參りました。例へば鐵筋コンクリートにしてしまひました後で、それを取除くことが出來ません。隣の部屋もすつと改したいと思ひましたけれども矢張り主人の意見に從ひましたが、數年住んで見て矢張り直さなければならぬ樣になりました。窓の大さにしても寫眞で專門家も賛成なさつたものですから、しましたが、それも後で變つて來ました。さういふ風で私共專門の智識はありませんけれども、終日家に居つて一番多く使用致して居る爲に比較的出勝ちの主人よりも勝手のよいことが分つて居りますので、又暇の折にはいろいろのものを見て研究も致しまして、家を建てます時には專門家のいらつしやらない時は本當に主人よりも主婦の方が司らなければなりません。又監督も專門家の後についていろいろ申上げなければいけないと思ひました。

祐源——結局主婦の智識といふことになります

ね、私は家を持ちませんので、家を建てられる程の人は御主人なり主婦の趣味で建築家にも相談なさつて充分立派なものも建てられますけれども、家を借りて生活しなければならぬものは、それらの者の爲に矢張り家を建てる方御自身、借家をも少しよくして頂ばと思ひます。いろいろ家族本位にしたいと思つても、つい人のものですから出來たまゝを使つて居りますが、建築家、資本をもつて家を建てられる人々がさういふ風に仕向けて行けば、接客本位が家族本位にもなるんぢやないかと思ひます。それも一つの改良方法ぢやないかと思ひます。そういふ大きな問題は特に家を建てる方で適當な家を建てゝ頂きたいと思ひます。さうすれば自然に一般によくなると思ひます。今の處ではそんな家を探してもないのですから。

棚橋——借家建築の一番悪い處はどうせ安く立てゝ家賃を高くとらうといふのですから。

祐源——私の家は方位とかには無頓着で、鬼門がどつちに當るといふやうなことなく、本當に自分の住よいやうにやつて居ます。冬寒くて夏暑い處でも一生懸命辛抱して居られる方がありますが私はさういふことに捉れないで、矢張りいゝ家を建てゝ下さればいゝと思ひます。

棚橋——借家は向も何もなしに建てますからねエ。

亀井——家の集團といふものは矢張り道路或はブロツクといひますか〜そのブロツクの向を例へ借家でもエントランス又は窓が南に向くやうに光線がよく入るやうにと主張しまして長屋住宅を東西に長くといふことを原則として大阪でこの方面に盡力してゐる人々がありまして、我々も贊意を表して一生懸命にさういふ樣にやつて居りますが兎も角その問題は重要な而も現代では頗る痛切なので、大阪市民三百萬の内家を建ち得る人はその内何%ですから、大部分は不本意乍ら此の貸家に入らなければならぬと云ふ實情なのであります。が、然し此の點に付ては常に借りる人々からそういふ聲が大きく出なければ國家もそれを何とかして呉れまいと思ひます。東京では震災直後同潤會といふものを作りまして、各借家人の人々からどういふやうな點が不便で、どういふ點を改良して欲しいといふやうなものを方々から要求を集めて總務課長の乾さんが之れを整理して注目すべき研究を發表して居られます。尚各大學教授にもお願ひしていろいろ研究もしてございますが、畢竟するに御婦人の方々が自分の娘なり息子なりの健康を實際に左右し將來の日本の國民を養成する責任を持つてゐるのでありますから、その點についての一つ聲が擧がつてもよい筈と思ひます。國家が厚生省を作つてもお醫者さん丈のことをやつてゐるのでは〜お醫者は病氣にかゝつてからの事でありますが。豫防及び將來の健康增進に關することはなんと申しましても住宅に負ふところ甚大なのであります。然るにかゝる重要な建築に關する一般的な聲、殉に聞かないと云ふ狀態なのでありますから、政府としても如何とも仕難いのではないかといふ風に私には見へるのであります。例へば生活改善同人會と云つた類ひの團體がかゝる問題に關して御婦人のインテリ層の啓蒙運動をやる方法として、矢張り政府の費用を借りて模範住宅を作つて見て、これ丈安い費用でこれ丈のものが出來ると云つたデモンストレーションをやるのも一つの手でありまして、經營なども御婦人の手によつてやつて見るといふやうに住宅經營にも乘出して少い費用でよりよい健康をそこから生出すといふやうな處が婦人がよい人間を創造すると云ふ天賦の使命から云つても、僕は御婦人がもうすこし積極的に此の問題に乘り出してもよいのではないかとも思ふのであります。啻に主人の財ばかり當てにしないで、皆樣の納めた稅金を國家的に活用すると云ふ意味におきましても、御婦人達が直接的に此の問題に顏を出しても、出過ぎると云ふことはない樣に思ひます。

西協——私は建築の方はよく分りませんが、農村のことを研究してくれとたのまれまして困つて居ります。理想的改善方法もないので、建築專門家の方がいゝ具合にお建て下さるといふ位に考へて居りますが、先づ第一に借家なんか建るには本當に生命の本は臺所ですから、あれの改良方法といふものを考へて頂きたいと思ひます。殊に臺所は光線の通る明い處がいゝやうですね。今まで殊に農村の臺所といふものは穢い、暗い處で窓もないのが多數ありますが、あれは建築法なんかで臺所はかうしなければならぬといふやうな具合にして頂く譯に行きませんのですかね。

亀井——さういふ聲の出るのを待つてゐるんです。實はこの間も或ことの爲に枚方といふところに調査に行きまして、二百戸ばかりの農村住宅の

間どりをとつて見て驚いたんですが、お話のやうに臺所は皆暗いです。外の明るい處から其處に入ると一寸何處に何があるか分らぬ程で、恰度映畫館に入りますと外と内との明るさの差が甚だしいので周圍の見分けが付かないのと同樣な狀態の暗い所に漬物が置いてあつたり、或は野菜物などをかゝるところで洗つたのを食膳にのせると云ふ譯ですから、蛔蟲の絕へ得ないも當然と思へるのであります。空氣のよい自然の健康的の條件の備つた中に居て農村の人々は何故如斯不健康なのかその原因があの臺所にあるんぢやないかと思つたんですが。福井高工の吉田といふ先生は實日本農村住宅の改善に乘出して臺所の標準を作らしたりしてゐますが、非常にいゝことだと思つて居ります

祐源——市營住宅のブロックなどを見ると餘程改革されてゐるやうですが、一般の大工さんにも相當の家を建てる時はかういふ風にしろといふ一つの案をお示しになつたらいゝと思ひますが。

亀井——私共の見てゐますと建築家に一應相談したといふ住宅は大阪市廣しと雖も、何%でしかないのでありまして、大部分は在來の大工さんにやつてもらつた處が多い樣に思ふのです。その意味に於て今日此處に御出席を願ひました棚橋先生など、工教育實際的にたづさはつてゐる人々に非常な責任があるんぢやないかと思ふのであります小林さんなど率先してさう云ふ風に町大工を教育して行かなければ先程岡田さんの話のやうにエントランスがあまりに立派な謂はゞ見せる爲めの玄關なので家の御主人達は御自分の邸宅でありながら、勝手口出入すると云ふ笑へない矛盾を我々は繰返して居りますので、これなどは普通の大工さんの設計した家が大概それですねエ。

祐源——大工さんが相當知識がなければ、どうしてもそれに準じてやりますから、幾ら生活を向上させようとしてもお金のある者はお建てになるけれども、ない者は借家にすつと住まつてゐなければならぬので、さう云ふ境遇から抜けることが出來ませぬと云ふことになりますねエ。

亀井——建築屋さんがそれだけ大工さんの指導の責任を執ることも專ら緊要なことの一つと思ひますが、又一般の素人の方々は大工さんに任かせば設計料が不要だから、それだけ安く家が建つと思はれ勝ちでありますが、此の間のやうに、大きな災害に遭ひますと、それが如何に高價なものであつたかゞ實際的證明される場合が多いのであります。即ち自分の家は坪二百圓かけたから、或は百五十圓かけたから、と云ふやうなものも、吾々が行つて壞はれた住宅の屋根裏に入つて調べて見ますと、どうしてもそんなにかけた物とは考へられないやうな物となつて仕舞ふのであります。ですから少し位の災害に遭遇しても容易に壞はれないことは勿論ながら、風水害から先づ安全にしなければならぬことも大いに考へねばならないと思ひます。

西脇——建築條令に合はないといふやうな處は矢張りお調べにならないのですか。

亀井——建築條令といふものは建物の狀態の極く最低の場合の條件を示したもので、之れ以上悪いと許さぬと云ふ限界を決めたもので、本來はこれよりすつと上のものを建てなければならぬ筈のものであります。例へば條令では床と天井の間は七尺あればいゝといつてありますけれども、天井七尺高の家に入つて御覽なさい、とても上がつかへて仕樣がないものでありまして、若しそれを八尺にして御覽なさい、先程越智さんのお話ぢやないが、世界的日本人を作るに相應はしい感じになるのであります。又此の限界を示し制限内で階段を造りますと六十度位の急傾斜なものになりまして子供には危くて仕樣がないのであります。三十度位が生理的の關係から申上ましても傾斜がゆるくありますから危くないですけれども、市街地建築物法通りでは決して理想的なものは實現出來ないのでありますから、適法であるからと云つて安心して仕舞ふ譯には行きません。あのまゝだつたら大阪全體は非衞生的になるんぢやないかと思ひます。これ以上いけないぞといふ處を示してゐるんですから、役所に出願して、これでいゝといふからこれでやらして下さいといふて出來た樣子がとても急なもので、住んで見てどうも家に相應しくないからやり直したといふやうなことが屢々あります。一體建築家に十二分に御相談なすつてやられたらいゝぢやないかと思ひます。

古澤——同じ大阪でも市内の方は檢査をなさいますし、市外の方はどうも等閑にされて居りますしねエ。私の方は出來たばかりに入つたんですが、いきぬきがちつともないので襖間もありませぬし、あつちにあつても、こつちにございませぬから、何もなりませぬ。それから冬になりまして

も廊下が何だか濕つて居りますので、おかしいと思ひまして、どうしてあんなになるかと毎日思つて居りました。お隣に伺ひました處～私の方は一棟二軒になつて居ります。一寸廣いですから～處がお隣の方は私の家よりもつとひどいです。すつと湯氣がたつたやうになつて居るのであります。餘り濕めるのでおかしいと云ひながら疊をあげてよかつたんですが～八月頃でございます。～お隣の先生がゑらいことだ、ゑらいことだと云ひますので、行つて見ますと床の底からちやぶんちやぶんと云ふ音がします。氣持が悪くて、それから私は懐中電燈をあげませうと云つて調べて見たら、野井戸を其の儘にしてあるんです。それでお隣の疊の底はぶかぶかになつて居りました。それから家主を呼んで一體こんな亂暴なことをして野井戸をその儘にして床板を嵌めるなんかと叱りましたが。そんな筈はないです、私は知りませぬ、大工がしました。斯う云ふ譯です。驚いてしまひました。どうも檢査をなすつたやうですけれども、あゝ云ふのでは檢査は市の檢査と幾らか違がふんですか。

亀井——市街地建築物法と云ふのを適用するのに同じ大阪府下でも適用して居る所と、してゐない所があります。先程小林さんから食事中にお話があつたやうに、大阪市全體に建築取締規則と云ふものがありますが、詰り自由民權思想が入つて來て個人の所有權なんか喧しく言つて居りますので、市街地建築物法も民權を極度に而も必要以上に尊重しまして、中々そこ迄及ばないです。所が今のやうに軍人さんなんか、段々壯丁の體位が低下して來るし、默つてゐられないと云つて厚生省も出來ますし、健康の方面にも相當の注意が拂はれて來ましたが、さて肝腎かなめな、謂はゞ人間の健康の創作所とも云ふべき住宅となりますと、個人の經營にまかされてありまして、國家の關心があまり此の方面に向けられてないのであります

古澤——私は大工を叱付けまして、どうしてもこれぢやいかんといふ譯で、規則があるからその通りしなさいといつて疊を敷かせなかつたですがそれでやつと風通口もこしらへさしまして、さうすると開つ放しぢや人間なんか入るからといひましたが、何でもいゝから直しなさいとさしましたが、息抜きをこしらへさせるに餘程長くかゝりました。

廣瀬——洋風の家はうまく出來るやうに思ひますが、日本家は時々さういふことがありますね、雨戸を閉め、座敷の障子を閉めますと廊下の息抜きがないといふやうなのが大變いゝ建築にもありますね。

棚橋——さういふ注意の足らぬ場合もあるんでせうねエ。

古澤——田舍の建築はどうも危かしくて。

棚橋——用心が悪いですね、泥棒にお會ひになつた經驗がありますか。

古澤——私はありませんが、近所にあります、私が入るまでは危かしくて仕方がない、敷居でも淺いのですぐ戸がはづれますし、栓もしつかりしてない、それをきちんとさしましたが、壞して入るのは仕方がありませんが、少々のことでは入れないやうにして置きます。それをそのまゝにして置きますと入ります、どういふ處から入るかといふと、板の間に一間の硝子が入つて居ります。私はそれを恐いから硝子を半分にして格子を入れさしましたが、皆それをしてないと、それから入ります。殊に裏口とか、敷居など外れぬやうにして置きませんと外されますねエ。

谷口——私は皆樣のお話を伺つて暫く感じましたことをお時間を拜借しまして話さして頂きたいと思ひます。結局は皆樣のお話を承りまして、女が社會の勉强をもつともつとして、自分の希望を建築にも申出て建築屋さんが正直にやつて頂かなければ結局滿足なもの、自分の趣味に合ふものが出來んぢやないかと思ひます。建築屋さんに大工を監督して貰つて、自分の趣味に合つてゐるやうにして頂いてゐるかどうかを見て頂くといふことを始終しなければならぬと思ひます。私自身小さい家を建てまして、自分もいろいろ皆樣の家を拜見したりお話を伺つたりしましたが、矢張り自分でもつと勉强をしなければならぬと思ひました。臺所の設計も自分の設計で、光線のよく入る明るい氣持のいゝ處をとればどんな小さい處でも氣持よく利用出來ると思ひます。方々で隨分便利な臺所も拜見しましたけれども、私は臺所は八疊以上の面積をとりまして、さうして取付の戸棚、料理臺といふやうなものを出來る丈大きくしまして、いろいろのものを散らばらん樣にして眞中をなるべく廣くして、片付けたら全部のものがきちんと納つてしまふと云ふ樣にすれば綺麗な臺所になる

し、心安いお客様だつたら臺所でもお話をし乍ら何でも出來るといふやうにカーテンでもかけて氣持よくするやうにしたいと思ひます。よく片付くと掃除にも樂ですし、着物の汚れるやうなこともありませぬ。生活の能率も上ると思ひます。私自身さういふやうにして居りますので、働き易い様です。結局自分のものですから、勉强もして建築屋さんにもよく相談して、自分に勝手のいゝ様に使ひ易く、氣持にぴつたり合つたものにしたいものですねエ。

河島——私は谷口さんと正反對です。臺所は出來るだけ狭いのを希望して居りまして一寸後を向いたら何でも簡單に出來ると云ふやうな狭い所にしたいと思ひます。それから一つの希望としまして、臺所の外に流し水がどんどん落ちるやう、出來るだけ水を内に流さないやうにと云ふことを何時も考へさせられます。それから先程廣瀬さんの奥さんがお話のやうにやはり主婦の考と主人の考が建築の時に違つて參りますが、或る程度は主婦の言ふことに從つて貰きたいと思ひます。事實只今も一寸設計を致して居りまして、その爲に中止して居ります。主人は斯う云ふ風にやれと申しますし、それに反對して居りますうちに段々物が高くなつて來るし、大工の手もないやうなことになりましたので、結局暗礁に乘上げて中止して居るやうなことでございます。それから越智先生のお話ですけれども私は家族主義にしたい方でございます。老人の居る部屋で普通でよいのぢやないかと思ひます。もう一つはお葬式の時なんかのことを考へるのです。年を取りますとゑらい不吉のお話のやうでございますが、やはり八十一もの母を抱へて居りますと、本當に色々考へます。その時に廊下とか裏口、内玄關の緣側などに出さなければならぬと云ふやうな不體裁はしたくない、どうも出來るなら玄關からスーツと出したいと思ひます。さう致しますと家の間取りなんか餘程考へぬと出來難いやうな譯です。それでどうしても只今暗礁に乘上げて居りまして進みも退きも實は出來ないで困つて居ります。何れ棚橋先生にもお智慧を拜借したいと思ひますけれども、それから先程の夫婦慰安所のことでございます。それよりも、私は御隱居さんの慰安所を旅へてあげたいと思ひます。さうしてお嫁さんはお母さんと一緒にゐらつしやらなくてもいゝぢやないかと考へます。よく他所さんでは嫁はどうして居るだらうかと云ふ風に思はれはしないかと思ひますが、私共は總て母には開放主義で食料品でも何でも母に賴んで置いて開放主義なものですから、それで今迄何の氣持惡いこともなく過して參つたものでございますから、日本の家族制度ではどうしても兩親をもつといゝ所に本當に自由に住まはして、お嫁さんは縮つて居つても、亦姑さんになつたら、そのお嫁さんが自由な位置になるんぢやないかと最前から考へて居ります。それで家を造るにも、やはり老人の部屋を中心に考へて行きたい。それから設計を致します際に臺所に付てはどうか主人が註文を出して下さらねばあせぬといかぬ、斯うせぬといけないと云つて餘り御主人のお指圖が過ぎると云ふ様なことをしないで、本當に主婦として任かして戴きたい、さう云ふ一つの註文を私は持つのでございます。

越智——河島さんの御話は私の考を說明して戴きましたと云ふ譯でございます。今仰しやつたことは一から十迄御賛成申上げます。私の申しますのは老人を粗末にするんぢやなくて、家中の主人にしてあげるんでございます。だから大きな家は最後迄主人のものです、それを小さい所に押込めてしまふと云ふやうなことは不都合で、老人は最後迄自分の家の中心であります。さう云ふ積りでございまして、決して私は主人本位ぢやないのでございます。

西脇——庭園稅がかゝるとか云ふことですが、そんなことになるんですか。

棚橋——まだかかると決つて居らぬと思ひます

西脇——みんな健康的によくしようとして居るので田舍の廣い所なんか稅金を納めたらいゝと思ひますが、狹い庭園なんかには、そんなことは思はなくてもいゝぢやないかと思ひます。又庭園のあることは隣近所の空氣が良くなることでもいゝと思ひます。出來るだけ稅金なんかかけないやうにして欲しいと思ひます。

龜井——今の御提案に對して本當に保健上から見て、さう考へられない事もありませんが、只一個人の邸宅が必要以上に廣い庭園を持ち、而もその周圍には城塞の様な塀をめぐらして、築山、山水を樂んで居る様な庭園には、今日の場合稅金を課してもよい様に思ひますねエ。が然し又一方から考へますと、例へば大きな庭を持つて居ります

と空襲なんかの場合を考へましても、それを利用して出來るだけ廣く空地を取らせると云ふ風なことですから、今度の新しく出來た市街地建築物法でも空地を取らなければいけない樣になつて居りますし、住宅の最小限度として住宅地域では空地が四割なければならぬと云ふことになつて居ります。場所によつては住宅專用地區制と云ふのが出來まして、建築面積と敷地の割合で四割で六割以上の空地を留保する事を要求してゐるのでありまず。即ち空地を六割にしろと云ふやうな規則も出たのでございますので、國家としましても色々考へて居る際ですから、どうにかなると思ひます。それから防火のことについては、大阪の在來の塗家といふものがありますが、あれを此の間防火的に再檢討しましたのでありますが、元來大阪の家が割合に燃えないといふのは、昔の人が古くから考へた此の塗家造りがあるからでありまして、失火した場合消防が來るまでに、又家庭防護團の手で容易に消し得るか又は延燒を遲延せしむる爲には此の塗家を若干工夫すれば可能であると云ふ確證を得たのであります。此の實驗しました結果今度十五日には十六ミリの活動寫眞で建築學會の通俗講演會に於て中澤建築課長が話すことになつて居ります。防空上の對策として只今考へられて居るのは、防空空地の留保と防火の二つに全力が注がれて居るのでありますが、今の處果してどうなるか見透しがつきません。大阪市でも百餘の防空綠地帶を作るといふやうなことで、千坪乃至六千坪の處を綠化して近隣公園といふやうな名をつけそのなかで大きいのは何萬坪のもあるといふ譯でいざといふ時には高射砲陣地にもなるといふやうにしてゐるので、今の處空地に稅金をかけるとすれば、骨董式必要以上にぜいたくのものに稅がかゝる意味ぢやないかと思ひます。

棚橋——市民全體の庭といふやうなものがあつたらいゝんぢやないですか。

越智——大阪の電車の交叉點の廣い處が青くなりましていゝ氣持ですね、海外にはあゝいふ處が多うございます。

亀井——日本では木が豐富にありますから木を使ふのが自然でせうね、地震でもなければ何千年も保つ可能性がありますし、それから大火になるのも最初の五分間を氣をつければ、例へば東京の震災の時でも町內會が一致協力して、佐久間町の一角を救つたといふやうなことで、矢張り今度出來ました警防團、家庭防空組合といふやうなものも、木造の延燒度を遲延さすと云ふ所謂防火改修の効果とが組み合さつて防火上の効果が期待出來る筈のものですから、その內のどちらか足りなくてもいけないのであります。そこに狙處がある譯で、それは現在の國家經濟力で充分爲し得る自信がもてるんぢやないかと思つて居りますがね。

廣瀨——今日は地下鐵と防空とのお話を樂みにして參りましたが、お話願へませんでせうか。

棚橋——地下鐵の中に入るといふことですか。

亀井——地下鐵は皆樣避難所として利用するといふ考は棄てゝ頂きたい、空襲の時には路面の交通は杜絕します。市民の足がなくなる譯で、そこで地下鐵が唯一の足といふことになる譯です。それで軍事上の目的の爲に或はさういふ場合の交通の爲に空襲時の地下鐵の機能といふものは益々發揮させる必要があるんぢやないかと思ひます。あそこを避難とする觀念は先づ棄てゝ頂きたい、或は食料品、水などを運ぶこともありませう、中防でもあれは空襲時でも止めないといふ方針らしいです。大勢入つて行きますと大變なことになります。今度は防護室のことを申上げますが、その大さは此度の防空建築法によると百平方米以下となつて居りますが。一平方米に一人宛入るとして、百人入れます。そこが直擊彈で爆擊されると百人死ぬる、二百人居れば二百人やられますから、ドイツ邊りでは五十人以上一室に收容してはいけないといふやうになつて居ります。矢張り一ケ所に大勢集ることは考へ物です。地下鐵の話はこれ位にして置きます。

祐源——家族の入れる丈の小さい地下室をこしらへればいゝんですね。

棚橋——爆彈が非常に近邊に落れば駄目ですけれども、破片位なら防せげます。

竹內——私は、防護室の事がとても氣になつて居ります。新聞なんか見ますと、地下室と云ふものが出て居りますけれども、棚橋先生がちよつと仰つたのではないかと思ひますけれども、何か爆彈は下の方に行く程、力が强いと申しますが。

棚橋——爆彈は下の方で、爆發する事もあるんですから、地下に居つたからと云つて必ずしも安全とも限りませんですね。

竹內——今のところそう云ふものを設備しやう

と思へば何處がよろしう御座いませうか、何にもしないでいゝですか。

棚橋――なるべく空襲を防げるために、家が壞れた時に破片なんかでやられぬやうに工夫するより仕方がないでせうね。

竹内――それを何處にもつて行きますか。

棚橋――自分の家の近邊にでも造しらへますか

亀井――一應防護室は地下が善いといふ事になつて居ります。其の理由は今の日本の場合ですとガス空襲と云ふ事は之は非常に向うが犧牲を拂はなければ出來ぬことで、ガス空襲は、寧ろ敵と敵と双方に果合をする場合に効力を發生するのです自然の防空壕に等しい日本海と大平洋を越えて日本を空襲せんとするとき、日本の建物の性質は木と紙ですから是はスパイが入ると入らないにも拘らず判つてゐる所でありませう。そこで一番効果的な空襲と云へば火災を起す事が一番効果的で、ガス彈は三千乃至四千〆上空から落して見ても大した効果のあるものではなし、又近い處からなら兎も角浦鹽東京間は約千百三十キロ、大阪も同じ位の距離で一遍に八十臺のものが來るとしても大部分は高射砲などの犧牲になるとしても、假りに一臺が大阪の上空に達したとして、積載量なども考へて一番効を發揮し得るものが選擇されなければなりません。そうすれば何んと云つても、燒夷彈による空襲と云ふことになるでせう。

棚橋――今はさういふ說になつてゐる、燒夷彈といふことに。

西脇――コンクリートが一番いゝといふことですね、防護室に便所なんかも必要ださうですねエ

棚橋――必要でせうね、長時間となると、

亀井――防護室に何時間止るかといふことを、ドイツの文獻を見た丈ですが、飛行機による空襲と云ふものの性質上、そんな長い時間でない事は事實なんです。ですから、兎に角一時間か二時間を限度とすると考へられて居ります。併しさういつて安心し切る譯にも行きません。一應直接その建物に落ちた場合はいけませんけれども、先程棚橋先生の申された通り、破片とか爆風壓とかいろいろの衝撃による影響は、さういふものがあると一應救はれる譯ですから、あつた方がいゝに違ひないと思ひます。只家の周圍にでもいろいろ防護するものが若しあれば幾らでもあつた方がいいと思ひます。此の意味で防護室が地下室にあると云ふことは決定的かもしれません。地下室迄行つて爆發する彈もあるんですから、絶對に安心と云ふ譯にいかんかも知れません、が日本の場合、今の燒夷彈に對しての事です。

棚橋――新しい戰爭には如何なる新しい武器が出るかも知れない。果してどんなものが出るか解りませんが、併し人間が密集して居る狀態はいけない。實際ばらまかれた狀態で居る方が向ふは攻撃し難い。空襲の効果は本當にありませんでも、寧ろ心理的に混亂をせしめると云ふことが多いのですから、實際の慘害はあつたとしても、それは國家の損害から云へば僅かなものです。

竹内――私共學校に勤めて居りますのでよく聞かれますし、家庭防護室があつたらいゝと云へばこしらへる場合簡單に何處へ賴めば一番よろしいでせう。

亀井――私共協會の方にでも御申込になればお世話を致しますし、簡單なものなら誰れでも出來ます。先づ防空壕と云ふやつを先づおこしらへになるんですね。又南京發電所の空襲に備へて、モーターの周圍に擁護壁を設けてあるのを見たが、非常に有効なる事が解つたと南京見學團の一人の報告にありましたが、成程モーターの附近に爆彈が落ちても破片は直接モーターまでに飛散しない故運轉を中止しないで繼續出來る譯であると思ひました。かう云ふやうな事は「建築と社會」にも出て居りますので、調べて御通知申上ます。專門的には建築雜誌の五月號にも、防空專門委員會の報告を載せてあります。それには防空壕とか、防護室、簡易防護室、色々なるものがのせてあります。之は最近のものでまとまつた而も解り易い報告のやうに思つて居ります。當協會にも備付て居りますからお暇の時にはお覽下さい。尙、大阪府の防空課に吉田と云ふ技師が居ります。その人に賴めばいつでも說明するやうな意氣をもつて居りますから御利用なすつて下さい。大阪府では、名前を申せませんけれども、濱寺に、實際住宅に造つてをられる方があります。吉田君に講演でもして貰へば、その寫眞を撮つたのもありますから御覽をいたゞきたいと思ひます。尙、東京で四ツ、五ツやつた種類も御座ひますが、之は皆吉田君の所に集つて居ります。內務省の推薦してゐる、內務省案と云ふ防護室又は防空濠といつた樣なものもございます。吉田さんは、棚橋さんの後輩で本

協會の役員をして居られます。

西脇——私は大阪の地下鐵の便所を何故もつと綺麗にして置かないかと思ひます。折角いゝ便所が出來てゐるんですから、あれはこしらへてから掃除をしたもんぢやないでせう。

龜井——地下鐵のみならず大阪に街頭便所の少いのには驚きました。かういふことに對する婦人の聲は東京なんかでは非常に喧しく、市長にも申込んで、市會が力を添へて便所が綺麗になつたといふこともありますが、大阪も矢張りさういふやうにやつて頂かんと、矢張りルーズになり勝ちです。

棚橋——この際女子の教養の問題ですが、鷲井さんか竹内さんから、女學生の住居に對する興味があるかないかといふやうな問題についてお話願ひたいですが。

鷲井——私達の學校では割合研究してゐるやうに思ひますが、女學校では家事科がありますが、衣食住の内住居に關することは割合に輕く見て居るやうな傾向ぢやないかと思ひます。

龜井——それは確かですね、女學生にエルアに關する觀念がない樣に思ひますねエ、少くとも物理を應用して計算をさすといふやうなこともいいと思ひますが。

西脇——そこになると越智先生の方に、女學校の先生に建築の智識がないんぢやないですか。

越智——先生に興味がないから生徒が興味を持たぬのかも知れませぬ、私は自分の家は自分で建てるものだといふモツトーにしてゐるんです。さうしますと自然興味も出てくるんですがね。さういふ風にして私は生徒を導いて居ります。實際は段々建てる人が多くなつて居ります。

龜井——矢張り自分の生活に如何にしてうまく合はせるかといふことからでないと、リアルの世界を見てゐないから、まるで彼女達がよき花嫁さんになつた時のその家庭の經濟生活が天文學的に數字的に豐である場合のみを考へてゐる樣に思へます。ところが我々の考へとしては、女學校のドメスチツクサイエンスがすぐそのまゝ利用出來ると云ふ教育を施してもらひたいと思ふのです。

古澤——教へる人が興味をもたせるやうにして行かなければ駄目です。家なんか父さんの事位にしか思つて居りませんで、圖面を引かしても出來るだけ四角のなかにまとまる樣にして出る所のないやうな圖を引きますし、自身工夫することも一方法かと存じます。

祐源——女學校教育で圖面を引かせる事は實際出來ませうか。

棚橋——無理ぢやないかと思ひます。

祐源——女學校の生徒は本當に引けなくても、理想的なものを見てその判斷をするだけの智識があつたらいゝと思ひますが、自分の家を書かせてもそれさへ完全に書けません。

棚橋——それは男でもよう書きません。

竹内——住宅のお話でありますが、尤も私は專門學校を教へてゐますけれども、女學校を教へた事もございます。兎に角女ばかりでなく、男の方もそうだと思ひますけれども住宅に非常に興味を惹かれる時があるやうに思ひます。そこで私達最も考へなければならぬのは、その時を外さず、住居と云ふものに對して本當の考へをもたせなければならないと思ふんです。それを逃がしてしまつたら駄目で、あまり又女が實際こしらへるやうな事になりますると主人と喧嘩にもなりまするし、私共の立場から考へますと本當に意氣地のない事ですけれども、その出來上つたものが、建築家が御覽になつてこんなものはなつてゐない、本當に馬鹿らしいといふ樣なものかも知れません。併しそれでもかまはないと思ふんです。とにかくもつと阿呆らしくないものが出來るとそれにこした事はないだらうけれども、ともかく、住と云ふものに對して本當に心から惹かされる時があると思ひます。そこでよく指導すると云ふ事にしなければならぬと思ひます。

河島——四年生位、二十そこそこで氣を惹かれますけれども、皆日本の家といふものは玄關、座敷といふものに型にきちんとはまつてゐます。あれは人によつて形はどうなつてもいいといふものぢやないか知らんと思ひますが、日本の家といふものは人間が當がはれてゐるやうな氣がしますが中に住む人の趣味によつてどんなにでも考へてよいものだといふやうな謀叛心も起しますが——。

谷口——私は女學校の生徒に圖面を引かすといふことよりも、自分の體驗から申しますと矢張り借家に住んで居つても棚のつり方を工夫するとか物の置き具合を變へるといふやうなことから實際に工夫をし、教へて居りますと自然住といふものに對する自分の趣味も養はれて來ると思ひます。

從つて建築に對する趣味も湧いて來るんぢやないかと考へます。

橘本——私は住宅といふものを違つた方面から感じて居ります。それは職業紹介所に居つて始終女中さんのお世話をします。と後でいやだといつて歸つて來ます。それはどんな處がいやなんだらうと考へますと、何となく感じが悪い、何となく奥様か家か何だか知らんが向うの家がいやだといふんです。その家を一々拜見はして居りませんけれども、どうも家の感じが悪いといふこと、女中さんが寄付けないといふ感じは多分家と申しましても女中の一番に目をつけますのは臺所ぢやないかと思ひます。臺所に對する具體的の案を私はもつて居りませんけれども、どうもさういふ處ぢやないかと思ひます。も一つ女中をお雇ひになる前のお言葉の中に、實は小さい女中で結構です。何も用事はないので、本當に留守番丈でございますといふ申込が大變多いんでございます。それは日本の住宅が如何に泥棒なんかの用心に不適當であるといふことを物語つて居ると思ひます。それで何故さういふことばつかり氣にしますかと申しますと、只今は日頃と違ひまして、非常に人手が要るんです、處が非常時局が長く續くに從ひまして人手が足りなくなります。どうしても家庭生活の簡易化をする。要らない人手を使はぬやうにするさうしてその人手を國に捧げるといふ風に考へなければならぬと思ひます。それには大いに建物のことが關係してくるんぢやないかと思ひます。さういふ意味で人的資源と申しますか人手を省く生活改善をすることは住宅の問題が非常に關係してゐると考へます。私は一度空巢に狙はれたことがございまして、すつかりやられました、警察の方で女中も置かないのがいけないと非常に叱られまして、私は成程皆様が留守の爲に一人お傭ひになるといふことが自分の體驗で分りました。それから住宅の改善をしなければならぬと思つて居ります。も一つ東京方面には大變家庭的の感じをもつたアパートもございますけれども、大阪方面のアパートと申しますと、澤山の人を對象としたものが多いやうでございますが、矢張り家庭的の感じをアパートの中に盛り込むといふことは六ケ敷いものでございませうか。

龜井——同潤會で建築しました東京小石川の大曲にアパートを經營して居りますが、こんなのが今後いろいろ出來て來ると思ひます。實際問題としてはかゝるアパートは大阪の場合には船場、島の内の如く畫間の人口が1ヘクタール四百人内外で、夜になれば1ヘクタール二百人内外になると云ふやうなところでは、必然的に高層建築が要望されて居るところと存じますので、かゝる場所で住宅を造れば高層なアパートの様なものになるのじやないかと思ひます。

橘本——そう云ふ意味でアパートを造ると、よろしいと思ひますねエ。

棚橋——恐らく將來は澤山出來ると思ひます。

谷口——私は女中さんが、其の家の感じで歸つて來ると云ふ事を伺ひますが、女中さん達のお話を聽きますと、入つた時のすぐの感じと云ふもので、お掃除なんかも臺所を一見すると大きい家でも樂なところもあるし、少さいところでもめんどいやうな不合理に出來た家もありますので、それを感じるらしいですねエ。

橘本——女中も全國で申しますと六十何萬も居ります。その内の本當に必要な女中は何人かと云ふ事も考へなければならぬ。もう一つ私達の立場から本當に女中に仕事をさせる時間、そう云ふものを考へると、留守番のための女中等は意味が違ひますから、此の方は住宅問題で解決が付くんぢやないかと思ひます。私共集りまして皆な子供が大きくなつた。それぞれ息子の嫁も貰つた、お嫁にもやつた、そうするとだんだん仕事の關係で他所に出る、夫婦だけになる。大きな家は入らなくなる。その内夫も死んだ、自分が一人になつた、どうも困まる、ところが女中もなく全く他所にも出る事が出來ない。之は考へなければならぬ。それでアパートを造つたら如何かと云ふので皆んな金を出してアパートを造らうじやないかと云ふ話が出て、會員組織で研究問題にしやうと云ふ事になつたのですが、所が私の考へではそう云ふ老人がアパートに住んで果して滿足するかと云ふ事があります。それから私は家は臺所を中心にして居りまして、借家の人も臺所がいゝとその家はよいと云つて喜んで居るんです。それは流しも大きく取り、陽當りのいゝ部屋をもつて來る、たびたび人が變つて入りますが皆、喜んで女中が入らぬと云つて喜んで居ます。

棚橋——時間が少くなりましたから住宅の問題の内で、二、三、四を一緒にして色々の建物を御

覽になつた感じと云ふやうな事を一緒にまとめてお願ひします。

龜井——鷲井さん如何です。

棚橋——御訪問になつた家の中でお感じになつたことを一つ。

西脇——建物によりまして、朗かないゝ御氣持のする明るい家があります、そしてもう一度あそこに行きたいと云ふやうな感じのするところがあります。それから今度出來た放送局ですが、なんでも新しく出來るものはいゝやうです。それだけ建築家の方が新しい智識をもつてなさつて下さるんであらうと思ひます。だんだん氣持のいゝ家に住まはして頂いて結構と思ひます。

河島——私は新大阪ホテルのやうな部屋が家に一つあつたらいゝと思ひます。お客樣でもあると子供にも邪魔されないやうな部屋がないと、どうも困るものでございます。

西脇——便所を全部水洗式にするといふことは高くつきますかね。

龜井——大體都市計畫委員會で大阪の下水が完成して來ますと、此の爲の經費が高くつくつかないの見込が付くと云ふ譯で、水洗式に强制される事になるでせう。

越智——下水を直接海に棄てるんですか。

龜井——海に入つたら淨化されるんでせう。

越智——どうしてもロンドンの樣に汚水を集めて處理しなければ。

龜井——汚水處理箇所は第一、第二、第三と云つた樣に大阪市では相當大きいスケールをもつて處理するやうになつてゐると云ふことです。

古澤——私の家の裏にコンクリートで貯める處をこしらへてゐますが、捨場がないかと思つて居ります。

龜井——下水溝が完成しますと全部淨化處理工場に行く譯です。處理工場では大きな沈澱池に沈澱さして、いろいろ處理をして、すつと沖に流すことになります。

河島——お茶には兎に角あの肥料でないといけないのださうでございまして、化學肥料では地面が濕つてゐるのですぐ腐敗する。金肥をやつてその勢でひゆつと出たその新芽が最もおいしいそうですから、それを皆流してしまつたら由々敷い大事のやうに思ひますが、船で淀川を上るのがなくなりますし。

谷口——淨化槽の掃除は年々何度位必要です。

龜井——府の衛生課の方で何か規程がありますそれに從つておやりになつたらいゝでせう。

河島——郊外電車に乘る時は非常に混雜しますが、何とかプラットでも大きくして緩和されるといゝと思ひますが。

龜井——郊外に住宅が大變伸びて行きます。そして中心部分の人口が郊外へ逃避して行く距離は大體收入と正比例するんです。收入が少ければ郊外の空氣のよい方へ行かうと思つても、行けないし、大阪の中心地は割合人口が少いが、郊外の所謂隣接町村の郊外と稱する部分に澤山住宅が集つて來て居ります。自分の住宅を建てる事の出來ない者は借家に住まわなければなりませんが、その借家が第二の肚丁を生む所であるばかりでなく、母性の爲に安住の所であるのであります。ですからそれに對する研究と云ふやうなものは直接婦人達によつて取り上げられる問題だと思ひます。實際には國家の補助もあるべきであつて、自分達の收入に加へて合理的の生活が出來なければならぬので、收入の六分の一以上を家賃に拂ふと云ふ事は非常に危險であると云ふのです。英國などは住宅法と云ふものをこしらへて中產階級以下の人に衛生的の住宅の配給を戰後の都市經營の重大問題として行なつたのであります。我國に於ても國民の厚生問題と云ふ事から私達も種々と考へて居りますが、現在都市の借家狀態が何處も彼方も惡狀態にあると云ふことは我々建築家だけの罪でもありますまい。衛生的の住宅を造ると云ふ事は國家もやつていいのぢやないかと思ひます。そうして我々が手足となつて、いゝ住宅を供給するにあらざれば、此の問題の解決は難しいのぢやないかと思ひます。ドイツなども最近住宅問題が勃興して居りますが、それが非常に効果を上げて居ると報告されて居ります。

棚橋——岡田さん何にかお話はありませんか、御覽になつた建物についての批評とか。

岡田——どう云ふ風に申上たらいゝですか、色々あつちこつちで理想的の家を造つて居られますのを拜見して居りますが、私の先生の西川さんが建築の方を考へられて始終申して居られましたが皆床の間に花を活ける事を考へて居るんだけれども、床の間だけでなく部屋に合ふやうに考へなければならぬと云ふやうな關係から先生の造られた

家は最近私の近所に鐘紡の重役をして居られます三宅さんの宅によいものが出來て居るやうで御座ゐます。一番後でお造りになつた家ですけれどもまだ生々してゐますが、今日もこちらに參ります前に伺つたんです。

西脇——さういふ處を見させて頂けませんか知らん。

岡田——お見せになりますと思ひます。

龜井——住宅の方をやつてゐます小林さんも建築協會の住宅委員會も喜んでさういふ新らしい家は見るやうにすると思ひます。さうして、棚橋先生とか住宅に專門の方の說明をして頂けばそれこそ「建築と社會」の看板を實踐することになる譯ですねエ。

棚橋——今岡田さんのお話で、住宅を建てて植木を植へないと、兵隊にサーベルが落ちてゐるやうで、一寸具合が惡いです、さういふ風に家の中に、殊に日本の家の中に生花がないと淋しいですけれども、實際方々を訪問なすつて專門的にさういふ風なお話を聞かして下さいませんか。

岡田——さうです、どういふ風に申上げたらよろしいか、お家によりますと、隨分いろいろお道具なんか私が參りますと都度變へて樂しんでいらつしやる樣に見える處もありますが、隨分昔式のお宅もございますが最近の家では、一週間に一遍位上りますと、その部度變へて居られてこちらが敎へて頂くことが多いやうに思ひます。

棚橋——竹內さん何か一つ。

竹內——建築物についての批判といふのもおかしうございますけれども、どれといふのぢやありませんが、今までの立派な建築物といふものは最近一、二年餘りございませぬけれども、新らしいのが出來る毎にいつでも私はびつくりするんです立派なといひますか、奇拔なといひますか、お隣りの黑い建物（朝日會館）でも出來た時は喪服を見たやうにびつくりしました。その後にいろいろの建築が出來ますが、新らしいのに感心するんです、處が二、三年經ちますと一方から惡口をいはれるやうになる、さうして餘り奇拔でないやうなものが割合永く經つても矢張りいゝなアと云ふやうな氣が致します。例へば一つのデパートに就いて申しましても、大丸は色々の飾りが澤山ある、初めは綺麗だと思ひましたけれども此の間久振りに大丸の食堂に參りますと食堂が二つに別れて居つて窓のやうなところに飾がある。それを觀て矢張りいゝなと云ふやうな氣がしました。そんな譯で眼新しい變つたものと云ふやうなものに最近の建築は行つて居つたやうですが、割合眼新しくなくつてかへつて何にも奇拔でないやうなところが長持ちがするやうな氣分が致します。

棚橋——確にそうですね。

竹內——京都の朝日新聞でも初めはびつくり致しました。

棚橋——まるで活動の看板みたやうでね。

龜井——矢張り古いものは世の中の色々の批評を受けて洗練したやうなものでありますから、ちよつと見では何でもありませんが、矢張り何處かそれだけ味が出て來るんですね。

竹內——一般にさう云ふ傾向があるやうです。住宅もとてもモダンだと云ふやうな線の眞直な裝飾をなさいまして椅子なんかも飾りもないブツキラボウの物ばかりならべて居りますと、その時はサツパリしたやうですが、終ひにはなんだかつまらないやうな氣がして、多少やさしみのついたものがいゝと云ふやうになります。

棚橋——あまり變つたものは宣傳的價値はありますがね、古いつまらないやうな建物でもよく眺めているといゝのがあります。私はこの間大阪城の前の偕行社の建物をじつと眺めて感心しました何處と云ふ事なく兎に角、偕行社は古い建物でもよく觀ると面白いです。新しいものは刺戟がきつくて、古いものを觀る暇がありませんが、新しい刺戟物に迷はされるんでせう。

龜井——目的があるんですね、矢張朝日會館は朝日新聞として成功して居るのですね。

棚橋——東京の丸ビルなんかも、あゝ云ふ風に色を變へてお化粧を仕直すと又其のために人の眼に入つて來る。

棚橋——時間も來ましたので、この邊で人會にしたいと思ひます。有難うございました。

龜井——いろいろおもしろいお話を伺ひまして結構でした。

★

石原初于氏から當日途中で退室した責任をはたすお考へから下の樣な原稿を送つて來られましたから、當座談會の餘談として採錄しました故御併讀を願ひます。

石原——我々都會生活者は、各郊外電鐵の停車

場、地下鐵、百貨店、ビルデング、劇場、橋、等々の大建築物に日々接し、近代の都市美を滿喫し種々の便宜にめぐまれてゐるのですが、住宅のみは、その大半が不便な借家住居に甘んじねばならぬ現狀にあり、從つて其改良は家主なり、それを建てる任にある建築家の理解による外は無いのであります。

家を建てますには、餅は餅屋にまかせる如く、信用ある建築家に、趣味なり、理想なりをのべて依賴するのが無難だと思ひます。

一夜漬の學問や、見學では到底駄目で、殊に日常の用に追はれてゐる家庭婦人にとつて、建築學の研究は至難の事と存じます。

洋室化論が出てゐましたが、これは各人の必要なり、趣好なりを各自に實現されるべき問題で、日々の事務を取る上に於ては便宜上、洋室も洋服も必要ですが、家庭に於て一日の勞苦を癒すには矢張り、浴衣着に寛いで疊の上に坐つたり、寢たりするのがよろしきかと考へます。

近頃の住宅で第一に困るのは、押入とか、物置とかゞ、少い事で、捨てる事も出來ぬ道具などの多い家では方々に棚を吊つたりなどせねばならずまことに見苦しいものです。倉の無い家には是非物置用の一室が必要で、板敷となし、棚なども出來るだけ多くし、通風採光がよければ申分ありません。臺所は明るくて水はけのよいのが肝要ですが、押入、戸棚などの設けはぜひありたく、湯殿は周圍を白のタイル張りとし、箱風呂がよいと思ひます。洗面所も便所も、白のタイルを張つた方が、清潔を守れて結構です。

客室に經費をかけるのは、一般の通有性で美風でもあり缺點でもあるわけで、來客によき感じを與へやうといふ一面には、見榮を張つて自己滿足を得たい心から、立派にする風習が殘つてゐるのだと思はれます。まあ外出着と、平常着の樣なもので、用意があれば安心でせう。

せまい家では客室兼主人室になつてゐますが、周圍が整頓されてゐれば、それで十分です。

婦人室には、箪笥を入れるための淺い押入樣のものを作り、上の方は戸棚などになつてゐれば便利で體裁もよく、婦人客などお通し出來ませう。

衛生上では家中に日がさす方が、理想的でせうが、一部屋位はほどよき暗さを持つたのがあると夏など氣持が落着きます。

毎日眺めねばならぬ庭は、餘り凝つたり、奇をてらつたりしたもので無い方が、厭きが來なくてよいでせう。

海なり、山なり、野なりの自然の景觀をとり入れる事が出來れば申分ありませんが、都會なり近郊の住宅地では、左樣なわけにも參りませんからその庭の大小に應じて、樹石など多からぬ程度に布置されたものがよろしく、白い砂を入れた庭は整然としてゐて、晴雨の眺め何れもよく、芝生や苔の庭なども好もしいものです。

植物園の縮圖の樣に、さまざまの草木を植込んだものは、めまぐるしく、又廣からぬ庭にコンクリートの池を作り、橋をかけ、燈籠や石など所せまき迄並べ立てたものは、凡そわすらはしく暑くるしいものです。

☆

關西方面の建築物として見るべきは、矢張り大和なり、京都なりの古社寺をあぐべきで、餘りにも當然過ぎる答ですが、法隆寺の金堂、唐招提寺の金堂、藥師寺の塔など、何度見てもその規模なり姿なりには、理由も無く參つて了ひます。すつと下つて、近世のものでは、西本願寺にある山の殿閣で、障壁畵などゝ相俟つて、其豪華さをたゝふべきでせう。

☆

地下鐵の各驛及び各郊外電車の終點驛の建物は各妍をきそひ、豪華さを誇り、我々の眼をうばうて居りますが、南海とか、大軌とか云つた樣な行先がいくつもある驛では、勝手の分らぬ者が、乘車する場合一寸まごつきます。省線の驛の樣に、改札口の上か適當な處へ行先、時間、何番線發車などいふ事を明示する設備が必要と存じます。

☆

百貨店も、それぞれに立派な建築と、施設に目ざましい發展をとげ、殆ど大同小異で申分ありませんが、お願ひしておきたいのは、婦人便所の手洗場の鏡の事です。おしやれな近代女性のために何時も、その前は超滿員で、手を洗ひたくても容易に水道に近づけず、度々不愉快な思ひを致します。あれは全部手洗の處と反對側に取付けるか、鏡をとつて了つて別に化粧室を設けるかして頂きたいものです。暖房、冷房は先づ滿點です。

☆

大きな劇場が、次々に殖えても何處も彼も滿員

々々にはあきれます。設備など考へてゐるものは無く、着物をよごされたり、破られるのが厭だつたり、腦貧血を起し易い人々は、行かぬに限ります。

★

近頃出來た料亭等へ行きますと、廣間の牀柱に自然木を使つてあるのを見受けますが、あれは惡趣味です。旗亭等は數寄屋式のもので、餘り凝つてないのがよろしく思ひます。

それからぎらぎらと光る黑い壁、桃色のかべ、赤い屋根等、好ましからぬものです。

★

俳人が憧れを持つ家は、低い土塀をめぐらした藁屋葺のどつしりした構へのもので、門庭などあり、中へは入ると、まはりくどがあり、爐が切つてあると云つた樣な、古めかしく、なつかしい匂ひのする家です。

京都あたりの紅がら塗の家も、好もしいものです。

★

建物を俳句の方で扱つてゐるのは、藤原時代の寢殿造に設けられてゐる。釣殿、泉殿、などで水殿とも稱し、又瀑を見るために、設けられた瀑殿等、いづれも夏の人事の季題として、現在でも作句してゐます。2. 3の例句をあげて見ませう。

欄によりて魚數ふべく泉殿　　月斗
泉殿急雨に魚の飛ぶ見ゆる　　月斗
泉殿淡き火影の水に落つ　　青村
釣殿や水澄みあやめ杜若　　千燈
瀑殿の廂の苔の青さ哉　　青峯

訂　正

本誌5月號古村孝義氏「四天王寺五重の塔に就て」の論文中第17頁2行目「享保(誤)は享和(正)」に付訂正します。



外 觀 の 1

位　置　滋賀縣大津市東浦1番地ノ1

敷地面積　約 7.000坪

廳舍構造　鐵筋コンクリート耐震耐火構造（1部鐵骨造）4階建1部ニ地下防護室及屋上ニ塔屋ヲ設ク

建築面積　床面積

地　階	1.277.509平方米		386.4460坪
1　階	3.597.135	同	1.088.1332同
2　階	3.429.520	同	1.037.4298同
3　階	3.429.520	同	1.037.4298同
4　階	3.429.520	同	1.037.4298同
塔　屋	405.045	同	122.5261同
延面積	15.568.249	同	4.709.3947同

建物高サ　屋根『パラペツト』上端・建築地盤面ヨリ20.00米

正面塔屋『パラペツト』上端 同27.40同

同　塔屋　2階　同35.50同

塔屋最高部　44.60同

建築樣式　新日本近世式

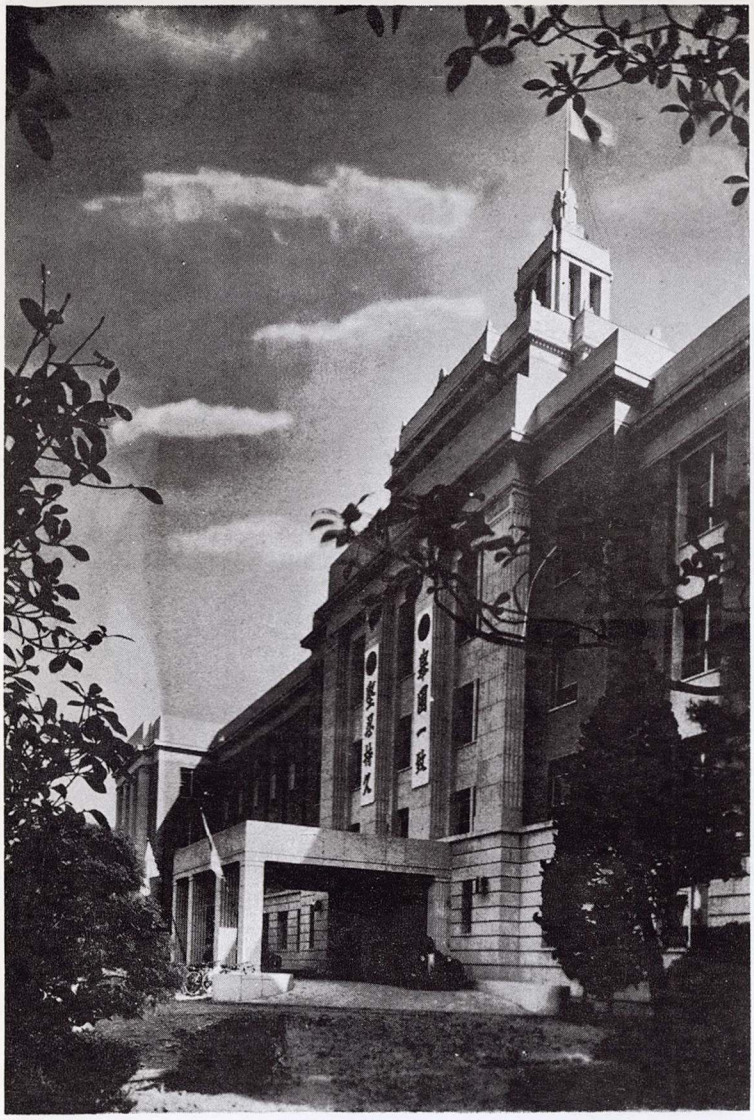
設計監督　工學博士　佐藤功一　工學士　國枝　博

施　工　株式會社　大　林　組

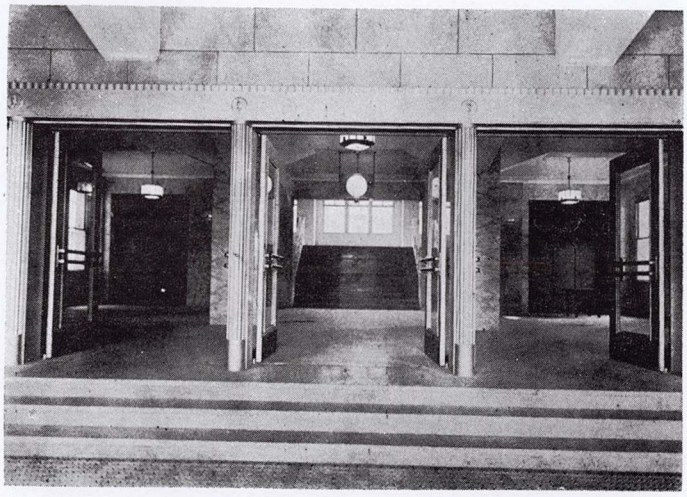
工　程　起　工　昭和12年10月1日

竣　工　昭和14年5月16日

“滋賀縣廳舍”　設計・佐藤功一・國枝　博・施工・大林組

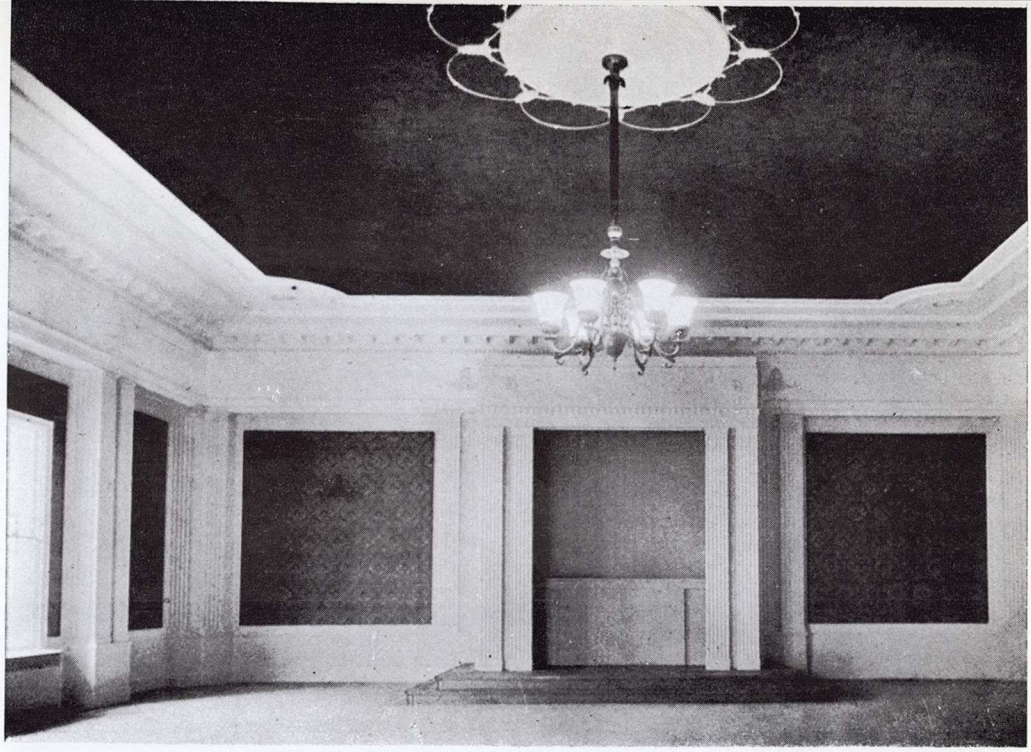


外觀の2

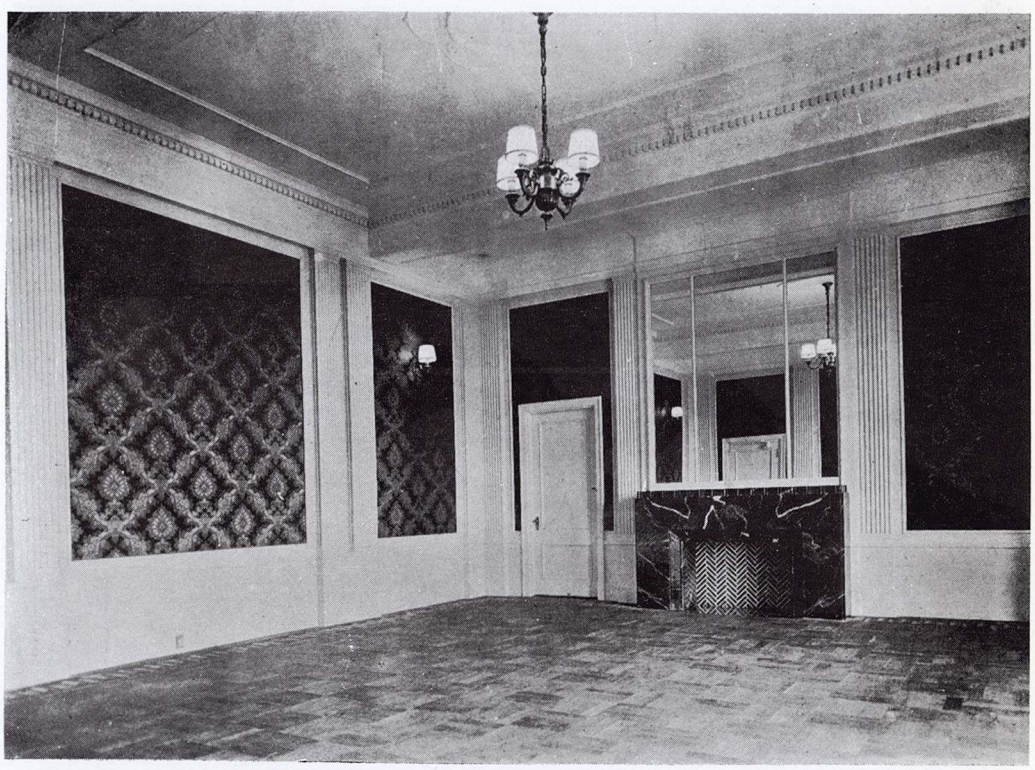


正面玄關

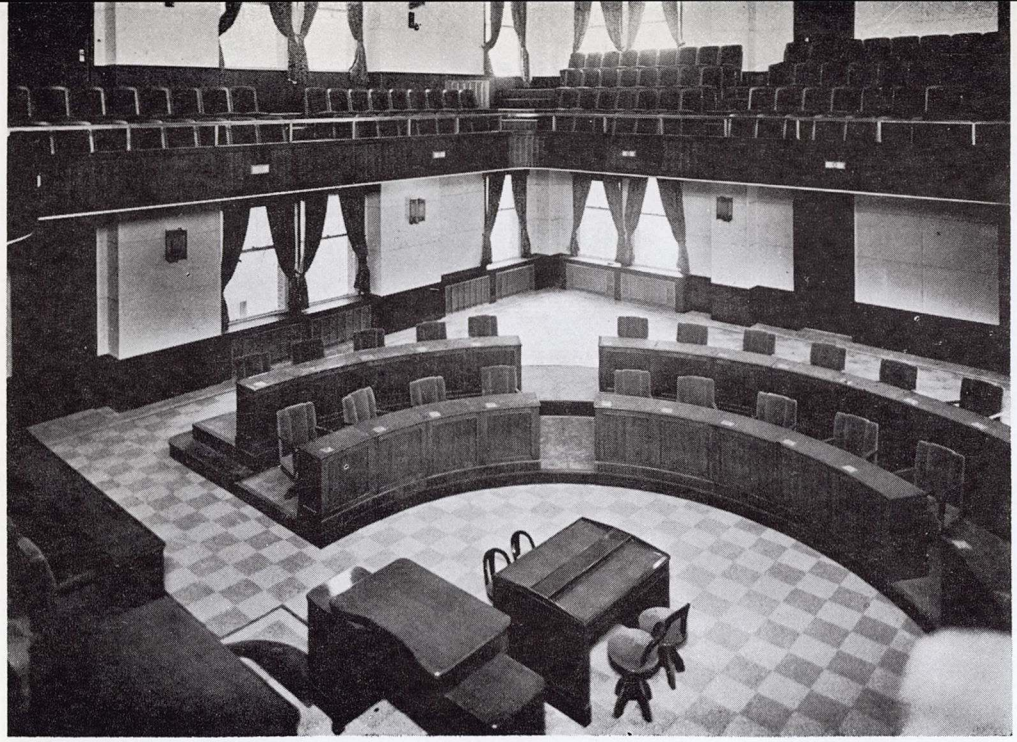
VI 2 “滋賀縣廳舍” 設計・佐藤功一・國枝 博・施工・大林組



正　　廳



貴　賓　室



議　事　堂



議　事　堂



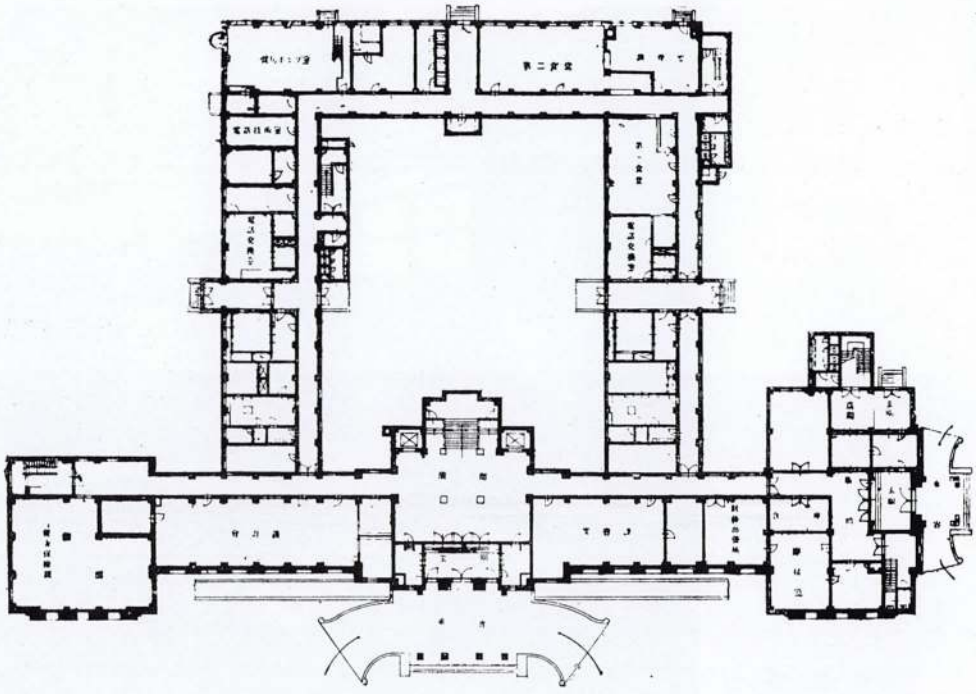
貴賓應接室



參事會室

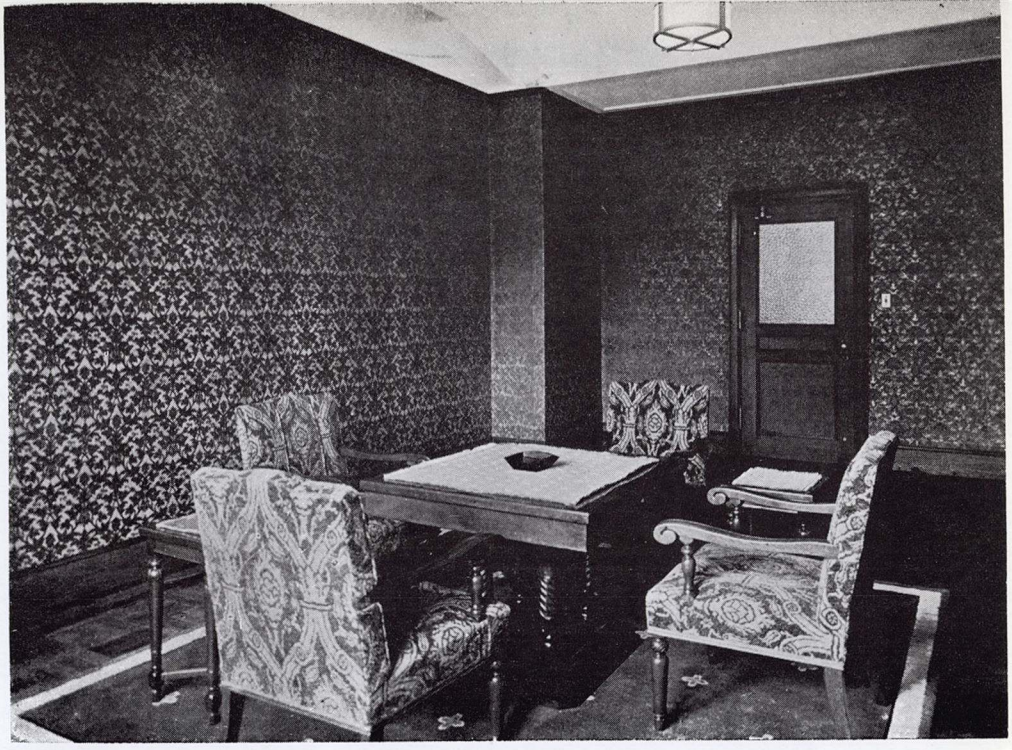


知　事　室

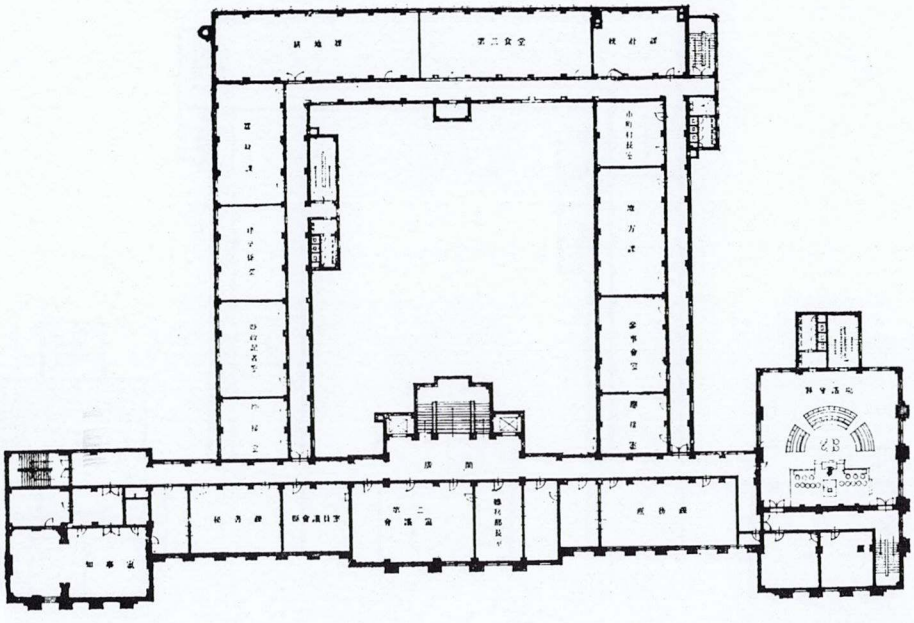


（一　階　平　面　圖）

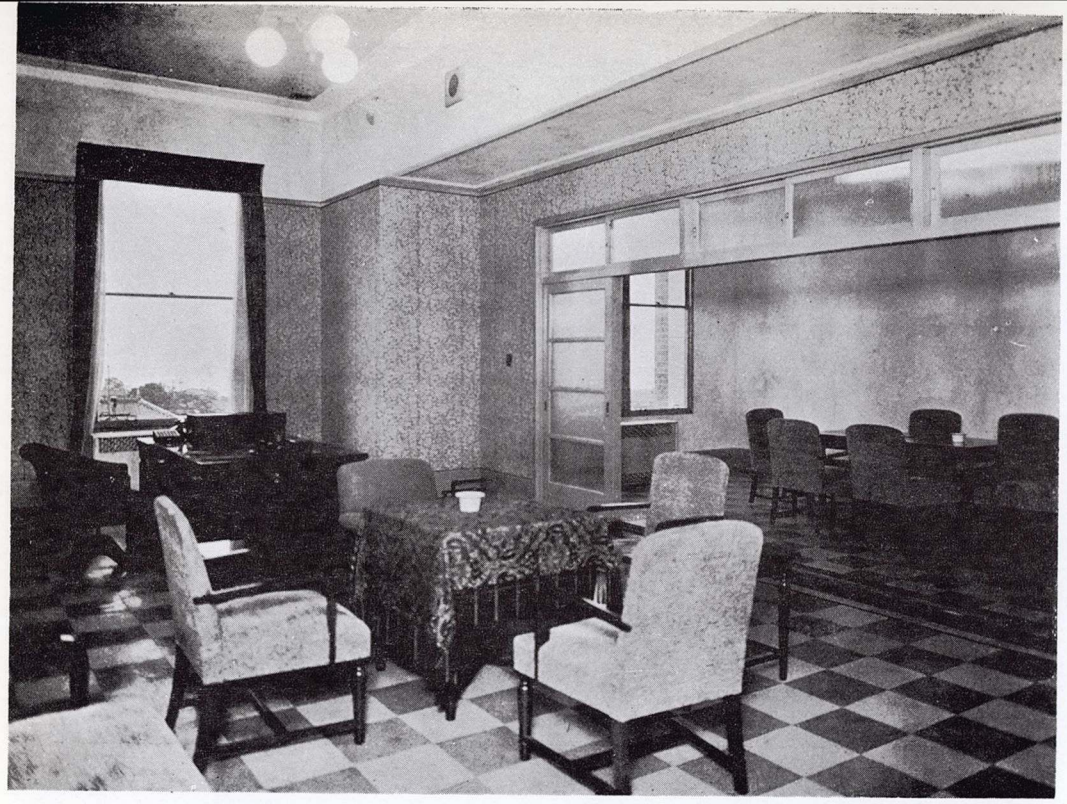
VI 6 “滋賀縣廳舍”　設計・佐藤功一・國技　博・施工・大林組



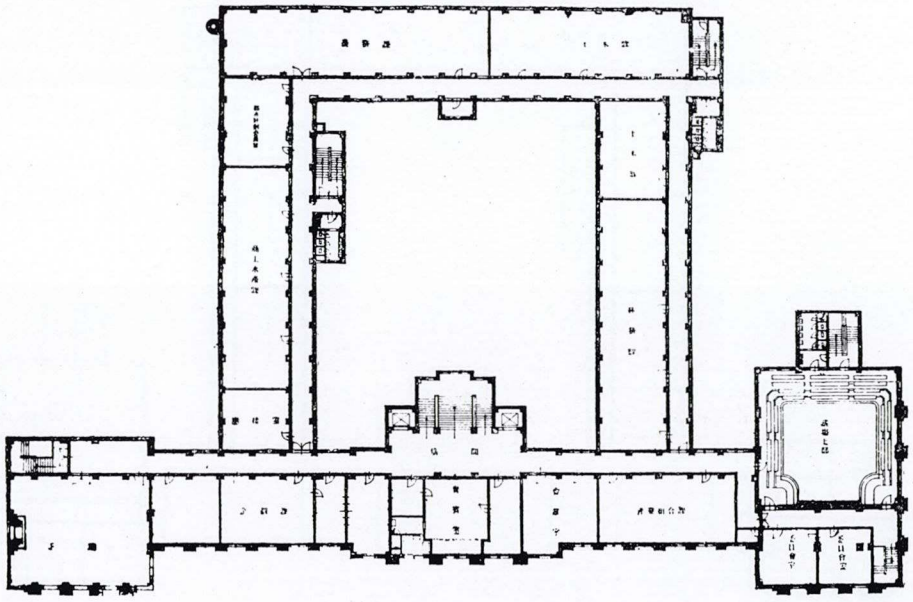
知事應接室



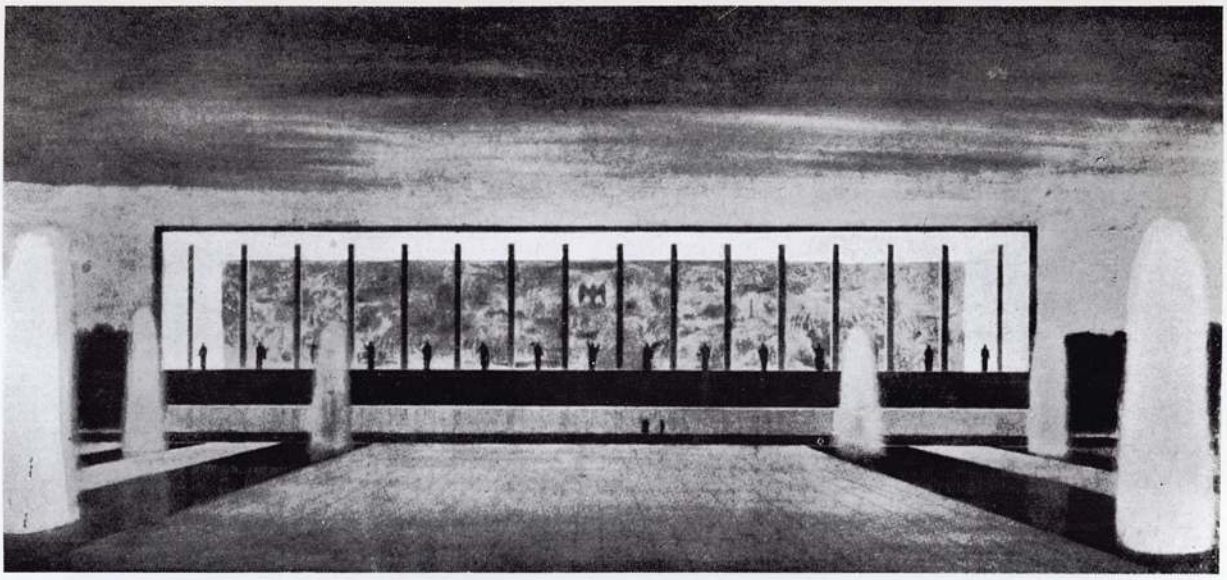
(三階平面圖)



部　長　室



(四　階　平　面　圖)

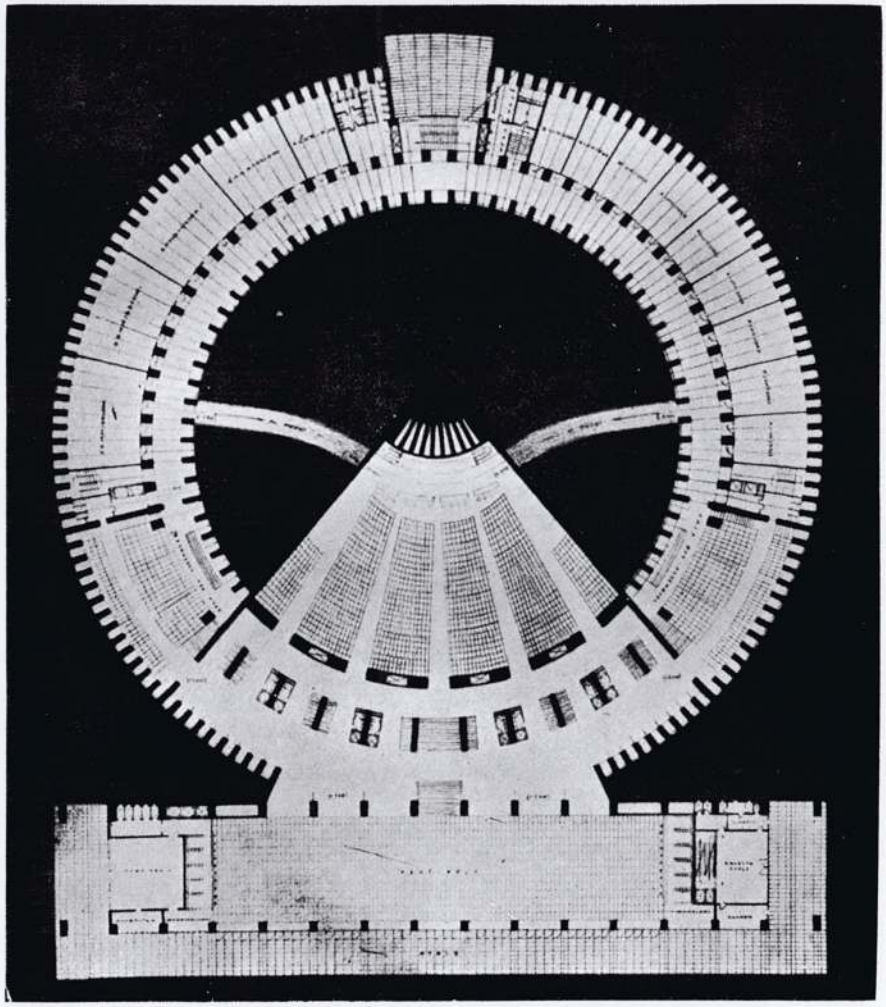


正 面 配 景 圖

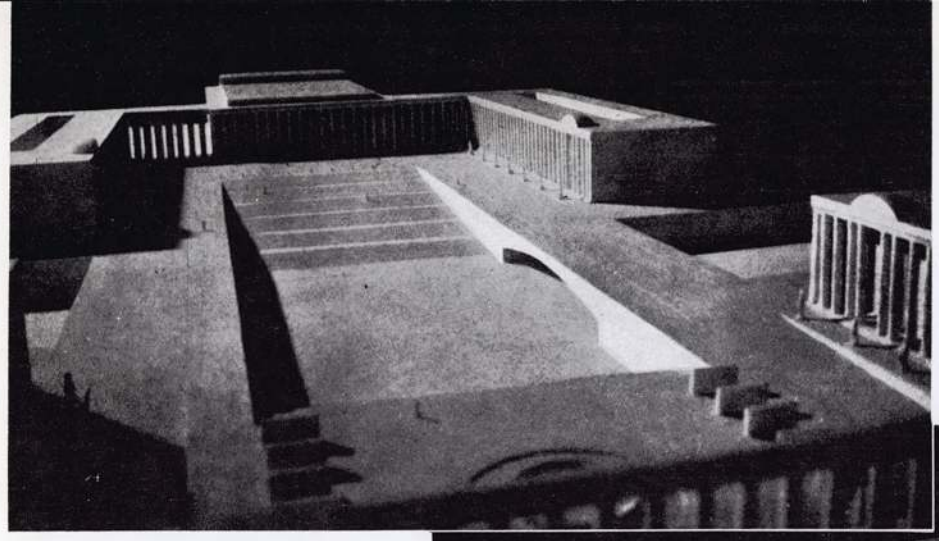
1942年ローマ近郊に於て開催さるべき萬國博覽會の重要施設に對して次の四つの設計競技が行はれた

1 饗宴及會議館
2 イタリヤ文化會館
3 帝 國 廣 場
4 軍 人 廣 場

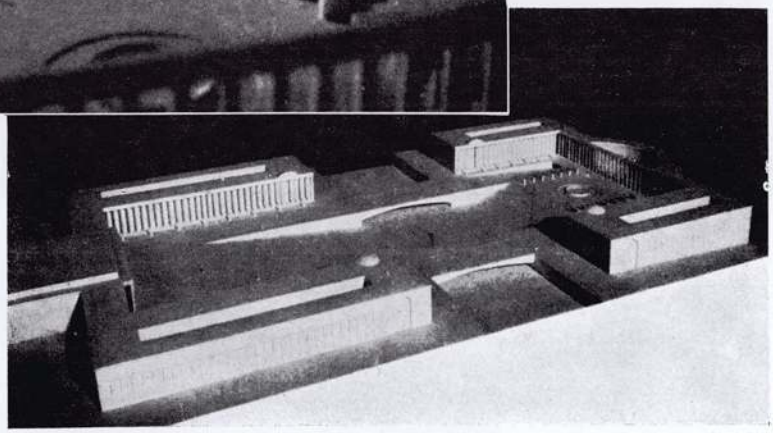
(Architettura Dic., 1938 より)



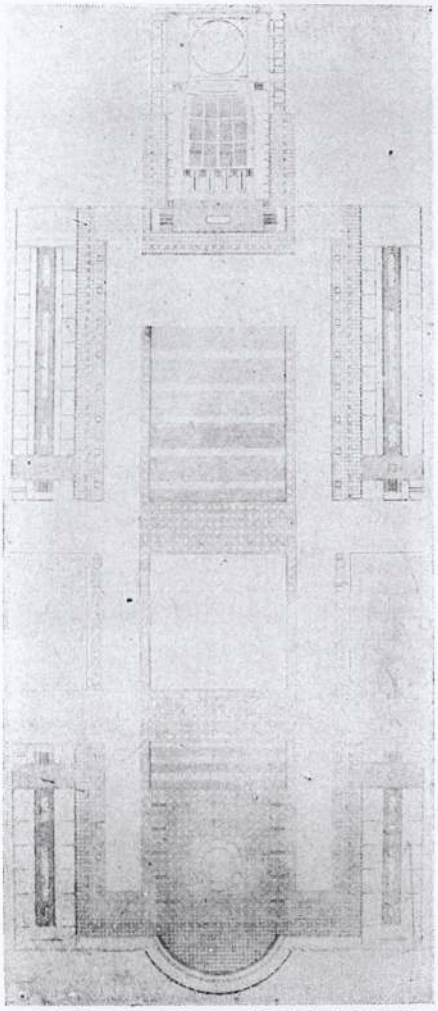
平 面 圖 饗宴場（1300m²）、大集會場（3000席）、小集會場2室、會議室6室、圖書室、食堂等あり。



模　型

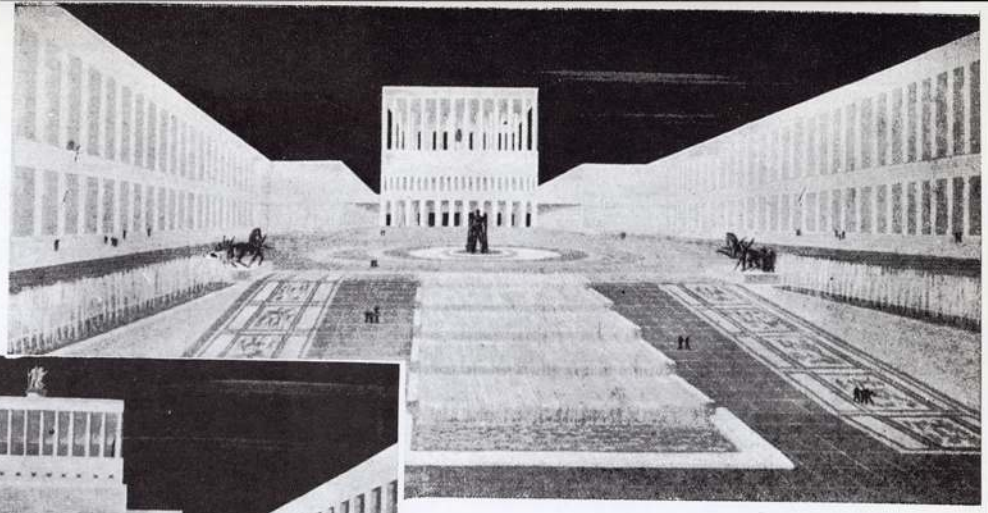


模　型

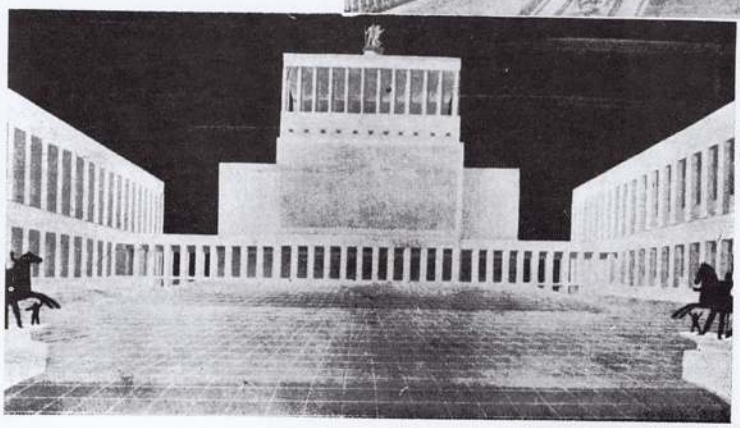


平　面　圖

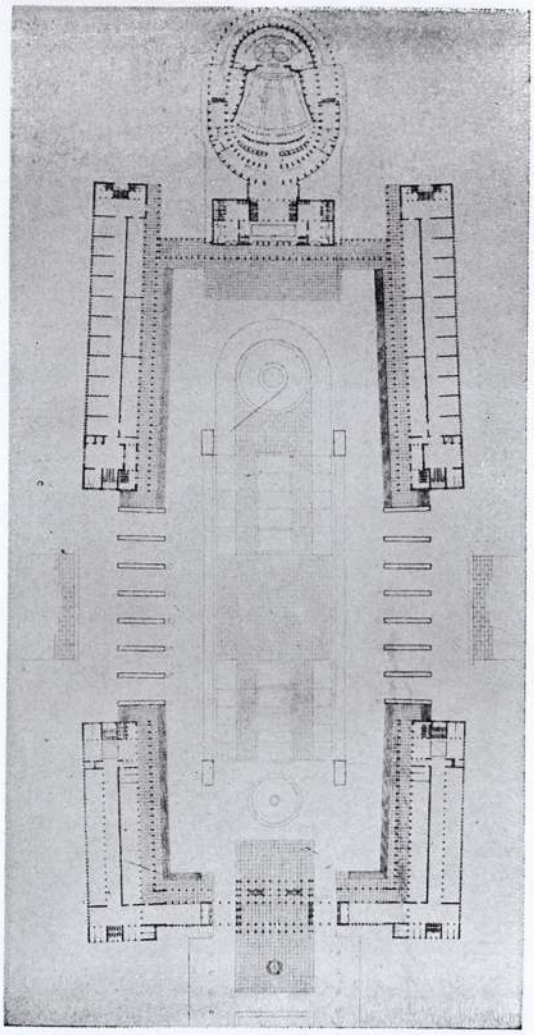
VI 10 （イタリー） イタリー萬國博建築競技設計案・帝國廣場入選案の1　建築家 F. Fariello ほか2名



透視圖

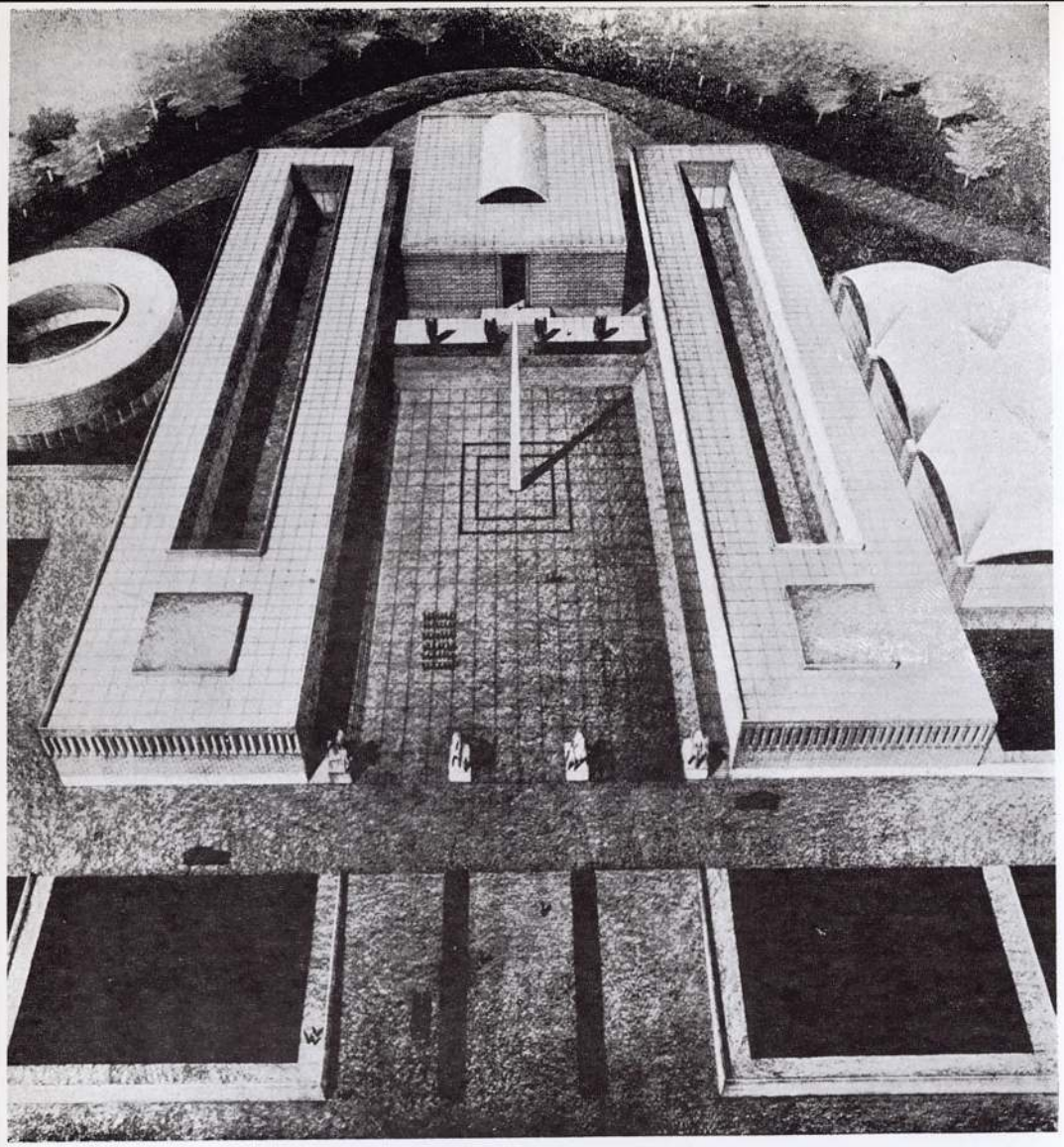


透視圖

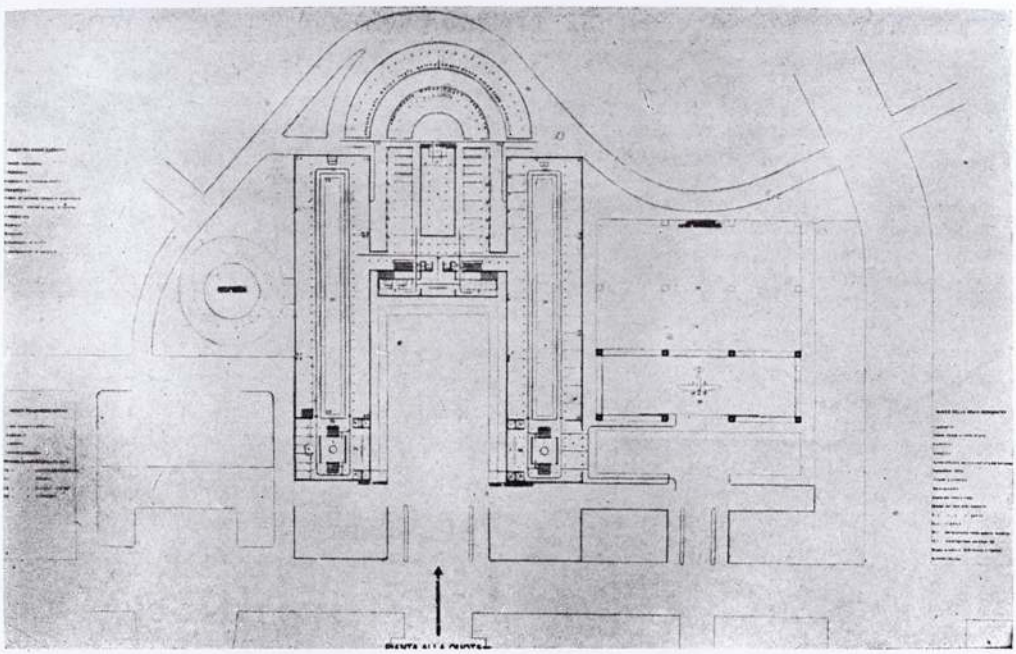


平面圖

（イタリー） イタリー萬國博建築競技設計案・帝國廣場入選案の2　建築家 Luigi Moretti



透視圖

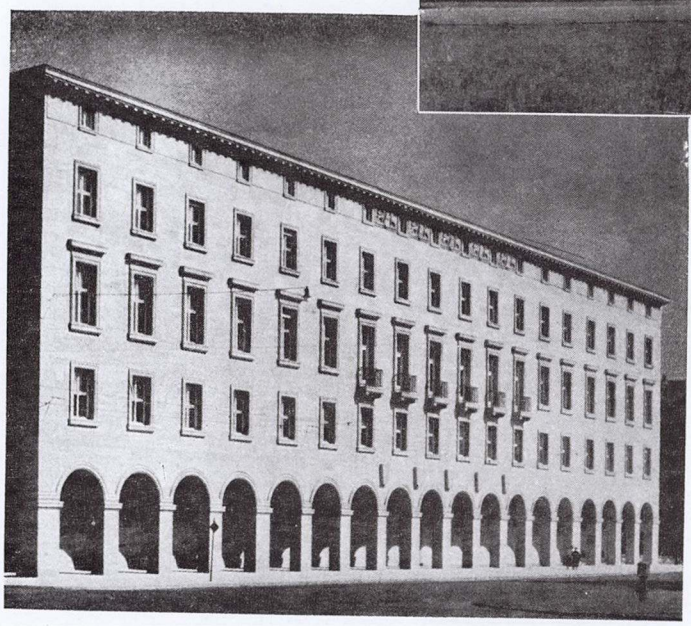


平面圖

VI 12 （イタリー） イタリー萬國博建築競技設計案・軍人廣場　　建築家 Morio de Renzi



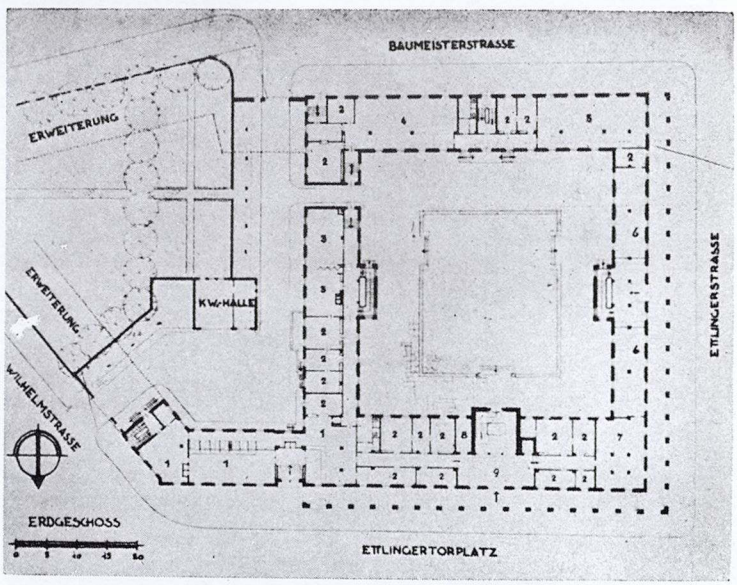
外　觀



外　觀

1924年．ビリング博士の受賞せる設計案を原案とし．古いカール・フリードリツヒ街の中心に記念碑要素を考慮して意匠された。平面計畫に於ては特に交通處理の點に留意されて居る。東面には擴張計劃があり．南は道を隔て，奏樂堂や祝祭廣場に對し．西及び北側は歩道に對し柱廊になつて居る。

(Baumeister, April, 1939 より)



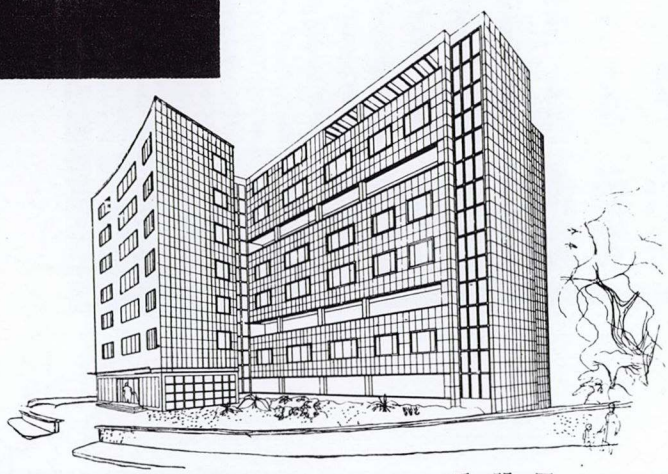
平面圖



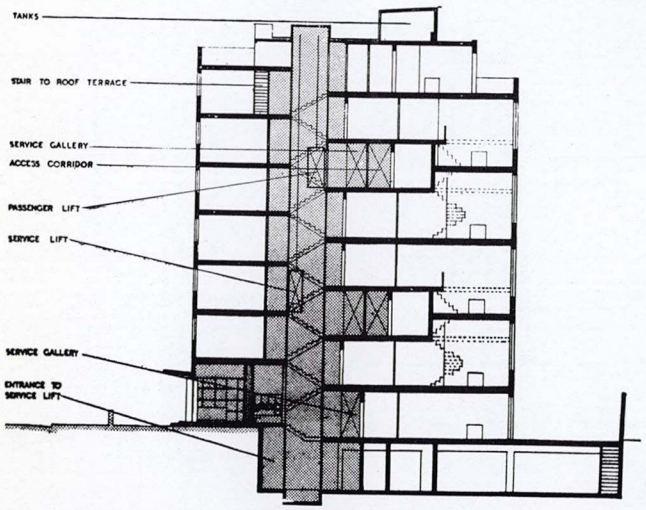
外　　觀

鐵筋コンクリート造．主要ブロックは所謂“three two”式を最初に試みたものとして興味がある。之は二戸で三階分を使用し．天井高さの高い居間を二階としたもので．廣い居間を有する高級アパートの空間を經濟的に利用し得る長所がある。その概要は第4圖に示す通りである。但し西側のブロックは此式を採用してゐない。傾地下室は大部分を車庫として利用し．斜道によつて20車を格納する事が出來る。

(Architectural Review, April, 1939 より)

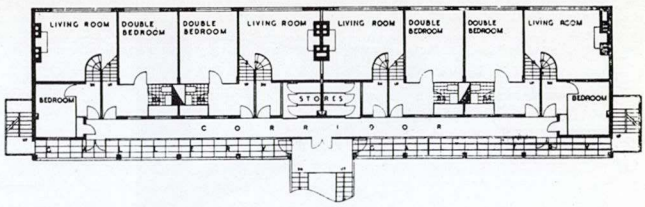


透　視　圖

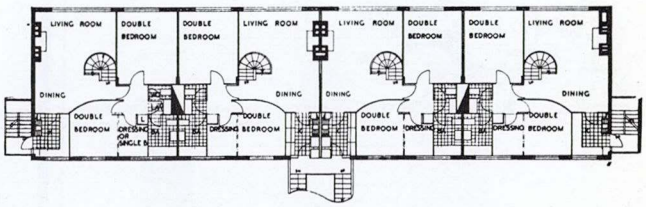


斷　面　圖

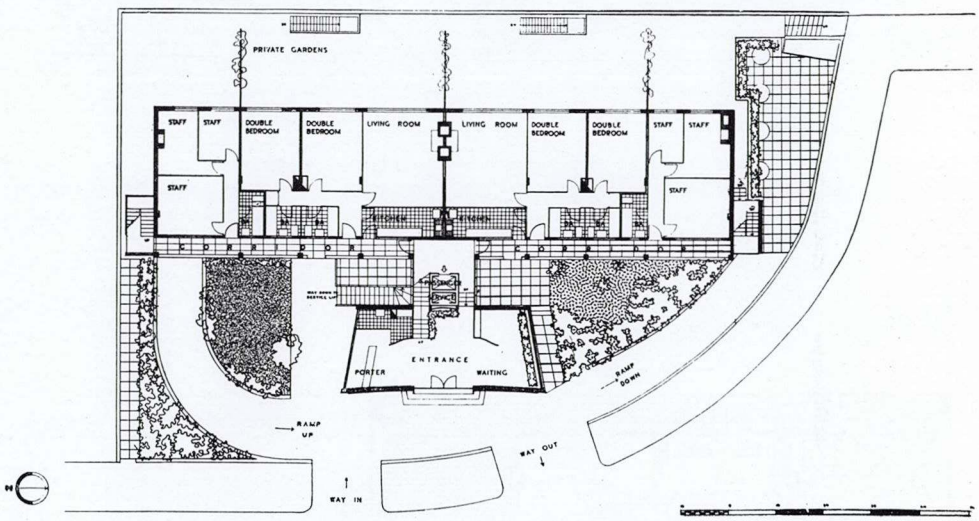
VI 14 (イギリス) アパートメント　　建築家 Wells Coates



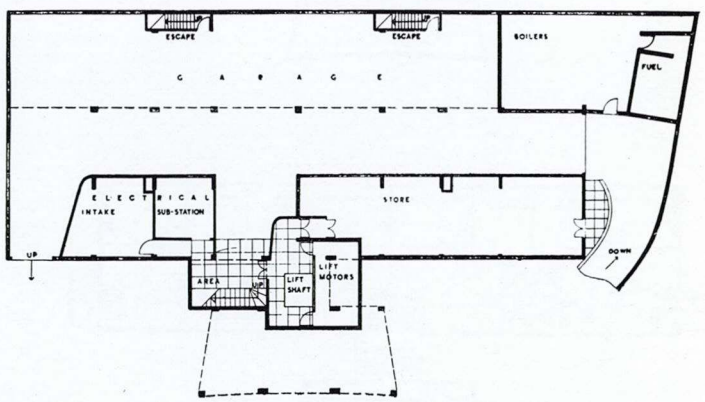
標準中階平面圖



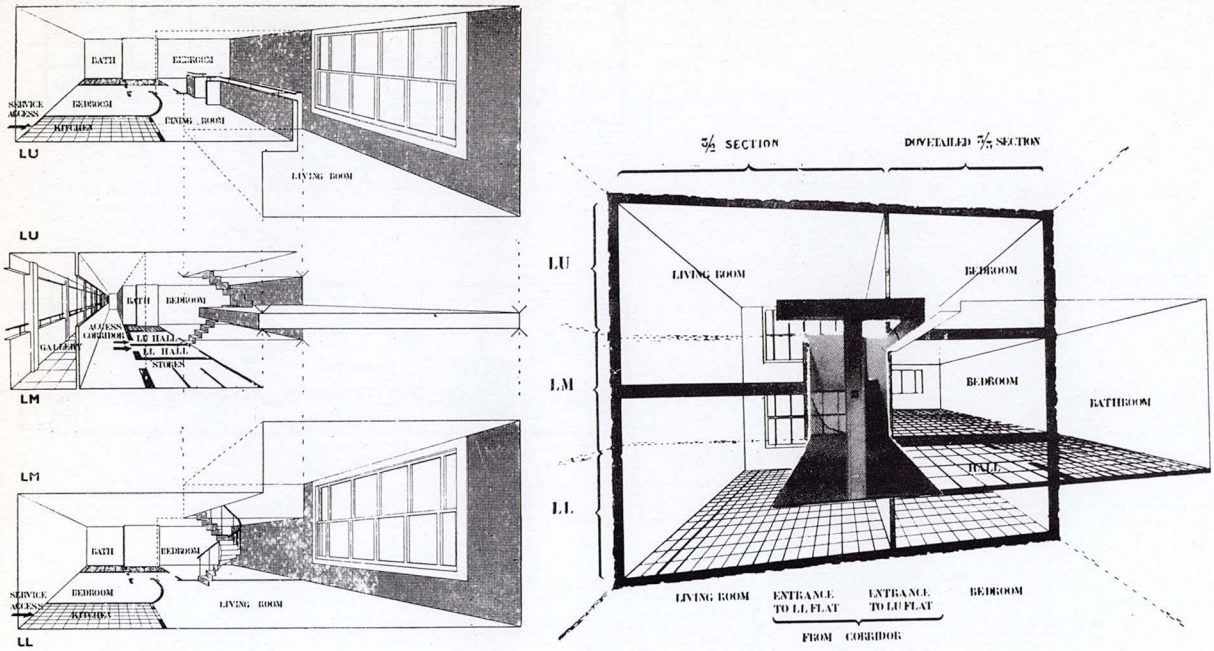
標準下階平面圖



I 階 平 面 圖



地 階 平 面 圖

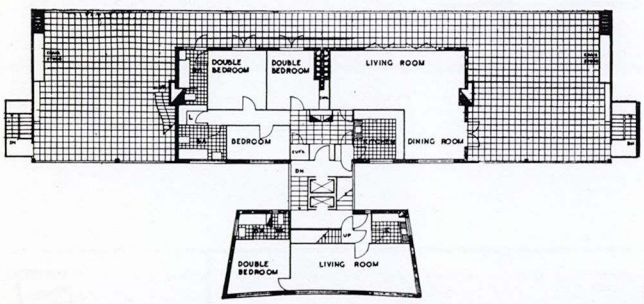


"Three two" 式說明圖

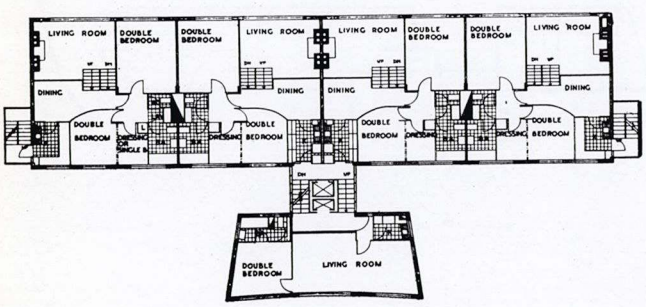
LU ： 上 段

LM ： 中 段

LL ： 下 段



最 上 階 平 面 圖

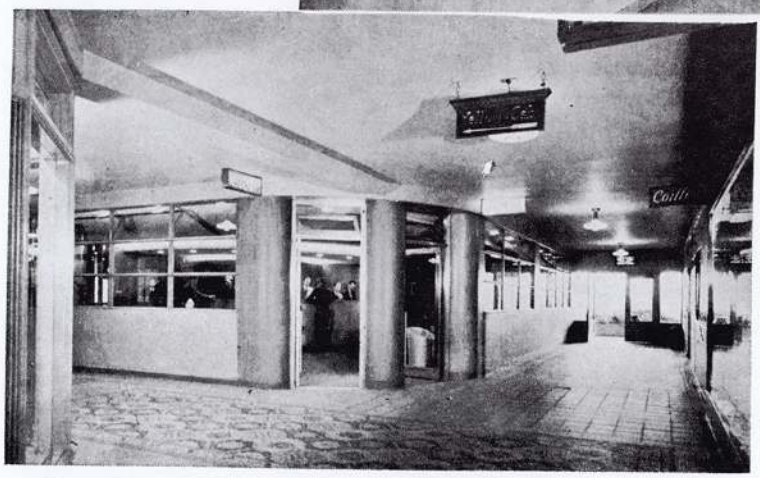


標 準 上 階 平 面 圖

VI 16 （イギリス） アパートメント　　建築家 Wells Coates



ロツビーから見た
主要出入口



營業室

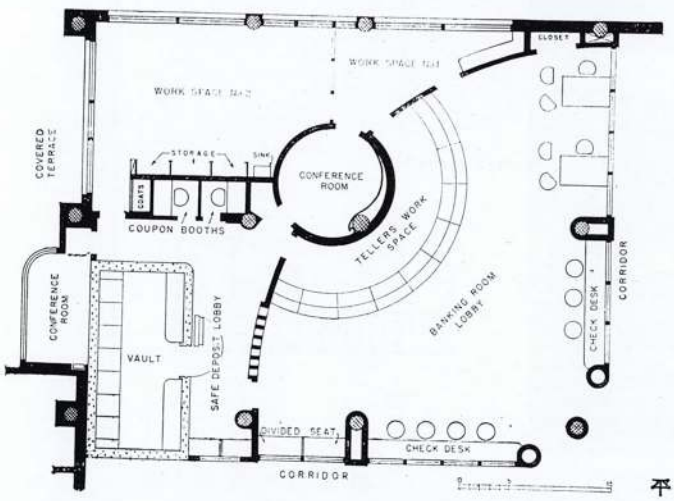
これはロスアンゼルスの「Ambassador Hotel」1階のロビーに設けられた銀行であつて．既存の柱を巧みに利用すると共に．天井の低いのにも拘はらず．各室の調子をそこなはぬ樣に出來得る限りの最少面積でうまく考へられてゐる。

平面圖の網目のかゝつた柱が既存の柱でそれを基にして．中央の圓形の支配人室を中心に他の各室を四方に配置したのであるが．それらの柱も巧みにカバーされ裝飾されてゐる。

照明は．カウンターとデスクの上方に天井に秘められた電灯がある。

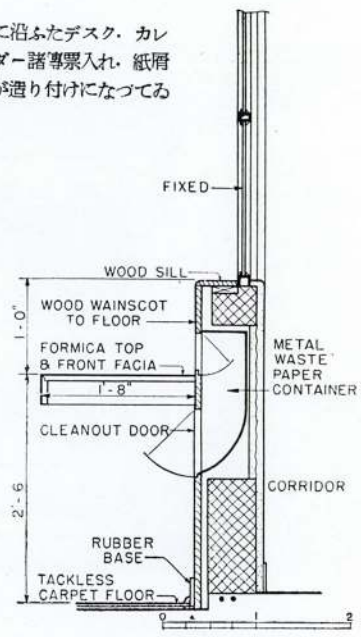
(Architectural Record, March, 1939 より)

半圓形のカウンター．背部の圓形の室は支配人室



平面圖

壁に沿ふたデスク．カレンダー諸傳票入れ．紙屑箱が遣り付けになつてゐる

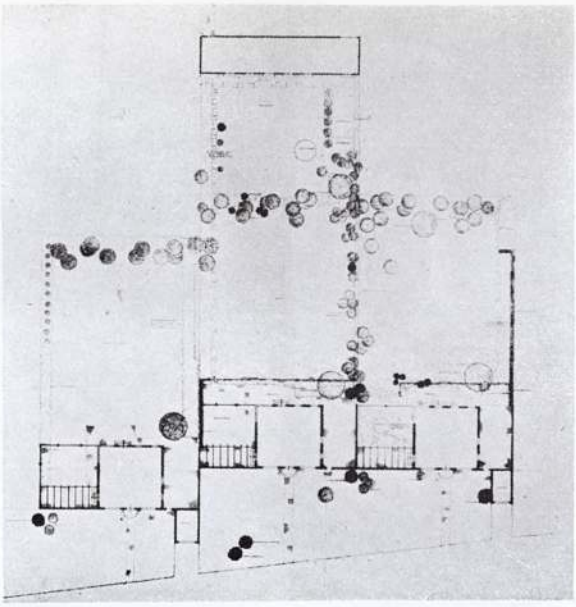


(アメリカ) ホテルのロツビーに出來た銀行

建築家 Stiles O. Clements



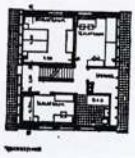
4戸の中1戸の外観



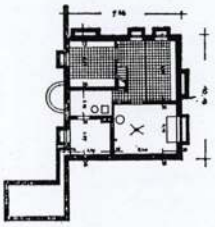
4戸住宅配置圖

ジードルンク。''ヘルレンヴィース,,は各戸別になる "Ramersdorf" 風集合住宅であつて・緑の木立と芝生に對し良く調和し緊密な平面計畫は一階・屋階共に優秀な効果を發揮し・居室は庭に其儘延長されて・よき結合を示して居る。

(Baumeister, April, 1939 より)



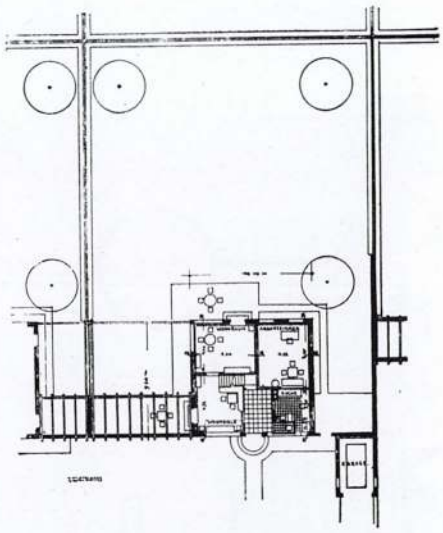
2 階



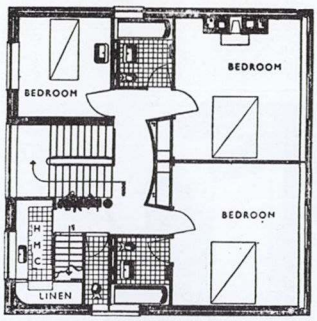
地 階



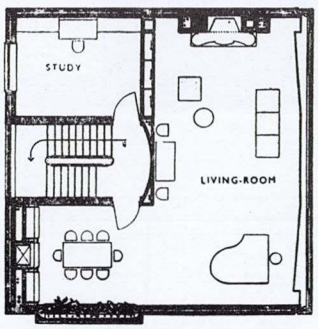
各戸の藤棚下の1隅



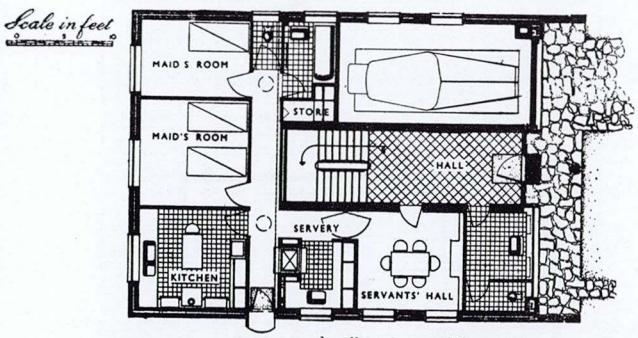
標準型平面圖1階



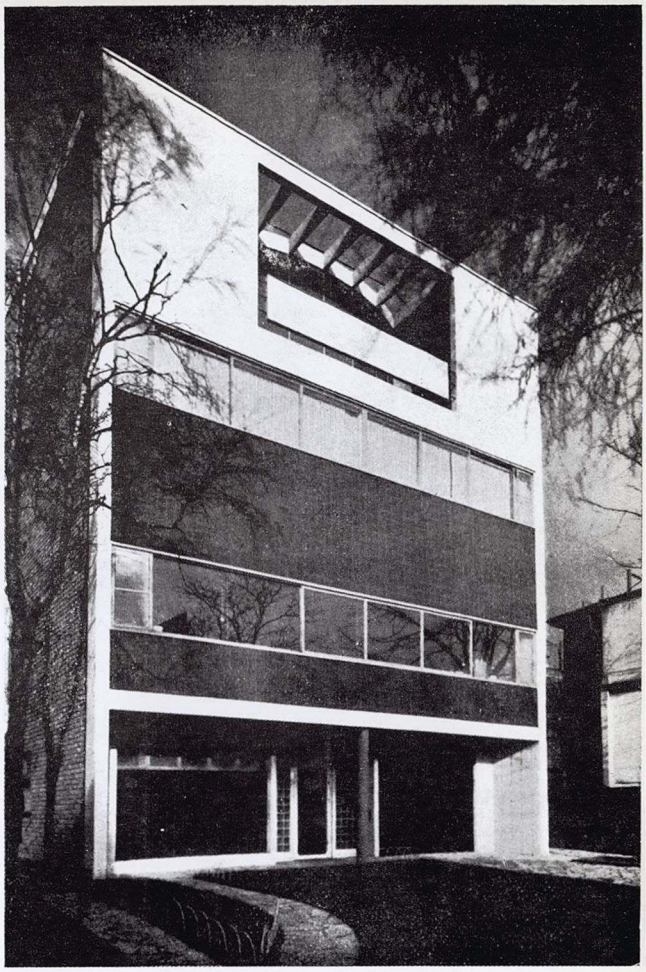
3 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖



1 階 平 面 圖

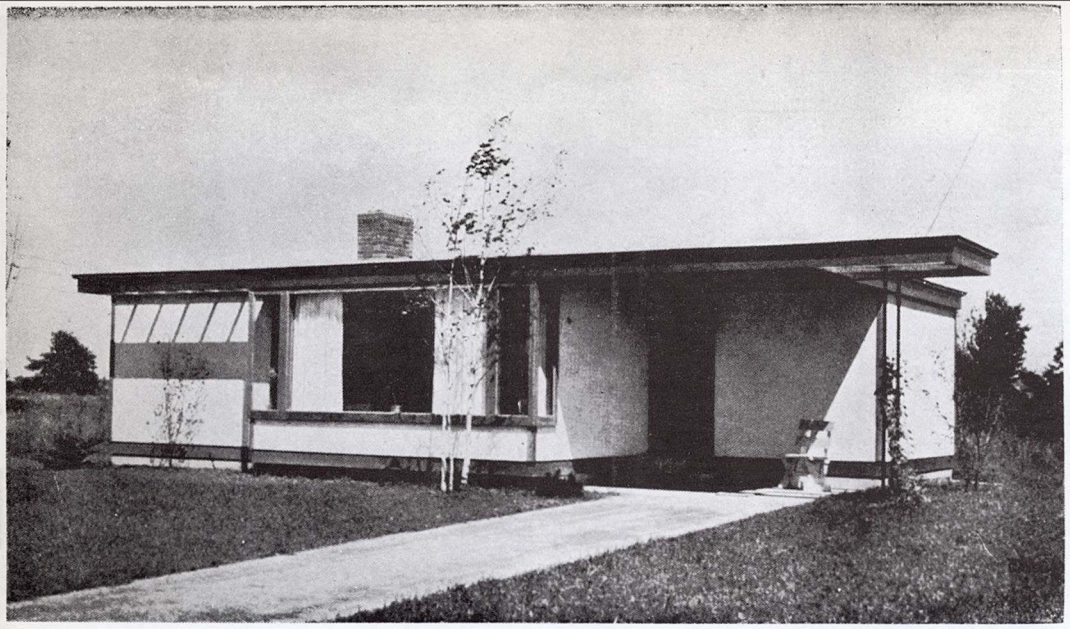


正 面 外 觀

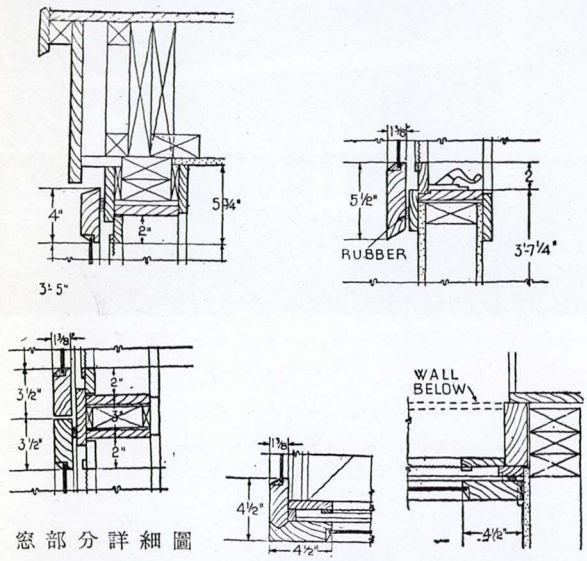
(Architectural Review, March, 1939 より)



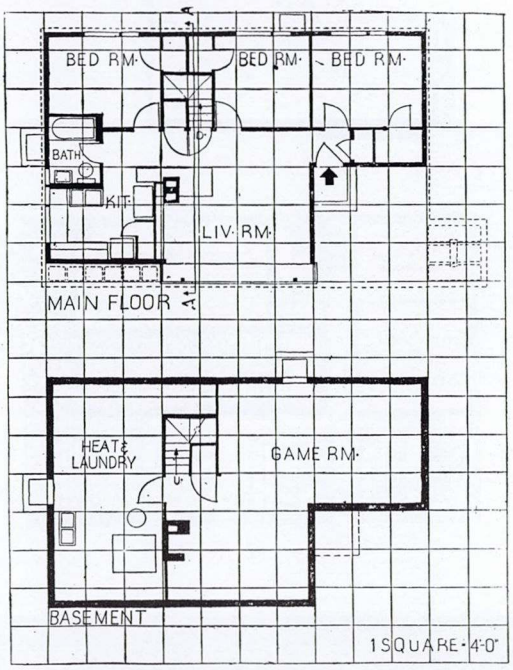
居 間 內 部



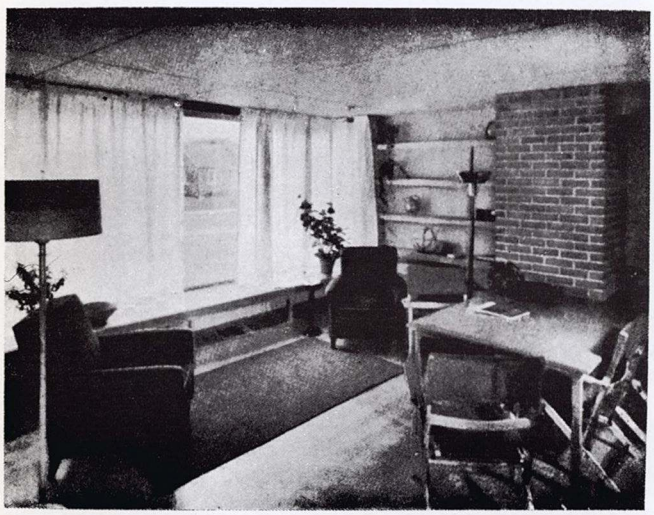
外　　觀



窓部分詳細圖



平　面　圖



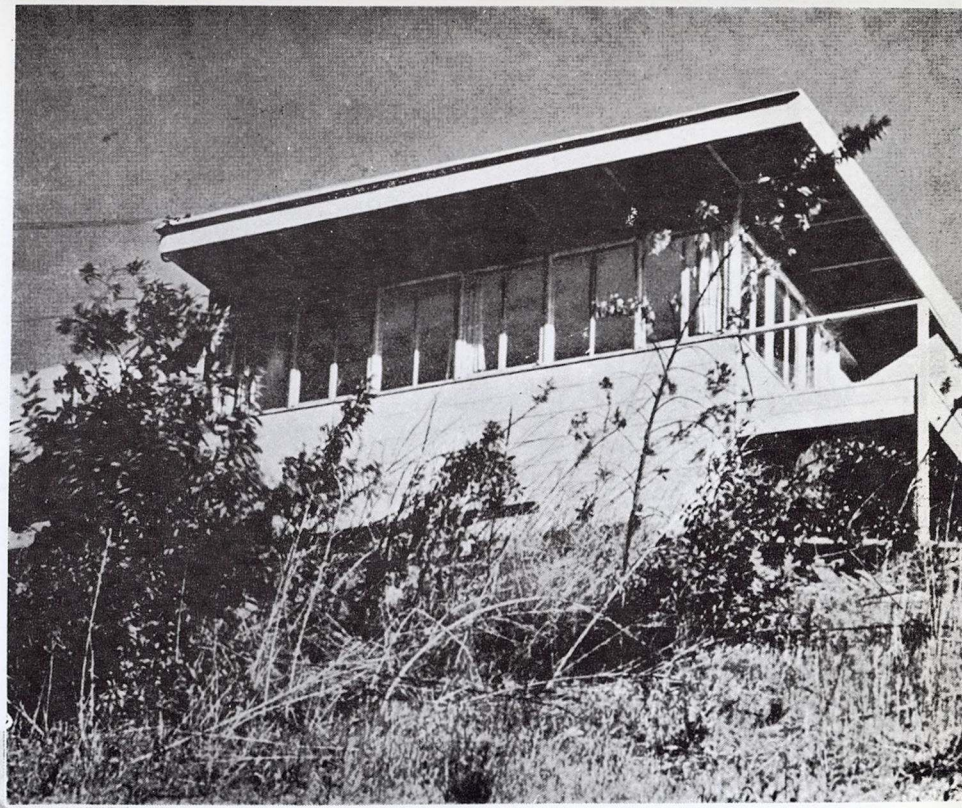
居　間　內　部

非常に簡潔な平面を有する地階附平家建の小住宅。各部分とも細部はよく研究せられ入念に施工せられてゐるが、殊に居間の出窓の部分をカンテイレバーで突き出し基礎を省略した點、その部分の窓の構造等は注目の價値がある。

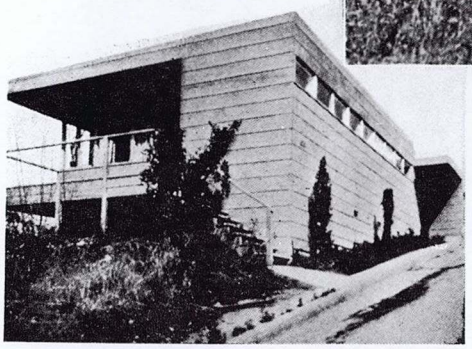
地階はコンクリート・ブロック積（防水はアスファルト防水）、1階は木造、容積 15,440立方呎。

(Architectural Forum, April, 1939 より)

VI 20 （アメリカ）ミドランドの住宅　　建築家 Alden B. Dow



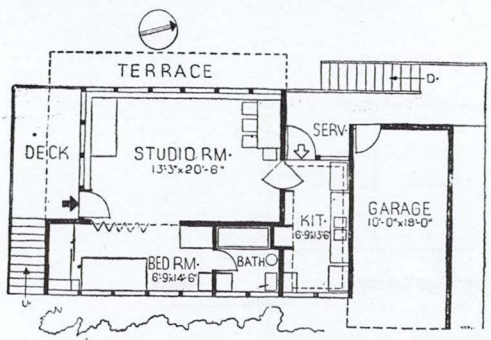
東側外觀



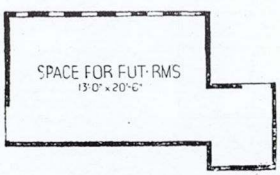
南側外觀

傾斜地に建てられたスタデイオの外に唯1つの寢室を有する小住宅。その寢室もスタデイオの一部分となる樣に工夫せられてゐる。工費を節約する爲に出來る限間仕切を省略し・間取も骨組が規則的に行く樣に出來てゐる。窓はスタデイオの二方に大きく開かれ・道路の側は1條の高窓が取られてゐる。窓建具は何れも敷殺しと開きとが交互になつてゐる。將來の擴張は地階に豫定せられ寢室2つと浴室とが設けられるだけの廣さがある。敷地の廣さ50呎×135呎・建物の容積6,400立方呎。

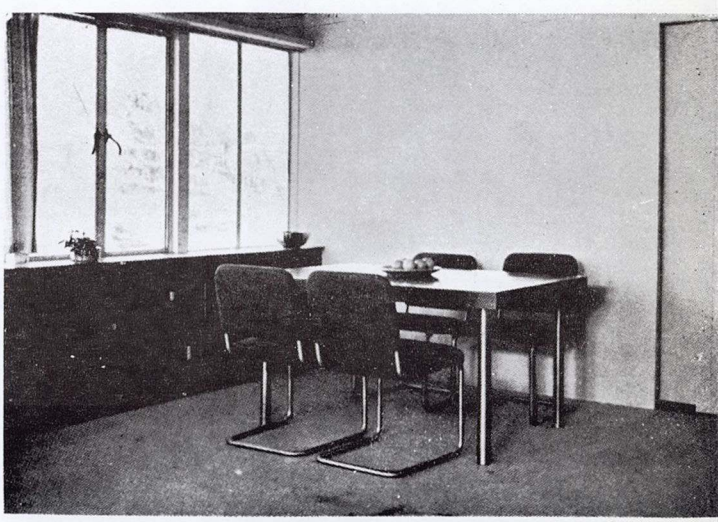
(Architectural Forum, April, 1939 より)



1階平面圖



地階平面圖



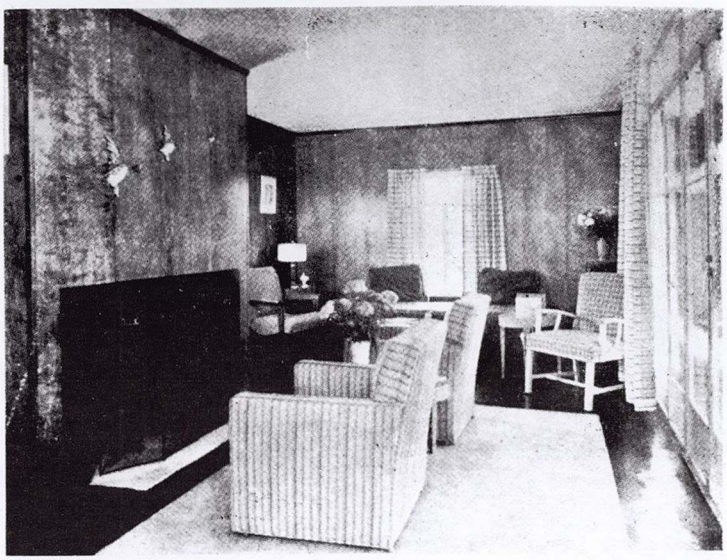
食堂



外　　觀

1つの標準型の小住宅として．建築用材料をはじめ扉．窓建具から物入其他の家具まで1組として賣出されてゐるもので．週末住宅又はアパートメント風の小住宅として適當なものである。この住宅で最も注目すべきは．2つの寢室の間の廣間に設置せられたキツチエネツトであろう。これは壓縮された臺所のセツトとでも云ふべきもので．冷藏庫からストーブまで附いてゐるといふ便利なもので．臺所の面積を節約する爲に．この上もなく役に立つ。骨組に構造用のモート・ステイールを用ひ．室內はベニヤ板仕上。敷地を含む賣價 3,500弗。

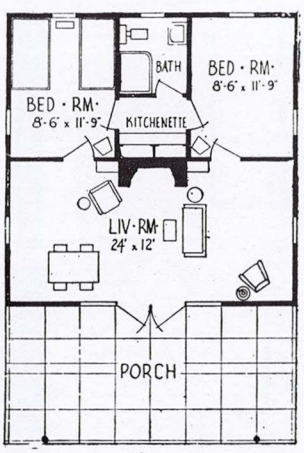
(Architectural Forum, April, 1939 より)



居　　間



キツチエネツト



SCALE-½"-1'-0"　平　面　圖

VI 22　(アメリカ) オハイオの住宅　　建築家 B. J. McGarry

この住宅の最も大きな特色は窓の取扱ひである。間柱の間に板硝子を嵌込んで窓は一切開かず．換氣は窓の下のガラリから行ふことになつてゐる。

障子組子の爲に眺望が妨げられてゐることがなく．盜人に安全であり．冬は熱の損失が少く．風雨の時にも充分の換氣が出來る等の長所があると．設計者は言つてゐる。

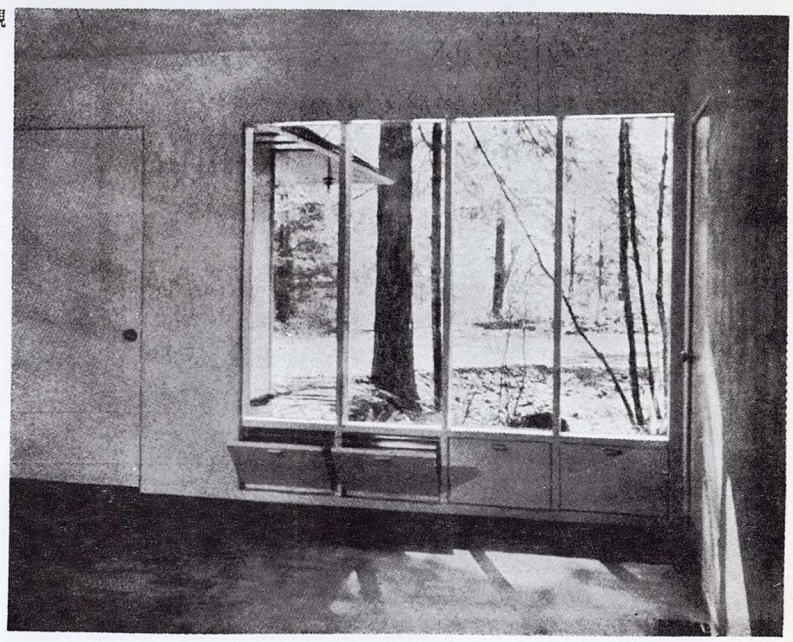
敷地面積　72呎×126呎。

建物容積　7,800立方呎。

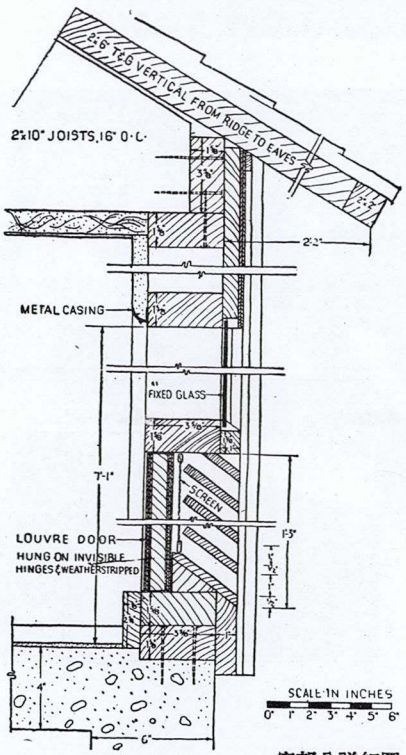
（Architectural Forum, April, 1939 より）



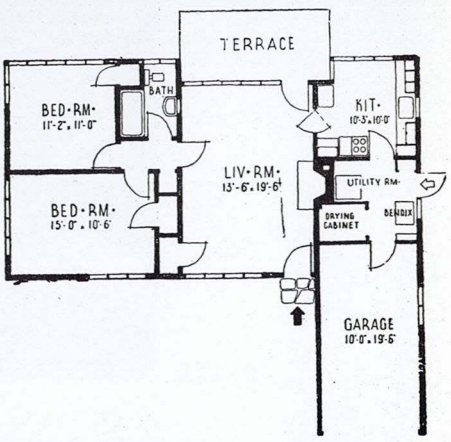
外　觀



居　間



窓部分詳細圖



平面圖

SCALE - 1/16" = 1'-0"

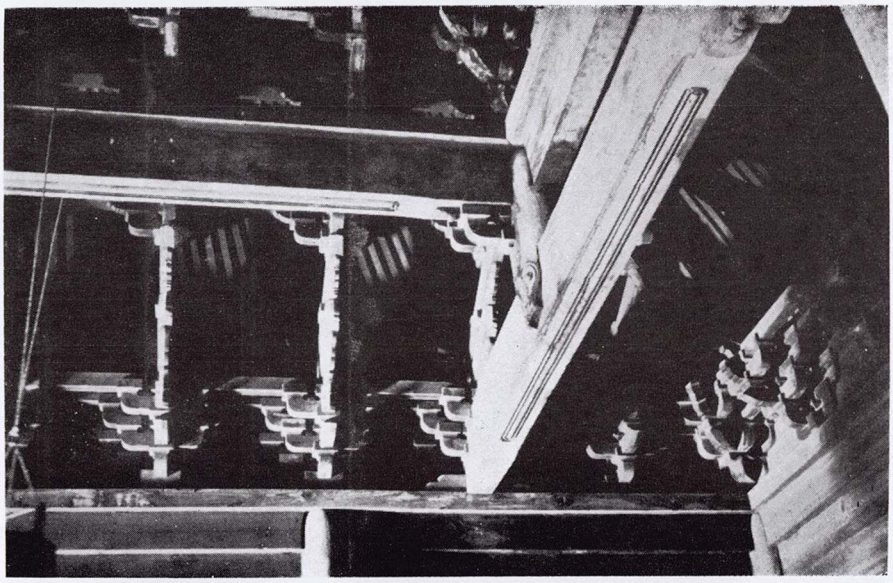
（アメリカ）ポートランドの小住宅　建築家 John Yeon

古建築新抄 (4)

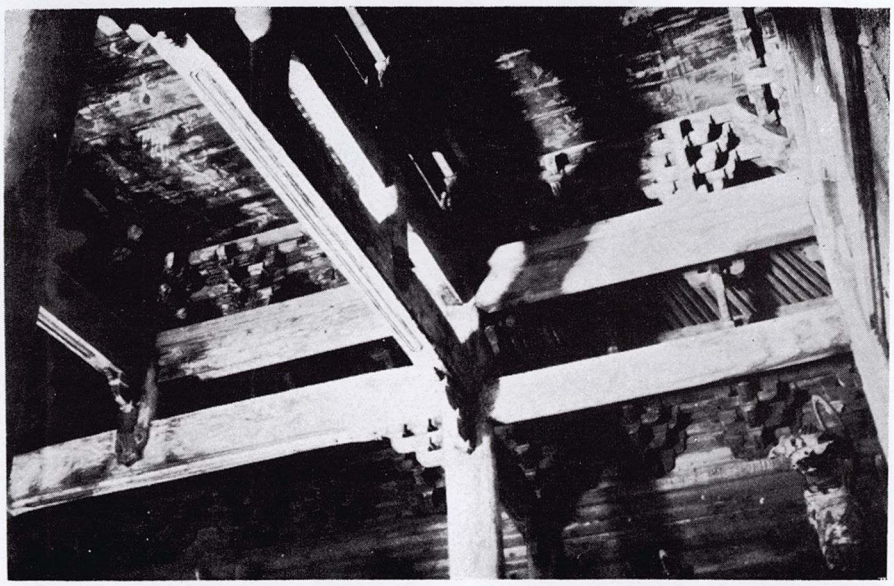
藤原義一

唐様の奇構

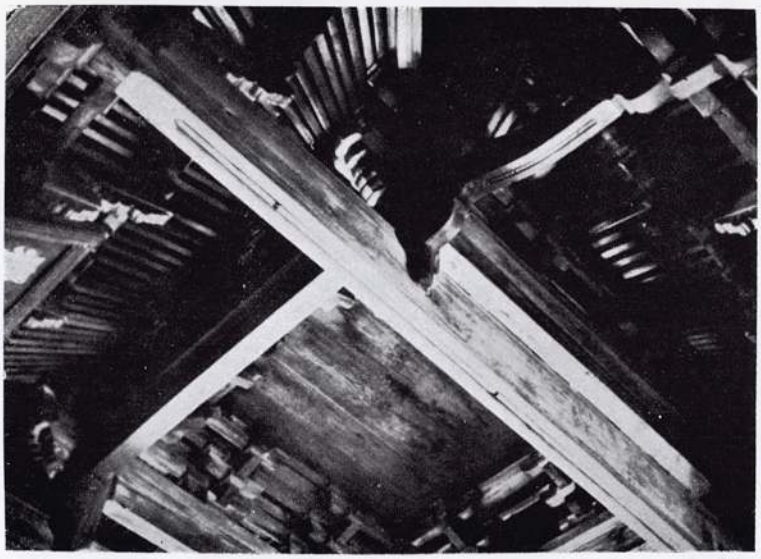
大虹梁をもつて上部構架の主要な骨格とし、これに配するに詰組枓栱、遊離尾垂、海老虹梁の功妙な結合を以てし、獨特の構造美を發揮してゐる。天竺様の大膽卒直に對し、これは裝飾意匠の巧緻を加へて奇觀を呈する。



不動院本堂（廣島市）室町時代



2・同上

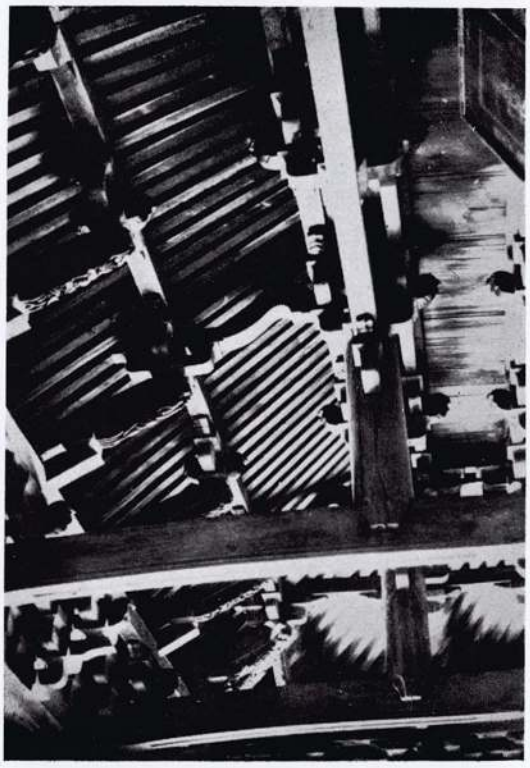


3* 永保寺開山堂

（岐阜縣多治見）

虎溪山として知られる禪刹にある典型的な唐様建築の1例。

鎌倉時代。



4* 妙成寺祖師堂

（石川縣羽咋堂）

日蓮宗伽藍で、本堂、五重塔をはじめとし、桃山時代から江戸初期に於ける特異な構造手法の建築を多數擁してゐる。桃山時代。

ノボ アルミナセメント

超高級　耐鹸 耐寒 耐火



大阪窯業セメント株式會社

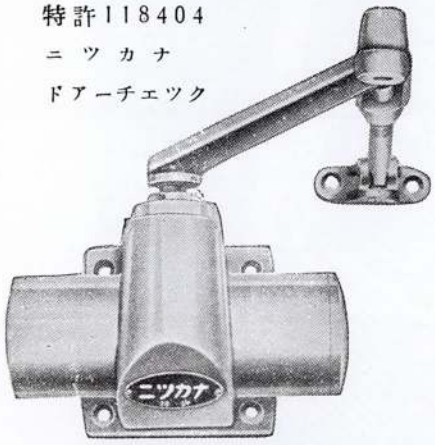
6 HOURS CONCRETE

1:2:4 水比 65 6時間 217㎏/㎠ 28日 410㎏/㎠

1:2:4 水比 45 6時間 300㎏/㎠ 28日 580㎏/㎠

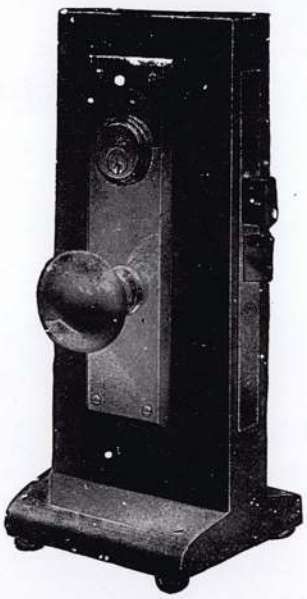
施工6時間後
完全使用が
出来ます

特許118404
ニツカナ
ドアーチエツク



日金

シリンダー錠

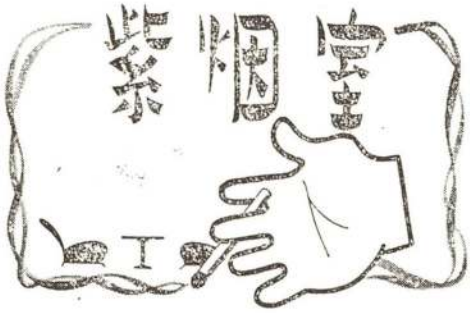


營業種目　シリンダー錠各種・ピーアレツス蝶番
家具用特殊錠前・建築用金具一式

日本金具株式會社

本　社　大阪市西淀川區大仁東二丁目　電話福島㊺ 2051・2052・2053 ㊺ 2055・㊺ 2056

出張所　東京市日本橋區本町二丁目　電話日本橋㉔ 2993



偉大なる都市計畫家の死

大須賀　巖

1

本誌第2週第3號（75P）は、故池田宏氏の小照と追悼の文とを載せて「此意味で本協會と關係淺からざるものがあるのです」といふて居る。最早これ以上、池田氏と本協會及び本誌との因緣についてクドクド書き立てる必要は無いと思ふが、實はこの小稿を起したのは「建築と社會」がわたくしの手に屆く十日許り前であつたのである。恰度その頃、池田氏の追悼會と紀念の出版とが或人々と相談中であつたのが、機熟すとでもいふべきか、いよいよ實行されることゝなつたので、それ等への多忙の爲め原稿未成品はそのまゝとなつて居つたのを今これに追悼會のことをつけ加へて寄稿することゝしたのであるからして、頭を斬つて尻尾をつけ加へた蛇のやうなものが出來上つた段先以て讀者諸君へ御海容をお願ひ致す次第である

2

池田氏の靈を地下から呼び起して、これに偉大なる都市計畫家として貴下を呼ばんとすといつたならば、或は「自分は單なる都市計畫家と呼ばるゝことは決しとせない」といふかも知れない。事實同氏は、官歷として、都市計畫課長から社會局長、東京市助役、社會局長官と帝都復興局の中堅から京都府知事、神奈川縣知事、而して東京市政調査會の常務理事、次て故齋藤前總理大臣を會長とする勤勞者再教育中央聯盟の理事長として又國策研究會の有力メンバーとして宇垣大將の組閣本部の大立物と算へ上げ通覽するとき、區々たる都市計畫たるよりは國策線上に聳え立つ大きな姿を誇りとして居つたのかも知れぬ。下村宏博士は池田氏の追悼會席上これ等内閣にあつて計畫立案した10數の案のあつたことを報告せられた程であるからして、偉大なる都市計畫家のタイトルでは英靈彷彿として來り饗けないかも知れぬ。しかし、私の信するところでは——同氏の好むと好まざるとに拘らず——同氏の半面は都市計畫であり、半面は母校京都帝大出身者の大なる庇護者であつた

池田氏が大阪商大の先生をし、京都帝大の先生をしたことは、同氏が偉ろ學者として世に立つた方が適當であつたかも知れぬと多くの人からいはるゝほど學者臭かつた性癖をあらはすものであると同時に、この先生として聘せらるゝ所以のものは氏が都市計畫の大家であつたことである。若しそれが單に行政法或は地方行政の講師といふならば他にこれが適任者は日本國中幾多有之候で、池田講師の講義が數年ならずして休んだこともそうした意味に於てゞあつたことを物語ると思ふ。

遂に池田氏を死に至らしめたるものは上海の都市計畫であつたと思ふ。日本の都市計畫法の起案者であり、而して上海の再建への都市計畫の爲めに倒るといふ此二命題は池田氏の恐らく誇りとするところのものであつたろう。矢張り池田氏の半面として濃く彩らるゝものは都市計畫家であると思ふ。

3

日本の都市計畫が池田宏といふ1人の力で出來たものでないことはいふまでもない。片岡博士だの佐野博士だの又内田博士の如きその他等々幾多の有名無名の才能と勞力とが今日を爲したことは事實であつて、都市計畫から地方計畫へ而して國土計畫すらも叫ばるゝに至つた。しかも日滿支叢

彊一體の所謂新東亞の建設的基礎として考へられるに至つた過去現在を通じて、池田氏の論文が白水生のペンネームを以て時事新報誌上に連載された頃から都市計畫法の立案者（都市計畫法の姉妹法たる市街地建築物法のそれともいふて差支ないと筆者は考へて居るが、それには池田氏よりもその功勞の半ば以上を分擔する人があり池田氏自身も曾てそうした意味で筆者に語りその人の功勞を讃へたことを記憶するので之を省く）の榮譽を荷ふべきであることは何人もこれを否まない。都市研究會が舊內務省廳舍の門前の大日本私立衛生會の屋舍から現內務省の構內に陣取つて、內務大臣を會長に戴き、右手に全國市長會議を提げ、東京市政調査會が和製ビヤードの研究所であるとか何とかいはれるにも拘らず、大阪製道の全國都市問題會議を左手に狹んで、一大都市研究機關の陣營が成立したことは、池田氏の力であつたといつて差支ない。未拓の曠野にこれだけのものを築き上げた力は畢竟氏の精力絕倫な努力の結果に外ならぬ。

今日池田氏の遺著となつたものゝ數について算へた人にきくとき、その絕大な精力はそれによつてもうかゞはれるのであるが、これを內容的に觀て相當廣汎なものであることも解るし、また氏の死後その家庭に發見せられた未定稿を見ると、克明に原稿用紙に誌されたものは讀み難いまでに赤字黑文字を以て訂正又再訂正されてあるのであるからして、小パンフレツトを書くにつけても仲々の刻苦精勵が費されてることが知れる。筆者が、時事新報誌上にブツクレビユーを書けと依賴されたとき、その書の著者であつた池田氏がこの書を書いたのは病間に於て爲され而して 400ページからのものであつたので、筆者はそのことを書き加へて著者の熱心と眞面目とを讃へた。

更に、池田氏の仕事に忠實で熱心な挿話として筆者の記憶に深く印刻されたものは、內務書記官であつた池田氏は再度まで福岡へ西下して筆者を大阪都市計畫委員會の專任幹事に就職するやう慫慂された結果、筆者が大阪へ赴任した直後池田內務書記官は何かの用務で大阪驛を通過されることを新聞誌上で知つたのであるが、その時間が午前零時とか1時とかで餘りに時間が遲過ぎるので知らん風にして歸宅してしまはうと一度は思ふたのであつたが、念の爲めプラツトホームへ行つて見る事にした。池田內務書記官は着車するやプラツトホームに降りて來て種々都市計畫に關する事項の打合をした上に筆者の住居が見當らなければ最近轉勤となつた令弟の家へ一時住つたらよからうとまで注意するのであつた。筆者は「來て居てよかつた」とも思ひ內心大に恥かしくも感じた。

4

池田氏の終焉記は本誌の讀者諸君には興味少ないことであらうし、花屋日記の如き後代に殘る名文章を持合はせない筆者はこれを省くことゝするが、池田氏の死因はいろいろに取沙汰せられた。といふのは、如何にも名殘惜しい死に方であつたからである。筆者が入院を知つて見舞つたのは去年の暮であつた。氏は誰にきいて來たのか、誰に知らせないやうにして入院したのである、1週間も經てば退院するのだと如何にも元氣であつた。筆者は正月休みが終へて病院へ見舞に行くのも躊躇して、多分今頃は退院してわが家に居ることゝ思ひながら、ソツト病院の受附できいて見ると未だ在院との事で病室へ行かうとすると、病室の前に親族の人々が憂に沈んだ顏を並べて居られる、氏の義兄元大阪府知事中川氏にきくと危險狀態にあるとの事である。茫然として其處の安樂椅子へ落ち込むでしまつた。こうなつては、賴りとするは主治醫宮川博士の京都から還つて來る時間に一縷の光明を見出さんとするばかりであつた。博士着の報に歡び第1回診察の後に「未だ絕望でない」といふ言葉に心を勵ますを得たが、翌朝の診察には博士が手を淨めながら顏を歪めて輕く左右にふつた「死の宣告」に聲も出なくなつてしまつた。

何が惡かつた彼がどうのとに惜がる人々の、いろいろの取沙汰はあつたが、筆者は斷然池田氏の死は「過ぎたる勉强」「休みなき勞作」であつたと今も信じて居る。餘りにも休みなき努力は總計して多量であつたことは事實で、これを凡庸人の休み休み 70歲80歲或は 100歲の長壽者に比して勝るものであつたらうか、天才者を59歲で死なせてしまつたのだ。筆者は同氏が軍部の囑託として所謂上海都市計畫の最高顧問として第2回目の發足の時、これを東京驛頭に見送つて、その日は神都々市計畫について長時間の論議をせられたらうと想像さるゝ程に、如何にも疲れたといふ風に見受けられた同氏に對して、旅行中汽車の中でも汽船の中でも讀書せざること、執筆せざることを懇々と警告した。氏は右手をグンニヤリと愈口にのべて行儀惡く座して居られて最初は「また始まつた」といはぬ許りに面を曇らせたのであつたが、一瞬時笑みを全面に漂せて首を縱に幾度も頷いた。病床では此方からいはぬ先に、氏は本も讀まない筆を執らないと枕元のノートを指してこれに記帳する丈けだと辯解するのであつた。劣才で怠け者である筆者から幾10回となく勉强するなゝゝといはれたのであるからして、嘸池田氏は心の中で笑ひもしたらう又迷惑でもあつたであらう。

上海へは3回往復されたそうである。餘りに時間がかゝるといふて飛行機で往復されたこともあつたそうであるが、その前後に飛行機の墜落があつたので以後はこれをやめると誓つたとも傳へられてゐる。又上海から歸つた筆者の知人と街であふや否やその知人は筆者に對つて「池田君はイカヌよ、上海でアンナ危險なところへ行くなんて全く必要のないことだ、是非アレはやめるやうにいひ給へ、これをいふのは君が適任者だ、恰度いゝところで御會したからいふて置く」といはれたこともあつた。何にせよ上海から歸つた最後の時は誰が見ても氏の衰弱はヒドかつた。今考へて見ても池田氏は上海の都市計畫へ命を捧げたとしか思はれてならない。

池田氏の死は傳染病研究所の附屬病院の醫師がつけた病名に因ることに相違はなからうが、その死の原因は强くもない身體を過度に休みなく虐使したことであると筆者は固く信じて居る。

日本の都市計畫とは不可離の職務にある本誌の讀者諸君は、曾て同じく都市計畫を任とした大屋靈城博士の死を悼むだ如くに、池田氏の死に就いても哀悼せらるゝことゝ信ずる。而して、これ等の英靈を慰むるの途は、興亞の新秩序としての日滿支蒙聯一體の都市計畫を諸君の手によつて大成せらるゝことでなければならぬとも思ふ。

5

4月15日午後零時から東京一ツ橋學士會館で故池田宏氏の追悼會は開かれた。來會者は東京附近の人々に對して案內狀が發せられたので、池田氏の知己の全國にある半數にも及ばなかつたと思ふが、遺族の方々を加へて約 200名であつた。發起人代表として永田元東京市長の挨拶あり、同氏の指名により一木元樞相の所感が述べられ、次て社會事業方面の代表として添田氏の追悼詞と國策研究會方面を代表する下村氏の追憶談があり、更に氏の第3方面としての和歌を紹介し朗吟もあつた要するに、これ等諸氏の所感なり追悼詞なり追憶談なりを通して、池田氏が都市計畫の權威者であつて、篤実で學者で又國策に貢獻するところもあつた偉大なる生活が語られたところの會合であつた。而して筆者は泌々と思つた、時代は正に偉大なる都市計畫家を建築の方面に要求しつゝあると佐野利器博士が日本大學を辭したとの報に接した筆者は直ちに私見を同博士に申送つた。

☆　　☆

☆

土木と建築

新名種夫

×

同じ系統の技術として、土木建築と一口に呼ばれる。併しこれは土木と建築との技術的方法の類似からの結び着きであつて、必ずしも土木と建築との扱ふ事業の内容の類似を意味するものではない様に思ふ。

同じく鐵やコンクリートや煉瓦や石材や木材などを主要材料とし、同様な構造理論に依つて、地上に巨大な築造物を形成して行くといふ技術的方法に就いては、土木と建築とは成程非常な類似點を持つてゐる。

前者がスケイルの巨大な割に比較的簡潔な理論を以て解決して行かれるのに對し、後者は土木の仕事に比べるとスケイルの小なる割合に、複雑纖細な理論と取扱ひを必要とするの相異はあるが、その技術的方法は全く同一系統に屬する。

だが、その技術を手段とする事業の内容に至つては必ずしも類似ではない。否非常な相異がそこに見出される様に思ふ。

×

試みに土木事業として取扱はれるものを列擧して見るに、道路、河川、港灣、水道、公園、橋梁等の何れを見ても、人類の群居生活に不可缺な原始的要求に出發したものばかりである。

何れも絕えざる自然の攻勢から人類を守る堡壘となるものであり、渾身の力を以て正面から自然にぶつかつて行く人間の雄々しい姿でもある。

人類の創造の出發であり、生産の根源である。

水を治むるものは國を支配する、といふ支那の諺は、要するに土木事業の根本的重要性を强調したものに外ならない。

土木技術者はこうした確固たる根底の上に足を踏ん張つて、地球全面を完全に人類の支配下に置く爲に、自然と四つに取組んでゐるのである。

例へば丹那隧道の大湧水を克服する爲に、殆んど工費と工期とを無視した様な工事も、相手が底知れぬ大自然なればこそ、土木には許されてゐるのであらう。

×

所が顧みて建築の取扱つてゐるものは何うだ。住宅、アパートメント、ホテル、病院、商店、銀行、工場、事務所、學校、劇場等々——

これ等は果して全體的に健全な人類の進歩に寄與してゐるものばかりであろうか。

不健全な安逸と奢侈と享樂とのかけらが、慰安や休養と混同されつつ、何んな建築物にも大なり小なり集喰つてゐるのではないだろうか。否、最初からそれのみの目的しか持たない建築物が、如何に多く、却つて建築家の技倆に依賴しつつあることであろう。

こんな所に土木と建築との事業の内容に大きな相異がある様に思ふのである。

土木技術者の中に、大地と共に動かないといふ感じの人物が少くないのに比べて、建築技術者の態度の中に、浮雲の如く如何にも儚いものが感じられる場合が多いのは、一つは技術そのものゝ類似にも關らず、その技術を手段とする事業の内容に、こうした根本的相異があるのによるのではないだろうか。

建築技術も亦、自然を對象とし、人類の生活と自然との不調和を除くものとして最初發達したものであることは、雨露寒暑を凌ぐを以て、必要且充分な目的とした、原始住宅を見れば明かである

この方向に進む限りに於て、建築は健全に人類の幸福に寄與し得た筈である。その限りに於て、今日不良住宅や不良工場等に見られる様に、建築が却つて、人類の生活の障碍となり、害毒を流すといふ様な誤を犯すことはなかつた筈である。

自然と人類との調和を計るよりも、個人の不純な利慾を滿足することを目的として計畫せられる様になつた所に、建築の墮落が始り、こうした建築の設計に協力しなければならなかつた時から、建築技術者は正々堂々たる立場を失ひ、その仕事に迫力がなくなつたのである。

×

それに、土木技術者はその仕事の性質上、常に

長期に渉つて自然と接觸する。例へば、悠々たる大川の堤防の上に、鶏を飼ひ菜つ葉を植えて、10年水の流れを眺めつゝ、一歩々々腰を据えて自然を征服して行く改修工事の土木技術者の生活、彼等はこうした生活の間に、自然と人間との正しい關係を會得し、迫らざる人柄がそこに創りあげられて行くのであろう。

タイルの色を氣にし、その何分かの納り方に頭を惱ましつつ、喧騒な大都會の突貫工事の現場にあくせくする建築技術者と、何といふスケイルの相異であろう。

物質文化に針の様な觸手を動かしつゝ、打てば響くならばよし、打たない内から細かく張へてゐる建築家の神經と青白い虚無性と迫力のない性格とは、一つはこうした所にも根ざしてゐるのかも知れない。

×

山の宿に夕餉を待つ間に、週刊朝日初夏特別號の懸賞當選作「土の茂作」を讀むだ。

杉皮葺の屋根に石を置いた谷合の民家に黄色い電燈がついて、闇が谷から這ひ上つて來た。

今聞の中に消えて行つた民家の素朴な姿と「土の茂作」の讀後感とが、雜然たる聯想を伴つて、床に入つてからも頭を去らない。

「人間の作るものを悉く自然が潰すと云ふのは、人が自然に反抗敵對して、自然と和合することを考へないからである。我國洋風建築の穢らしく汚れるのと、藁屋の古色を帶びて美しくなるのとは同一の氣候作用とは思へない程に兩極端である。自然を征服し、自然に征服され、自然と調和したものが最後に生れて來る。建築の色彩に就いて私は以上の様なことを考へてゐる』——恩師太田博伯の、本誌3月號の色彩に關する言葉が、籠蓄の深いものとして思ひ出される。

文化に對して鋭敏な觸覺を持たない故に魯鈍に見える、大地そのものゝ様な「茂作」といふ性格に對して、これあるが故に日本は強いのだと山本有三は言つてゐる。

人類の求めてゐるものが畢竟何であるのか。文化とは人類に取つて果して恩惠であるのか、ないのか。

高價な大理石貼の鐵筋コンクリート造に、煖冷房その他あらゆる機械的衛生設備を施した建築とこの山峡の杉皮葺のあばらやとは、人類の幸福に對して果して何れであるのか。

土木と建築との相異は、結局この兩者の比較に對應するものである様に思ふ。

嘗て土木から分離した建築は、その精神に於て今再び土木に歸らねばならない時期が來たのではないだろうか。

眠られない儘に書留めて紫烟室に送る。

防空と長屋

松森修太

近い將來に於て防空建築規則が大阪方面にも適用される様になつて居りますが、其の日が來た時大阪に於て木造建築の大半を占める長屋住宅建築は其の規則即ち道路中心線及隣地境界線を一單位として外壁及軒庇窓出入口を防火的にする事及45坪毎に準防火壁を必要とする要求に對して如何なる手段によつて消化するかと云ふ問題を取りあげて吟味して見る時次の様な二方面が考へられます

A、經濟的方面

B、技術的方面

先ずAの經濟的方面に於ては說明する迄もなく長屋住宅建築に當つては小資本の家主と借家人の經濟的立場に於て立脚せねばなりませんから、規則に適合すると同時に經濟的に如何なる設計に舵を取るかと云ふ問題が之の主體となります。先ず防空建築規則に適合する爲には從來のものよりも建築費單價が騰貴し均衡の取れぬ不利な立場になるのではないかと思はれます。次に從來の市街地建築物法の最低範圍内に於て誕生した現在の長屋建築と同様に經濟的方面から追詰められて苦し紛れに防空建築規則には適合してゐるが、防火の目的を殆んど失つた建築物が出現するのではないかと想像されます。之は從來の長屋住宅建築の基本

平面型によつて其の配置及平面計畫を多少變更する事により容易に考へられる事柄で、此の時に於て都市防護の爲には是非とも長屋住宅建築が經濟的方面にのみ引張られて再び防空建築規則の拔道をたどらぬ樣あらかじめ考ふべき問題と思つて居ります。

次にBの技術的方面から考へて見ますと、色々考へられますが、いづれも防空建築規則の適用より長屋住宅建築に一轉換期を示す問題と考へられます。

1、平面計畫及配置計畫に多少又は相當の變化を來すのではないか。

2、平面計畫及配置計畫は從來通りで唯外面を防火的にするのではないか。

3、45坪毎に準防火壁を設ける要求に對してどんな結果を來すだろう。

4、軒、庇、窓、出入口、其の他突出部が防火的なる事を要求された場合如何に變化するだろう。

5、理想的基本型は如何なるものになるだろう。

1の場合は前記した防空建築規則の拔道を作る策として一應考へられる問題ですが考へ方により空地を多く取り延燒防止の事柄が含まれて來て所狹く建詰めて、外壁を防火的にする事と、比較した場合いづれを選ぶべきかと云ふ事になります。之れは主として建築物の背面の外壁、窓、軒、庇物干臺を防火圈外に設計しようとした時に起る問題と思はれます。

2の場合に於ては先ず第一に從來の妻及背面高塀の燒板張りが姿を消す事になり、大阪長屋建築の最も火災延燒の危險率の多い妻、蝶羽の部分の弱點が補修される事になり又防火的にされた高塀は開口部の最も大きな仙栽に面した廊下の部分の防火壁の役をする事になるので、現在の樣式の型でも相當防火的になる事が認められます。

3の場合の45坪毎に準防火壁を要求する事は從來の基本建築面積から見て換言しますと、3ケ～4ケ毎に準防火壁を必要とする事になります。此の場合準防火壁を置いても個數の多い長屋建築が建築されるか又は準防火壁を燒つて2ケ～4ケ建の長屋建築が建築されるかと云ふ岐路に立つ事が想像されます。いづれにしても從來よりも長屋建築が小さく仕切られて防火的なる事は勿論、其の質に於て一段と向上した事になります。

4の場合、これは從來の長屋住宅建築が其の外觀を一變するのではないかと考へられます。即ち軒庇其の他突出部を防火的にする事は燃へ易い軒庇を出してこれを塗込む事になりますから二重の手間になり、軒、庇の必要性は認められても經濟的立場から軒出が少なくなるか又は無くなつてしまふのではないかと想像されます。同時に仕舞の問題も一考を要する事になります。窓、出入口は建前としては防火戸が要求せられて居りますが、耐火木材、網入硝子、金屬板、石綿盤で構成すれば支障ないと云ふ事になつて居りますが、長屋建築としては從來に比して相當の重荷になつて居ります。從つて防火圈内に入つた部分の窓、出入口は小さくなるのではないかと考へられます。同時に採光通風の問題から此の開口部分を有效に使用し得る樣考慮を要する事になります。

5は所謂不燃都市構成に對する木造長屋住宅建築の理想案であつて、從來の規則に適合さへして居れば多少燃へ易い所はあつても構ないと云ふ考へ方から脫却したものであります。

以上大略防空建築規則によつて大阪の長屋住宅建築が如何なるだろう、如何にすべきかと云ふ私見であります故其の點御諒承願ひます。

概念的

堀口甚吉

私は中等工業學校の教育に從事すること今年で15ケ年になつた。故に可成り多數の下級技術者の養成に從事したことになる。

我々の如き下級技術者養成に專心從事してゐる者に社會人の發する第一の批難の言葉は

「現在の工業學校の卒業生は成つとらん、今少し役立つ卒業生をつくれ、すぐ間に合ふ卒業生を出せ」

といふことである。これはあまり教育に理解なき上部の人から發せられる言葉の様に思ふ。

次に、少しは教育に理解ある人、或は教育者とも云はるべき人々から我々に要求せられる事は

「今の工業學校の教育は成とらん、大學の眞似をしてゐるのが高等工業で、高等工業の眞似をしてゐるのが工業學校だ、こんな教育をして卒業生が何の役に立つか……」

の御小言である。

然しこの二つは私の考へる處によれば、共に概念的の言辭で、その内容や空虚、何等工業學校の實際にふれた批評でない。

先づ第一の批難であるが、我々教育に從事するものは役に立つ人をつくるといふ事は日々念頭からは離してゐないのである。故にその結果は卒業生には幾分表はれてゐる筈であるが、社會の要求と我々の教育方針とが一致せぬか、或は社會の卒業生に對する要求が酷に失するので、この二つの批難が生ずるのである。

抑々役に立つとは如何なる事であるか、これに對して私は明答が得たいのである。世人は役に立つとは、自明のことゝして議論をたて、又、役に立たぬと批難してゐるのである。私の考へる所によれば役に立つとは

「事物に對して明晰なる判斷をなし、これをあくまで遂行する意志あることである」

故に社會人は卒業生に對し、これ等の點になつてゐないといふなれば、我等は其の批難を甘受する。然し建築術の各細部の技術の不熟を以て卒業生に對せられて、その卒業生に役に立たぬといはれるのは少し酷である。何れの職にしてもその技術の細部に入つた所謂コツを知るといふは相當の年期を入れなければならぬ。或る技術に於ては小學校卒業後の數年間をこれに沒頭しなければそのコツは決して得られないのである。このコツを工業學校の生徒に要求するは酷で、これに合格するには、教育の系統を極度に細分してその實習に全時間をさかなければならぬのである。これでは普通の徒弟と何等選ぶ所なくなる。

故に私は、明晰なる判斷力とこれを遂行する意志を養ふには、工業學校に於ては筋肉勞働を伴ひたる實習作業を徹底的にやる事によつて養ひ得ると信じ、私の學校に於ては、このために實際建築物の工作に生徒自身を當らしめてゐるのである。

第2の批難の大學の眞似を高工が、高工の眞似を工業學校がといふのは、少くとも大正末期迄の日本の工業學校の狀態で、今日に於ては決して當らないのである。四月の「建築雜誌」誌上に櫻井氏は工業學校でノート廢止等云々のことを述べてゐられるが、こんな事は私の知る範圍の學校ではとうの昔に卒業したことで、昭和年代の始めから私達の努力によつてノート式の弊害の如きは完全に除去しさつたものである。

學科の名目等に或は大學、高工、工業と相類似したものはあらうが、その内容は現在に於てはすつかり異つたものである。

又その教授の方法も全然異る。工業學校に於ては、簡單な根本知識を徹底理解せしむるを本位とし、一時限の授業にしても講義半分後の半分は生徒の自發活動による問題解答練習、これに對する個人指導といふやうにして、各個人々々に適じた能力を引きのばすやうにしてゐる。

又私の學校に於ては仕樣見積の實習等も毎週4時間課し、木造建築二軒、鐵筋、鐵骨各一軒づつの全部の材料の數量、價格に對する書類を作成せしめてゐる。

又、工業學校卒業生に對する批難の中、役に立たぬといふうちで、極めて物わかりのよい人から發せられる第3の批難は、電話の應接ができぬ、

手紙が書けぬ、漢字を知らぬ、細字がきれいにかけぬ、製圖が粗雑である。算盤ができぬ等の事項があるが、この批難は私が全部を認める批難であつて、私は之等の批難を全然蒙らぬ様、入學のその日より5ヶ年間これ等の缺點をのぞきさり、良習慣をつくり得る様、大いに努力しつゝある。しかし生徒の素質により、この良習慣を得せしめず社會に送り出すのもあり、常に我身の不熟をかなしみ且、自己努力の足らざるを日夜感じてゐるものである。

要するに私達は大學の、高等工業等の眞似等は全然なさず、工業學校の眞意義を解し、所謂、眞の役立つ人物の養成に努力してゐるのである。世人の懇切なる御指教を待つや切である。

竹の屋根

山口正

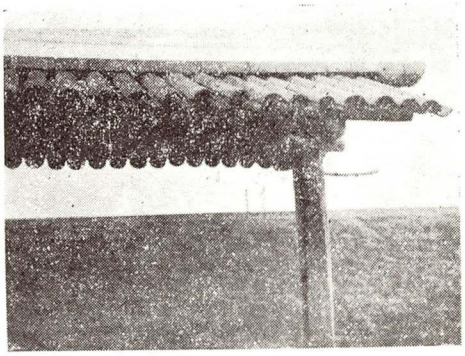
瓦の起源に就いて、佐藤博士は、次の如く述べて居られるとのことです。

即ち、瓦葺に於いては、瓦の牝牡兩種を仰伏交互に相重ねるといふことが、世界的に共通する。印度地方、南歐地方等にも行はれてゐる。蓋しこの瓦葺の形は全く印度地方の竹葺屋根に出づるのだらうと說いて居られるそうです。

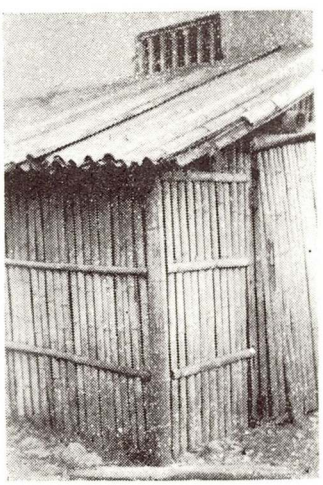
竹の屋根は、日本でも、かなり昔からあつたらしく、現に肥後の宮地、高森、豊後の森、中村等竹を澤山産出する地方では、住宅、倉庫、小屋等に殘つてゐるようです。が、それも次第に減つて行く様子です。

こゝに揭出しました寫眞は、九州に次いで山口縣、島根縣、靜岡縣等と共に竹の多産地である京都府に於ける實例です。

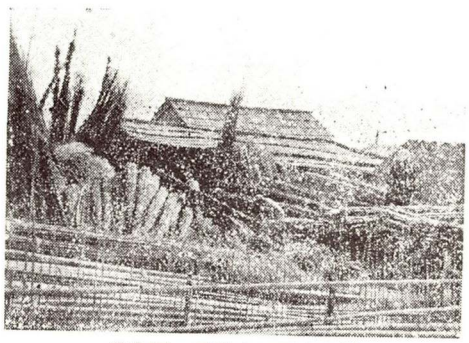
我が國、民家史上に於いて、技巧的に優れた地位を持つ京都邊では、この竹の屋根も、單なる實用の域を脫して、遊びの建築に墮ちたものが多いのです。その適例は、京都裏千家の中門です。これは如何にも完成された技術の氣配を感するもので、竹瓦は釘で止められてゐます。こゝに揭げた第1圖は大阪府三島郡のある住宅の表門で、やはり釘止めになつて居り、仕事の上では、とても裏千家の中門には敵ひませんが（尤もこれは主人の手製だそうです）牡瓦を牝瓦より細くしてあるといふ點から見れば、技巧的には、却つて優れたものと見ることが出來ます。第2圖は、この近くにあつた寮下しの納屋です。この程度のものは或ひは小屋に、或ひは鷄舍に、澤山實例があつて現代に於ける實用的存在理由の明確なものであります。然し、上述の如く、次第に消滅する運命にありましたところ、最近になつてこの衰勢を挽回するかの如くに、第3圖のような立派な竹の屋根が出現しました。これは神戸の竹商石榑常吉氏の倉庫兼工場で、京都府乙訓郡神足村、東海道線神足驛のすぐ前にあります。徑7糎內外の孟宗竹が使つてあります。石榑氏の說によ



第1圖　大阪府三島郡のある住宅の表門

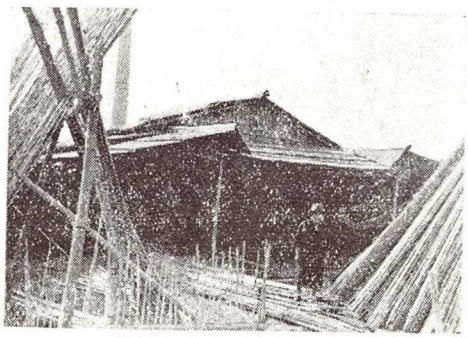


第2圖　納屋の例



第3圖　石栂氏の工場北側

ると15年は大丈夫持つとのことです。氏は前に豊後に在住、竹の屋根を造つたことがあり、當時の工法を思ひ起しつゝ、造つてゐるとのことでした



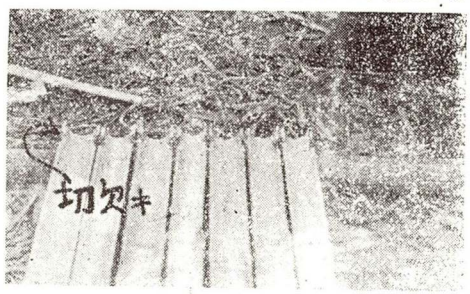
第4圖　石栂氏の工場東側

この工法の特徴は、第1、非常に安價なこと。第2、素人にでも容易に出來て熟練工を要しないこと。工具も鋸と鉈があればすむ。第3、輕量で耐震的な



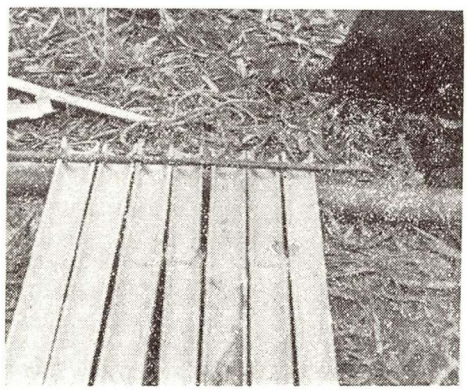
第5圖　小　屋二組

こと。第4、小屋裏の換氣充分なるため寒暑溫度の調節容易なこと等であります。この工場は1棟で100坪ありますが、柱（堀立）から一式で、坪當り6圓餘で出來たそうです。柱に杉丸太が用ひてある外、すべて竹と繩ばかりであることは第5圖の通りです。石栂氏は私の乞を容れて、模型によ



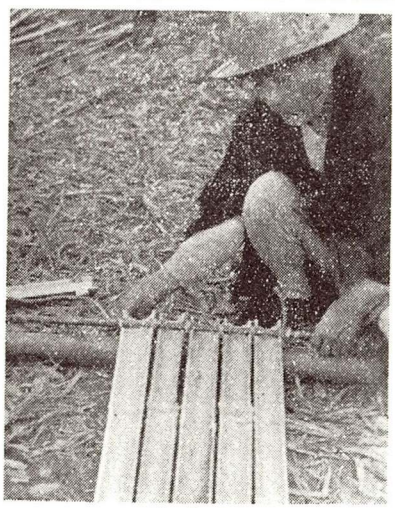
第　6　圖

り、工法の實演をされましたから、その寫眞により説明致しますと、先づ、第6圖のように、丸竹



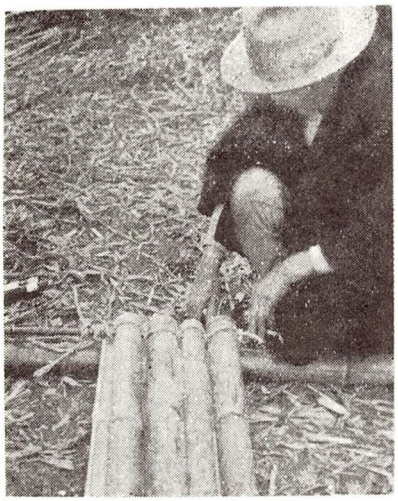
第　7　圖

二つ割の牝瓦に切缺きを作つて並べ、次に（第7圖）その切缺きの列溝に徑3糎程の丸竹を嵌め、



第　8　圖

第8圖のようにその丸竹と牝瓦とを細繩でからみつけます。それから牝瓦同樣切鉄きのある牡瓦を



第 9 圖

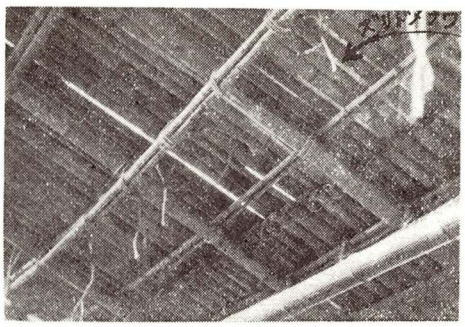
丸竹の上に伏せ、第9圖のように丸竹と細繩でからみつけます。これで牝牡兩種の竹瓦が仰伏交互に相重り、双方の切鉄きを通る丸竹により一體に結合されたわけです。これで一段目の瓦は葺かれたのですが、この繩目を被ひ、列を正し次の上の段の瓦を受けるために、丸竹二つ割りを第10圖の



第 10 圖

ようにおき、下の丸竹に結びつけます。そして次の段の工程に移る具合は、第12圖の通りです。

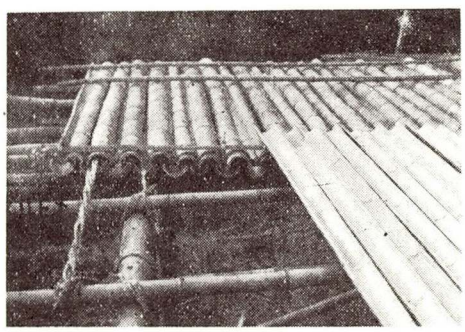
大體竹瓦は屋根勾配にもよりますが、長さ5～6尺を普通とし長くて12～13尺といつたところです。この5～6尺の竹瓦の上手は今述べました通り堅固に工作されますが、下手（冤）の方は解放されてゐます。そこで第12圖に示す如く細い丸竹を當て、こんどは30番程の針金で牡瓦を貫通して下の受けと緊結します。100坪の建物に2貫匁の針金が要るとのことです。外に金屬類は何も要りません。そして竹瓦のするのを防ぐために、第11圖、



第11圖　屋根裏見上げ圖

第12圖で示す如く繩で上段の母屋に結びつけます

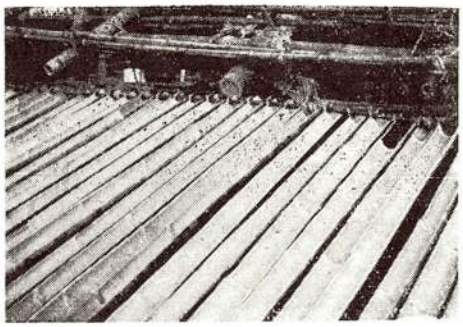
扨て、これは近頃の波型鐵板や釘類の節約をする目的から出現したのですが、竹瓦に耐火處理や



第12圖　棟から軒先きを見下ろす

防腐處理を施すことが出來るならば、なかなか良い工法であると思ひます。とりわけ換氣を第一條件とする建物（例へば養蠶塲、鷄舍等）にはお誂向きだと考へます。住宅に用ひた例は、藤田元春氏の『日本民家史』や、石原憲治氏の『日本農民建築』に立派な寫眞が掲載されてゐます。

考へますのに、この場合、日本建築の歴史は一寸こゝで後戻りした、建築材料の都合で一寸後戻りしたことになります。東洋の新秩序建設に忙しい日本の國内事情によつて、材料の節約が必要と



第13圖　牝瓦の施工を終り牡瓦をおく前

なり、日一日と進歩してゐた建築の技術が一寸昔に戻つたといふことになります。然し私はこの後戻りしたと思はれる工法に深く注意してみたいと思ひます。即ち、この竹の屋根が被覆材とその支持材とを兼ねたものである點に注意しますと、今



第14圖　東海道岩淵舊岡部子爵邸全部竹にて造られたる四阿

この機會に、かゝる、すたりかゝつた工法を再檢討し、改良の工夫をするならば、或ひは立派な工法が案出され、將來の建築に寄與するところがあるであらうと思ひます。出來ることならばそうありたい。後の世の學者に竹の屋根が瓦葺の起源であるばかりでなく、又別の何か優れた屋根葺工法の起源であると述べさせたいと考へるのであります。この小論が發明家、材料研究家への示唆ともならば本望です。

附記。寫眞第6～第10圖は石榑氏の實演、森田正治郎氏の撮影。附記して兩氏に謝意を表します。

追記　14圖（津田鑿撮影）岡部子爵邸にありしもの。

街　頭　左　右

本多正道

場末の夜の薄暗い街からいきなり電車に飛込むと、車内が常よりも一層明るく思はれたが、此の明るさは、乘客が極く少いためでもあつた。夜が少しおそくなると、僅かな乘客の大部分は、居眠をするか、そうでなければ空虚な眼を開いて放心狀態でゐるかするのが常らしく、人と人との間には敵意、好意、嫉視、愛慾、好奇等何一つとして感情らしいものの交流してゐる形勢が見うけられない。

電車の内部を構成してゐるものは、普段ならば充滿した人間そのものであるのに、此んな場合には、人は内部の點景とさへならず、その無表情さは明るい内部の黒い影であり動かない塊としか見えない。こんな時に最も人目をひくのが車内の廣告である事は今初めて氣付いた經驗ではないが、退屈さのあまり、窓の上に二段にならべられた澤山の廣告を今更の如く注意深く觀察し初めた。凡そ40ばかりのポスターが殆ど皆同じ大さの横長い枠にはめられてあるために、その意匠の良否は別として、文字が右横書にされたものと左横書にされたものと雜然と同居して居るのは、甚だしい混亂を感じる。試みに之を區別して見ると、

右横書き：味の素、大航電車、博善社、南海電車（5枚）、大阪信用組合、大東亞博阿部野富士屋（2枚）、阪急百貨店（2枚）三筋豆炭（2枚）、南一（2枚）、近江舞子ホテル、不老陶枕、赤玉ト

ラツク(2枚)、新町荘ホテル……計23枚14種

左横書き：北極星(2枚)、ケンコー勝栗、武勲博(京阪)、びわ湖へ(京阪)、茶房紫烟荘、キヤバレー有明(2枚)、キヤバレー奴茶屋(2枚)、M、C、Cのハイキング食、喫茶ニューオーサカ、京阪電車(2枚)、阪神電車、ガスビル、電氣科學館、阪和電車……計18枚14種

右書きが日本的で左書きが歐米の習慣を眞似たものゝやうに考へられ勝ちな此頃の時勢に右横書きが多いであらう事は豫想されるが、數に於て23:18、種類に於て同數であるのはむしろ案外右横書が少いと云ひ得やう。何故に或物は右横書きを採り、或物は左横書きを採つてゐるかを明かにする事は困難であるが、これによつておぼろげながら廣告主の思想、職業、教養（趣味）の程度を推察し、或は區分する事が出來るのは面白い。概して左書きのものは進歩的であり、意匠圖案が優艮であり、右書きのものは保守的であり、圖案、意匠、字句共に拙劣低調であるとも云ひ得る。

又、職業的にもかなりはつきりと區別があつて博善社、公益社（他の市電内廣告）赤玉トラツク近江舞子ホテル、新町荘ホテルの如き葬儀屋、トラツク屋、小ホテルが右書きを採用してゐるのに對して、カフエー、喫茶店が申合せたやうに皆左書きを採用してゐるのも面白い。左書きの方が意匠が優れてゐると云ふ事は左書きそのものと何等關連のない事のやうであるが、その進歩的な態度理論を尚ぶ教養の高さが意匠の上に反影したものと云へやう。尤も、之が直ちに營業方針或ひは主腦者の頭の反映であるとは云ひ得ないものもあり此の場合經營が積極的で活潑であると云ふ事は必ずしも進歩的である事を意味しない。又、右書きのものにも圖案のすぐれたものも勿論見うけられる事は當然で、例へば他の電車内にあつた天主閣記念特別展のポスターの如きは右書きの優秀なものであらうが、博善社、公益社、赤玉トラツク、三筋豆炭、不老陶枕等の程度のポスターが申合せたやうに右書きである事は決して偶然とは云へない。

左書きのものもカフエーや喫茶店、或は北極星ケンコー勝栗などが果してどれ程の理論と主義を以て左書きを採用してゐるかは、知る由もなく、中には或時は左書き、或時は右書きを使用するやうな呑氣なのもあるが、今こゝに、大阪に於て最も多く廣告、特にポスターを使用し、從つて市民の目に印象の深いと思はれる鐵道、代表的な大百貨店等のポスターについて、その傾向をあげて見たい。

鐵道省は驛名札が右横書に制定されて居り、之にならつて開札口、其他の固定的な札は殆ど右横書きである。列車に取付られる行先驛名も右横書である。然るに、一時的なもの、移動的なものが殆ど左横書である事は注意に値する事であつて、ポスターでも標語でも徹底的に左横書を採用してゐる。例へば「歩けよ光を浴びて」「守る道徳明るい車内」等のポスターが此頃隨所に見受けられる。右書きを命令の最小限度にとどめやうとしてゐる若い官吏の氣持がうかゞはれるやうでほゝ笑ましい。而も鐵道省のポスターが、大阪、否日本に於ける第一流の優秀なポスターである事は周知の事實であつて、大阪に特に多く見うけられる低調なポスターは大いに模範とすべきであらう。

徹底的に左横書主義を採用して、その論據を充分推察し得るものに阪神電車があり、圖案も相當の考慮が拂はれてゐて悪くない。

阪和と大鐵も仲よく左横書き採用して、近來圖案も大分よくなつて來た。

阪急が徹底した右横書主義を採用してゐるのは阪神と面白いコントラストをなしてゐる。阪急の如き進取的、積極的な大會社、大廣告主が徹底的な右横書主義を採るについては、或は小林氏の如

き獨裁者の個人的な主張からなされたものではないかとも想像するのであるが、何はともあれ、あのポスターでは當事者の敎養の程を疑はずには居られない。恐らく、大會社中ポスターの低調な事に於て阪急の右に出るものはない程、その意匠の取扱に於て、色彩に於て、文字に於て拙劣であつて、此うも安つぽいポスターが出來たものだと驚くばかりである。意匠の程度から推しても右書きに、どれ程の理論的主張があるか疑はしい氣がする。百貨店屋上のスカイサインが左橫書きで右から書かれて行くのを筆者はいつも皮肉な氣持でながめるのである。

大軌も南海も右橫書きを採用してゐるやうであるが、阪急程徹底した左橫書排擊主義ではないやうで、主張もはつきりしてゐないのではなからうか。

京阪は左橫書きである。ポスターの意匠も一般に惡くないやうであるが時々大變な駄作がある。

市電關係のポスターは從來甚だ低調なものが多く、左書きあり右書きあり、一定の主義主張はないやうに見うけられるが、近來折々氣の利いた意匠のポスターを見うけるやうになつた。市電は古くより行先地名を左橫書にして居り、殊に靑バスが右橫書であるのに、銀バスが左橫書であるのは一層滑稽であるが、靑バスが行先を右書にしながら車體番號は勿論の事、車の橫腹に大きく「木炭自動車大阪乘合自動車株式會社」なんて左書きで書いてゐるのは如何にもだらしがない。我々のやうな人間にはこれだけの事實で、その會社なり役所なりが信用しにくゝなる。第一靑くもないのに靑バスなんて誰がつけたものか、日本には今尙非科學的な色盲が多い。電車の方も行先地名を折角左橫書にしながら、之も大して一貫した主義でやつてゐるのではないらしく、地下鐵停留所名は鐵道省をお手本に、右橫書である。

百貨店中三越、大丸、十合は左橫書き、松坂屋高島屋が右橫書であると記憶するが、ポスターの意匠に對しては何れも相當の努力が拂はれてゐて右か左かが直接ポスターの優劣に影響してゐないやうである。但し、大阪に於ては三越、大丸、十合と松坂屋、高島屋とでは僅かながら品位乃至客筋に相違があるやうにも思はぬ事はない。從つて之と右左との間に關係がないとは斷言出來ない。

左書きの理論を述べれば切りのない事であるが要するに、理論的には當然文字は左橫書とすべきものであつて、それは只アラビヤ數字やローマ字を混用するのに便利であると云ふだけではなく、漢字も左の偏を先に書き、ソロバンも左から右へ運用する事によつても明かであらう。只左橫書の唯一の困難は、縱書きの場合と理論を一貫せしめる事によつて縱書も亦左から右に書かねばならぬ事である。之は何としても今日迄の習慣上容易に認められない事である。そして餘程徹底した左橫書主義者も、縱書は右とする。しかし、一貫した理論によつて、左縱書きを採用するか、右縱書きを全廢して、左橫書きのみに一定する事が本當であらう。右縱書は愛着を感じるに當らない一種の惡習であるかもしれない。

いつの間にか向ひの座席を占めてゐた靑年團員の胸についてゐたマークは右橫書きであつた。

色と健康

元良勳

瀧澤眞弓氏の論文は常に私を三歎せしめてゐる適確な智識、獨創的な立論、しかも文章は優麗簡潔、但し私には時々難解で何うも判然と理解し得ないやうな部分も出ては來るが、之れは私の勉强が足りないからの事で何も氏の責任ではない。とにかく現在建築の思想的方面に於ける論文の最高峰をなすものと考へられる。本誌三月號の「古典建築の色彩」に關する一文の如きも、實に面白く且つ有益に拜見して、示唆を與へられる點誠に尠くなかつたのである。之れを又原稿のネタにしや

うと朱線を入れかけたのだが、實は困つてしまつたのである。つまり、全體が好かつたのだ。

× ×

同記事よりの引文……この點の古典人間にしてはじめてあの絢爛たる色彩に堪へ得るのである。否むしろ、それは所謂「彫塑性」の無力症的單調化を救ふ所の興奮劑として、爽快なる効果をもたらしたにちがひない。

× ×

私もはじめてパルテンの着色圖を見た時に大いに幻滅を感じたのである。しかし段々と勉强するにつれて、吾々はもつと强い色彩に對して、もつと無邪氣に歡びを感じなければならないと思ひ出した。尠くとも吾々の祖先は强い色の世界に住んでゐた。たゞ江戸末期の頽廢趣味が徒らに晦澁を喜ぶやうな、妙にヒネクレた癖をつけてしまつたのだと考へ出した。例へばネクタイ等でも成るべく明快な色を撰ぶやうに實行して見た事もある。しかし私の神經は遂に古典人の如く强く明朗になりきれなかつたのであらう。情ない事に、今では再び晦澁を喜び、無色の未完成を翫味すると云ふ風な傾向を、自ら認めざるを得ないやうである。

× ×

例へば映畫に音をつける事には大賛成であるが天然色の立體化のとなるともう面白くない。但し之れは藝術品にのみ就いて云つてゐる事で、科學的記錄映畫——驛前の火災實驗の如き——は全く別の問題である。「藝術は省略なり」と云ふ定義があるそうである。之れは嚴密な意味から云つての定義ではなく、一種の戲畫化された、つまりそれ自身として省略された所の表現ではあらうが、私は此の言葉を全面的に好んでゐる。此の完成を否定しやうとする考へ方、之れそのものとしては決して不健康なのではないのだと思ふ。たゞそれが兎角低徊趣味へと巓落する事が多いのではないのだらうか。

× ×

法隆寺が鮮明な原色に復原された事を心から賛成し喜び得る私ではあるが、東照宮には到底美しさを發見出來ない。此の點恩師武田先生に申譯ない次第で、之れは何うも私のエネルギー不足から來てゐるやうである。しかし神戸の菊水や目黑の邪敍園を認めるのは、すでに健康の域を脫して野蠻の方に入つてしまふのではないかと思ふ。

× ×

南海の地下食堂を「新建築」が不用意に關西趣味と片づけて、やつつけられたが、所謂東京人が振り廻す一人好がりの晦澁性は絕對に排拆する。しかし眞の健康と野蠻とは其の區別が相當にむつかしいのではないか。眞劍に反省し考へて見るべき問題だと思ふ。



誌上展覽會について

我國は今次事變に際會し，今や擧國一致新東亞の長期建設に邁進しつゝある秋に當り，軍事目的達成に伴ふ必要資材の消費節約並に各種原料自給の目的に適應する代用品工業の振興は非常時國策の一として特に重要意義を加へつゝある。

而して之を一般代用品に就て觀るに各方面に於て既に眞摯なる研究が續けられステープルファイバー，水產動物の皮革，大豆カゼイン合成樹脂，再生ゴム等の如き代用品は，漸次工業化され，着々その成果を收めつゝある。然るに吾が建築の分野に於ては，代用材料並に新時代に適應する建築工法の研究考案に對する必要性の緊迫せるもの多々あるに拘らず，材料の範圍が極めて廣汎に及び且つその工法の複雜多岐に亘る爲，その發明考案と之が工業化は容易の業でなく，未だ代用材料として見るべきもの少く，且つ社會的に普及されざることは誠に遺憾である。

こゝに本會は代用品並に新興製品を主體とする「誌上展覽會」を催し，以て之等の研究考案に力強い刺戟と拍車とを加へて之を助長奬勵すると共に廣く一般に紹介してその普及發展に寄與せんとするものである。



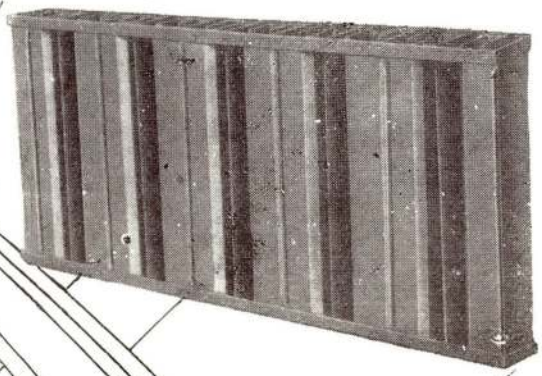
オリエンタルメタル製各種材料御指定ノ實例
大藏省　營繕管財局御指定　神戸埠頭上屋
(12.6.4.神戸憲兵隊檢閱濟

特許OM式遮光換氣裝置

オリエンタル・メタルとは？

1. オリエンタル　メタルの製法
嚴選せる優良の鋼鐵板を良く洗滌し
高級アスファルト及特種耐酸耐火合
成材を以て之を被覆し尙
上層に堅牢なる防水塗料
を施せるものなり





特許OM式遮光換氣裝置 A型

完全なる設計!!

斯界の革命
繼目ナシ谷樋材!!

オリエンタル・メタル

屋根・下見・壁・腰張・軒樋・谷樋
竪樋・其他・棟包・雨押一切
排氣ダクト並に臭突・大島式通風器
O.M式天窓・O.M式遮光換氣裝置

本社及工場
尼崎市大物北日
(阪國大物北日電停前)
電尼崎736, 1446

東京工場　東京市蒲田區新宿町 1358
東京出張所 東京市日本橋區通二丁目
大同生命館三階　電 日本橋715
北京出張所・美昌公司
朝鮮總代理店・京城府青木商會

廣島出張所 廣島市袋町富國館三階
電 廣島中 ②2245

特許耐酸防錆被覆鋼鐵板　オリエンタルメタル製造所

床にリノリユーム壁にリノウオール



營業品目

リノリユーム・リノタイル
リノウオール・リノマット
リノリユームクリーム・リノリユームオイル
リノリユームセメント(糊)・リノリユームクリーナー(拭器)

海軍省
鐵道省 指定工場

東洋リノリユーム株式會社

營業所　大阪市東區瓦町2三和ビル6階

2060番
電話北濱(23)3910番
5364番

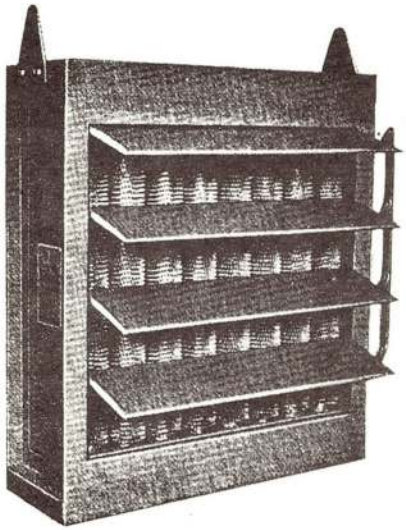
主要營業科目

●富士テックス●トマテックス●ライトテックス
●日化テックス●タイカボード●チツソライト板
●東京波形スレートキングスレート其他スレート一式
●特許ヤハズラス●メタルラス●特許輕量鐵骨類
階段辷止金具其他建築金具一式
●三菱製鋼鐵家具並書架類
●川崎造船所製建築用鐵骨並鐵塔
●アロー鐵製寢臺及附屬品一式
●諸機械工具並部分品一式
●粉碎用各種高級スチールボール

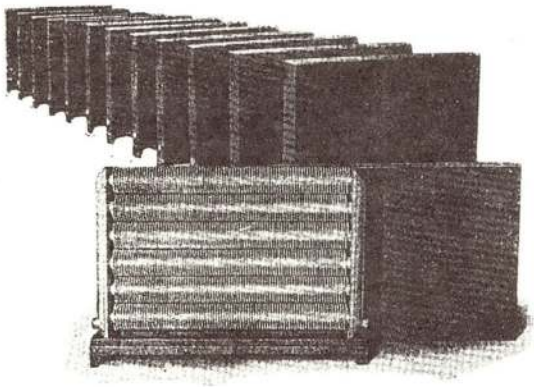
福島合名會社大阪支店

大阪市北區堂島ビルデイング
電話北㊱(五八九〇番)六一四三番

PS型ユニツト・ヒーター



シュタッヘルシールド放熱器



營　業　種　目

（1）煖房裝置、冷房裝置、換氣裝置、温濕度調整裝置、恒温恒濕裝置、特許吸着劑**アドソール**及其應用裝置並ニ集塵裝置、各工事設計製作並ニ工事監督

各種送風機、防護室換氣扇、特許**シユタツヘルヒーター**、**クーラー**、**シユタツヘルシールドラヂエーター**、汽罐、自働給炭機及各種空氣機械類製作販賣

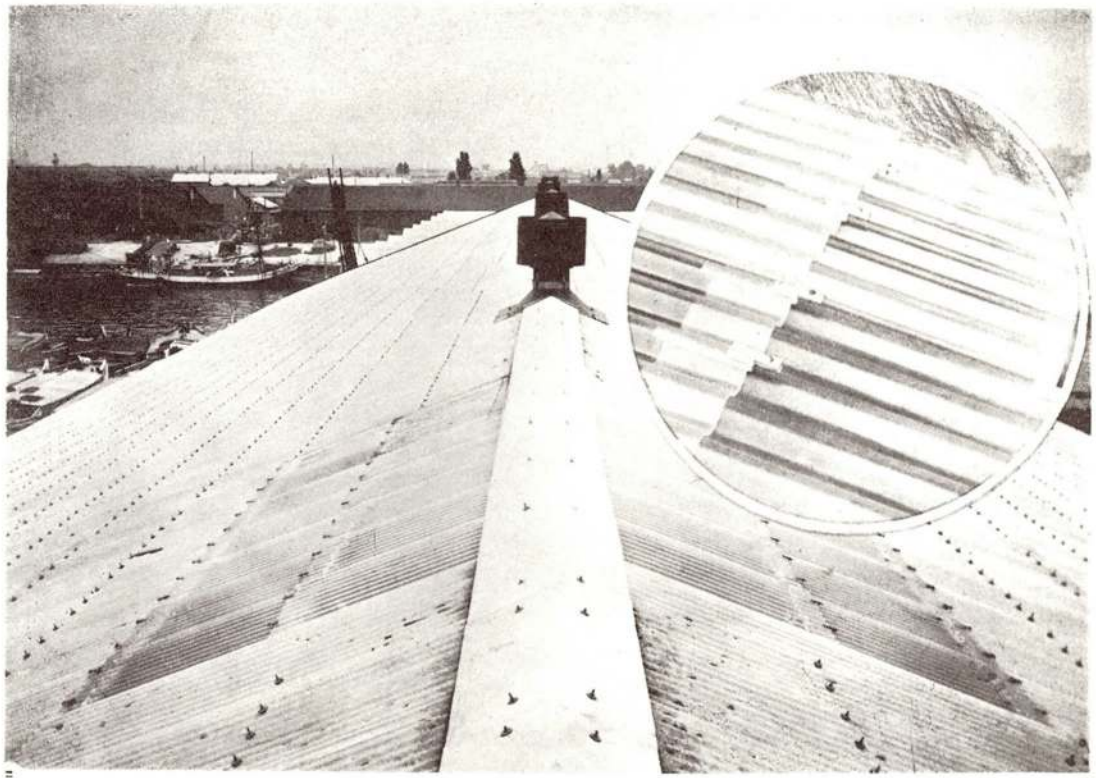
（2）理化學研究所精機部製品販賣

（3）理化學研究所工作部製品及理研各社製品販賣

理化學興業株式會社

本　　社	東京市麹町區有樂町一丁目
大阪出張所	大阪市北區宗是町一番地
	電話土佐堀(44) 3030—3033
名古屋出張所	名古屋市中區廣小路通六丁目
北京駐在所	北京市西長安街七二番地
荒川工場	東京市足立區本木町六丁目

時局と建築材料・誌上展覽會



光り波型ガラス

堅牢なる
鐵材不要なる
雨漏絶無なる
採光面積大なる
施工の簡單なる

天窓の新材料

營業種目

波形スレート・大平板・光り波型ガラス・販賣・施工

日本スレート株式會社大阪營業所

大阪市西淀川區御幣町1,171・電・福島3888

三機工業株式會社

營業所々在地

東京本店・東京市麹町區有樂町・三信ビル內・東京中央郵便局私書函第二六八號
電話・銀座(57)代表5141—9 代表5941—6【長】5140【長】5947
・札幌出張所・札幌市北二條西三ノ一・帝國生命館內・電話・【長】1841
・臺北出張所・臺北市表町・三井物產會社內・電話・5475
大阪支店・大阪市東區高麗橋(東洋棉花ビル內)・大阪中央郵便局私書函第一五七號
電話・北濱(23)代表4841—8【長】4841
・廣島派出員・廣島市大手町・千代田生命ビル內・電話・3711
奉天支店・滿洲國奉天市大和區・三井ビル內・電話・本局(2)【長】1621・1622
・新京出張所・滿洲國新京大和通三七・電話・3—3011【長】3—3766
・大連出張所・大連市山縣通一八一・日本郵船ビル內・電話・本局(2)【長】3278【長】5705
・天津出張所・天津日本租界山口街・三井物產會社內・電話【長】(2)3411
名古屋支店・名古屋市中區廣小路・三井ビル內・名古屋笹島郵便局私書函第五七號
電話・西(5)5303・5634・5635
福岡支店・福岡市天神町二・千代田ビル內・電話・西【長】2299・3759
京城支店・京城府黃金町・三井ビル內・電話・本局【長】1306・2655・5727
取扱店・三井物產株式會社各地支店出張所機械掛

三機工業株式會社營業種目

鋼材部

東鋼式スチールサツシ及オペレーター・東鋼式スチールドアー(防火用品)・鈴木式スチールシヤター(防盜防火用品)・其他各種鋼製建具・東鋼式鐵骨及鐵骨建物一般・東鋼式アイプレート・東鋼式プラツトホーム・東鋼式スチールボツクス・航空機器・艦船・車輛部分品・其他各種プレス製品・東鋼モスラー型金庫扉・東鋼モスラー型金庫室內設備・東鋼式鐵網使用金庫室補强壁・東鋼式スチール・ライニング・其他金庫室附帶設備・東鋼式鐵網使用防空耐爆床版・東鋼式鐵網使用空襲防護室・東鋼式防彈扉・東鋼式防毒扉

機材部

三機式氣送裝置・各種荷役設備・中村式各種洗濯機械並設備・厨房器具並設備・三機式各種焼却爐(汚物・塵芥・火葬爐)・工業用各種加熱爐・レイ重油燃焼機・トリクレン使用機械設備・三機式天窓並通風器・富士スレート・鋼製家具及書架類・三機式輕量間仕切及吊天井・各種メタルラス・日東テツクス及附屬金物・三機式セメント防水工事並アクオタイト防水工事・富國石・チツソライト板・チツソライト成型品・山本式鐵筋コンクリート塀

煖房部

煖房・換氣・乾燥・溫濕度調整設備

衛生水道部

衞生・給水湯・排水・消火・汚水淨化・眞空除塵設備

電氣部

強弱電・動力・電燈・表示・電話・高聲及無線電話・電飾設備

ド ル 機 械 部

上下兩水道・鑛業・化學工業用沈澄沈澱・分級・整粒・濃密・攪拌・混合・濾過・泥漿處理設備

★ ★ ☆

其他建築設備と建築材料　設計・監督・工事請負・材料販賣

塗料の標準品

關西ペイント株式會社

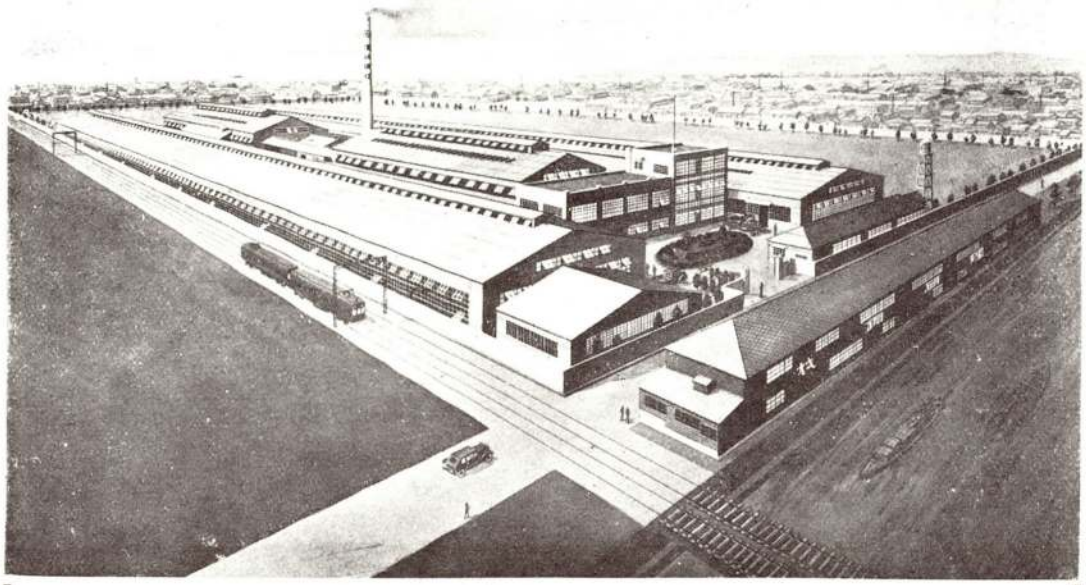
優良國産ラッカー **セルバ**
特許防錆塗料 **サビナイト**

水性塗料 **カセイン**
水性塗料 **アゾール**

型錄送呈

本社 尼崎市神崎三六五
電話大阪福島四三五一—四三五七番
支店 東京市蒲田區南六鄕町三丁目
電話東京蒲田五八八〇番(代表)

時局と建築材料誌上展覽會



尼ヶ崎支店及工場全景

營業科目

理研式防錆スチールサッシ
スチールドアー
シャッター
オペレーター
鋼鐵製家具
板金加工
特種鋼鍛造
壓延金屬加工
理研式ロータリーキルン製鋼

理研鋼材株式會社尼崎支店

尼崎市西向島町二七〇ノ一　電話 福島1951・1952 / 尼崎2217・2823

本社　東京市麹町區有樂町一ノ二　電話直通銀座4782・代表7611—9

王子工場　東京市王子區神谷町二ノ八五七　電話大塚5174　赤羽 4263 / 2330

平井工場　東京市葛飾區平井中町五六八　電話本田660　墨田2414番

特長

バルプ製品
音響調節
熱絶緣
濕氣防止

外にはスレート　内にはテツキス



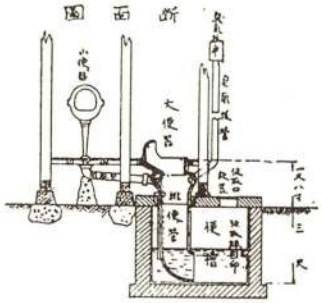
用途

工場・倉庫
學校・病院
其他室內
構成用

大阪市港區九條南通一丁目一二六
電話西九三・四七〇六

特許城口式大正便所裝置

（統制ニ關係ナク簡單ニ施工出來マス）



大便器（白色）並漏斗排便管	1組	38.00
小便器（〃）並排尿管	同	8.00
防臭蓋（小判型）	同	4.00
臭氣拔裝置	同	8.00
城口式ベンチレーター（四吋）	同	4.00
取付工費	1式	11.00
運搬及雜費	同	2.00
（便槽工事ヲ除ク）	計	75.00

株式會社 大阪城口研究所　北區曾根崎中一ノ五七　電話北2118・2956

一般建築附帶設備一式設計並施工

出張所　京都市東山區大和大路正面上ル　電話祇園㊇四七四二番
神戸市葺合區琴緒町五丁目七番地ノ七　電話葺合㊁五八九二番

キングライト

ポンプ
バルブ
コック
鑄鐵代用

キングライト
管、筒、棒

鉛、眞鍮、銅、代用

KINGLITE

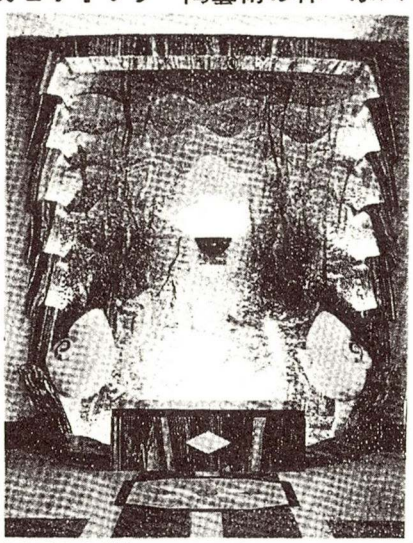
大阪市東淀川區小松南通一丁目

日本キングライト株式會社

電話吹田八七・九一七

モザイック壁畫時代來る！
泰山式集成モザイック—陶藝術の粋—永久不變の壁畫

泰山タイル・モザイック サラセニックタイル



大阪市南海高島屋大食堂街サロン入口ファウンテーン（14尺×15尺）
設計—渡邊節建築事務所殿　施工—竹中工務店殿　製作—弊社モザイック部

さ又その壯麗さまことに想像に絶するものあり矣
辰祝賀式を擧げしと……建築家出身の總統の得意
た總統官邸のモザイク間に於て同總統五十一回誕
最近のニュースに獨逸ヒットラー總統は新築成つ

登錄商標 泰 TAIZAN TILE

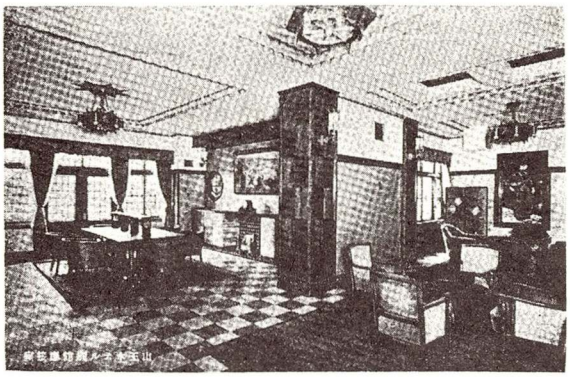
株式會社 泰山製陶所

京都市下京區九條大路高瀨　電話下(5)7568番

新時代建築に理想的の床敷物

專賣特許第102616號（耐久力に富む輕量板）

ライトリノ



非常時局に對處して當社の研究に係る輕量板即ち「**ライトリノ**」は**材料悉く國産品**たる植物性纖維を結合製造したるものにして、其の特長とする所は比重至つて輕量にて、保溫性に富み且つ化學的變質を來たさず殆んど永久に强靱性を保持するものなり。

本品は本社獨特の化學的處理を爲し、植物性纖維中に含有せらるゝ種々なる成分を結合せしめたるを以て、比重輕く保溫性に富み永久に老化作用を起さず、特殊の機械設備等に依り廣巾巨大なる「**シーツ**」に製造し得るの長所あり。

本品は「リノリユーム」又はゴム板等の企及し能はざる左の特性を有し、銀行會社の事務所、學校、病院、軍艦、汽船、汽車、電車、自動車、演藝場、一般營業所、應接室、各家庭等の室內床敷物又は壁用、防水用として最適の理想品たり。

先づ其特筆すべき長所は

「敷　　物　　用」

一　比重輕くゴム製品の二分の一なり
二　ゴム製品の如く老化作用を起さざる事
三　乾濕による損傷變質絕對になく且つ保溫性に富む
四　特種の配合なるにより冷濕の差による伸縮なきを以つて敷き弛るみを見ず
五　耐酸耐アルカリー性なるによりコンクリート床に下敷を要せず
六　清掃は單に乾布の空拭のみにて足り簡易にしてリノリユームの如く油引を爲さざるに依り家具衣服等を汚損せず
七　軟性なれば敷込簡易にして假敷を要せざること
八　步行に衝擊音響なく輕快にして疲勞を感ぜず

ライトリノの敷込法

床面を平坦にし塵埃・水氣を去り清掃の後敷込むこと
　コンクリート床の場合は特に平坦にし、良く乾燥せしむべき事
　板床の場合はハギ目を密着せしめ、凹凸なからしむべき事
床を仕上整理せし後室の寸法に合せ一方より床面に糊（ライト糊）を塗りつゝ敷込む、但し場所に依りては糊付せず其儘敷込むも可なり

ライトリノの手入法

毎日一回空拭にて足る。油を使用するときは表面を損するに依り絕對に使用せざる樣注意ありたし。（若汚損の場合は濡雜巾又は「**モツプ**」を堅く絞りて拭き取られたし）又敷込みの當時表面に**ニス**を塗布し凡そ一ケ月一回**ワツクス**を使用する時は保存上極めて宜敷く體裁も永久に損する事なし。机椅子等の角張りし脚、廻轉椅子のロール、ピアノ其他特に重量ある家具の脚は敷物に喰ひ入る恐れあれば木板又はゴムカバーを使用さるれば安全なり。

ライトラバー工業合資會社

大　阪　出　張　所

大阪市北區堂島濱通り一丁目堂ビル七階㊱5890（10）

東京出張所　　東京市日本橋區通三丁目八春陽堂ビル五階

電話日本橋（24）3040番・0051番・1948番

マルヱス印ルーフキング製造販賣元

佐久間工業株式會社大阪支店

大阪市東區高麗橋五丁目一〇番地

電話北濱5010・5011・5012

本　社　東京市京橋區銀座西三丁目
出張所　京　城・大　連・天　津
千住工場　東京市足立區千住東町九三番地
綾瀬工場　東京市葛飾區小菅町二二二一番

スレート・銅板・鐵板に代る
マルヱス印　色砂便利瓦

アスファルトルーフキング の表面に美麗なる色砂を固着せしめた防火、耐久、輕量、使用簡易、價格低廉等の特長を有する**眞に非常時屋根材**であります

巾 0.48米　長 12.5米　5平方米巻　一金 6圓
色合　A號（赤）　C號（青）　D號（白）　E號（青黒）　の四種

コツトン・ヘツシヤンに代る網狀ルーフキング
マルヱス印　オープンメツシユ

充分撚りのかゝつたクラフト纖維を25糎間8本目に織りアスファルト浸透せしめた網狀ルーフキングで防水層の補强骨材として**コツトン・ヘツシヤン**に代用して抗張强度遜色なし

巾 3尺　　長 120尺　一巻　　金 20 圓

非常時敷物
マルヱス印　フロアカバリング

アスファルトルーフキング の表面を敷物としての美觀を保つ様チヨコレート色に仕上てあり足觸柔かく、耐久に富み掃除簡易にして專用糊にて木造床、セメントモルタル床に密着す

6 坪巻　　一金 30圓

トタン板・スレート等の代用品

三星印砂付便利瓦

規　格　幅3尺2寸×長36尺＝3坪2合……1巻ノ重量38瓩

定　價
1. 材料代（三星印砂付便利瓦1巻3坪2合）……¥7.50（東京大阪倉庫渡）
2. 附屬品（重ネ目用アスファルトペイント釘座金）……¥0.95
3. 葺手間（一巻3坪葺上標準値段）……0.85（東京、大阪）

特　長
1. 屋根葺材トシテ火ノ粉ノ落下等ニテ引火スル處レナシ。
2. 表面ノ「アスファルト」ハ三星コンパウンド使用ノタメ寒暑ニ依リ影響スルコトナク、暑熱時熔融スルコトナシ。
3. 屋根及周壁ニ使用シテ防水、遮熱用トシテ完全。
4. 輕量ナルタメ構造上有利。
5. 表面ノ砂ハ剝離スル處レナシ。
6. 腐蝕スルコトナク從ツテ耐久力大ナリ。
7. 素人ニテモ施工出來ル。

用　途
1. 鑛山、炭坑又ハ山間等ノ小屋々根
2. 鷄舍、豚舍等ノ屋根又ハ周壁用
3. 苗床ノ覆ヒ又ハ霜害防止用
4. 養蠶野外育バラツクノ屋根
5. 戰時半永久堅濠ノ雨除ケ
6. 假兵舍ノ屋根及周壁ノ類
7. 飛行機格納庫ノ屋根
8. 火藥工場又ハ倉庫ノ屋根
9. 陸屋根防水工事ノ上層ニ貼付スレバ押ヘモルタルノ附着良ク從ツテ「ラス」不要
10. スレート及ビトタン板ノ代用

建物ノ屋根葺工法

（A）　三星印砂付便利瓦簡易葺工法

葺　方……野地板ノ乾燥セル上ニ三星印砂付便利瓦ヲ重ネ2寸トシ（重ネ目アスファルトペイント付）横葺又ハ縱葺トシ、水下ヨリ順次葺上ゲ、3cm乃至5cm間隔ニ座金付大頭釘ヲ以テ打付ケヲナス。尙仕上リノ上縱ニ6cm乃至8cm間隔ニ桟打チトスル。棟及ビ屈曲セル個所ハ「アスファルト」又ハ「アスファルトペイント」ニテ「ベタ貼」トス。



値　段……壹面坪 ¥3.50內外（大阪・東京）

耐久性……4年乃至6年ハ確實ニ耐久力アリ

（B）　三星印砂付便利瓦防水葺工法

葺　方……野地ノ乾燥セル上ニ次ノ順序ニ依リ施工ス

1. ブローンアスファルト流シツヽ（1.2kg/m²）
2. 三星印ベストフエルト二號品貼付（縱葺ニ貼ル）
3. ブローンアスファルト流シツヽ（1.2kg\m²）
4. 三星印砂付便利瓦貼付（横葺ニ貼ル）（フエルト及便利瓦ハ何レモ2寸重ネノコト）

重ネ目ノ座金付釘打付等ハ建物ノ都合ニ依リ隨時（A）ト同斷

値　段……壹面坪　¥5.00內外（大阪・東京）

耐久性……6年乃至10年ハ確實ニ耐久力アリ

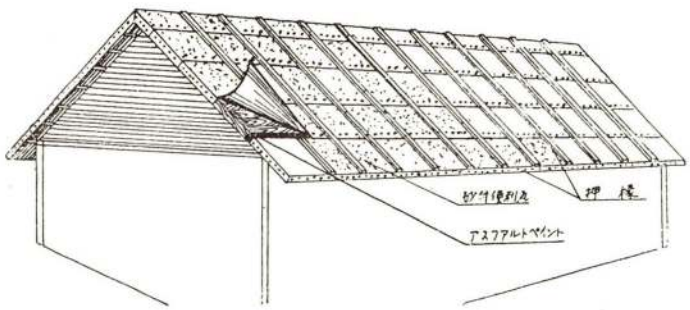
（C）　三星印砂付便利瓦防水耐火、耐久葺上法

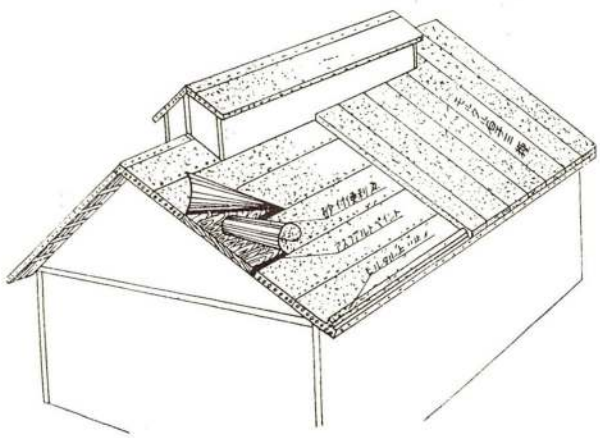
葺　方……前記（A）及ビ（B）工法ニ依リ砂付便利瓦葺上ノ後、更ニ「セメントノロ」引ヲナセバ多少目的ヲ達スレドモ次ノ方法ヲ確實トス。

即チ砂付便利瓦葺上ノ後「セメントモルタル」厚1.5cm～3cmヲ平坦ニ塗リ1平方米間隔位ニ1cm內外ノ目地ヲ切リ、恰モ「セメントブロツク」ヲ貼付ケタル如ク施工ス。然ルトキハ市街地建築物法適用市町村ニ於テモ本材料ノ屋根葺モ許可セラルベシト察セラル。

値　段……壹面坪　¥4.00～8.00位

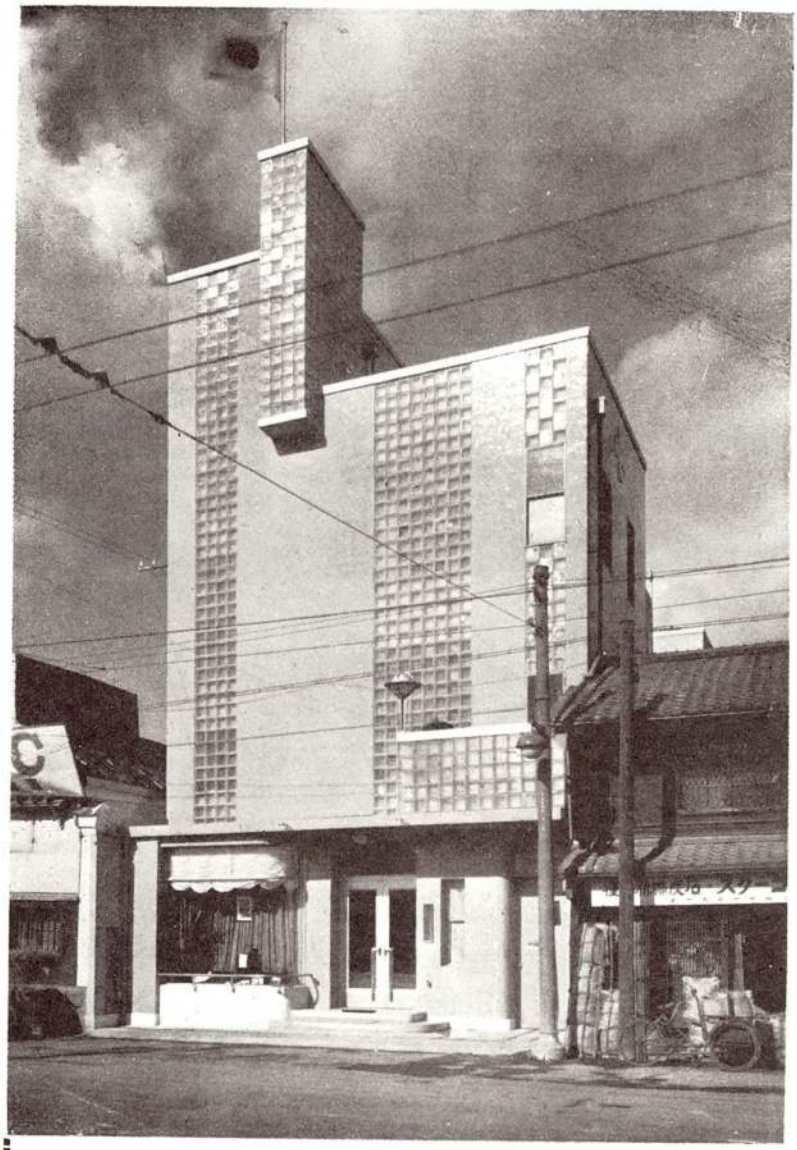
耐久性……5年乃至10數年ハ確實ニ耐久力アリ。





田島應用化工株式會社

本　社	大阪支店	出張所
東京市足立區小臺町六三三	大阪市北區中之島五丁目三〇	大連市山縣通一四九
電話 淺草 5513番 / 6797番	電話 土佐堀 5682番 / 6221番 / 7294番	電話本局 5776番
電話 王子 2330番 / 2370番	電話 櫻川 1725番	京城府南大門通五ノ五七
		電話本局 1220番



弊社大阪支店正面。窓・塔屋全部硝子ブリツク使用

時局に好適の硝子ブリツクと プリズム硝子

（混凝土打込式）

新製品各種見本

新施工法ニヨレバ鐵材ノ使用ヲ極度ニ減ジ強度、採彩、防水モ從來ニ優ル

岩城硝子株式會社大阪支店

大阪市南區末吉橋通リ四丁目二七

電話船場4393・4463

本社工場　東京市蒲田區矢口町三五〇

土建界に待望された
セメント防水劑・急硬增强劑

專賣特許
登錄商標
リーダ液

最優秀防水劑　リーダ液B3號

最高級急結劑　リーダ液A1號

急硬竝增强劑　リーダ液B3號

型錄欣呈

論より證據＝＝他品と比較御試驗を乞ふ
一度使用して見て＝＝其の偉大なる効力に
驚嘆せらるる防水劑は＝＝百二十餘種中
只一つ＝リーダ液あるのみ

大阪市北區堂島濱通一丁目八六
製造發賣元竝
工事責任施工　リーダ建材工業株式會社
電話北 5831 番・振替大阪 7190 番

東京市麹町區丸之內二丁目六
關東總代理店　福島合名會社
電話丸之內 857・852・781番

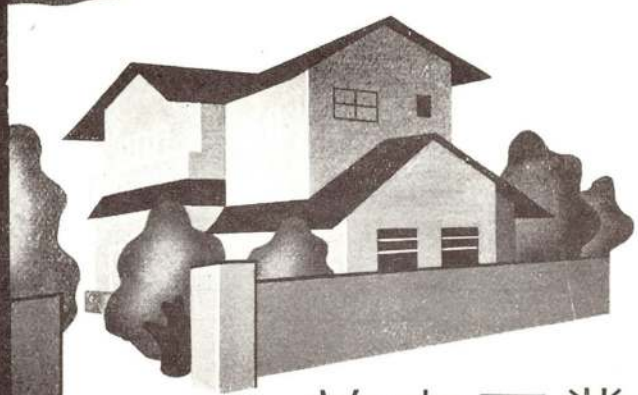
大連市山縣通二一三・奉天市大和區揚武街
滿洲總代理店　株式會社　福昌公司
支店所在地　新京・哈爾濱・鞍山・青島・天津・北京・上海外數ヶ所

北海道總代理店　札幌市北三條東四丁目　平合名會社
樺太總代理店　豐原市大通南一丁目　佐々木商店
北陸總代理店　金澤市木新保一番町　石動半七商店
朝鮮總代理店　咸鏡北道城津邑　金子勘次郎商店
其他特約店所在地・全國に數十個所

美素

新築住宅にお手入のいらぬ！
古い住宅も新築同様となる！

【カタログ贈呈】



新築家屋美素加工
新築落成と同時に本所獨特のビソ液にて洗淨！木材變色の原因となる樹液を取り，其の上をビソにて仕上の加工をすると完全なる變色防止加工となり，優美な艶を有！ソキコミの勞を省き頗る經濟的です。

古家屋新裝美素加工
古家もビソ液で洗淨すると新築同樣となり其の上を新築美素加工と同樣の加工をすると前者同樣の結果となる。
（特種技術を要しますから，弊所の請負加工と致して居ります）

美素工業所

大阪市天王寺區東平野町四丁目二一
電話天王寺㈡四〇〇三番

Bedfordの「調溫、換氣の最新原理」抄錄

建築學的に調溫に關する知識が乏しいことは現代の我建築界に於ける重大な缺陷である。特に北滿の如き酷寒の地方に我日本民族の移動愈々盛なんなんとする時、建築家としては此感を深くするものである。

前原大二郎氏は新進の建築家として大阪市の校園建設事業の設計に關與しつゝその保健工學的研究に熱意あり造詣の深い士であるが英國の醫學的研究者としての權威Bedford氏のModern Principles of Ventilation and Heating の抄錄を完了されたので之を資料として斯界に公表するの意義深きを思ひ敢て紹介する次第である。（伊藤正文）

目　次

第1章　換氣と煖房の歷史
　1　緒　論
　2　煖房法
　3　換氣法
第2章　建物の新煖房法
　1　低溫輻射煖房法
　2　溫氣煖房法
　3　溫度勾配
　4　溫度の調節
　5　蒸氣及び熱湯供給法
　6　Electric Thermal Storage 法
　7　局處煖房法
第3章　現代の換氣法
　1　空氣調整法
　2　其の他の方法
　3　換氣の基準
第4章　溫暖と快感
　1　溫感に影響する環境條件
　2　氣溫測定法
　　a　カタ寒暖計による冷却力
　　b　等値溫度
　　c　グローヴ寒暖計
　　d　有効溫度
　　e　合成溫度
　3　種々の溫度測定法比較
　4　等値溫
　5　至適溫度狀態
第5章　不快感の原因
　1　溫度勾配の影響
　2　脚部の冷却
　3　賊　風
第6章　刺戟的環境
　1　氣　動
　2　輻射熱
　3　空中電氣
第7章　高溫作業
　1　恕限溫度
　2　熱痙攣
　3　馴化作用
　4　溫度條件と作業能
　5　炭坑夫に就いての調査
　6　勞働作業に於ける生產高の季節的變化
　7　綿紡作業に於ける作業能
第8章　災害頻度、病氣に及ぼす環境條件
　1　軍需工業に於ける災害
　2　炭坑夫に起る災害
　3　年齡と災害頻度
　4　綿工業作業者の病
　5　製鐵、製鋼工の病
　6　炭坑夫の病
　7　其の他の研究
　8　結　論

第1章　換氣と煖房の歷史

1　緒　論

今から150年前頃までは、換氣不良の部屋に多くの人が集つた場合の不快感は、過度の溫度に基因するものと思はれてゐた。處が1714年Gaugerはこれに對し、その不快感は室內の溫度の不均等と

換氣不良に原因するものと論じた。其の後18世紀の末期に至り、Lavoiseerはその不快感は空氣中の過剰な二酸化炭素に起因するものと論じた。

併し二酸化炭素は斯様な不快感の原因をなすものではない、何故なれば最も換氣不良の部屋に於いても二酸化炭素の濃度は 0.5%を超える事は殆んどない。又生理的影響の現はれるのは2%～3%の場合であつて、この程度の量でもその影響は單に多少呼吸困難を來すに過ぎないのである。

この二酸化炭素論は、1862年 Pettenkoferが二酸化炭素は不快感の原因ではあり得ないと主張するに至るまでは採用せられてゐた。然し彼はこのガスの含有率はそれによつて存在する他の有害なる不純物の量を計るのに便利な尺度となるといふ意見を述べ、その後數年の間に多數の研究者達は呼氣中の有毒有機物の存在を證明した。この主張に對し種々反對説もあつたが、有機性毒素論は其の後も暫く認められてゐた。

1803年初頭 Herman の實驗の結果、換氣不良に陷らしめるものは高溫高濕に依るもので、何等化學的有機性毒素の發生によるものではないといふ結論が生れた。この説は他の學者達に依つても立證されたが Leonard Hill が適當なる氣動の重要性を唱へ始めた爲30年と續かなかつた。

そして吾々の欲する空氣は生暖いものより冷い空氣であり、濕つたものより乾燥したものであり且又靜止せるものよりも動いてゐる空氣であるといふ事が一般に認められた。

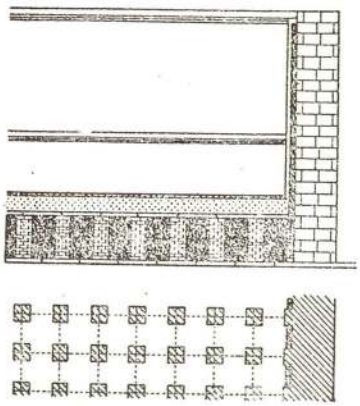
勿論、適度の新鮮なる空氣は是非とも供給されねばならぬ、何故なら換氣が悪いと、それと同時に〝人間の臭〟といふものが生じ來り、一層不快感を增してくる。然し換氣不良の部屋でもその溫度、濕度及び氣動が物理的に滿足し得られる狀態にある場合は一應は堪へ得られる。

換氣は適當なる溫度を保つ上に非常に關係のあるものであるから、換氣と煖房とは常に密接なる關係を保たれてゐるべきである。最良の結果は煖房と換氣との結合せる裝置に依つて得られるといふ事は尤もとうなづかれる、ところがもし別々に裝置がなされてゐる處だつたら 2つのものは夫々煖房、換氣の兩方を考慮したものでなければならぬ。例へば煖房裝置の設計には、新鮮なる冷い空氣の供給され得る樣に、そしてその煖房裝置の能力と新鮮なる空氣の供給され得るやうな方法とによつて、冬でも相當の換氣が行はれ得る樣にすべきである。

2 煖 房 法

1.2 世紀前までは換氣などいふ事には誰も特別の注意を拂はなかつた。船とか炭坑とか特殊な問題の起る處以外では最も輕視せられ、煖房に最高の考慮が拂はれた。即ち適度の溫度を保つ事が最も主要な事とされ、各時代に於て住居の煖房法の發達に最も力が用ひられた。

ローマに於てはハイポコースト（第1圖）とし



第1圖―ローマの浴場に於ける
ハイポコーストの圖解

て知られる煙道設備が富裕階級の浴室、居室の煖房に用ひられた。これは爐から出る煙と熱せられたガスとが煙道を通つて床下へ導かれ、床全體を煖め、更に室の空氣をも煖めるのである。又時には、側壁に空洞タイルを用ひて居室の壁面まで煖めるやうにしたのもあつた。更に進歩して、その壁のダクトに給氣孔を設け、そこから溫氣を室內に導く樣にした。そしてそのダクトは火が燃えて終ふまでは煙の出ない樣に閉めておき、それから始めて溫氣を導入する爲に開かれるのである。この煖房法は換氣法と結合されたものである。

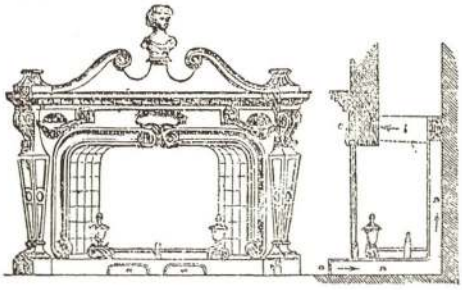
然しこの苦心して作られた煖房法も富裕階級の家屋以外には用ひられず、一般住居に於ては開爐の火によつて煖をとり、その煙は屋根の煙突から外へ排除するやうになつてゐた。

而して數年間の家屋の構造中最大の缺點は、煖房の場合、この煙が家屋內に充滿するといふ事であつた。

現代の煙突の源は、煖爐から外氣へ導く傾斜した誘導管であつた。この煙管は Norman Conquest

時代にイギリスで用ひられ、Conisborough 及び Rochester城等に於いて發見されたものは有名なものである。垂直の煙道は12世紀頃にイギリスに於いて建造されたものらしく、14世紀にはイタリーに於いて一般に用ひられる様になつた。初期の煙突は餘り効果のあるものではなかつたので煙つたさを少くするやうな方法が大いに研究された。この煙突が用ひられる様になつてから換氣に非常な進歩を與へた。即ちこの煙突は換氣筒としての作用をなし、燃えてゐる部屋の空氣を多量に移動さす爲である。

17世紀の初め Louisa Savot が Lourvre に於いて用ひられた爐に就いて次の如く述べてゐる。（第2圖）



第2圖—Lourvre に於いて用ひられた Savot の煖爐

それは、床面附近から取入れられた空氣は、爐の下と背後を通過しつゝ煖められ、マントルピースの中の鐵格子を通つて再び室内に入る様に裝置されたものである。かくして、爐火よりの輻射熱と、溫氣とによつて、煖をとるやうにしたものである。

この爐は、部屋の中の空氣を煖め循環させるやうにした。それより約1世紀後に、Gauger が、室内の空氣及び外界からの空氣共に熱せられて直接部屋にはゐつて來るやうなものを案出した。この上更に外氣が煖められず直接室内にはゐつて來る様に出來ればなほいゝ理である。Gauger は又、室内のすべてのもの、特に、室内調度、衣服、在室者の皮膚及び眼等を汚す煙に對して完全なるものを案出した。

Gauger につゞいて多くの人々が煖爐やストーヴの構造の改良を始めたが、それらの多くは、換氣に對する設備をも合せ行つた。これら學者中で著名なものは、Dr. Franklin と Count Ramford である。

これらの改良は、居間とか其他小室に於ける快感を增す爲になされた、然し Open fire は、大きな部屋とか工場等には不充分の爲、大抵ストーヴ（開鎖爐）とか放射熱煖爐によつて煖められた。

更に進んで煖めるべき部屋の床下或は別室に煖爐を据付け、所要室にはゐつてくる空氣は先づストーヴとの接觸に依つて熱せられ、その後管又は坑を通つてその部屋に入つてゆくやうな方法も案出された。

1729年 Strutt は、空氣がストーヴともつとよく接觸し充分に熱せらるゝ様、放射熱煖爐（Cockle stone）の改良を行つた。彼は自分の案出せる放射熱煖爐に依つて、製絲工場の煖房を行ひ、數年後には病院の煖房にも用ひられた。然し、溫氣煖爐は依然として住宅、教會に於いて用ひられてゐる

蒸氣煖房の最初の實施は、James Watt によつて行はれたものであるが、1784年に、彼が先づ自分の仕事場を煖めるのに、蒸氣器具を用ひたのが抑々その始めである。1791年にはHalifax のMr. Hoyle が蒸氣パイプに依る煖房法の特許を得た。

かくして蒸氣煖房法は忽ち流行し、19世紀の初期に於ては工場等に廣く一般に用ひられた。それ迄の工場に於ける煖房は多數のストーヴによつて行はれて來たのである。1824年、Tredgold はその著書中に Watford の絹絲工場に用ひられた蒸氣煖房の機構の圖解を示してゐるが、それに依ると、メインパイプが汽罐から、最上階の天井にひかれそこから鐵製の支管に依つて各階に導かれてゐるこの支管は又 Return pipe と結合されてゐて、その Return pipe に依つて冷却した水を汽罐へ送還する裝置になつてゐる。

18世紀初期には、溫水パイプに依る煖房法が行はれ、フランス革命前、パリ市場では溫水循環法が孵卵器に應用された。溫水煖房法は、1816年イギリスに輸入され、それ以來、溫水蒸氣煖房法に就いての研究が盛に行はれるやうになつて來た。

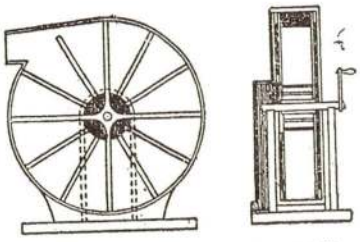
パイプ循環法、放熱器が改良、發明され、最近では所謂パネルヒーティングに用ひられるやうになり、それと共にガス、電氣も汎く煖房用に供せらるゝやうになつた。

3 換氣法

換氣煖爐（Ventilating stone）や溫氣爐（Hot-air furace）のある部屋は、それらが換氣の助けをし

てゐるが、これらは一般には用ひられてゐなかつた。換氣不良は不適當なる窓機構に原因するところが多いのである。換氣設備に於ける著るしい進歩はロンドンの大火災の頃のサッシュ窓の案出である。又18世紀の後期、蝶番をつけたホッパー窓がSt.Thomas病院の換氣に用ひられてゐる。現在建物の最良換氣法として用ひられてゐる此種の窓は不快なる賊風を入れず快適なる換氣を行ふものである。

大建築物に於いて、窓による換氣法は餘り實用的のものといへない、それは空氣を室内に導入したり排氣したりする方法が必要であるから、18世紀に於ては數多の機械換氣設備が案出されたが、その中で著名なものとしてDesagulierによつて發明された遠心性送風機がある。(第3圖)



第3圖—Desagulierの遠心性送風機

これは其の後間もなく1736年衆議院の換氣に用ひられた。Fanは給氣、排氣何れにも用ひられ圖の如く手によつて廻轉されるも これを改良したPower-driver Centrifagal Fanは今日の換氣設備の基礎をなしてゐる。

19世紀の初め頃、蒸氣及び溫水煖房の進歩と共に換氣と煖房とは別々に取扱はれる様になつた。自然換氣も非常に重要視されて來たが、時の經るに從つて機械換氣が益々使用される様になり、19世紀の末期に至つてPlenum式或はPropulsion式により煖房換氣が同時に行はれる事が流行して來た。Plenum式は往々にして不完全であつた爲、30年位前には機械換氣に對し反對説もあつた。現代の工場建築の多くは自然換氣法によつて充分なる換氣が行はれてゐる。然し近年、機械換氣法も種々の工學的實驗により進歩し、財政の許される處では煖房と換氣の空氣調和法が廣く用ひられてゐる。

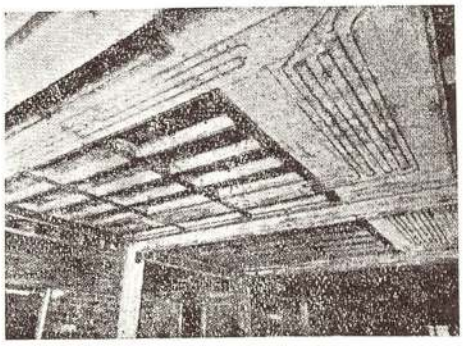
第2章　Buildingの新煖房法

煖房の新しい實施のうち、近代の發達の程度について簡單に述べよう。

1　低温輻射煖房法

物の面から輻射される熱量は、表面溫度とその面の大いさとによる。故に、床、壁、天井等の廣い面が比較的低溫に煖められた時は、高溫の小さい面と同じ量の熱を放射し、又均等に熱が分布される利益がある。

廣く世間に使用されてゐるこの低溫輻射煖房の方式はパネルヒーティングとして周知のものである。この方式は、1908年Barkerの案出せるもので溫水パイプを漆喰の中に埋めこんで壁を煖めたが最近では多く熱せられたパネルを天井面に設けてゐる。(第4圖)斯くして天井の全面積の溫度を凡そ100°Fに保つのである。



第4圖—施工中の天井パネル

このパネルは熱を下方に放射し、床、壁、家具及び在室者を煖める。故にこのパネルが必要な天井に自由に設置出來れば、如何に廣い部屋でもこの方法で煖める事が出來るのである。

然し、もし埋沒した溫水パイプを全全に保溫しなかつた場合には、床の上部にも多少熱が傳導される、然しこれは却つて利益となるのである、何故なら表面溫度が80°F以上に昇らない限り足に非常に快感を與へるものであるからである。

この埋込みパネルは外から見えず、場所をとらないといふ便があるが、不便なのは、修理、取換が困難な事である。その爲にその不便さを少しでも少くする爲、今でも露出パネルを用ひてゐる例もある。このパネルは大きな鐵や鋼鐵板を用ひ、その一方に、溫水又は蒸氣の循環パイプを接して取付け、そのパネルを所要の大きさに接續し得る

やうにしたものであつた。

電熱パネルの新しい形式のものは、強い石綿紙の中に電線を通しそれに電流を通するのであるがその紙は普通の壁紙のやうに天井に貼付ける事が出來、その上から壁紙を貼つたり又ペンキを塗る事も出來るのである。

パネルヒーテイングのもう1つの方法は、ガス又は電氣で熱せられた小媒體、又は高温パネルを用ひたものである。この形式の電氣パネルは、25×13inch の大さで約500°F にまで熱せられる。これは、室の4側及び4隅の壁上等に設置し、下方に斜に傾けて、熱を放射するのである。かなりの高さに設けられ得る様な部屋でなければ水平においてはいけない。何故ならこの様な比較的高温な熱源からの放射は、4ft 位距離があつても頭が近くなり、非常に不快なものであるから。

こゝ10年位の間に、床煖房が Derbyshire の多數の新設學校に採用された。温水管が床下のチヤンネルに据えられ、床の表面温度は約70°F に保たれてゐる。

ボーダーヒーテイングとして知られてゐる他の方式は、巾木附近の床、又は巾木を 80°～140°F に温める方法で非常に好成績であるが、人が立つたり坐つたりしなければならぬ床の何れの部分にも、均等の熱を保たせる事が出來ない。

又ハイポコーストの改良されたものが Liverpool の公會堂に使用されてゐるが、これは、床下に温氣の通る暗渠を設けそれによつて床面が70°Fに保たれるのである。

2 温氣煖房法

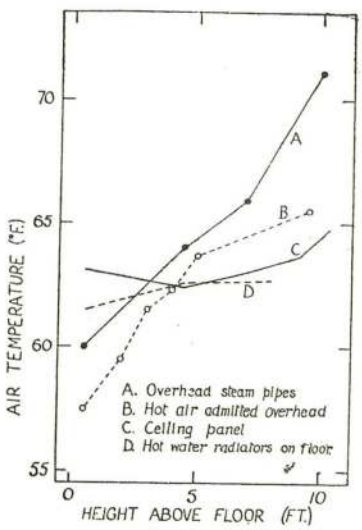
温水放熱器は通常、汽罐に連結されたパイプの中を循環する温水に依つて熱せられるのであるが現代では、ガス又は電氣によつて直接熱せられる放熱器がよく用ひられてゐる。ガスで熱せられる方は、小さなガス燃燒器を水を滿した放熱器の下に設け、電氣の方は、一體となつた侵入煖房器を持つてゐる。

こゝ 2.3年間單獨加温器の種々形の變つたものが廣く使用される様になつた。家庭、事務所及び商店等では小さな對流煖房器がよく用ひられてゐる。これは合金の圍壁より成り、上部下部が開いてゐて、ガス或は電氣ヒーターを持つたものである。この圍壁中の空氣が温められ、下部より來る冷氣と入換る様になつてゐる。斯くの如くして絶えず温氣が温器の上部から室内に流入してゆくのである。

現今多くの工場では、空氣が蒸氣放熱器の上を通り、それから非常な速力で平行に進むやうな單獨加温器で煖房されてゐる。この煖房器の小型のものは頭上に吊され、大型のものは床上におかれて、下方より空氣を導入し、丁度頭高位に於て强流として排氣せしめる様な構造になつてゐる。この單獨加温器は元來は、室内にある空氣を温めたり、對流を起さしめる様に設計されたものであるが、大型のものでは新鮮なる空氣を外部より導入しこれを加温するやうな設備が施されてゐる。又外氣が單獨加温器に流入する場合濾過される様になつてゐる。

3 温度勾配

煖房は温氣の循環を内部で行ふ單獨加温器や其の他類似の設備に依つて、少量の温氣より、少々冷く共多量の空氣を循環さして快適なる温度を保つ様にする事が望ましい。温氣煖房に於て、室温より高温なる温氣が排出される場合、とかく屋根とか天井近くに煖まつた空氣が蓄積され勝ちである。こういふ狀態の下に於いては、部屋の上部にある空氣は、床に近い空氣の温度より數倍高温でその結果として非常に熱の浪費を伴つて來る理である。又こういふ狀態にあつては、頭の高さの空氣が床近くの空氣より遙に暖なる爲、足は冷たく頭の方は不快感を感ずるといふ結果になるのであ



第5圖—種々の煖房法に於ける温度勾配

る。第5圖は種々の煖房法に於ける溫度勾配を示したものである。

高溫に熱せられた空氣の循環、或は頭上のスティーム溫水パイプ等による煖房は、圖のやうな溫度勾配を示して來るのであるが望ましからざるものである。反對に低溫天井パネルヒーテイングはこの樣な勾配を起さす理想に近いものである。何故ならその溫度は天井面から僅か數吋のところでも、床附近と全く同溫であるからである。床面に立つ溫水放熱器による場合は、不快でない程度のほんの僅かの勾配を生ずるに過ぎない。

4 溫度の調節

昔の煖房裝置に於いては、手で弁を廻はしたりスウキツチを捻る事によつて熱の供給が調節されたのであつた。其處で工場等に於いては屢この調節を見る者がなかつた爲、終日溫度は多少ながらも絶えず上昇し、其の爲午前中の作業場は甚だしく低溫であるに反し、午後になると不快な程高溫になる事が屢々であつた。

近代の煖房實施に於ける重要なる發達は、この調溫調節器の使用が普及されてゐる事である。この調溫器は望み通りの溫度に調節され、溫度がある程度にまで達すると熱の供給は停止され、又溫度が下降すると熱が供給されるやうになつてゐるのである。斯くして溫度は常に望み通りに保たれ從つて過熱による不快感とか熱の浪費はないのである。煖房費の實際の費用はこの自働調溫器の使用如何に依ると言ひ得る。

又この調溫調節器は大きな煖房裝置のみでなく家庭向煖房器にも適用し得るのである。この調溫器は少しの追加値段でガス煖房器にも電氣煖房器にも用ゐる事が出來る。

5 蒸氣及び熱湯供給法

煖房器具に要する蒸氣とか熱湯は、最も普通には石炭又はコークスを燃した汽罐より供給されるが、今では油及びガスを燃した煖爐が屢々用ひられてゐる。近年はElectric thermal storage式のものが發達して來て、局處煖房は次第に進歩して來てゐる。

6 Electric Thermal Storage 法

多くの電氣事業では、概ね夜間に最低率で電流を供給するので、この Electrric thermal storage 式の組織はこれらの時間中にとられたる電流を低價で滿して利あるやうに設計されたものである。大きな完全保溫水槽中に電熱器を設け、その中に貯へられた水は、夜間加溫せられて後必要な時に使ふ事が出來るやうになつてゐる。

この Electric thermal storage はブロードウエイウエストミンスターの地下鐵事務室に於いて用ひられ、この方法は多くの近代煖房器中に用ひられてゐる。

7 局處煖房法

多くの大工場では汽罐が中央に設置され、其の中を通つて蒸氣が上昇し、保溫パイプによつて各所に供給され、時にはかなり遠距離にある店の煖房及び其の他の目的の爲に供給されるのである。この設備が擴大されると、1つの中心から多數の建物に供給される樣になる。これは局處煖房として知られてゐる。この樣な機構は建物の煖房とか日常必要な熱湯とかあらゆる熱の要求に對して供給し得るのである。

局處煖房法は50年前頃アメリカに於て初めて使用された。最初の設計では、全然他に使用されてない新しい蒸氣が供給されたが最近のものは既に使用されたる蒸氣又は熱湯も亦供給される樣になつた。其の後この局處煖房は規則的に進歩し他の國々にまで廣く用ひられるやうになつた。ヨーロツパ大陸では多くのかゝる設備が使用せられており、そのある物は非常に大規模なものである。例へばハンブルグでは現在、蒸氣が約6哩の個所にまで供給されてゐる。局處煖房會社は通常、その地方の電力會社と連絡をとつて設立せられてゐる。

約15年前、マンチエスター市に於いて2つの住宅地區へ熱湯供給の爲、局處煖房法を採用した。一方の地區には2000軒、他方には580軒の家屋があつたが、この設計は全體的に滿足する結果が得られず、中止されて了つた。

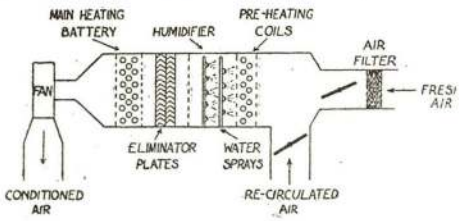
局處煖房法の技術的困難も現今では充分征服せられたものゝ如く、町全體に熱を供給する事も、今では水道、ガス、電氣の供給の如く確實になし得るといはれてゐる。

第3章 現代の換氣法

1 空氣調整法

換氣法に於ける最近の發達は空氣調整法にまで進んで來た。空氣調整とは、含有濕氣、溫度、清純度等の調節といふ意味であるから、故に、煖房

冷房と換氣との結合であるわけである。現代の裝置では、溫濕度の種々の快適狀態が保たれるやうになつてゐる。空氣調和法の一般的方法としては第6圖の如くである。



第6圖—空氣調整裝置の圖解

先づ外氣が流入し濕潤室に於いて、細かい噴霧狀態で噴出される水の中を通過する。そこで溶解性のガスと塵埃とが除去されて、空氣は一定の溫度に達すると水蒸氣と飽和狀態になる。この裝置から出た空氣が含有する水分は、噴霧器を去る時の飽和空氣の溫度に依る。何故なれば與へられた空氣の一定量が吸收し得る水蒸氣量は溫度の上昇と共に速やかに昇るからである。

調溫裝置は、濕潤裝置を出た空氣の溫度を調節し、含有濕度を常に一定に保たせるのである。

含有水分は噴霧室の氣溫を上げ、室に入る前の空氣を暖め、或は噴霧器に供給する水の溫度を上げる事に依つて增加するが、若しも噴霧水の溫度が著るしく低溫であると濕潤裝置に入る空氣は露結點以下に冷され、濕氣はそれ以上加はらずに凝結して了ふ。

かくして空氣は冷却され、含有濕氣は濕潤裝置中で冷水を使用する事に依つて低められる。充分に冷えた水は堀拔井戶からも得られるかも知れない。然し一般に冷却器のコイルの上を水を通す事が必要なのである。

空氣は濕潤室を出て脫離板を通過する。この裝置は、汚泥と小滴とを氣流から除く役目をする。

空氣は噴霧室で適當の濕度に調整され、又適當の溫度に熱せられて、氣管を通つて推進し必要個所に供給されるのであるが、濕潤室を出る空氣の溫度は自働的に調整される。

もしもある建物が調和空氣に依つて完全に暖められたとすると、冬はその建物から失はれる熱損失が在室者の熱の放散によつてのみでは償はれないのであるから、その部屋に確實に支持されるべき溫度に達するまで、調整空氣を充分に供給する事が必要である。多量の空氣供給が行はれないと、各水平層に不快な溫度差を生ずる恐れがある。然し室內空氣の最近の裝置ではこの危險を除く爲、もう1つ別の調溫形式が具はつてゐて補助的空氣調整法を行つてゐる。この方法では、室溫と同じか又はそれ以下の溫度で空氣を供給し、溫度の不足分は他の源から供給するのである。この空氣調整法と低溫輻射の天井パネルヒーテイングとの結合は非常に好い結果を齎らしてゐる。このやうな方法で暖房、換氣を施された工場を觀察すると、作業者の頭高位の溫度は足許の溫度よりずつと低く保たれてゐる。

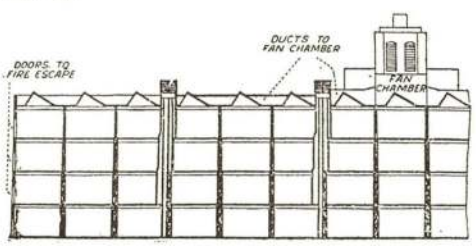
映畫館のやうに充分な換氣を必要とする建物、又は特定の溫度、濕度、新鮮なる空氣を要する室に對しては、この空氣調和法は非常に効果のあるものである。然しながらイギリスでは、多くの工場建物は空氣調和法よりもつと安價な方法に依つてうまく換氣されてゐる。

2 其の他の方法

夏は適當に工夫された窓なら、狹い建物を適當に換氣するに充分である。然しもう少し廣い建物特に大きな平屋建の建物等であると、新鮮な空氣の配布の爲には機械的裝置が必要である。

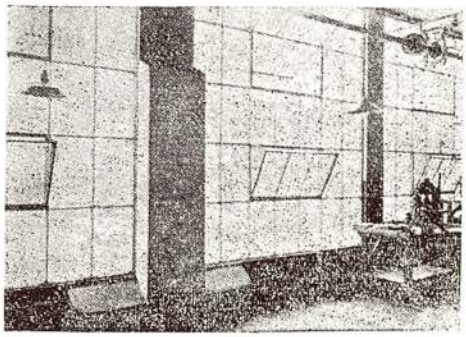
冬季は、流入空氣を溫める爲の設備が必要であり、又その空氣は賊風の避けられるやうな方法で入れられなければならない。多くの場合、それは給氣孔に暖房器を据付けて行ふか、又は、送風器で溫めた空氣を配布するやうにされた。

現代のよく換氣の出來た工場の例を第7.8圖に揭げる。



第7圖—排氣管を示せる工場の斷面圖

この工場は4階建で、長さ280ft. 巾46ft. で側面は殆ど窓ばかりである。大體頭と同じ位の高さのところに、賊風を避ける爲に、給氣孔を兼ねたホツパー窓があり、その上に充分開かれる大きな回



第8圖—ホツパー窓、回轉窓及び氣管を示す

轉窓がある。かくして夏は、充分な横斷換氣法が行はれるのである。

建物の眞中にある四本の直立の柱には、排出換氣の行はれるやうに各階に夫々通氣管を持つてゐる。屋根に沿つて設けられた管は、この柱と中央の部屋とを結合させ、その部屋には有効な送風機を据付けてある。各仕事部屋では、その通氣管は調制器に依つて送風管を閉鎖する事が出來、天窓に向いて開いてゐる。この設備は、送風機、室内外の壓力差、風等に依つて排出されるすべての空氣に對して作られてゐる。

もう1つの給氣孔は、窓から離れたところについてをり、側壁には20ft.の間隔で床面の高さのところに空氣格子がある。これらは高さ8ft.の金屬板の圍壁でかこまれ、上部は開いて、この圍ひの中に、溫水暖房器が据付けられてゐるのである。かくして格子内に流入された空氣は溫められ、作業者達の頭上へ向けて送られるのである。

夏期ならば、この排氣管が閉ぢられてあつても窓が40%だけ開かれゝば3分毎に工場の空氣を換へるに充分である。冬期は、送風機が廻り、窓は殆ど皆閉ぢられてゐても、工場内の空氣は7分～15分おきに換氣され得る。

3　換氣の基準

空氣供給の標準を定める事は非常に難かしい。戸外の生活が屋内の生活よりも健康に良い事は誰でも認めてゐる。つまり戸外生活の大なる利益は運動をする事と、日光と風の効力である。が又多量の換氣量を自由に手に入れる事の出來る點は見逃せない事である。

然し換氣量の減少もある程度までは健康を害する事はない。ニユーヨーク換氣委員會では學童の病氣につき2學級について研究したが、それに依ると1級は1人1分間につき29ft.³、他は15ft.³の空氣供給を持ち、然も呼吸器病は換氣の良い級の方が多いといふ現象を呈してゐた。

換氣の基準といふのは、つまり體臭を排除するといふ換氣の効力の問題である。室内の空氣に臭を感じないといふのは、1つには在室者の身體の清潔に基き、又1は觀察者の嗅覺の鋭さ如何にも依るのであるから常に甚しく違つた標準が呈示されるのもさして驚く事ではないのである。各學者達は、新鮮な空氣の供給さるべき標準は、1人5～50ft.³/min.なりと主張してゐる。

イギリスではバラツクに於いて供給されるべき空氣量につき2.3の研究がなされたが、Roscoeは1857年に、軍隊のバラツクでは1人につき10³ft.の供給が行はれゝば、體臭を消すのには充分であるが、少くも20ft.³は與へられるべきだと述べたそれより4年後、バラツク及び病院調査委員會でも、最低20ft³の供給が行はれるべきだといふ結論に到達した。

數年後De Chaumontが、今度はバラツク内の空氣中の二酸化炭素の臭ひについて研究を試みたが、それに依ると、室内空氣1000分中炭酸量が0.2より多くない限りその空氣は新鮮にして、外氣と感覺的には變りないといふ事が分つた。作業狀態にある時は、人間は普通0.6ft.³/min.の炭酸瓦斯を呼出するとされてゐるが、それを基礎とすると、室内空氣1000に對し0.2の炭酸量の狀態となすには1人50ft³/min.又3000ft³/h.の新鮮なる空氣の供給が行はれなければならない。彼の說に依ると、臭氣は炭酸量が1000分中0.4に達すると知覺せられ、或は1人1分間に對しての空氣供給が25ft³の時には最早や知覺せられるといふのである。其處で彼は、50ft³/min.を主張し、その標

臭氣と換氣及び炭酸量との關係
(De Chaumont 1875)

	Fresh: Not Sensibly Different from Outer Air.	Rather Close: Organic Matter Becoming Perceptible.	Close: Organic Matter Disagreeable.	Very Close: Organic Matter Offensive
Carbon dioxide due to respiration, parts in 10,000 of air	2	4	7	9
Total carbon dioxide, parts in 10,000 ...	6	8	11	13
Air supply per person per minute (assuming CO_2 production of 0·6 cu. ft. per person per hour)	50	25	14	11

準は廣く應用されてゐる。

この標準は高くて實際には支持されてゐない。ロンドンの都市參議會では、映畫館、劇場等の空氣需要量として、1人17ft.³/min. 1000ft³/h. を要求してゐる。

こゝ 1.2年間にアメリカの學者に依つて現在の標準に對し再檢討が行はれたが、不快な臭のないといふ事は充分なる換氣が行はれてゐる事だと認められた。

室内の强臭は各人に供給される空氣量に依ると共に、又在室者の數に依るものである。故に人員の增加につれて、供給されるべき空氣量も多くなる。又體臭をなくする爲には個人々々の清潔なる事が重大な原因であるから、度々入浴する事は換氣の條件に大きな役目を持つ。尙子供は大人よりも多量の臭を發散するものであるから、多量の換氣量を必要とするものである。

そこでこれらの學者達に依つて唱へられた換氣の標準とは、外からは入つて來る人々に對して、少し位臭はあつても不快感を抱かせる事のないやうな空氣狀態を保つために供給されるべき新鮮空氣の量といふ事である。

空氣需要量の最小限度
(Yaglou et al., 1936)

Type of Occupants.	*Air Space per Person (Cu. Ft.).*	*Fresh Air Supply Required (Cu. Ft. per Min. per Person).*
Sedentary adults of average socio-economic status ...	100	25
	200	16
	300	12
	500	7
Labourers	200	23
School children of average class	100	29
	200	21
	300	17
	500	11
School children of poor class	200	38
School children of better class	200	18

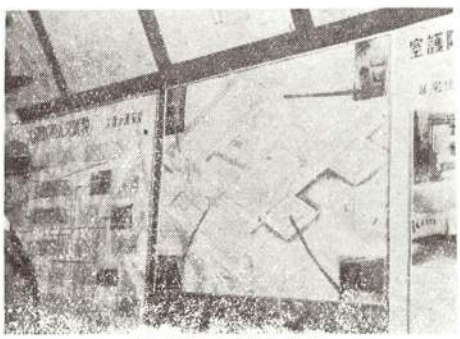
換氣需要量は各人に依つて夫々違ふが、先づ最も普通の狀態に於いて、1人17～20ft³/min. 1000～2000ft³/h. の空氣供給が行はれたら、大體滿足のゆく結果が得られると思はれる。(つゞく)

(前原大二郎)

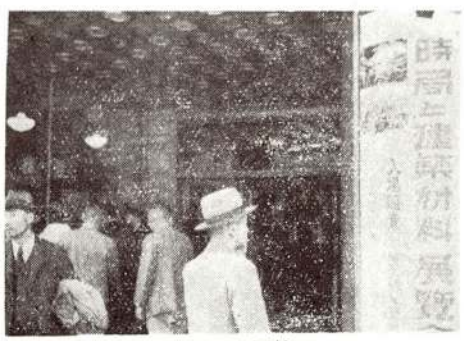
「時局と建築材料」展覽會



會場朝日ビル



防護室の圖面と寫眞



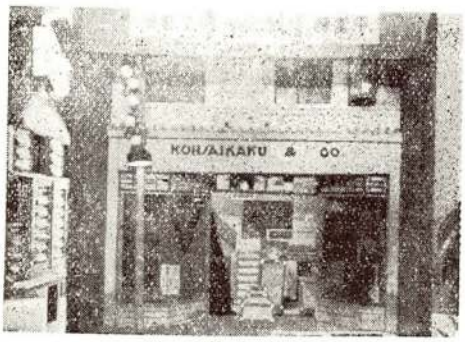
朝日ビル入口の大圓柱ポスター



本會支那事變收得物



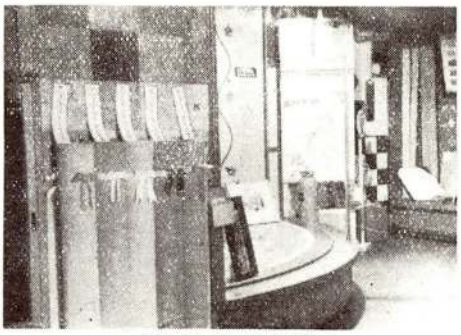
會場入口



燈火管制模型



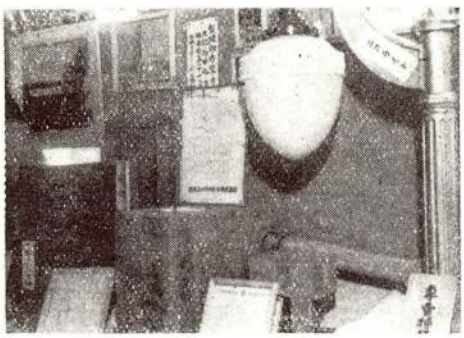
本會撮影の支那事變寫眞展示場



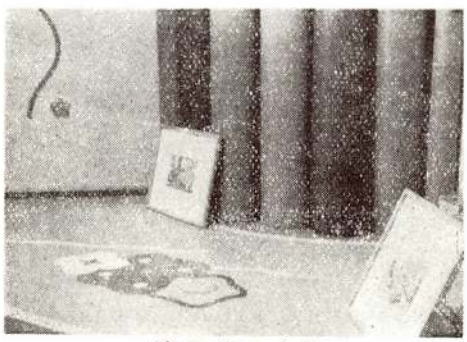
陳列場の1部



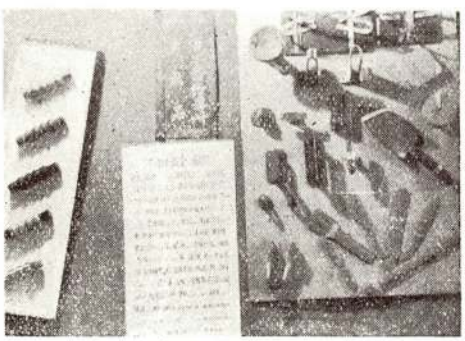
陳列場の1部



陳列場の1部



陳列場の1部



陳列場の1部

主　催　社團法人日本建築協會

會　場　朝日ビル4階　常設建築材料陳列場

會　期　自昭和14年4月20日
至同　年5月17日

觀覽者　4,882名

出品者名

日本ペイント株式會社
岩城硝子株式會社大阪支店
田島應用化工株式會社大阪支店
合名會社木下謹三商店
三機工業株式會社大阪支店
株式會社伊藤元商店
美素工業所
合資會社福島商店
リーダ建材工業株式會社
灘戸燒瓦製造販賣組合關西出張所
三菱商事株式會社機械部大阪支部
大阪窯業セメント株式會社
日本竹筋工業所
竹房彌太郎
合名會社布元商店
名古屋製陶株式會社大阪出張所
野澤幸三郎商店
大阪伊丹商店
清光社
合資會社河津裝飾家具店
東洋リノリユーム株式會社
ユニオントレーヂングコンパニー
日本窒素肥料株式會社
古河電氣工業株式會社
株式會社影久商店
株式會社大阪城口研究所
株式會社須賀商會
西原衛生工業所大阪支店
理研アルマイト工業株式會社大阪工場
東洋陶器株式會社大阪出張所
合資會社榮進社大阪出張所
東洋理化學工業所
淡陶株式會社大阪支店
株式會社草葉商店
日本金具株式會社
合名會社ペニヤ商會
大阪陶業株式會社
大阪窯業株式會社
南滿鑛業建材合資會社大阪出張所
伊奈製陶株式會社大阪出張所
田村商會大阪出張所
日本工材株式會社
旭硝子株式會社
日本ドアーチエツク製作所
合資會社鈴鹿工務所
平松釣戸車製作所
株式會社大信洋行大阪支店
合資會社矢橋大理石商店
泉屋商會建材部
株式會社泰山製陶所
合資會社汎建製作所
合資會社與村重兵衛商店
日昭ライト工業株式會社
住友金屬工業株式會社
日本陶織社
日本コンクリートポール株式會社大阪出張所
日本板硝子株式會社
淺野物產株式會社建材部
小野彌助商店
日本ヘキタイト工業株式會社
日本藥器製造株式會社大阪支店
淺野スレート株式會社
コンクリート美裝社
オリエンタルメタル製造所
內外木材工藝株式會社
ライトラバー工業合資會社大阪出張所
福島合名會社大阪支店
大日本塗料株式會社
高松菊治郎商店
米原商店
日東物產株式會社大阪出張所
河之口清三
日本セメント防水劑製造所
關城化學工業株式會社大阪營業所
株式會社島田硝子製造所
英進商會利倉幸商店裝飾部
昭和コンヂツト株式會社
朝日スレート株式會社
旭日レール株式會社大阪出張所
合資會社三村芳太郎商店
野田合名會社
鐵要枝町工場
南育宏本店
內外土木建築材料合資會社
ヒーロ化學工業所
理化學興業株式會社大阪出張所
岩本工業株式會社
株式會社高島屋裝飾部
リグナイト株式會社
佐久間工業株式會社大阪支店
合名會社田中タイリング商會
株式會社宮崎商店燈管飯部
日本機械工業株式會社大阪支店
原型スレート株式會社大阪支店
東洋スレート株式會社
日本保溫板工業株式會社
日本建築紙工株式會社大阪支店
中原家具裝飾店
日本キングライト株式會社
日本金屬工業株式會社大阪營業所
東京電氣株式會社大阪出張所
日本スレート株式會社
松井邦彥商店
合名會社西孫南店建築金物部
日本洋瓦株式會社大阪支店
關西ペイント株式會社
愛國化學工業株式會社大阪出張所
ペトナー化學工業所

會報

本協會員中軍務公用者氏名

前號發表後に於ける本協會員中の軍務公用者下記の通りであります（受付順）

會員	田中幸太郎君	西山夏江君	高阪辰夫君
	櫻井督平君	川田國江君	
地方會員	木島健一君		
普通賛助員	赤松美三君		

會員（地方在住）

故 永元乙吉氏



會員永元乙吉氏昭和14年4月17日病を以て長逝せらる洵に哀悼に禁へす茲に照肖と略歴を掲げ謹みて弔意を表す。

1. 氏は明治24年11月21日山口市に生る
1. 大正8年5月8日青島守備軍營繕係勤務
1. 同9年8月1日臨時青島防備隊技手を命ぜらる
1. 同10年6月16日山口縣建築工事監督員を命ぜらる
1. 同11年7月17日同縣土木技手を命ぜらる
1. 同13年4月1日山口縣電氣技手兼務を命ぜらる
1. 昭和14年3月16日山口縣電氣技師を命ぜらる
1. 同年4月17日胃癌にて逝去せらる享年49歳

常務會（第9回）

時　5月1日午後6時—6時40分
所　協會倶樂部室
出席者　理事　坂副會長
常務　黒田主記　伴野主記
三浦主記　藪中主記
松井主計　龜井編輯
新名編輯　堀口編輯

議事

1. 災害强度委員會ヨリ臨時委員依囑方要求ノ件……承認
2. 市街地建築物法令增刷ニ關スル件……否決
3. 災害科學研究所ヨリ建築學研究誌寄贈方依賴ノ件……承認
4. 展覽會々期延長ニ關スル件……承認
5. 會員詮衡

報告

1. 3月分會計報告
2. 4月例會終了報告

常務會（第10回）

時　5月10日午後6時—6時40分
所　八同ビル地階食堂
出席者　理事　中澤副會長　坂副會長
監事　松本監事
常務　桐本主記　伴野主記

三浦　主記　　藪中　主記
久保田主計　　鵜井　編輯

議　事

1. 災害強度委員會ヨリ臨時委員依嘱方要求ノ件
……承認

2. 倶樂部室幹事長ヨリ申出ニ係ル大會開催ノ件
……承認

3. 會員詮衡

報　告

1. 日本建材協會役員當選通知

材料委員會（第3回）

時　　5月12日午後6時50分—8時10分
所　　協會倶樂部室
出席者　委員長　松久保
　　幹　事　木野山、道　田
　　委　員　秋　田、楠　瀬、竹　花

協議事項

1. 建築材料紹介に關する件

倶樂部室主催春季大會

倶樂部設置以來恒例の春秋大會も事變後暫く中絶せしが時局も長期建設の域に達し一面協會が毎年催せし此種大會が兩三年前より倶樂部室主催にて催す意味にて醸されてゐる爲め大方會員中より開催希望の向もあり茲に昭和十四年五月二十一日の日曜日を期し楠氏に由緣り深き青葉色濃き長野方面に南朝の史蹟を訪ね王道精神を涵養旁々國寶建築其他の寶物や古き寺堂を見學し近來稀なる歡を盡して散會した。

當日の概要下記の通り

時　昭和十四年五月二十一日（日）午前十時三十分難波驛に集合。

此處にて幹事諸君の受付により乘車券、辨當券案内書等を貰ひ、別席待合所及デパート等にて夫々待合す。

午前十一時高野線ホームに入り南海電車特別サービスにより借切車一臺增結され最後部に一行六十一名乘込む、十一時十四分發車今宮過ぎし頃、窓外に火災起りとんだ餘興を眺めつゝ兼ねて準備されたる机に茶菓の接待迄あり一同幹事の勞を謝し歡談頻なり、天下茶屋にてビールの積込あり夫より直に配給された辨當を開きビールの泡を飛ばしつゝ賑やかな中食をなす。

程もなく零時1分長野驛着一同下車驛前にて先發の幹事に案内され直に借切バス3臺に分乘陽光を浴びてバスは天野山金剛寺に1時半着先發の幹事に誘導されて同寺書院に入り住職曾我部俊雄氏より同寺の沿革特に其かみ南北兩朝主上同時に行在せられし事實等珍らしき講話ありて一同第一行在所及其苔むす庭を眺めつゝ退出、寺僧の案内に導られて村上天皇行在所、寶物館、金堂、月見堂修理中の多寶塔特別國寶庫等見學し表門にて1時40分再び借切バスに分乘一路觀心寺に向ふ、2時30分一同本堂に集合內陣見學大谷執事より同所の沿革建築等說明後御陵、首塚、寶物館を見學、記念撮影後書院拜觀正成公勉强の處等幽寂な庭を眺めつゝ退出。

茲にて一先づ解散、各自は附近散策、健脚家は楠妣廟、河合寺等に廻り一部はバスにて宴會場に夫々散亂、午後6時長野石川畔楠莊園にて愈親睦宴會開く、之より先4時頃より早着の人々は入浴に、圍碁に、將棋に、浸談或は一時を華胥の鄉に入る者等ありて6時全員揃ひ設けの席に抽籤にて着席す。

先輩中老が入口や變な處に、若い處が床の間になど面白き順となり倶樂部室らしき感あり、幹事は盛會の爲め中之島に陣取り配膳を待ちて三浦幹事拍手裡に幹事長不在につき代りて挨拶あり、宴に移る、長野美人の幹旋お座つき加田氏餘興に氣勢あがり諸々に爆笑起り、漸く席の亂れる頃を見計ひて午後7時40分宴を閉す。一同愉快裡に河鹿の音を聞きつゝ歸途に就く、誠に盛會なりき。

當日の幹事各位、特に南海關係者各位に厚く謝意を表して筆を措く。

當日の出席者下記の如し（略敬稱五十音順）

相川龍一、淺井欽次郎、伊藤爲吉、池田實、石井春雄、今林彦太郎、岩尾保衛、入江千壽、上田豐太郎、岡本松太郎、奥村丈太郎、奥宮守、河津喜之助、加田安彦、北垣熊之介、木村捨藏、木村悔次郎、桐本楠雅、木下昌次、黒澤研、小西一夏、小室千代松、高坂信次郎、幸田武雄、左谷陽充、坂本一二三、酒井勇三郎、重松傳三郎、島岡義太郎、白井房五郎、薗部茂、高木太作、高橋清一、高松平太郎、谷民藏、竹中景一、武田經一、竹林勝吉、坪井誠一、寺石重正、中島敬雄、西川清一、野中駒市、畑中善造、原田

千歳、古家旬、細川唯一、楠木直助、松本儀八、松井邦彦、三浦茂、水野長三郎、村井鼓、藪中一夏、山崎鐵太郎、山本忍、米田貞一、和田友吉、職員大和、小板、戸川、山内、小野、林

災害强度委員會（第5回）

時　5月23日午後7時—8時40分
所　協會倶樂部室
出席者　幹事　淺野
委員　矢田、中野、長尾、熊野

協議事項

1. 熔接手技術檢定試驗に於ける曲げ試驗について淺野幹事より大阪府建築課試驗方法と熔接協會試驗方法との比較報告あり
1. 無筋コンクリート造及煉瓦造に關する資料の件　淺野幹事、熊野委員より寫眞提出說明あり

會員動靜

入會者

會員

萩原俊夫君　府下三島郡三ケ牧村大字唐崎2,004（京阪電鐵株式會社）
松井清開君　東區森之宮西之町六二一（關西工學校教師）
加藤三郎君　神戸市林田區本庄町三ノ四五（川崎造船所經理部營繕課）
井澤善哉君　住吉區平野大通四六（大阪松村組）
田島長二郎君　西宮市今津字浦風十二甲子園パンション（理研鋼材株式會社尼崎工場）
井上正志君　神戸市須磨區大手檯現町2ノ154 松本方（兵庫縣廳營繕課）
師田庄次君　住吉區山阪西之町3ノ27 郊南寮內（大倉土木株式會社大阪出張所）
飯塚□守君　京都市上京區室町下立賣上ル大江昇方（京都府建築工場課）
水野友成君　布施市長瀨通相田外島1.113（橋本組）
加藤豐一君　旭區大宮町5ノ61（大阪府總務部營繕課）
鈴木喜八郎君　西宮市常磐町15
高木太作君　神戸市須磨區大手町8ノ41（神戸高工講師）
田島正雄君　旭區江野町29（大阪府總務部營繕課）
清原潔君　住吉區墨江中5ノ26（大阪市役所教育部）
下田稔君　北區東野田町6ノ80（建築工務店經營）
高橋德松君　旭區南島町15（下田工務店）
池呂達雄君　住吉區聖天下2ノ1（池田建築事務所）
前田時夫君　尼崎市次屋溝5（鴻池直營部）
石川宏君　天王寺區茶臼山町111（石川建築事務所）
杉山廣吉君　〃　（〃）
坂本善男君　兵庫縣武庫郡魚崎町橫屋字井手111（鐘紡營業部）
山田篤明君　神戸市林田區吉田町1ノ230番屋敷（〃）
山崎六郎君　大正區三軒家濱通1ノ39（〃）
池呂信禧君　神戸市林田區吉田町1ノ187（〃）
柴田六郎君　神戸市林田區菅原通6ノ75（神戸市役所經理部建築課）
小西武雄君　旭區南島町884（自營）
熊野米雄君　府下北河內郡守口町字土居147（中川、石川建築事務所）

地方會員

湯口清太郎君　朝鮮鎭南浦郡大頭里中央土木株式會社
藤幸好雄君　福岡市大名町105 大林組福岡支店內（株式會社大林組福岡支店）
高橋梅太郎君　東京市中野區本町通4ノ39（陸軍技師）

特別贊助員

池田泰山君　京都市下京區東九條岩本町75（株式會社泰山製陶所）
森田敏男君　府下北河內郡守口町土居61（鍋要枝町工場）

普通贊助員

飯野藤吉君　山口縣玖珂郡岩國町錦見2125（株式會社大林組）

染井武治君　奈良縣添上郡東市村八島（奈良縣社寺課囑託兼石上神宮工事監督）

退會者

地方會員

武本良治君

特別贊助員

七利龍三君

普通贊助員

西原重喜君、中尾重雄君、岡田雅一君
平倉武雄君

轉居、轉勤

會員

松村文甫君　府下豊能郡池田町畑旭ヶ丘25

眞壁博君　新京特別市東七馬路¦永康莊102號室

吉田東君　東成區生野田島町338

田村武雄君　西宮市六堪旁町23

島武賴三君　名古屋市東區橦木町3ノ18

井手正雄君　北區扇町水道部廳舍教育部建設課

井尻義雄君　東成區片江町4ノ2

大川元造君　住吉區平野西之町90

松永巍君　愛知縣中島郡祖父江町字祖父江富國人絹パルプ工場新築工事場

片岡長參君　住吉區山阪町1ノ100

飯田榮一君　府下豊能郡南豊島村穗積

布施潔君　兵庫縣飾磨町山崎田村原作方

大原一泰君　北區高垣町92

河村新君　東區横堀3ノ41　大阪工業寫眞株式會社

甲木秀治君　兵庫縣川邊郡園田村法界寺園田ハウス內

矢野藤一君　神戸市灘區畑原通5ノ1ノ35

高橋種夫君　市外吹田千里村片山77

青木昌一君　新宮市佐野567 新宮木材パルプ株式會社工場新築工事清水組出張所

佐伯俊君　兵庫縣武庫郡魚崎町下松原359

高橋壽男君　京都市上京區田中玄京町19 大村フク方

金安正義君　北區東野田町1ノ59

藤土希雄君　姫路市南八代115 赤鹿富夫方

楠正巳君　住吉區桑津町360

大川元造君　神戸市灘區永平町5ノ37

伊藤幸一君　住所從來通リ（日本鵝卵器製作所）

岡田初太郎君　廣島市猿樂町58　株式會社清水組出張所

深田操君　神戸市葺合區坂口通3ノ2

地方會員

野口正登君　奈天市大和區彌生町31榊谷組

江嶋正則君　德山市西辻町

細川義夫君　廣島市仁保町甲15

伊達多平君　住吉區天王寺町3ノ375

吉田森雄君　旭區森小路中3ノ44

瀨川廉平君　東京市四谷區番衆町10　陸軍省經理局建設課

井上福太郎君　神戸市林田區大池町3ノ127番屋敷

吉村幾藏君　下關市園田町不二丘

榮信義君　島根縣能美郡安來町東御幸通

特別贊助員

小川彌市君　千葉縣印幡郡木下町　伊藤方

杉浦竹之助君　西區土佐堀船町23　東京建材株式會社大阪支店

普通贊助員

伴仲信次君　東京市牛込區辨天町126

尾田正智君　旭區南島町15　松蟲莊園內

和田義磨君　堺市神石村旭ヶ丘42

臼井正三君　廣島市向洋　東洋工業株式會社新築工事清水組出張所

長井才次郎君　京城府日ノ出町23

寺澤林吉君　四日市市濱田（朝日町）3ノ573

八尾正次君　尼崎市杭瀨道場筋15三樂莊內

上野達郎君　四日市市濱町2,009 石產寮內

曾我部幸雄君　上海北四川路阿端里2號 華中水電株式會社建築課

村田篤君　漳洲國海拉爾河本部隊國守隊

中田貞孝君　內蒙古張家古察南自治政府總務處建設局

改姓名

會員

淺川忠夫君（舊姓吉田）

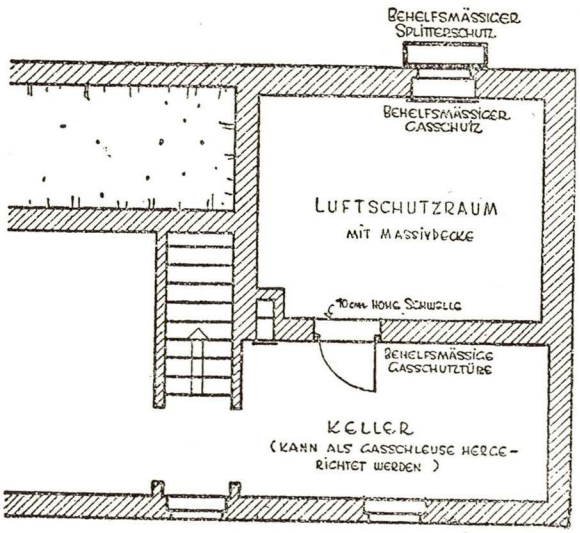
大原一泰君（舊名芳知）

終身贊助員

白杉嘉明三君（舊名龜造）

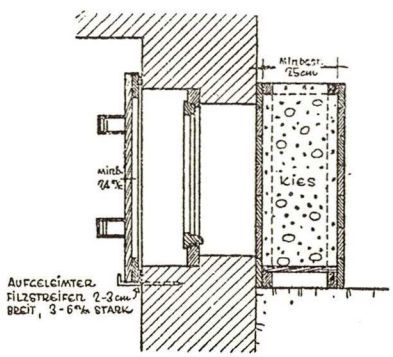
小集合住宅及び一般民家に對する防護室資料

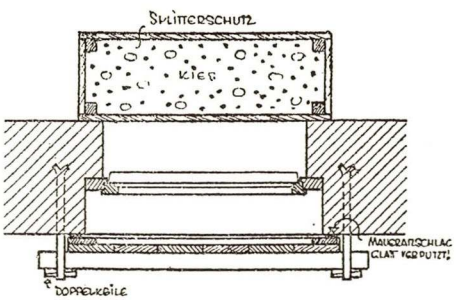
（Baumeister, April 1939 より）

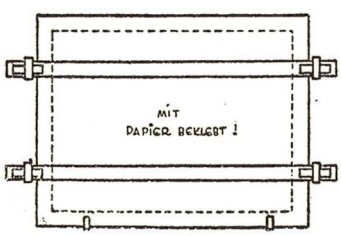


平面圖

窓部分詳細圖







本號執筆者紹介

（五十音順）

乾　　眞　介	同潤會總務課長
大須賀　巖	大須賀法律事務所主
龜井幸次郎	大阪府警察部建築課・技師・本協會常務
川喜田煉七郎	川喜田店舗研究所主
新名種夫	大阪市教育部建設課長・本協會常務
中尾保	中尾保建築事務所主
堀口捨吉	大阪府立西野田職工學校建築科長・本協會常務
本多正道	大阪市教育部建設課設計係長
政岡基次	株式會社松村組
松森修太	大阪府警察部建築課
前原大二郎	大阪市教育部建設課
元良勳	大阪市土木部橋梁課・技師
山口正	京都市役所
吉村辰夫	都市計畫東京地方委員會・技師

6月號

建築と社會
第22輯　第6號

毎月1回1日發行　定價　1册　50錢（郵稅3錢）
　　12册　6圓（〃36錢）
昭和14年5月30日印刷　昭和14年6月5日發行

發行・編輯
印刷人　小板常男
大阪市北區朝日ビル日本建築協會內

印刷所　プラトン印刷社
大阪市西區江戸堀南通2丁目13番地

發行所　社團法人　日本建築協會
大阪市北區中之島3ノ3　朝日ビル
電話長北濱(23)4501番(9)
振替口座大阪39975番

特約販賣店　柳々堂書店
大阪市西區京町堀羽子板橋西
電話土佐堀2440番
振替口座大阪2084番

禁轉載

本號に掲載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣告掲載料金

普通	1頁	1回	15,00
普通	1/2頁	1回	8,00
普通（前附第1頁）	1頁	1回	45,00
普通（前附第2頁）	1頁	1回	40,00
普通（後附第1及最終頁）	1頁	1回	25,00
アート（中挿）	1/2頁	1回	20,00
表紙2	1頁	1回	60,00
表紙3	1頁	1回	45,00
表紙4	1頁	1回	80,00
建築事務所錄	1欄	1回	1,50
（建築關係業者案內）	1欄	1回	5,00

廣告掲載御申込は本會へ直接願ひます。
本誌購讀御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ、振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます。郵券代用は一割增、代金引換はお斷り致します。

大阪都市計畫防火地區圖を頒布す

今回下記內務省告示に依つて大阪の防火地區が廣範圍に渉つて追加指示されましたに就いて、同防火地區圖を次の通り實費にて頒布しますから御入用の方は至急お申込下さい

大阪都市計畫防火地區圖(二萬分ノ一)1部

- **實　　費　15錢　(外に送料3錢)**
- **送金方法　振替　(振替口座大阪39975)**

內務省告示

大阪都市計畫防火地區追加變更ノ件

昭和十年十月二十八日附議　議事第一一九號　第六〇四

內務省告示　第百八十八號

大正十二年七月十三日內務省告示第二百二十七號大阪都市計畫防火地區追加變更ノ件昭和十一年四月四日內閣ノ認可ヲ受ケ昭和十一年四月二十九日ヨリ之ヲ施行ス其ノ係關圖面ハ大阪府廳及大阪市役所ニ備へ置キ從覽ニ供ス

昭和十一年四月九日

內務大臣　潮　惠之輔

申込所　社團法人　日本建築協會

"建築と社會" 第22輯 第6號　廣告索引

ア　旭硝子株式會社……10
　　淺野スレート株式會社……13
エ　榮進社……23
　　英進商會……6
　　荏原製作所……27
オ　大阪窯業セメント株式會社……中挿
　　大阪伊丹商店……22
　　大阪組立コンクリート製作所……14
　　大野製作所……表紙 2
　　岡田建材店……19
　　奥村重兵衛商店……21
カ　關城化學工業株式會社……表紙 4
キ　桐田商會……16
ク　久保商店……17
サ　坂田ベンチレーター製作所……4
　　三正商會……17
ス　須賀商會……1
セ　政正合資會社……8
タ　大洋組……2
ト　東京電氣株式會社……24
ト　東洋リノリユーム株式會社……表紙 3
　　東京建材株式會社大阪支店……19
ナ　南滿鑛業建材合資會社……14
　　內外土木建築材料合資會社……22
　　鍋要抜町工場……28
ニ　日本建築紙工株式會社……6
　　日本放熱器商會大阪支店……11
　　日本金具株式會社……中挿
　　日本陶織社……4
　　日本機械工業株式會社大阪支店……26
　　日東物産株式會社……12
　　西原衛生工業所……9
　　西孫南店建築金物部……5
ノ　野澤幸三郎商店……20
ヒ　平松釣戸車製造所……18
マ　松井商店……8
　　松下電器株式會社コンヂット部……3
ミ　三井物産株式會社……7
ヤ　矢橋大理石商店……5
ヨ　横河橋梁製作所……15